MUTOH

取扱説明書
OPERATION MANUAL

MUTOH Status Monitor

ご使用前に必ずお読みください

MSMJ-A-40

目 次

目 次 1

1. はじめに 1-1

1.1. 概要 1-1
1.2. 動作環境 1-2
1.3. 本書記載の商標 1-2
1.4. 対応バージョン 1-3
1.5. 対応言語 1-3

2. インストール／アンインストール 2-1

2.1. インストール 2-1
2.2. アンインストール 2-4
2.3. ファイアウォールの例外設定 2-4

3. 初期設定 3-1

3.1. はじめに 3-2
3.2. サービス一覧 3-3
3.3. プロキシ設定 3-4
3.3.1. プロキシ手動設定 3-5
3.4. MUTOH Club ログイン 3-6
3.4.1. MUTOH Club ログインエラー 3-7
3.5. MUTOH Club ログイン設定 3-8
3.6. レポートメール設定 3-9
3.6.1. メール設定(全般) 3-10
3.6.2. メール設定(SMTP) 3-11
3.7. メールアドレス設定 3-12
3.8. 初期設定確認 3-13
3.9. プリンタ登録 3-14
3.9.1. プリンタを登録する 3-15
3.9.2. 登録完了 3-19
3.9.3. 複数プリンタの登録 3-21

3.9.4. 登録内容を変更 3-22
3.10. 初期設定終了 3-23
4. 起動／終了 4-1
4.1. MSM の起動 4-1
4.2. タスクトレイアイコン 4-1
4.3. タイトルバー 4-2
5. MSM 設定 5-1
5.1. 設定 5-1
5.2. ヘルプ 5-2
5.2.1. 初期化 5-3
5.2.2. バージョン 5-4
6. メニュー 6-1
6.1. ユーザー設定情報 6-2
6.2. メニュー 6-3
6.2.1. 年月日・時刻更新 6-4
6.2.2. ユーザ用紙名編集 6-5
6.2.3. ファームウェア更新 6-6
6.2.4. 最新ファームウェア確認 6-13
6.2.5. プリンタ情報バックアップ 6-23
6.2.6. プリンタ情報アップロード 6-23
6.2.7. 終了(MSM 最小化) 6-23
7. ステータスモニタ 7-1
7.1. プリンタ情報 7-2
7.1.1. 詳細情報の表示 7-3
7.2. 詳細情報 7-4
7.3. ステータス情報 7-5
7.4. Smart/C 情報 7-6
7.4.1. MB-Web で Smart/C を更新する 7-7
7.4.2. 更新ファイル(MSCF)で Smart/C を更新する 7-8
7.4.3. S/C カードで Smart/C を更新する 7-9
7.4.4. Smart/C 情報 7-10
7.5. ヒーター情報 7-12

7.5.1. ヒーター情報 7-12
7.5.2. ブロアヒーター情報 7-13
7.6. ヘッド/カートリッジ情報 7-14
7.7. S/C カード情報 7-15
7.7.1. 読み込み 7-16
7.7.2. S/C カードリカバリー 7-17
7.8. 用紙情報 7-18
7.9. 印刷情報 7-19
8. アクティベーション 8-1
8.1. インターネット経由でアクティベーションを実行 8-1
8.2. アクティベーションコードを入力してアクティベーションを実行 8-4
9. レポートメール 9-1
9.1. プリンタ設定 9-2
9.2. 送信メールアドレス設定 9-3
9.3. 送信メール機能設定 9-4
9.3.1. 送信メール機能 9-5
9.4. メール内容設定 9-6
9.4.1. しきい値 9-7
9.5. 設定一覧 9-8
10. カラーベリファイ 10-1
10.1. 履歴 10-2
10.1.1. プリンタ情報 10-3
10.1.2. 履歴一覧 10-4
10.1.3. 詳細情報 10-5
10.2. カラーベリファイ 10-11
10.2.1. 設定 10-12
10.2.2. プリンタ準備中 10-13
10.2.3. 設定データ印刷中 10-14
10.2.4. パッチデータ受信待ち 10-14
10.2.5. パッチ印刷中 10-14
10.2.6. 測色器取り付け待ち 10-14
10.2.7. 測色待ち 10-15
10.2.8. 測色中 10-15

10.2.9. 測色結果取得中 10-15
10.2.10. 測色器取り外し待ち 10-16
10.2.11. カラーベリファイ結果印刷中 10-16
10.2.12. 結果確認待ち 10-17
10.2.13. 終了 10-18
10.2.14. 中止 10-19
10.2.15. Windows ファイアウォール 10-19
11. VSM Mobile 11-1
11.1. VSM Mobile 設定 11-2
11.1.1. VSM Mobile 情報 11-3
11.1.2. MSM 設定 11-8
12. 印刷履歴 12-1
12.1. 絞り込み条件 12-2
12.2. 印刷履歴一覧 12-3
12.3. 詳細情報 12-4
12.3.1. 印刷情報 12-5
12.3.2. グラフ 12-6
12.4. 統計情報 12-7
12.4.1. 統計情報 12-8
12.4.2. グラフ 12-9
12.5. 設定 12-10
12.6. コスト設定 12-11
12.6.1. インク 12-12
12.6.2. 用紙 12-13
12.6.3. その他 12-14
12.7. 初期化 12-15
12.8. 保存 12-16
12.8.1. 手動 12-17
12.8.2. 自動 12-17
13. リモートパネル 13-1
13.1. VJ-628/628X/628MP/XPJ-C641SR-P の場合 13-1
13.1.1. リモートパネルメニュー 13-1
13.1.2. プリンタステータス 13-2
13.1.3. プリンタ制御 13-4

13.1.4. メディア設定 13-56
13.1.5. カット設定 13-126
13.1.6. 詳細設定 13-129
13.1.7. その他設定 13-134
13.1.8. プラグ寿命 13-140
13.1.9. 寿命 13-142
13.2. VJ-1x38(W)X/1x24(W)X/1628X/2638X/1938TX/1638UH(2)/1948WX/1324XS/1638UR(2)/162xMH の場合 13-143
13.2.1. リモートパネルメニュー 13-143
13.2.2. プリンタステータス 13-144
13.2.3. 設定 13-145
13.2.4. プリンタ制御 13-146
13.3. VJ-426UF / 626UF/XPJ-461UF/661UF/1462UF/661UF-P 13-151
13.3.1. リモートパネルメニュー 13-151
13.3.2. プリンタステータス 13-153
13.3.3. プリンタ制御 13-154
13.3.4. メディア設定 13-164
13.3.5. 詳細設定 13-177
13.3.6. その他設定 13-182
13.3.7. プラグ寿命 13-185
13.4. XPJ-1641SR/1682SR/16x2WR/1341xR-P/1641SR-P/P2/1682SR-P/1681SR-P/HA-1642/XPJ-1682UR の場合 13-187
13.4.1. リモートパネルメニュー 13-187
13.4.2. プリンタステータス 13-188
13.4.3. プリンタ制御 13-191
13.4.4. メディア設定 13-201
13.4.5. 詳細設定 13-214
13.4.6. その他設定 13-219
14. MUTOH Print Server 14-1
14.1. ご利用の際の注意点 14-1
14.1.1. 準備 14-1
14.1.2. ソフトウェア RIP の設定 14-2
14.1.3. ファイアウォールの例外設定 14-3
14.1.4. 注意事項 14-8
14.2. 動作環境 14-9
14.2.1. 推奨環境 14-9

14.2.2. MPS を使用する際のネットワーク構成例 14-11
14.3. MPS 使用方法 14-13
14.3.1. MPS の有効化 14-13
14.3.2. MPS の起動 14-13
14.3.3. MPS の起動確認 14-14
14.3.4. MPS サービス番号選択 14-14
14.3.5. MPS 設定 14-15
14.3.6. MPS メイン画面 14-15
14.4. MPS 各種設定 14-16
14.4.1. MPS サービス番号選択 14-16
14.4.2. MPS 設定 14-18
14.4.3. メイン画面 14-19
14.4.4. MPS 情報 14-20
14.4.5. 再起動動作 14-21
14.5. 制限事項 14-22
14.5.1. RIP と分光光度計（SPECTROVUE）を組み合わせてご利用の場合 14-22
14.6. トラブルシューティング 14-22
14.6.1. 設置・導入時のトラブル 14-23
14.6.2. 作画に関するトラブル 14-25
15. MiniMSM 15-1
15.1. 起動方法 15-1
15.2. メイン画面(XPJ-1462UF 以外の機種の場合) 15-2
15.2.1. ステータス情報 15-3
15.2.2. S/C 情報 15-3
15.2.3. Smart/C 情報 15-4
15.2.4. ヒーター情報 15-4
15.2.5. リモートパネル 15-5
15.2.6. プリンタ情報 15-6
15.2.7. MiniMSM 設定 15-6
15.3. XPJ-1462UF の場合 15-7
15.3.1. 設定画面(クリーニング) 15-8
15.3.2. 設定画面(ノズルチェック) 15-9
16. VerteLith 16-1
17. 機種別サポート機能一覧 17-1
18. エラーコード一覧 18-1

18.1. プリンタステータス 18-1
18.2. プリンタ登録 18-1
18.3. リモートパネル 18-5
18.4. Smart/C 18-6
18.4.1. S/C カード 18-6
19. エラー表示と対処方法 19-1

1. はじめに

本書は MUTOH Status Monitor (以下、MSM)の操作説明書です。

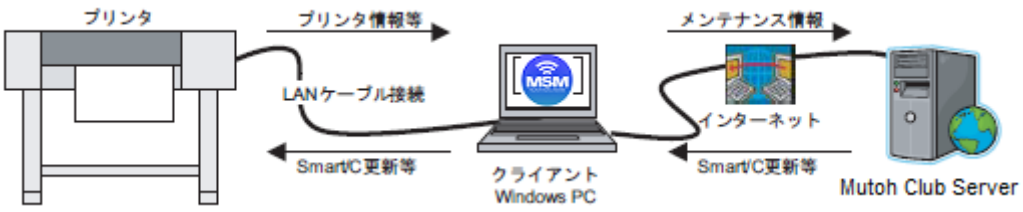
1.1. 概要

MSM は以下の機能をサポートしています。

1. 年月日・時刻更新
2. ユーザ用紙名編集
3. ファームウェア更新
4. 最新ファームウェア確認
5. Smart/C更新
6. ステータスモニタ
7. アクティベーション
8. レポートメール
9. カラーベリファイ
10. VSM Mobile

注 記

- MSM のサポート機能は機種に応じて異なります。
- MUTOH Club で MSM の最新情報等を公開していますので、定期的にログインをしてください。
- 本書記載の一部が、旧 VSM(ValueJet Status Monitor)表記になっている場合があります。



1.2. 動作環境

MSM を使用するにあたり、プリンタ本体の他に以下の環境・物品が必要です。

- Windows PC

1. Windows11 がインストールされていること
   本アプリケーションの動作保証についてはメーカーのサポート期間に準ずる。
2. 管理者権限でログインされていること
3. LAN ポート(RJ-45) を備えていること
4. 画面解像度が 1024×768 以上であること（推奨）
5. インターネット接続が可能であり、ブラウザが Microsft Edge の最新バージョン ※1 であること

- LAN ケーブル※2

※1: 推奨ブラウザは「Microsft Edge」であり、インストールされていない場合、MSM の動作は保証しません。

※2: プリンタのネットワーク接続方法はハブ経由(ストレートケーブル)です。

注 記

- MUTOH Club で MSM の最新情報等を公開していますので、定期的にログインをしてください。

1.3. 本書記載の商標

- Windows 11、Microsft Edge は、米国マイクロソフト社の商標もしくは商品名です。
- Android マーケットは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 各社名、各機種名は、各社の商標もしくは商品名です。

1.4. 対応バージョン

対象	*バージョン*
アプリケーションバージョン	9．13
MUTOH Print Server(MPS)バージョン	2．2．0
MUTOH LFP Finder バージョン	2．4．0

1.5. 対応言語

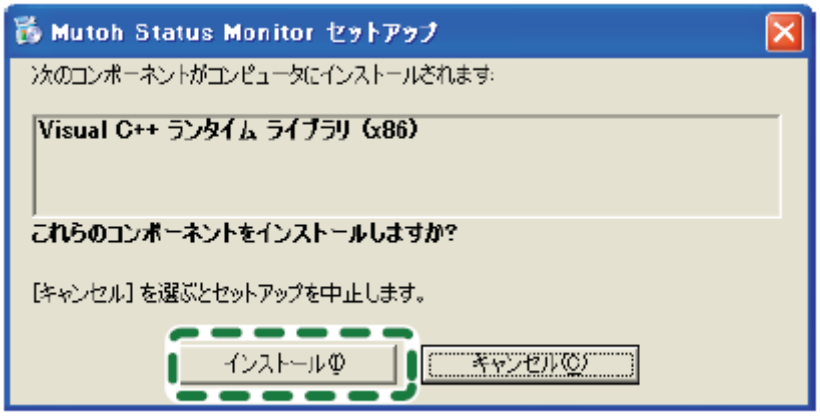
対応言語	
日本語	ドイツ語
英語	スペイン語
韓国語	オランダ語
中国語	イタリア語
フランス語	ポルトガル語

2. インストール／アンインストール

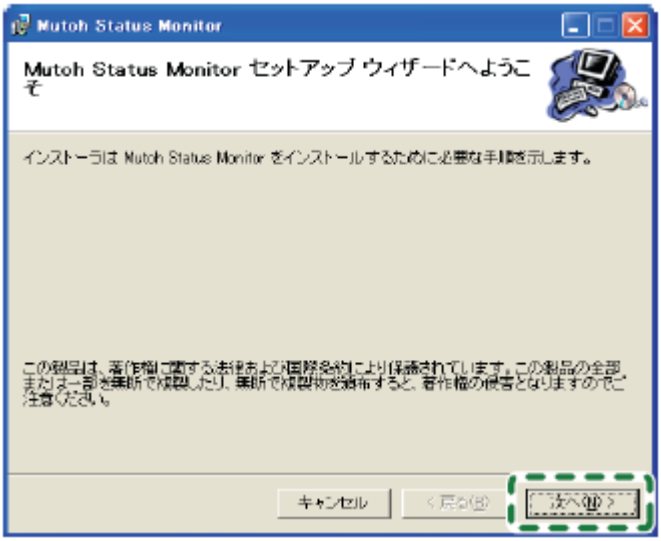
2.1. インストール

MSM のインストールはインストーラにて行います。すでにインストールされている場合はインストールする必要はありません。

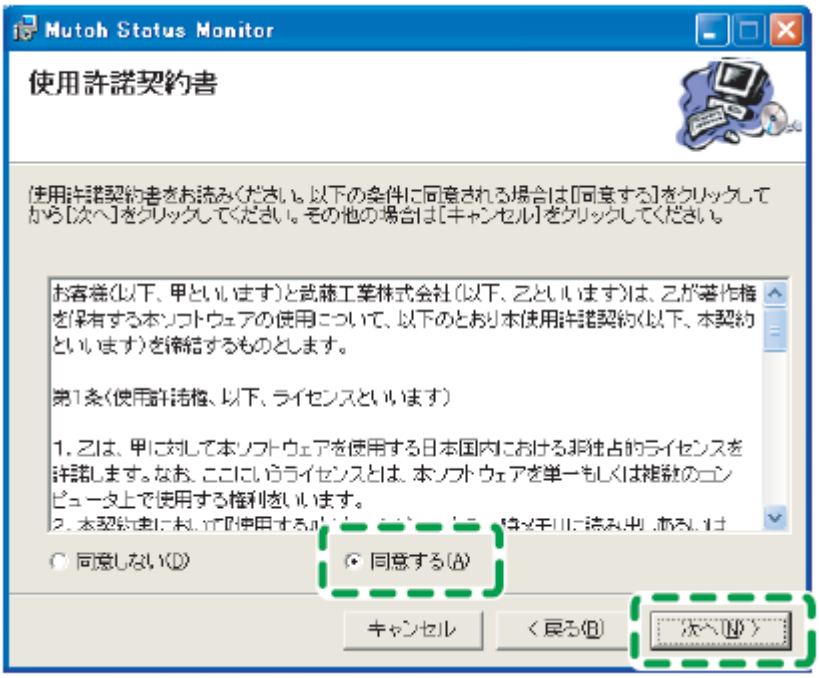
1. 配布されているフォルダ内(日本語用)の「￥JPN￥Setup.exe」ファイルを実行してください。セットアップウィザードが起動しますので、画面に従って MSM のインストールを行ってください。
2. MSM 必須コンポーネント(VC++ランタイムライブラリ)がインストールされていない場合はインストールする必要があります。
   その場合は「インストール」をクリックし、インストールして下さい。



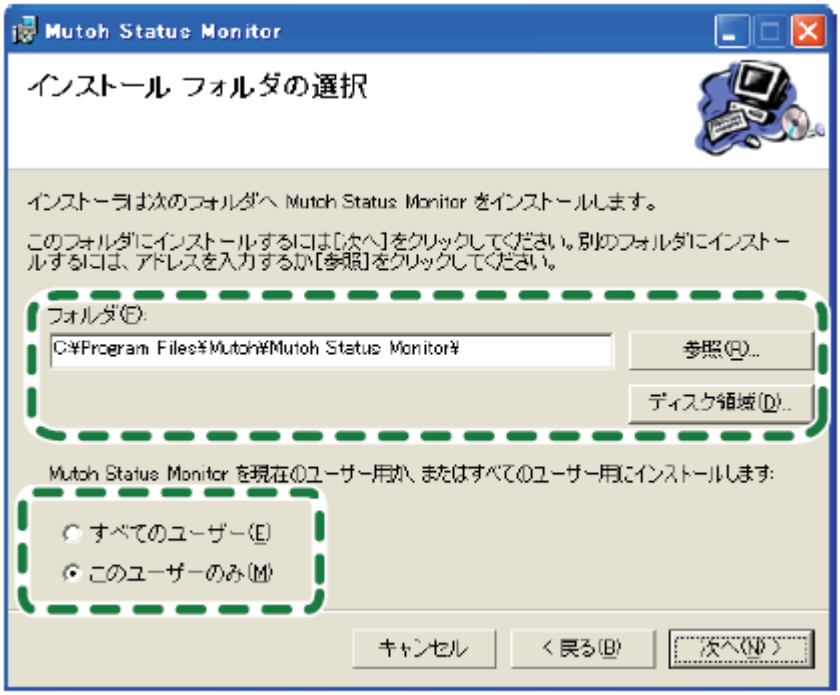
3. 「次へ」をクリックしてください。



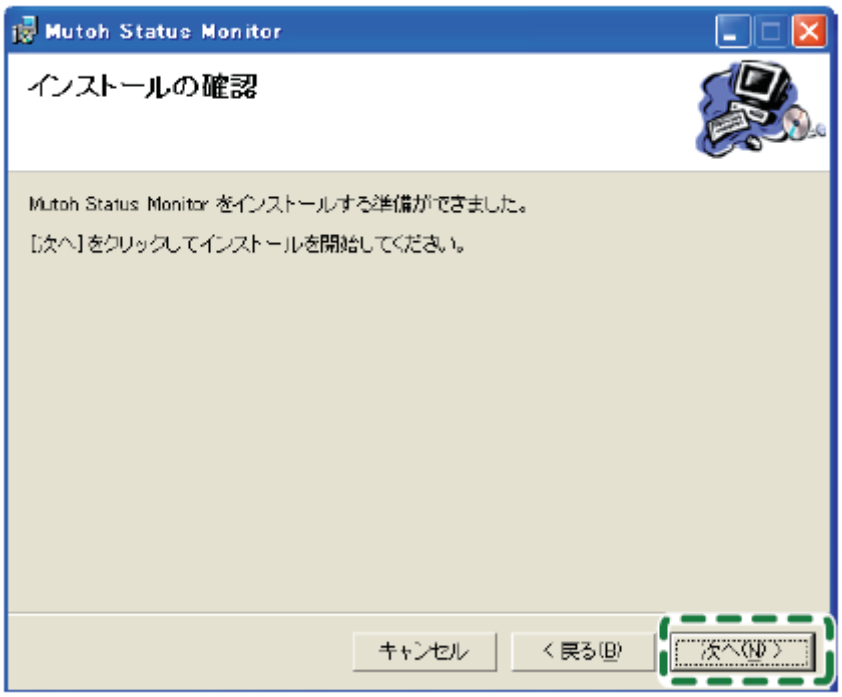
4. 使用許諾契約書の条件に同意される場合は「同意する」をクリックしてから「次へ」をクリックしてください。



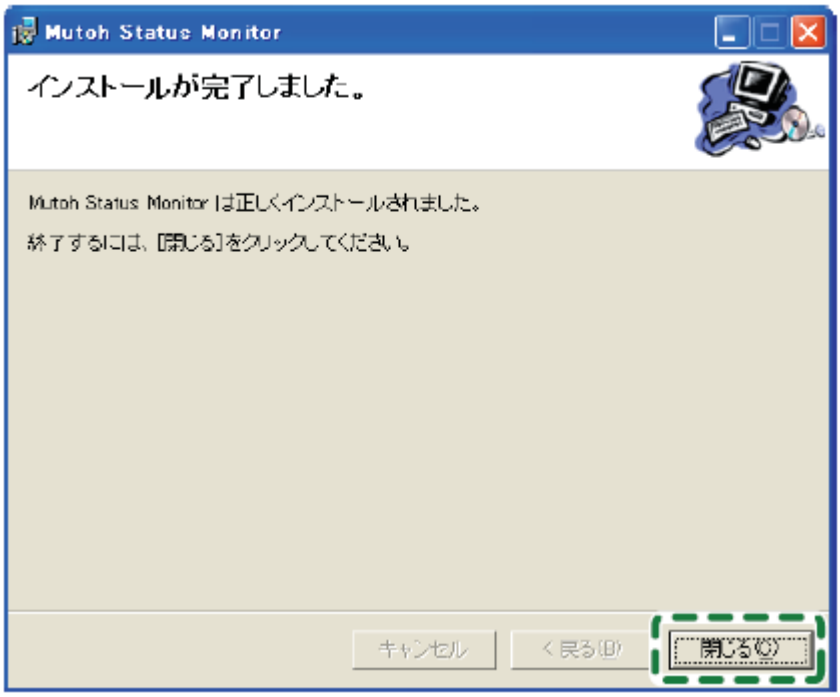
5. MSM をインストールするフォルダを選択してください。特に問題ない場合は、デフォルトのままインストールしてください。また、インストールユーザーも選択してください。



6. インストールを続行する場合は、「次へ」をクリックしてください。



7. インストールの完了です。「閉じる」をクリックしてください。



2.2. アンインストール

MSM をアンインストールする場合は、Windows のコントロールパネルからプログラムの削除を行って下さい。



注 記

- “Setup.exe”を実行して MSM をアンインストールすることもできます。その場合は「MUTOH Status Monitor の削除」を選択し、アンインストールを実行して下さい。

2.3. ファイアウォールの例外設定

Windows Vista 以降のオペレーティングシステムをお使いの場合は、Windows ファイアウォールの例外リストに MSM を追加する必要があります。

注 記

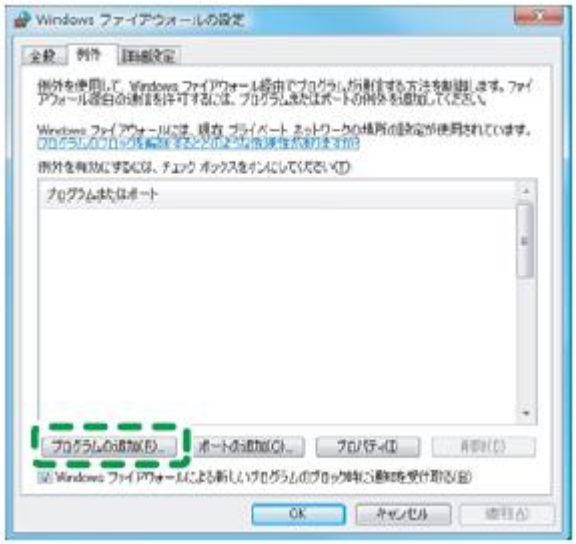
- 本手順は Windows Vista での設定手順です。
- Windows ファイアウォール以外に、ウィルスセキュリティソフトをご使用の場合もソフトによっては設定をする必要があります。ウィルスセキュリティソフトの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

以下の手順で行います。

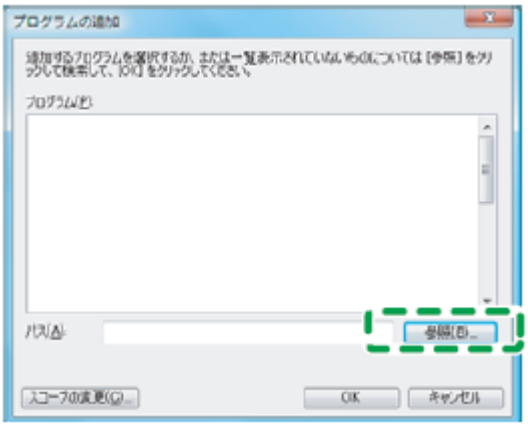
1. デスクトップの「スタート」ボタンから「コントロールパネル」をクリックします。
   - 「コントロールパネル」画面が表示されます。
2. 「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。



3. 「Windows ファイアウォールの設定」画面が表示されたら、「例外」タブを選択し「プログラムの追加」ボタンをクリックします。



4. 「プログラムの追加」画面が表示されたら、「参照」ボタンをクリックします。

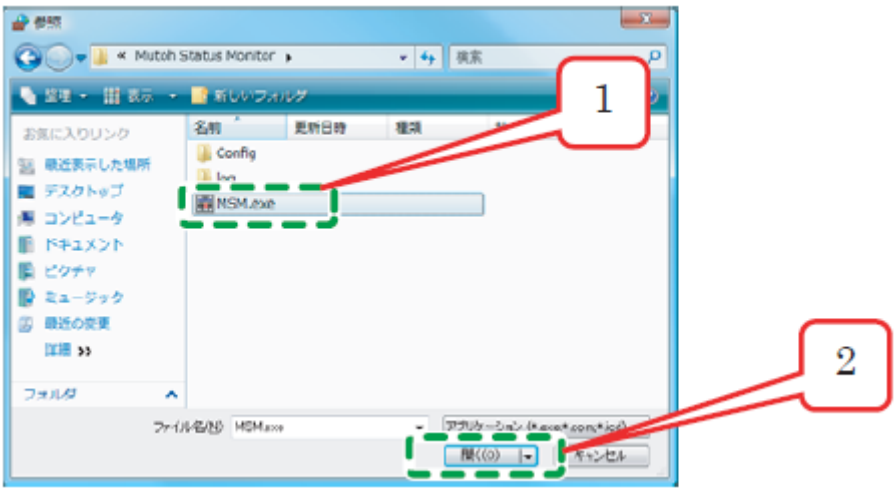


5. 「参照」画面が表示されたら、MSM をインストールしたフォルダ内の MSM.exe を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

注 記

- MSM.exe はデフォルトインストールでは、下記へインストールされます。

  ¥¥Program Files¥Mutoh¥Mutoh Status Monitor



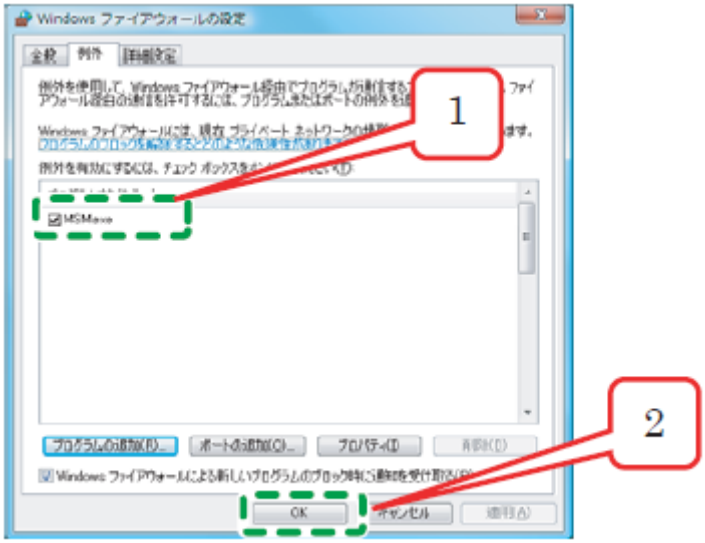
6. MSM.exe が追加されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

- 「Windows ファイアウォールの設定」画面が表示されます。



7. 「Windows ファイアウォールの設定」画面に MSM.exe が追加されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

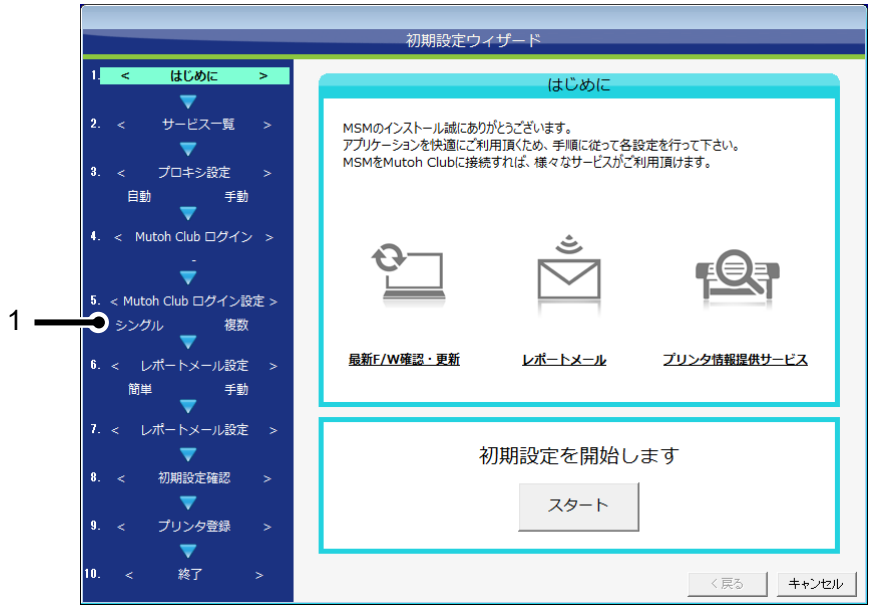
- 設定を終了します。



3. 初期設定

MSM の初期設定を行います。

初回起動時は「初期設定ウィザード」が表示されます。



番号	名称	内容
1	メニュー	初期設定で行う、設定内容です。 手順に従って設定してください。

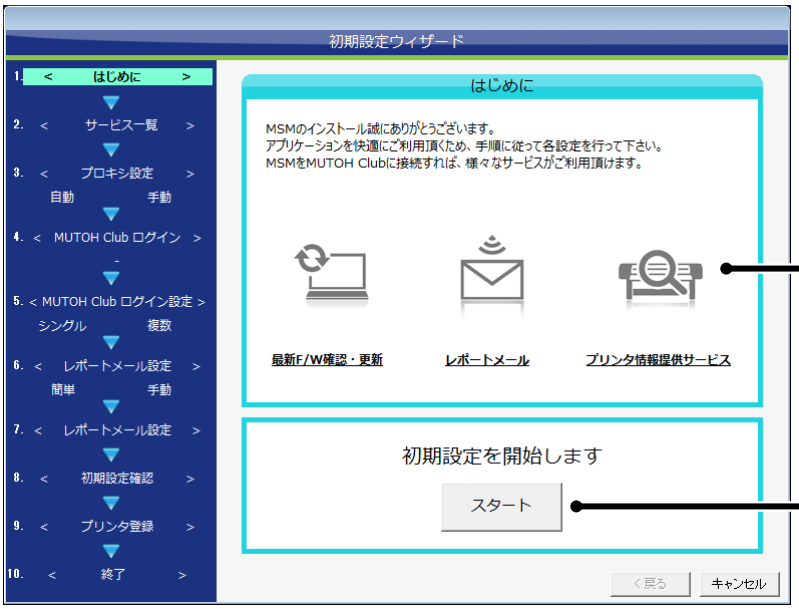
注 記

- 初期設定は途中でキャンセルすることができません。
  最後まで設定を行ってください。

3.1. はじめに

MSM をはじめてご利用になる場合に表示されます。

内容を確認し、「スタート」ボタンをクリックしてください。



番号	名称	内容
1	サービス一覧	MSM を MUTOH Club に接続した場合にご利用になれる、 サービス一覧です。
2	スタート	初期設定を開始します。

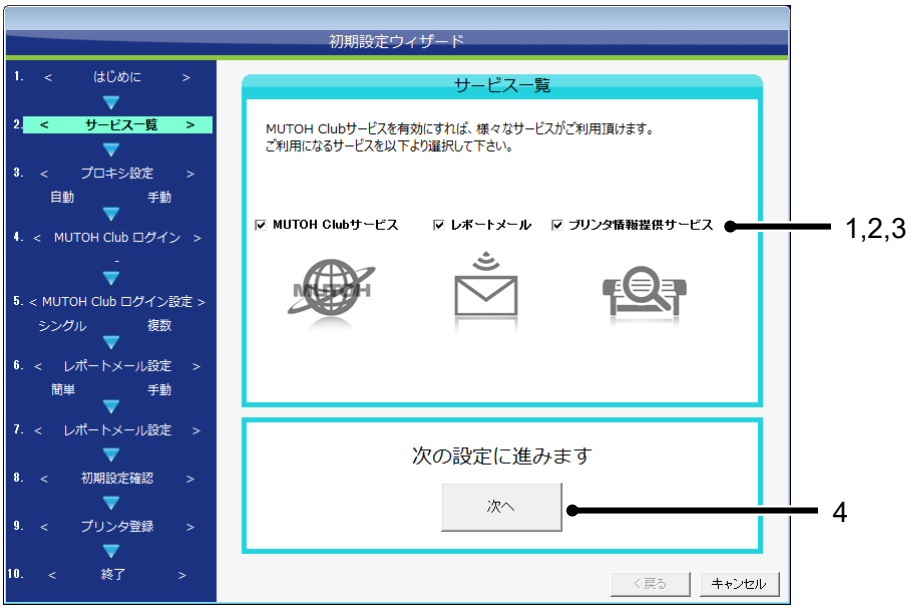
3.2. サービス一覧

利用する MUTOH Club サービス内容を設定します。

利用するサービスを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

注 記

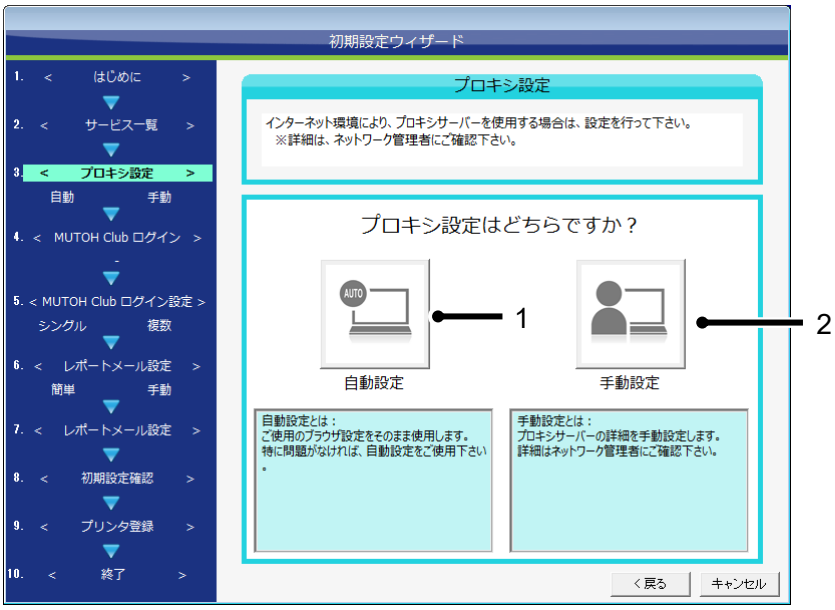
- MUTOH Club サービスを利用する場合は、インターネットを使用し、MUTOH Club へのログインが必要です。



番号	名称	内容
1	MUTOH Club サービス	MUTOH Club サービスを利用する場合は選択してください。 MUTOH Club サービスを Off にすると、以下のサービスはご利用になれません。
2	レポートメール	MSM から設定したメールアドレスに、レポートメールを送信するサービスを利用する場合は選択してください。
3	プリンタ情報提供サービス	MSM から MUTOH Club へプリンタ情報をバックアップし、 プリンタ情報を MUTOH Club で確認できるサービスを利用する場合は選択してください。
4	次へ	次の設定に進みます。

3.3. プロキシ設定

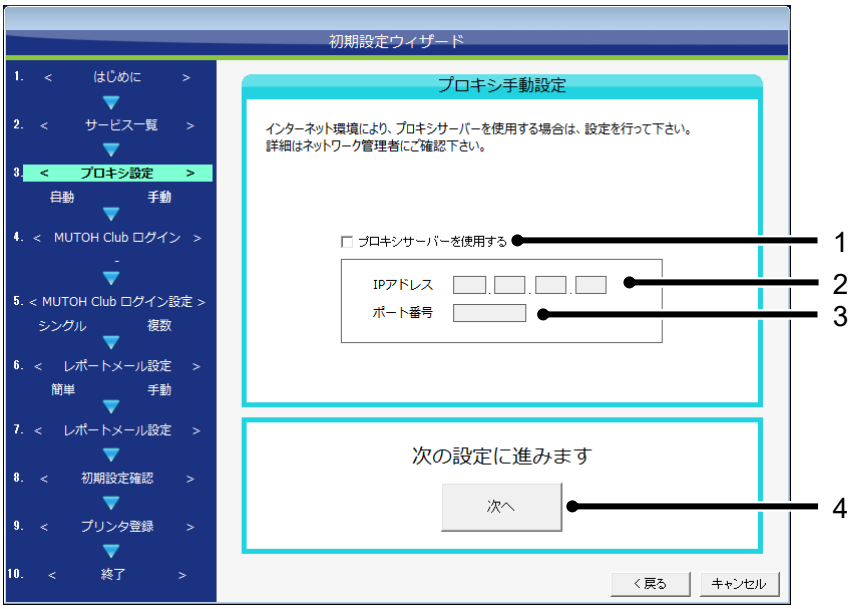
インターネット環境により、プロキシサーバーを使用する場合は、設定を行ってください。



番号	名称	内容
1	自動設定	ご利用のブラウザ設定をそのまま使用します。 特に問題がなければ、自動設定をご使用ください。
2	手動設定	プロキシサーバーの詳細を手動設定します。 詳細はネットワーク管理者にご確認ください。

3.3.1. プロキシ手動設定

プロキシ設定を手動で行ってください。



番号	名称	内容
1	プロキシサーバーを使用する	プロキシサーバーを使用する場合はチェック、 IP アドレス、ポート番号を入力してください。
2	IP アドレス	プロキシサーバーの IP アドレスを入力してください。
3	ポート番号	プロキシサーバーのポート番号を入力してください。
4	次へ	次の設定に進みます。

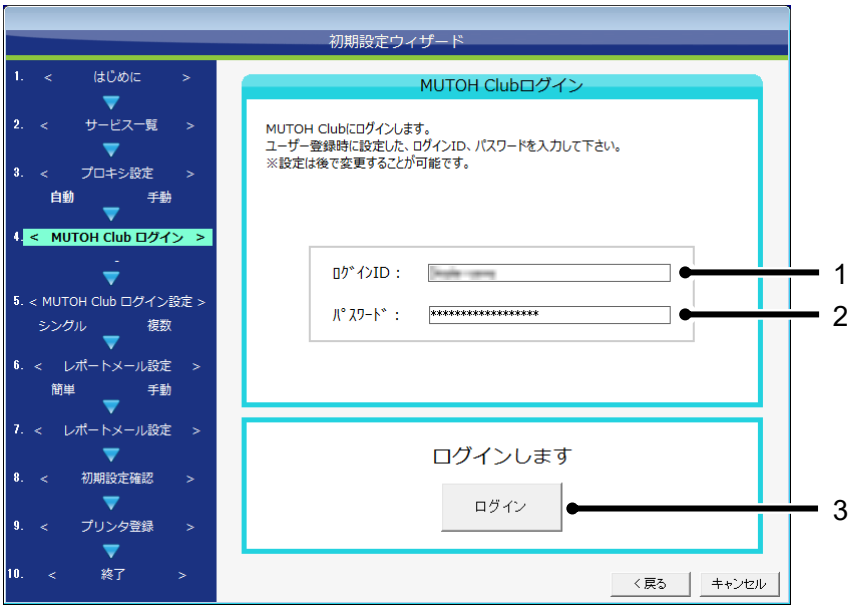
3.4. MUTOH Club ログイン

MUTOH Club にログインします。

ユーザー登録時に設定した、ログイン ID、パスワードを入力してください。

注 記

- MUTOH Club サービスを利用する場合は、インターネットを使用し、MUTOH Club へのログインが必要です。

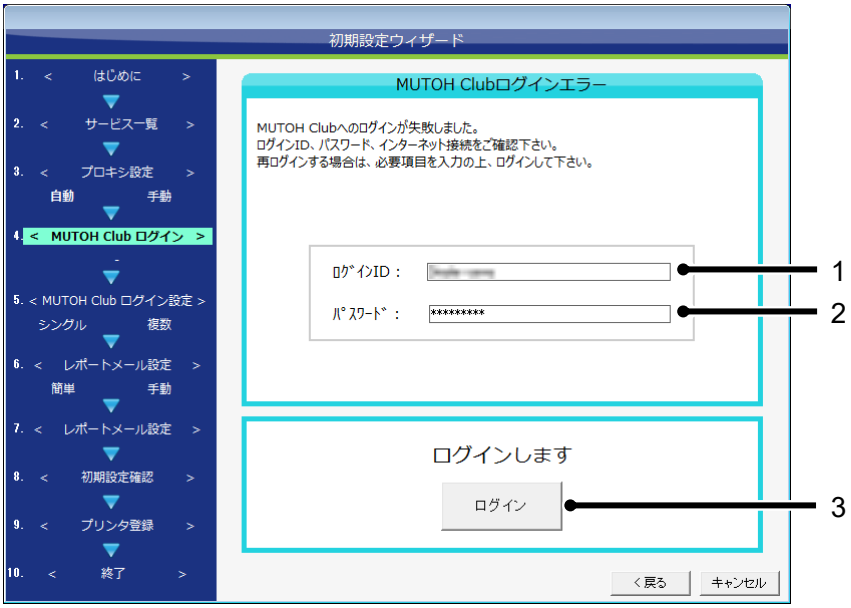


番号	名称	内容
1	ログイン ID	MUTOH Club のログイン ID を入力してください。
2	パスワード	MUTOH Club のパスワードを入力してください。
3	ログイン	ログイン ID、パスワードを入力し、MUTOH Club にログインします。

3.4.1. MUTOH Club ログインエラー

ログイン ID やパスワードを間違えたり、インターネットに接続できないと、ログインエラーとなります。

ログイン ID、パスワード、インターネット接続を確認し、再度ログインしてください。

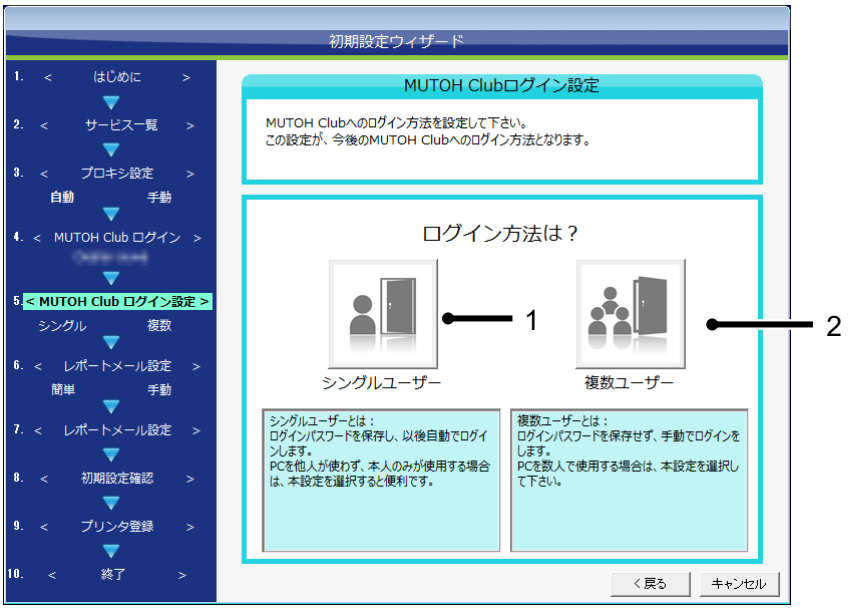


番号	名称	内容
1	ログイン ID	MUTOH Club のログイン ID を入力してください。
2	パスワード	MUTOH Club のパスワードを入力してください。
3	ログイン	ログイン ID、パスワードを入力し、MUTOH Club にログインします。

3.5. MUTOH Club ログイン設定

MUTOH Club へのログイン方法を設定してください。

この設定が、今後の MUTOH Club へのログイン方法となります。



番号	名称	内容
1	シングルユーザー	ログインパスワードを保存し、以後自動でログインします。 PC を他人が使わず、本人のみが使用する場合は、本設定を選択すると便利です。
2	複数ユーザー	ログインパスワードを保存せず、手動でログインをします。 PC を数人で使用する場合は、本設定を選択してください。

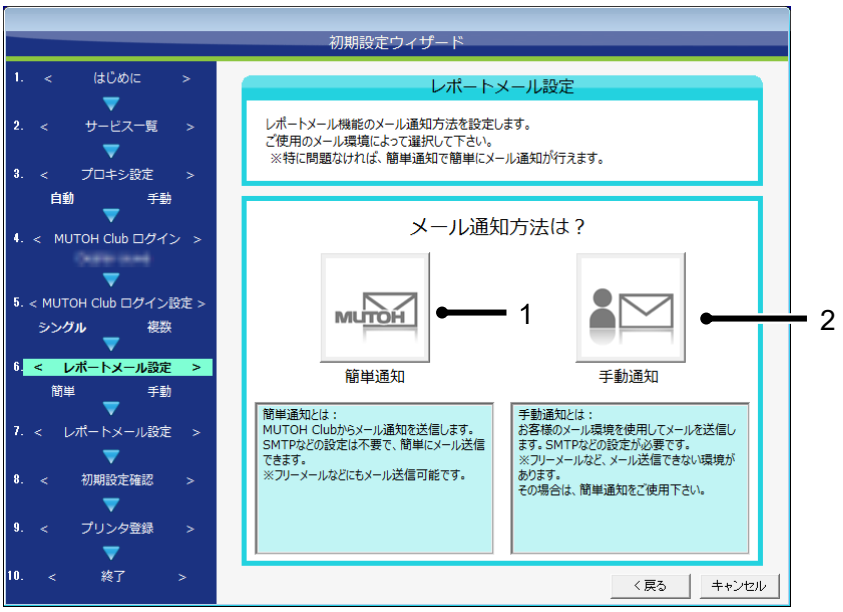
3.6. レポートメール設定

レポートメール機能のメール通知方法を設定します。

ご使用のメール環境によって選択してください。

注 記

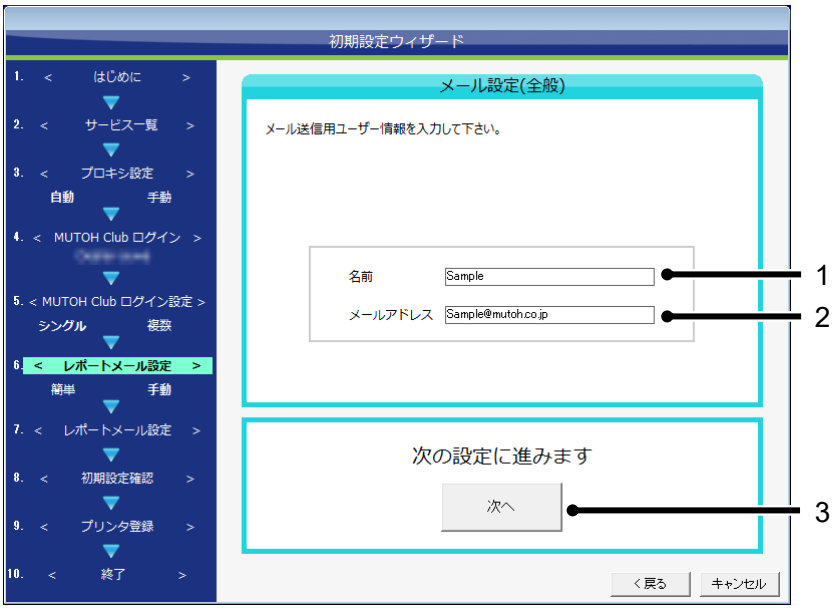
- レポートメール機能については、「9 レポートメール」を参照してください。



番号	名称	内容
1	簡単通知	MUTOH Club からメール通知を送信します。 SMTP などの設定は不要で、簡単にメール送信できます。 ※フリーメールなどにもメール送信可能です。
2	手動通知	お客様のメール環境を使用してメールを送信します。 SMTP などの設定が必要です。 ※フリーメールなど、メール送信できない環境があります。 その場合は、簡単通知をご使用ください。

3.6.1. メール設定(全般)

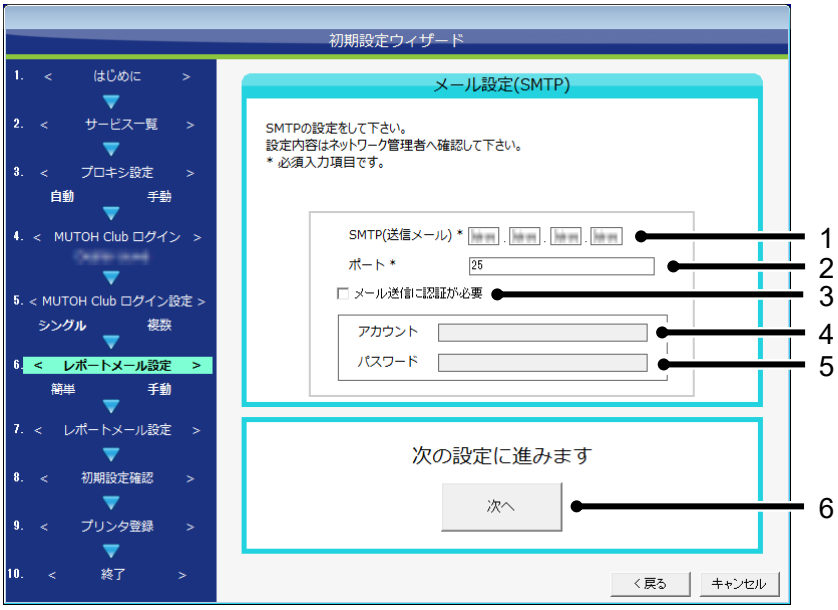
レポートメール設定が、手動通知の場合、メール送信用ユーザー情報を入力してください。



番号	名称	内容
1	名前	送信用メールアドレスに対応する名前を入力します。 受信者側のメールソフトによって表示されます。
2	メールアドレス	送信用メールアドレスを入力します。
3	次へ	次の設定に進みます。

3.6.2. メール設定(SMTP)

SMTP の設定をしてください。



番号	名称	内容
1	SMTP	送信用メールサーバーの IP アドレスを入力します。
2	ポート	SMTP サーバーとの接続に使うポート番号を入力します。 通常、デフォルトの「25」ポートをご使用ください。 ※ご使用の SMTP サーバーによって設定を変更してください。
3	メール送信に認証が必要	SMTP サーバーが認証を必要な場合にチェックし、 4.アカウント、5.パスワードを入力してください。
4	アカウント	SMTP サーバーの認証用アカウントを入力します。
5	パスワード	SMTP サーバーの認証用パスワードを入力します。
6	次へ	次の設定に進みます。

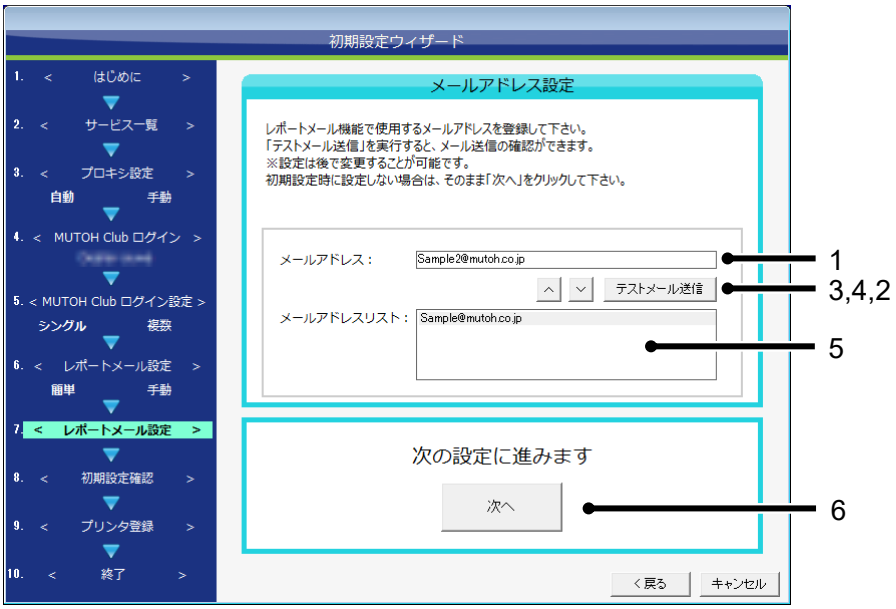
注 記

- 設定内容はネットワーク管理者へ確認してください。

3.7. メールアドレス設定

レポートメール機能で使用するメールアドレスを登録してください。

「テストメール送信」を実行すると、メール送信の確認ができます。



番号	名称	内容
1	メールアドレス	追加する受信用メールアドレスを入力します。
2	テストメール送信	1.追加用メールアドレスで入力したメールアドレスへテストメールを送信します。
3	メールアドレス削除	登録済みの受信用メールを削除する場合は、削除するメールアドレスを選択してクリックしてください。
4	メールアドレス追加	1.メールアドレスで入力した、受信用メールアドレスを登録します。
5	登録済みメールアドレス	登録されている受信用メールアドレスを表示します。
6	次へ	次の設定に進みます。

注 記

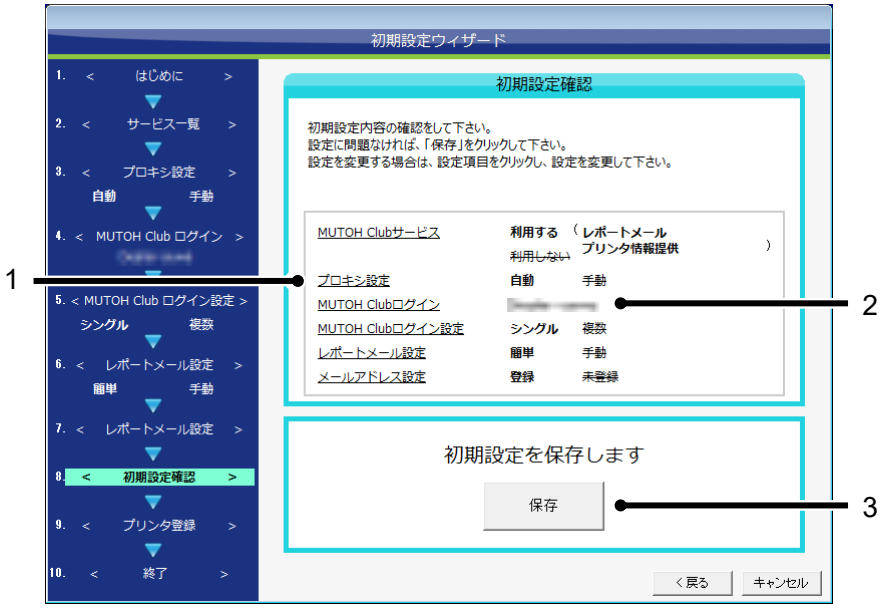
- 初期設定時に設定しない場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

3.8. 初期設定確認

初期設定内容を確認してください。

設定に問題なければ、「保存」をクリックしてください。

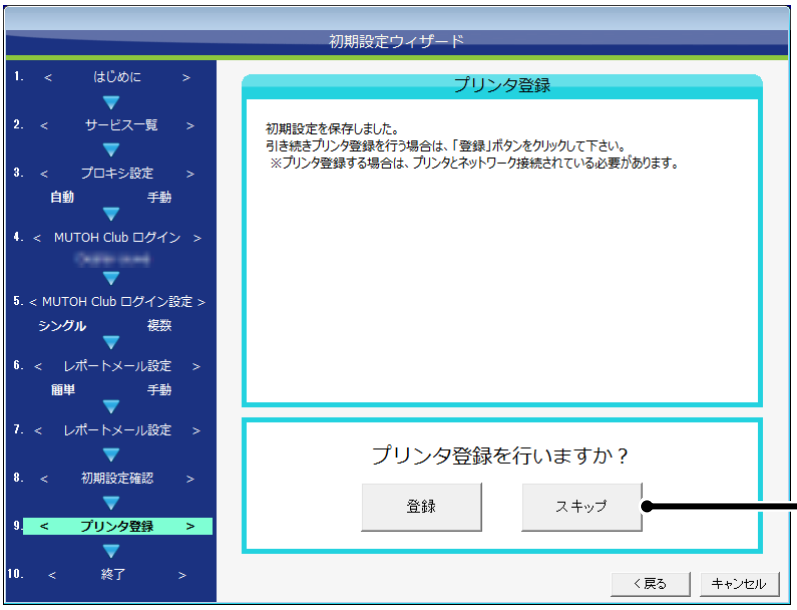
設定を変更する場合は、設定項目をクリックし、設定を変更してください。



番号	名称	内容
1	設定項目	初期設定の設定項目一覧です。 設定を変更する場合は、設定項目をクリックし設定を変更してください。
2	設定内容	各設定項目の設定内容を表示します。 設定内容を確認してください。
3	保存	設定を保存します。

3.9. プリンタ登録

MSM で管理するプリンタを登録してください。



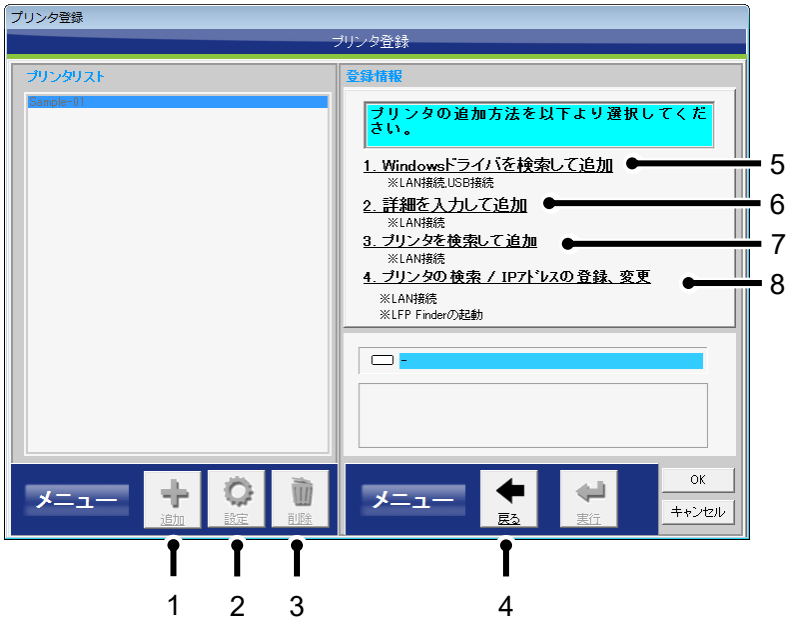
番号	名称	内容
1	登録	MSMにプリンタを登録します。
2	スキップ	初期設定でのプリンタ登録をスキップします。

注 記

- プリンタを登録する場合、プリンタと双方向通信を行い、プリンタ情報を取得する必要があります。プリンタの電源を ON にし、ネットワーク接続してください。

3.9.1. プリンタを登録する

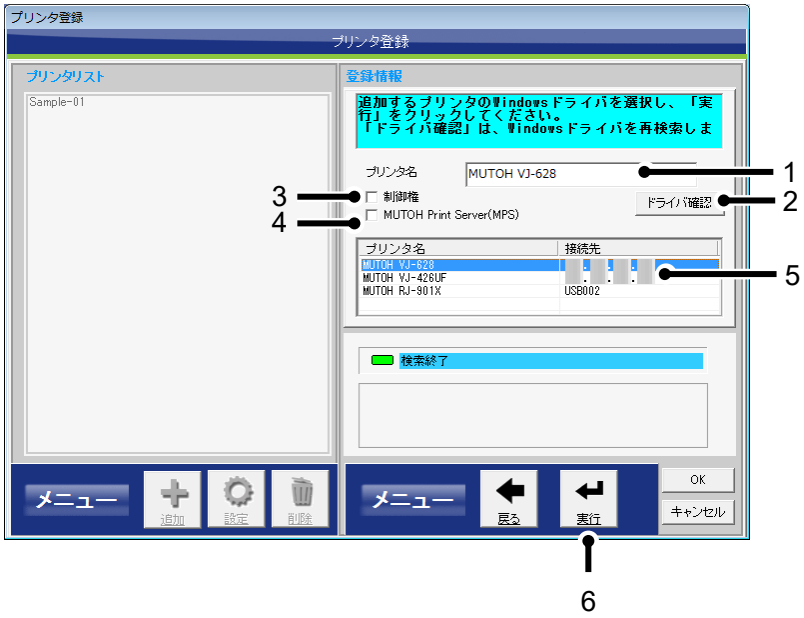
「追加」ボタンをクリックし、登録する方法を選択してください。



番号	名称	内容
1	メニュー(追加)	プリンタを登録する場合に選択してください。
2	メニュー(設定)	登録したプリンタ情報を変更する場合に選択してください。 詳細は、「3.9.1.3プリンタを検索して追加」を参照してください。
3	メニュー(削除)	登録したプリンタを削除します。
4	メニュー(戻る)	プリンタリストメニューに戻ります。
5	Windowsドライバを検索して追加	インストールしているWindowsドライバからプリンタを登録する場合に選択してください。 詳細は、「3.9.1.1Windowsドライバを検索して追加」を参照してください。 ※LAN接続 / USB接続
6	詳細を入力して追加	詳細を入力してプリンタを登録する場合に選択してください。 詳細は、「3.9.1.2詳細を入力して追加」を参照してください。 ※LAN接続
7	プリンタを検索して追加	同一セグメント内のプリンタを検索して登録する場合に選択してください。 詳細は、「3.9.1.3プリンタを検索して追加」を参照してください。 ※LAN接続
8	プリンタの検索 / IPアドレスの登録、変更	MUTOH LFP-Finderを起動します。 プリンタを検索し、プリンタのIPアドレスを変更する場合に選択してください。 ※LAN接続

3.9.1.1. Windows ドライバを検索して追加

インストールしている Windows ドライバからプリンタを登録します。



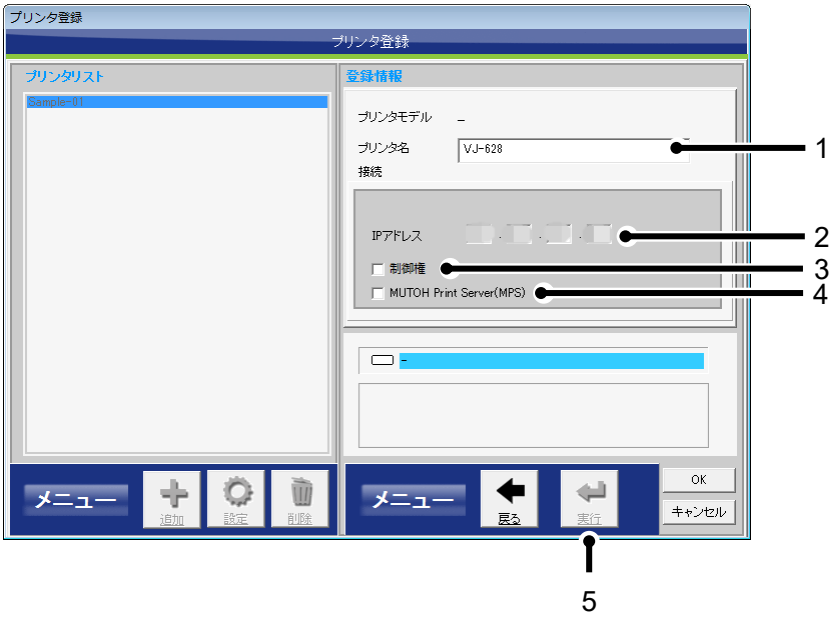
番号	名称	内容
1	プリンタ名	登録するプリンタの名称を任意で入力します。 プリンタを複数台使用の場合は、プリンタ名を変えてください。
2	ドライバ確認	インストールされているプリンタドライバを確認します。
3	制御権	登録するプリンタに対する制御権の有無を設定します。 制御権を持っているユーザーはSmart/C の更新を行うことができます。 ※他のユーザーが制御権を持っている場合は、制御権を取得できません。 ※プリンタは制御権を取得しているユーザーから3分間通信がない場合は、制御権を開放し他ユーザーからの制御権取得を許可します。
4	MUTOH Print Server(MPS)	登録するプリンタで、MPSを使用有無を設定します。 MPSは機種によって使用できない場合があります。
5	ドライバリスト	MSM対応のプリンタドライバのリストを表示します。 登録するプリンタドライバを選択してください。
6	メニュー(実行)	プリンタの登録を行います。

注 記

- USB 接続の場合、USB でインストールしたプリンタドライバが必要です。

3.9.1.2. 詳細を入力して追加

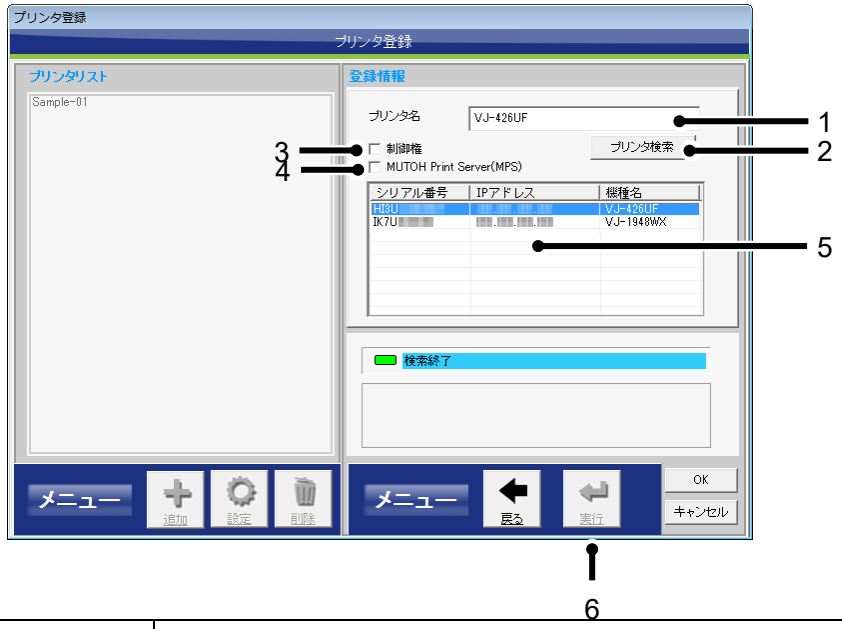
詳細を入力してプリンタを登録します。



番号	名称	内容
1	プリンタ名	登録するプリンタの名称を任意で入力します。 プリンタを複数台使用の場合は、プリンタ名を変えてください。
2	IPアドレス	登録するプリンタのIP アドレスを入力します。
3	制御権	登録するプリンタに対する制御権の有無を設定します。 制御権を持っているユーザーはSmart/C の更新を行うことができます。 ※他のユーザーが制御権を持っている場合は、制御権を取得できません。 ※プリンタは制御権を取得しているユーザーから3分間通信がない場合は、制御権を開放し他ユーザーからの制御権取得を許可します。
4	MUTOH Print Server(MPS)	登録するプリンタで、MPSを使用有無を設定します。 MPSは機種によって使用できない場合があります。
5	メニュー(実行)	プリンタの登録を行います。

3.9.1.3. プリンタを検索して追加

同一セグメント内のプリンタを検索してプリンタを登録します。



番号	名称	内容
1	プリンタ名	登録するプリンタの名称を任意で入力します。 プリンタを複数台使用の場合は、プリンタ名を変えてください。
2	プリンタ検索	同一セグメント内のプリンタを検索します。
3	制御権	登録するプリンタに対する制御権の有無を設定します。 制御権を持っているユーザーはSmart/C の更新を行うことができます。 ※他のユーザーが制御権を持っている場合は、制御権を取得できません。 ※プリンタは制御権を取得しているユーザーから3分間通信がない場合は、制御権を開放し他ユーザーからの制御権取得を許可します。
4	MUTOH Print Server(MPS)	登録するプリンタで、MPSを使用有無を設定します。 MPSは機種によって使用できない場合があります。
5	プリンター覧 ※1	同一セグメント内のプリンタを表示します。
6	メニュー(実行)	プリンタの登録を行います。

注 記

- ※1 別セグメントのプリンタは表示されません。別セグメントのプリンタを登録する場合は、「3.9.1.2 詳細を入力して追加」を参照ください。

3.9.2. 登録完了

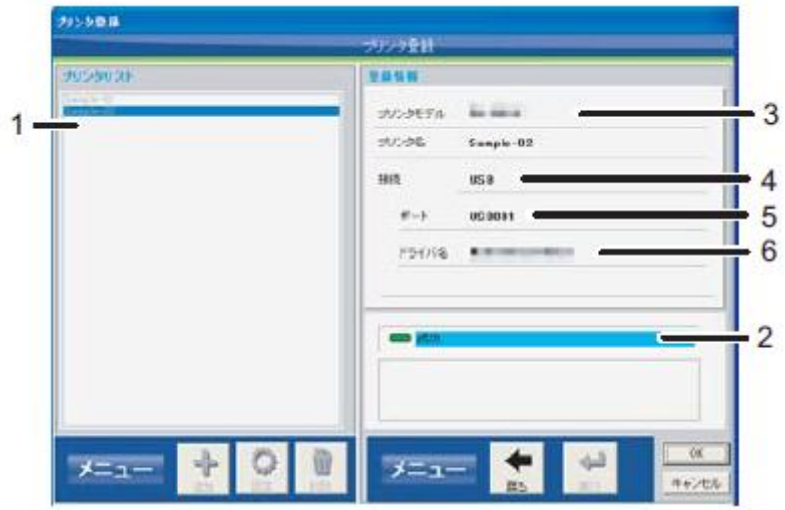
状態が「成功」と表示され、「プリンタリスト」にプリンタが追加されたら、プリンタ登録は完了です。

1. LAN 接続の場合



番号	名称	内容
1	プリンタリスト	登録したプリンタの登録名を表示します。
2	状態表示	プリンタ登録状況を表示します。「成功」であれば、プリンタが正常に登録されています。
3	機種名	登録したプリンタの機種名を表示します。
4	接続	プリンタとの接続方法を表示します。
5	IPアドレス	登録したプリンタのIPアドレスを表示します。
6	制御権	登録したプリンタの制御権を表示します。
7	MPS設定	登録したプリンタのMPS設定を表示します。

2. USB 接続の場合



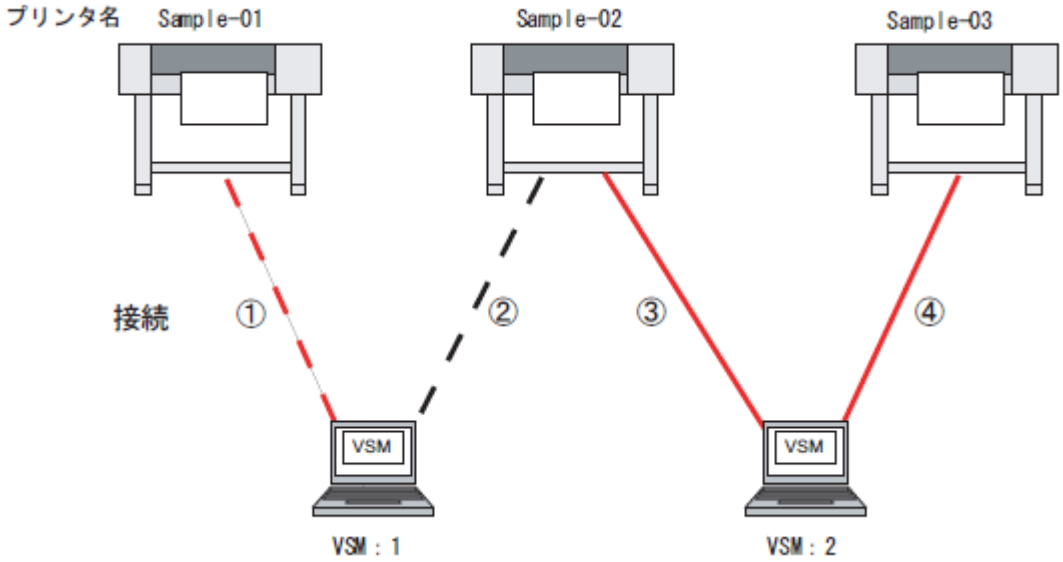
番号	名称	内容
1	プリンタリスト	登録したプリンタの登録名を表示します。
2	状態表示	プリンタ登録状況を表示します。「成功」であれば、プリンタが正常に登録されています。
3	機種名	登録したプリンタの機種名を表示します。
4	接続	プリンタとの接続方法を表示します。
5	ポート	登録したプリンタのポート名を表示します。
6	ドライバ名	登録したプリンタのドライバ名を表示します。

3.9.3. 複数プリンタの登録

プリンタを複数所有している場合は、MSM にプリンタを複数登録することが可能です。複数のプリンタを登録する場合は、「3.9.1 プリンタを登録する」から繰り返し登録を行ってください。

MSM とプリンタの接続イメージ：

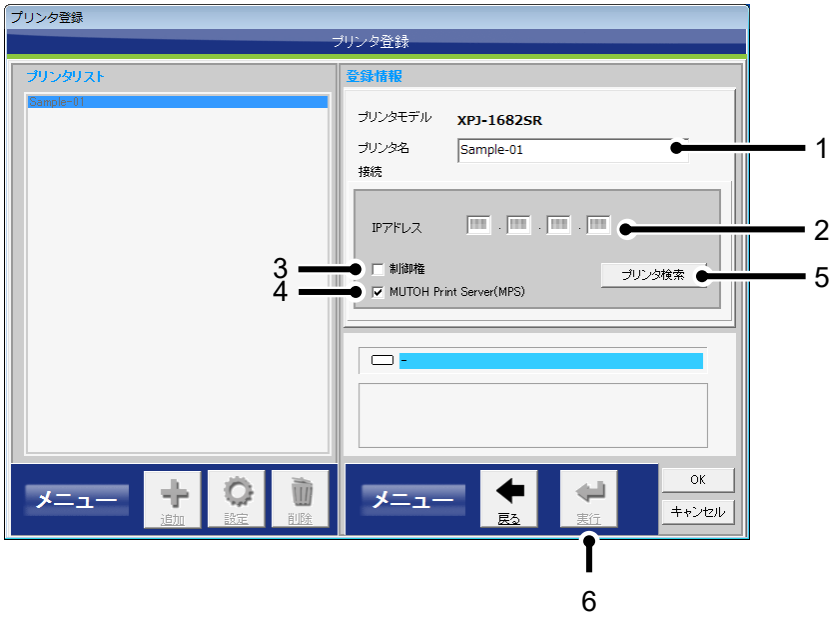
・MSM⇔複数プリンタ



プリンタ名	接続	制御権	Smart/C更新
Sample-01	①	あり	可能
Sample-02	②	なし	不可
	③	あり	可能
Sample-03	④	あり	可能

3.9.4. 登録内容を変更

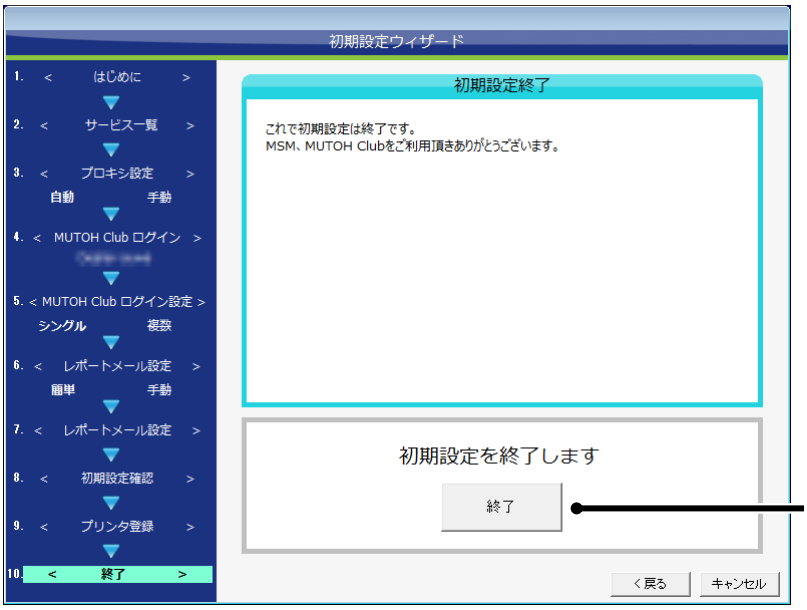
登録したプリンタ情報を変更します。



番号	名称	内容
1	プリンタ名	変更するプリンタの名称を任意で入力します。
2	IPアドレス	変更するプリンタのIPアドレスを入力します。
3	制御権	変更するプリンタに対する制御権の有無を設定します。 制御権を持っているユーザーはSmart/C の更新を行うことができます。 ※他のユーザーが制御権を持っている場合は、制御権を取得できません。 ※プリンタは制御権を取得しているユーザーから3分間通信がない場合は、制御権を開放し他ユーザーからの制御権取得を許可します。
4	MUTOH Print Server(MPS)	変更するプリンタに対するMPSの有無を設定します。
5	プリンタ検索	同一セグメント内のプリンタを検索し、登録プリンタのIPアドレスが変更されてるか確認します。 変更されている場合は、現在のIPアドレスが表示されます。
6	メニュー(実行)	登録内容の変更を実行します。 変更がない場合は、選択できません。

3.10. 初期設定終了

初期設定は終了です。



番号	名称	内容
1	終了	初期設定を終了します。

4. 起動／終了

4.1. MSM の起動

MSM をインストールすると、スタートメニューにプログラムが登録され、デスクトップにショートカットが作成されます。

以下のどちらかの方法で MSM を起動して下さい。

- [スタート]－[全てのプログラム]－[Mutoh]－[Mutoh Status Monitor]をクリック
- デスクトップの[Mutoh Status Monitor]アイコンをクリック

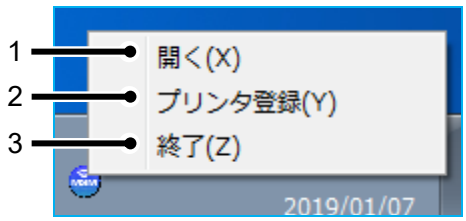
注 記

- MSM がすでに実行中の場合、複数起動はできません。

4.2. タスクトレイアイコン

MSM を起動すると、タスクトレイに MSM のアイコンが表示されます。

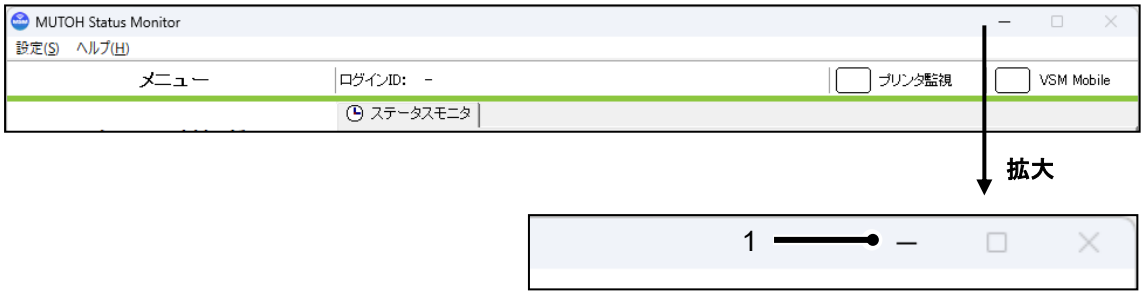
アイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。



番号	名称	内容
1	開く	MSM メイン画面を表示します。
2	プリンタ登録	プリンタ登録画面を表示します。
3	終了	MSM を終了します。

4.3. タイトルバー

タイトルバーの最小化アイコンから、MSM を最小化することができます。

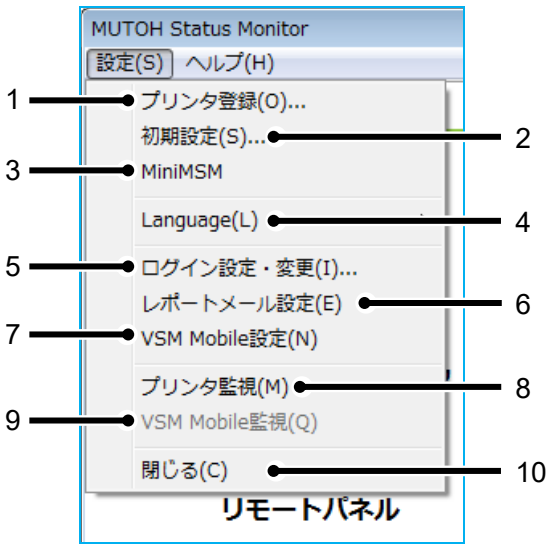


番号	名称	内容
1	最小化	タスクバーにアイコンを残したまま、MSMを最小化します。

5. MSM 設定

5.1. 設定

MSM の設定を行います。



番号	名称	内容
1	プリンタ登録	MSMで管理するプリンタを登録します。詳細は、「3.9 プリンタ登録」を参照してください。
2	初期設定	MSMの初期設定をします。 詳細は、「3 初期設定」を参照してください。
3	MiniMSM	機能が一部限定されますが、MSM の画面サイズを縮小することが可能です。詳細は、「15 MiniMSM」を参照してください。
4	Language ※1	MSMの言語表示を設定します。一覧から選択して下さい。 言語切り替えのため、プログラムを終了するメッセージが表示されます。終了してもよければ「OK」をク リックして下さい。  ※変更は次回のプログラム起動時に有効になります。
5	ログイン設定・変更	MSMのログインや、次回ログイン方法の変更を行います。詳細は、「3.4 MUTOH Clubログイン」を参照してください。
6	レポートメール設定	レポートメール設定を行います。 詳細は、「9 レポートメール」を参照してください。

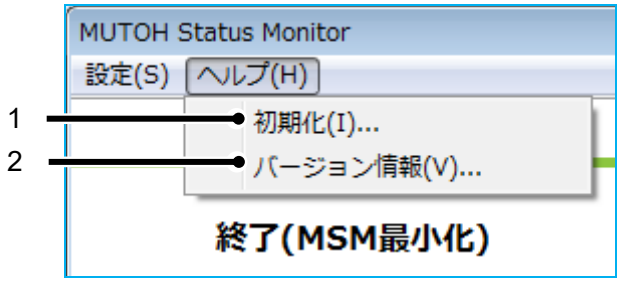
番号	名称	内容
7	VSM Mobile設定	VSM Mobileの設定を行います。 詳細は、「11.1VSM Mobile設定」を参照してください。
8	プリンタ監視	登録されたプリンタを自動監視します。「Smart/C自動更新」と連動させると、各プリンタのSmart/C を自動で更新することができます。
9	VSM Mobile監視	VSM Mobileからの通信を有効にします。
10	閉じる	MSMメインウィンドウを閉じます。

注 記

- ※1 日本語 OS のみ有効です。日本語 OS 以外は、「英語(English)」固定となります。

5.2. ヘルプ

MSM に関する情報を参照します。

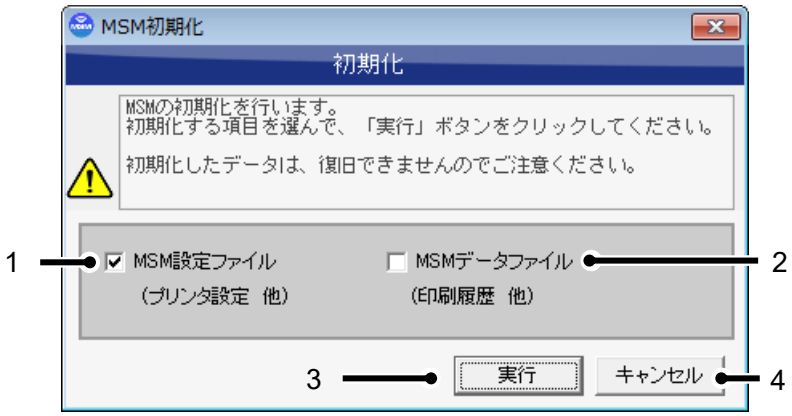


番号	名称	内容
1	初期化	MSMの設定を初期化します。 ※MSMの動作が不安定な場合に初期化してくだい。
2	バージョン情報	MSMのバージョン情報を表示します。

5.2.1. 初期化

MSM の各種設定を初期化します。

MSM の動作が不安定な場合に初期化して下さい。



番号	名称	内容
1	MSM設定ファイル ※1	MSMの各種設定ファイルを削除します。 削除項目 ・MSM設定ファイル ・レポートメール ・VSM Mobile ・VPS ・一時ファイル
2	データ ※2	MSMの各種設定ファイルを削除します。 削除項目 ・印刷履歴 ・カラーベリファイ
3	実行	選択した項目の初期化を行います。
4	キャンセル	初期化を行わず、初期化画面を終了します。

注 記

- ※1 初期化後、MSM は終了します。再度 MSMを起動し、初期設定をしてください。
- ※2 初期化すると各種履歴データが削除されます。削除されたデータは復旧できません。

5.2.2. バージョン



1. 「ヘルプ」の「バージョン情報」をクリックします。
2. 最新の MSM バージョンを確認する場合は、「最新バージョン確認」をクリックします。
3. MSM のバージョン情報を終了します。
   「終了」ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

5.2.2.1. 最新バージョンの確認/ダウンロード

最新の MSM をご利用いただくため、MUTOH Club から最新バージョンの確認及び ダウンロードすることができます。



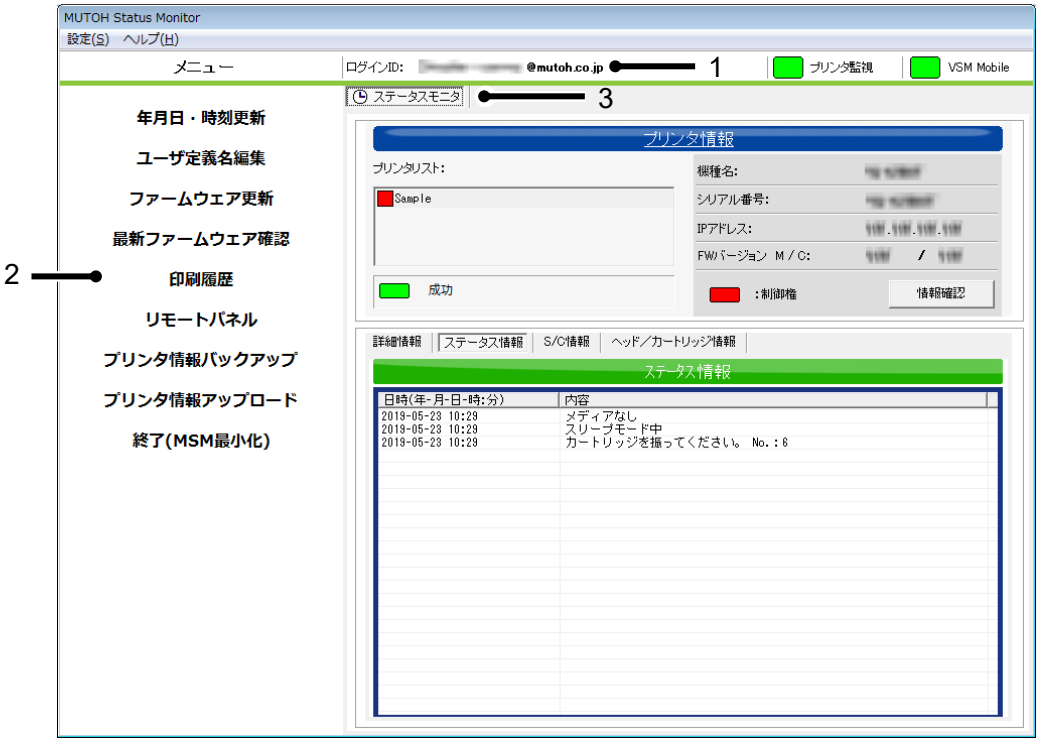
番号	名称	内容
1	現在のバージョン	現在使用している、MSMバージョンを表示します。
2	最新バージョン	MUTOH Clubに確認し、最新バージョンが存在する場合は、最新バージョンを表示します。
3	状況	最新バージョンの確認/ダウンロードの状況を表示します。
4	詳細	最新バージョンの確認/ダウンロードの手順やエラー内容を表示します。
5	最新MSM変更履歴	MUTOH Clubに確認し、最新バージョンが存在する場合は、MSMの変更履歴を表示します。
6	ダウンロード	MUTOH Clubに確認し、最新バージョンが存在する場合は、最新MSMをダウンロードすることができます。
7	終了	最新バージョンの確認/ダウンロードを終了します。

注 記

- MSM の最新バージョンを確認する場合は、MUTOH Club にログインしている必要があります。
- ダウンロードしたファイルは、ZIP 形式で圧縮しているため、解凍してから MSM をインストールしてください。

6. メニュー

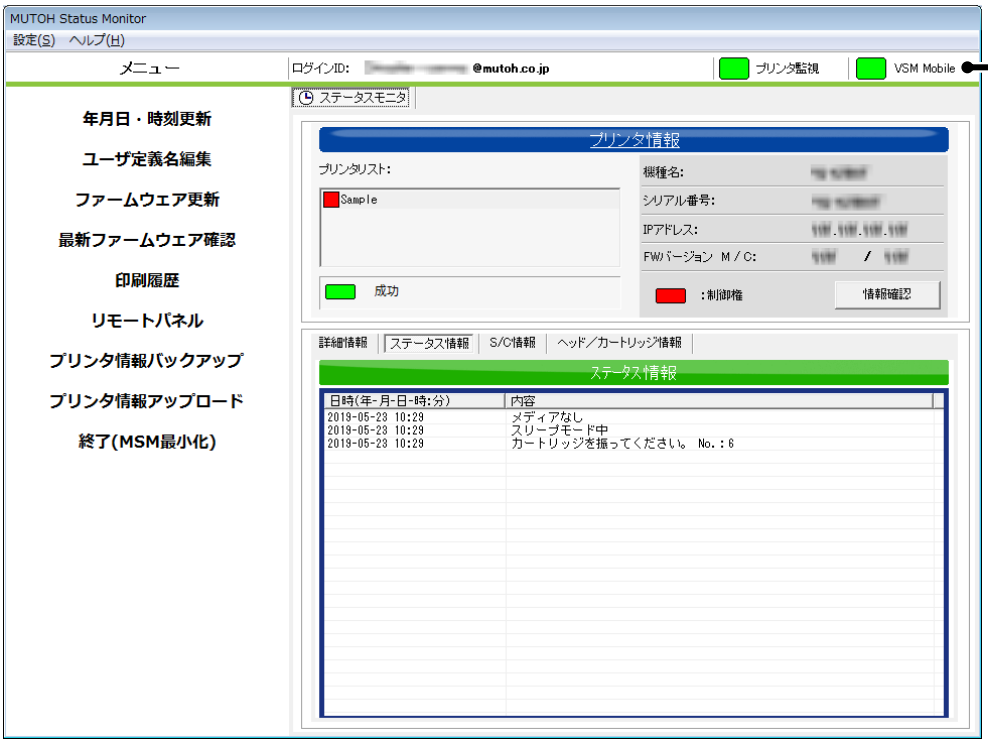
MSM のメニューを説明します。



番号	名称	内容
1	ユーザー設定情報	ユーザーの設定情報を表示します。詳細は、「6.1ユーザー設定情報」を参照してください。
2	メニュー	MSMで使用できる機能を表示します。詳細は、「6.2メニュー」を参照してください。
3	ステータスモニタ	現在のプリンタの状態をモニタリングします。詳細は、「7ステータスモニタ」を参照してください。

6.1. ユーザー設定情報

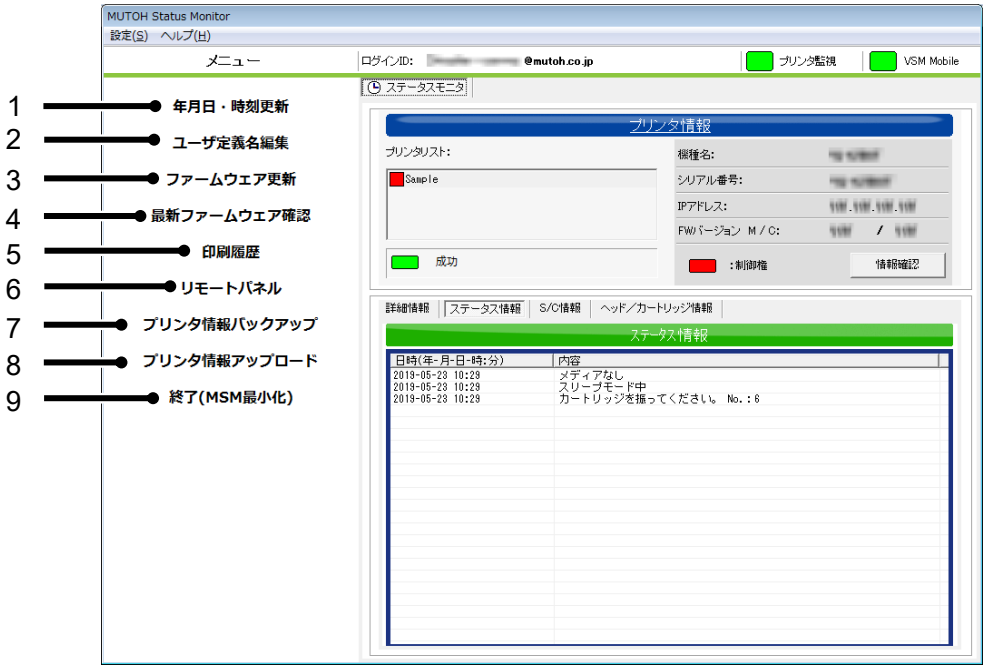
ユーザーの設定情報を表示します。



番号	名称	内容
1	ログインID	MUTOH Clubへログイン中のログインID を表示します。
2	プリンタ監視	プリンタの監視状況を表示します。 :プリンタ監視中 :プリンタ非監視
3	VSM Mobile	VSM Mobileの監視状況を表示します。 :VSM Mobile監視中 :VSM Mobile非監視

6.2. メニュー

MSM で使用できる機能を表示します。



注 記

- 使用できる機能は機種によって異なります。

番号	名称	内容
1	年月日・時刻更新	プリンタの年月日、時刻をPCの設定に合わせます。 詳細は、「6.2.1 年月日・時刻更新」を参照してください。
2	ユーザー用紙名編集	プリンタ本体に登録されているユーザー用紙名を編集することができます。詳細は、「6.2.2 ユーザ用紙名編集」を参照してください。
3	ファームウェア 更新	プリンタのファームウェアを更新します。 詳細は、「6.2.3 ファームウェア更新」を参照してください。 ※ファームウェアデータが必要です。
4	最新ファームウェア 確認	MUTOH Club とインターネット通信を行い、最新のファームウェアバージョンの確認を行い、自動でバージョンアップを行います。 詳細は、「6.2.4 最新ファームウェア確認」を参照してください。

番号	名称	内容
-	カラーベリファイ	カラーベリファイを実行します。 詳細は、「10 カラーベリファイ」を参照してください。
5	印刷履歴	プリンタが保持している印刷履歴情報を MSM が取得し、印刷履歴として管理する機能です。 詳細は、「12 印刷履歴」を参照してください。
6	リモートパネル	プリンタの設定を確認したり、テスト作画などを実行することができます。 詳細は、「13 リモートパネル」を参照してください。
7	プリンタ情報バックアップ	プリンタ情報をディスク上に保存します。 詳細は、「6.2.5プリンタ情報バックアップ」を参照してください。
8	プリンタ情報アップロード	MUTOH Clubとインターネット通信を行い、プリンタ情報をMUTOH Clubへアップロードします。 詳細は、「6.2.6プリンタ情報アップロード」を参照してください。
9	終了(MSM 最小化)	MSM を最小化します。詳細は、「6.2.7 終了(MSM最小化)」を参照してください。

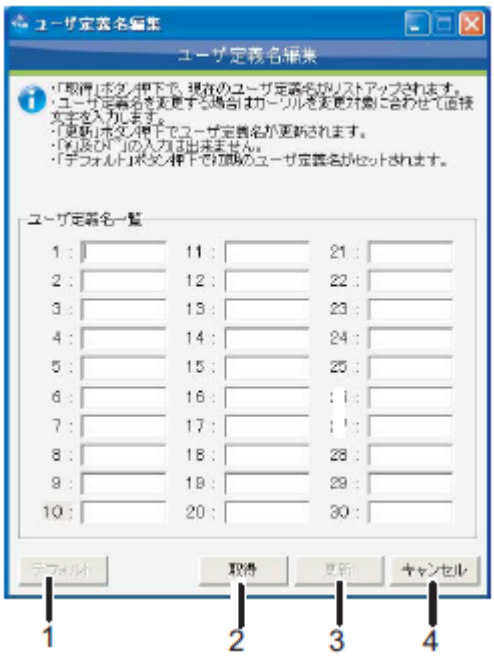
6.2.1. 年月日・時刻更新

プリンタの年月日・時刻を PC の設定に合わせます。

注 記

- PC の年月日・時刻に間違いがないか確認してください。
- プリンタに制限がある場合は、本機能は使用できません。

6.2.2. ユーザ用紙名編集



番号	名称	内容
1	デフォルト	ユーザ用紙名/ユーザ定義名/メディア設定名リストを初期化します。
2	取得	プリンタに登録されている現在のユーザ用紙名/ユーザ定義名/メディア設定名リストを取得します。
3	更新	編集したユーザー用紙名/ユーザー定義名/メディア設定名をプリンタへ送信し、プリンタのユーザー用紙名/ユーザー定義名/メディア設定名リストを更新します。
4	キャンセル	ユーザー用紙名/ユーザー定義名/メディア設定名の編集を中止します。

注 記

- 機能名は機種によって異なります。

6.2.3. ファームウェア更新

プリンタのファームウェアを更新します。

ファームウェアの更新を行う場合は、注記を参照の上、手順に従って行って下さい。

手順> 6.2.3.1 ファームウェアファイルの選択

6.2.3.2 ファームウェアファイルの確認

6.2.3.3 プリンタの更新準備

6.2.3.4 ファームウェアファイルの送信

6.2.4.5 ファームウェア更新確認

6.2.4.6 プリンタの更新準備

注 記

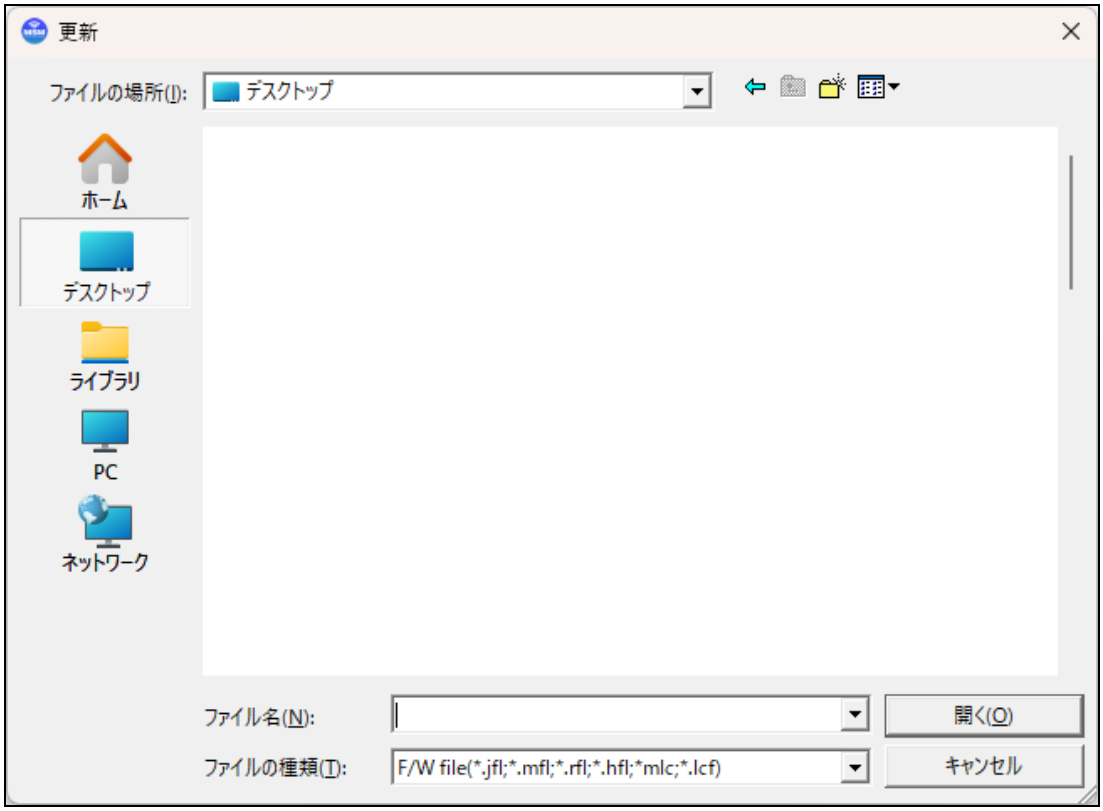
- ファームウェアの更新中は電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないで下さい。その場合、正常にファームウェア更新できず、プリンタが起動しなくなる場合がありますので、十分注意して下さい。
- ファームウェア更新する場合は、ファームウェアファイルが必要です。
- プリンタにインストールされているファームウェアより古いバージョンへの更新はできません。
- ただし、対応するファイル形式で互換性がある場合は、ひとつ前にインストールされていたファームウェアへ戻すことができます。
- プリンタパネルが「サクガデキマス」と表示されている状態で更新可能です。印刷中などプリンタが動作中は更新できません。
- ブロアヒーターのファームウェアを更新する場合は、待機状態であることを確認して下さい。
  ① ブロアヒーターの主電源が「ON」になっていること。
  ② ブロアヒーターの「リンク」スイッチが「Manual」になっていること。
  ③ ブロアヒーターの「RUN/STOP」スイッチが「STOP」になっていること。

6.2.3.1. ファームウェアファイルの選択

更新するファームウェアファイルを選択して下さい。

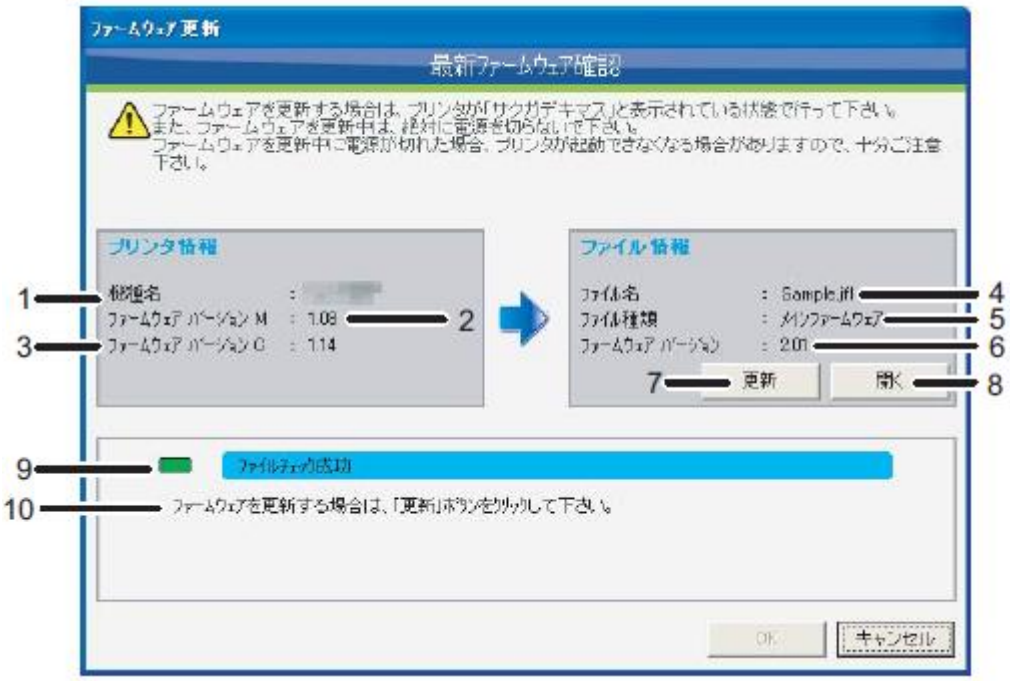
ファームウェアファイルは 3 種類あります。

拡張子	内容
jfl/jf3	メイン用ファームウェアデータ
mfl / hfl / mlc / lcf	コントローラ用ファームウェアデータ
rfl	ブロアヒーター用ファームウェアデータ



6.2.3.2. ファームウェアファイルの確認

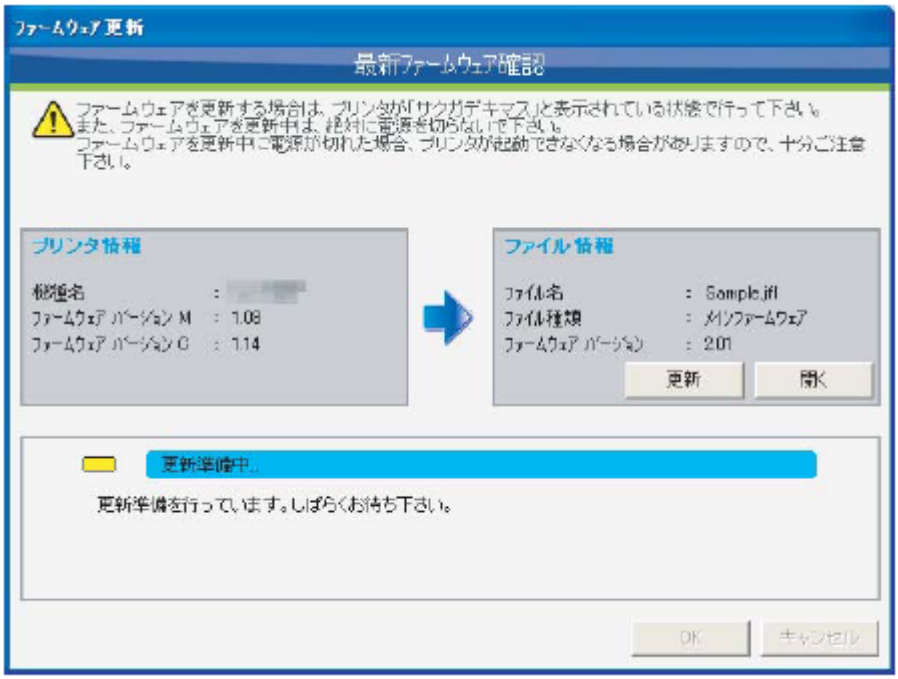
選択したファームウェアファイルの内容を確認します。



番号	名称	内容
1	機種名	プリンタの機種名を表示します。
2	プリンタファームウェア バージョン M	プリンタのメインファームウェアバージョンを表示します。
3	プリンタファームウェア バージョン C	プリンタのコントローラファームウェアバージョンを表示します。
4	ファイル名	選択したファームウェアファイル名を表示します。
5	ファイル種類	選択したファームウェアファイルの種類を表示します。
6	ファームウェア バージョン	選択したファームウェアファイルのバージョンを表示します。
7	更新	選択したファームウェアファイルに問題なければ、ボタンが有効となり、ファームウェアの更新を行うことができます。
8	開く	ファームウェアファイルの選択画面が表示されます。 詳細は、「6.2.3.1ファームウェアファイルの選択」を参照して下さい。
9	状態	ファームウェア更新の状態を表示します。
10	詳細情報	ファームウェア更新の詳細情報を表示します。

6.2.3.3. プリンタの更新準備

「更新」ボタンをクリックすると、プリンタが更新モードに移行します。プリンタが更新モードに移行するまでしばらくお待ち下さい。

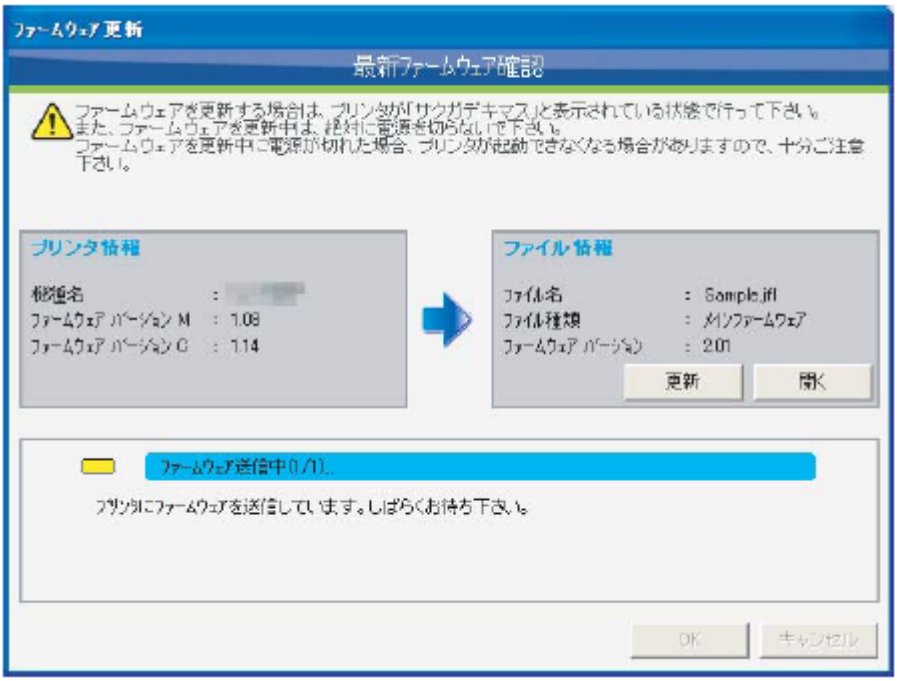


注 記

- プリンタが更新モードに移行するまで、数分かかる場合があります。
- プリンタが更新モードに移行しない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、プリンタを再起動して下さい。

6.2.3.4. ファームウェアファイルの送信

プリンタが更新モードに移行すると、選択したファームウェアファイルをプリンタに自動送信します。しばらくお待ち下さい。



注 記

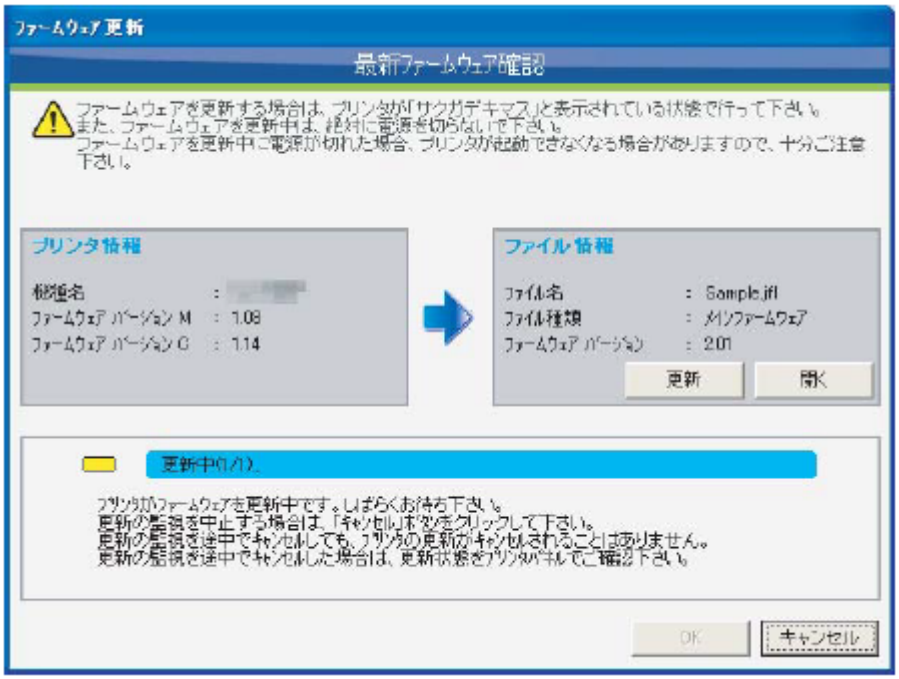
- ファームウェアファイル送信には、数分かかる場合があります。
- ファームウェアファイルをプリンタに送信すると、以後更新をキャンセルすることはできません。
- ファームウェアファイルを送信中に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないで下さい。その場合、正常にファームウェア更新できず、プリンタが起動しなくなる場合がありますので、十分注意して下さい。

6.2.3.5. ファームウェア更新

プリンタがファームウェアファイルを受信完了すると、プリンタはファームウェアの更新を実行します。しばらくお待ち下さい。

ファームウェアの更新中に MSM は、ファームウェア更新が完了するまでプリンタを監視します。プリンタのファームウェア更新が完了しない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、監視を中断して下さい。

※「キャンセル」ボタンで監視を中断しても、プリンタのファームウェア更新を中断できる訳ではありません。
監視を中断した場合は、プリンタのパネルで更新確認を行って下さい。

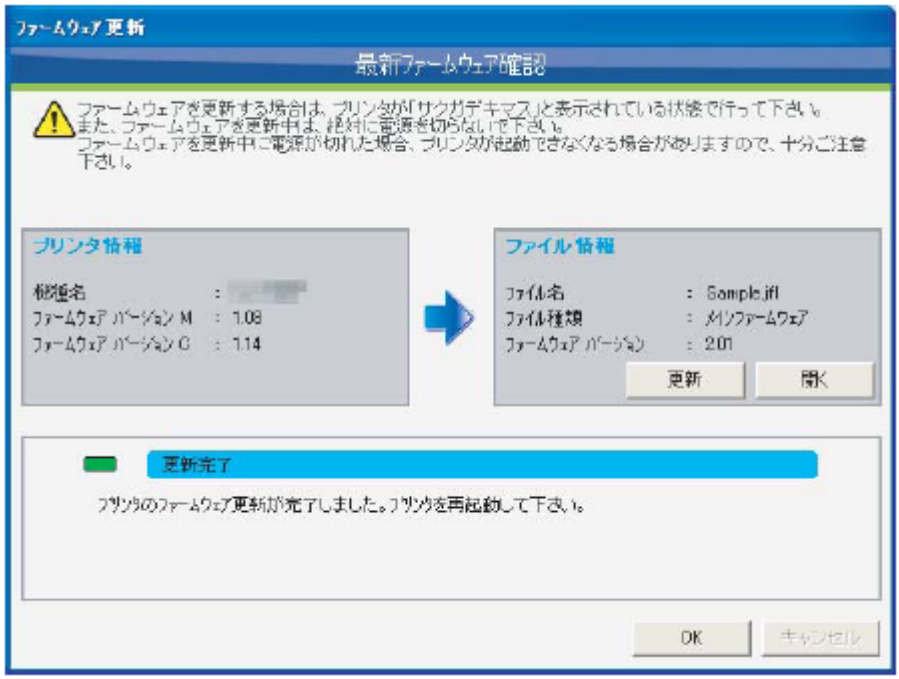


注 記

- ファームウェアの更新には、数分かかる場合があります。
- ファームウェアの更新中に絶対にプリンタの電源を切らないで下さい。プリンタが正常に起動できなくなる場合があります。

6.2.3.6. ファームウェア更新完了

プリンタがファームウェアを更新完了したら、プリンタを再起動して下さい。



注 記

- ファームウェアの更新が完了してもプリンタは更新モードのままのため、必ずプリンタを再起動して下さい。

6.2.4. 最新ファームウェア確認

プリンタのファームウェアバージョンが最新であるか、MB-Web サーバーに確認を行い、最新ファームウェアがある場合は、最新ファームウェアファイルをダウンロードし、ファームウェアの更新を行うことができます。

最新ファームウェアの確認を行う場合は、注記を参照の上、手順に従って行って下さい。

手順> 6.2.4.1 最新ファームウェアバージョンの確認
6.2.4.2 ファームウェア変更履歴の確認
6.2.4.3 特殊ファームウェアの確認
6.2.4.4 ファームウェアファイルダウンロード
6.2.4.5 ファームウェア更新確認
6.2.4.6 プリンタの更新準備
6.2.4.7 ファームウェアファイルの送信
6.2.4.8 ファームウェア更新
6.2.4.9 ファームウェア更新完了

注 記

- 以下の条件を満たしている場合、最新ファームウェアの確認を行えます。
  ・インターネット接続が可能
  ・MB-Web サーバーにログイン済み
- ファームウェアの更新中は電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないで下さい。その場合、正常にファームウェア更新できず、プリンタが起動しなくなる場合がありますので、十分注意して下さい。
- プリンタにインストールされているファームウェアより古いバージョンへの更新はできません。
- プリンタパネルが「サクガデキマス」と表示されている状態で更新可能です。印刷中などプリンタが動作中は更新できません。
- 特殊ファームウェアとは、MSM では更新できない特別な修正を行ったファームウェアです。更新を希望する場合は、販売店へお問い合わせください。
- ブロアヒーターのファームウェアを更新する場合は、待機状態であることを確認して下さい。
  ① ブロアヒーターの主電源が「ON」になっていること。
  ② ブロアヒーターの「リンク」スイッチが「Manual」になっていること。
  ③ ブロアヒーターの「RUN/STOP」スイッチが「STOP」になっていること。

6.2.4.1. 最新ファームウェアバージョンの確認

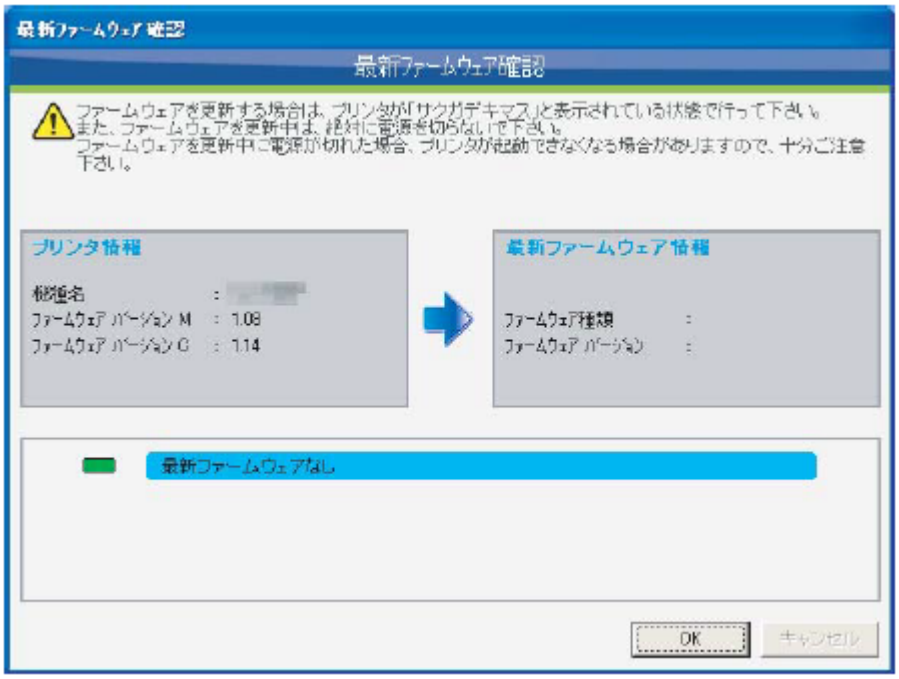
プリンタの最新ファームウェアバージョンを、MB-Web サーバーへ確認します。

最新ファームウェアバージョンの確認は、以下の手順を自動で行います。

① プリンタ情報の取得

② MB-Web サーバーに最新ファームウェアバージョンを確認

最新ファームウェアバージョンが存在しない場合は、以下の画面が表示



最新ファームウェアバージョンが存在する場合は、変更履歴画面が表示されます。

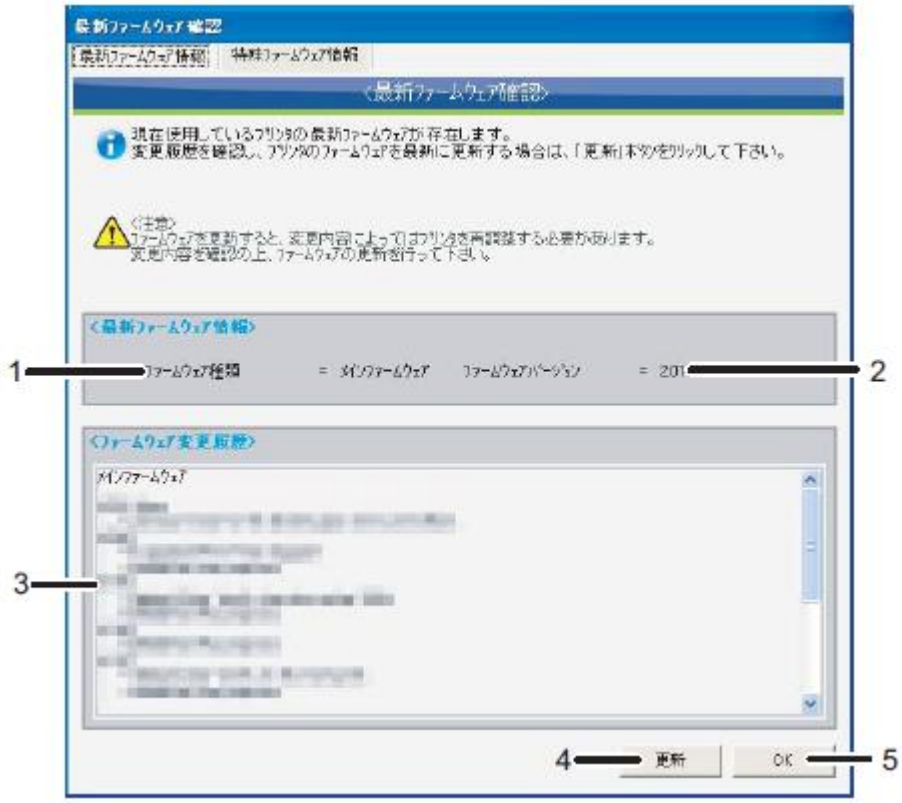
詳細は次項を参照して下さい。

6.2.4.2. ファームウェア変更履歴の確認

最新ファームウェアバージョンが存在する場合は、変更履歴画面が表示されます。

変更履歴の内容を確認し、プリンタのファームウェアを更新する場合は、「更新」ボタンをクリックしてください。詳細は「**6.2.4.4 ファームウェアファイルダウンロード**」を参照してください。

ファームウェアの更新を行わず、このまま終了する場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。



番号	名称	内容
1	ファームウェア種類	ファームウェアの種類を表示します。
2	ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
3	変更履歴	ファームウェアの変更履歴を表示します。
4	更新	ファームウェア更新を行う場合にクリックします。
5	OK	ファームウェア更新を行わず、確認のみで終了する場合にクリックします。

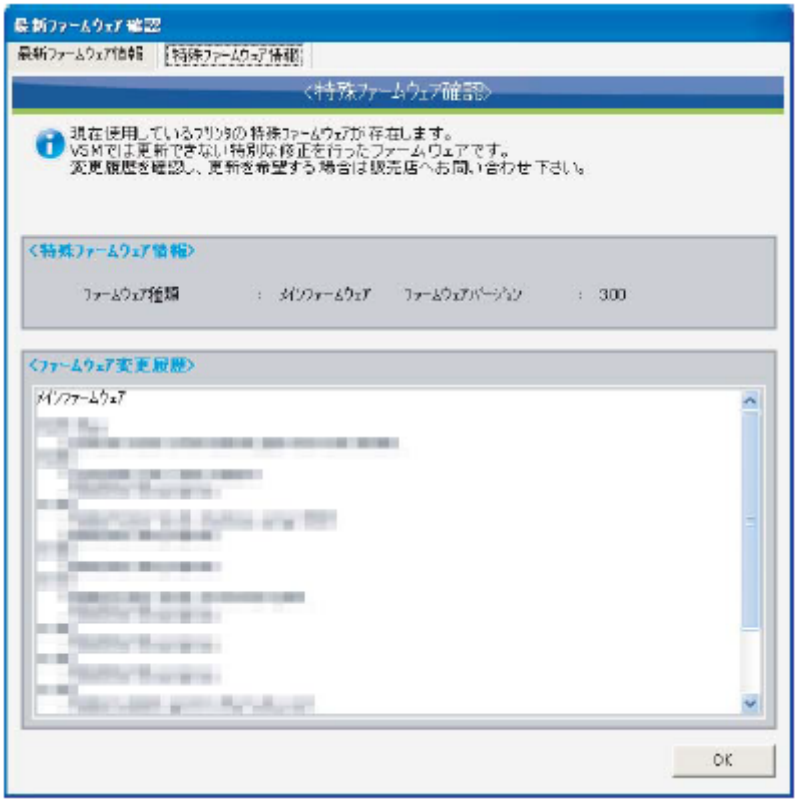
注 記

- 変更内容によってはプリンタを再調整する必要がありますので、変更内容を確認の上、ファームウェアの更新を行って下さい。

6.2.4.3. 特殊ファームウェアの確認

特殊ファームウェアが存在する場合は、特殊ファームウェア情報画面が表示されます。

変更履歴を確認し、更新を希望する場合は、販売店へお問い合わせ下さい。



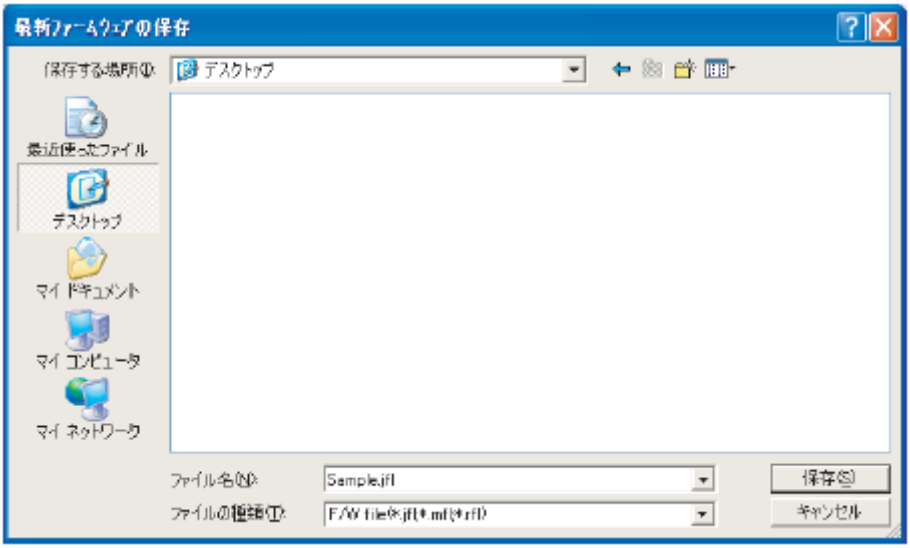
注 記

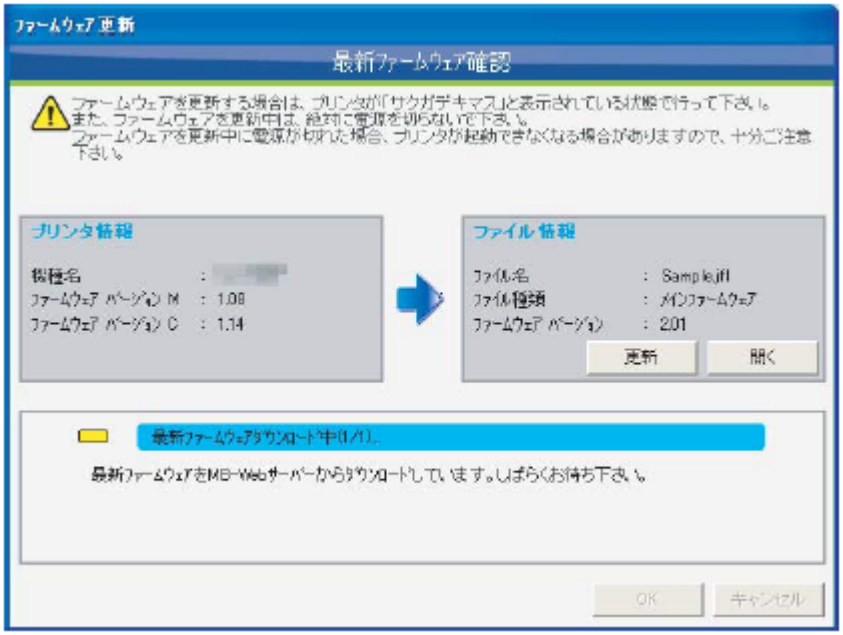
- 特殊ファームウェアとは、MSM では更新できない特別な修正を行ったファームウェアです。更新を希望する場合は、販売店へお問い合わせください。

6.2.4.4. ファームウェアファイルダウンロード

最新のファームウェアファイルを MB-Web サーバーよりダウンロードを行います。

保存先を選択し、ダウンロードして下さい。





注 記

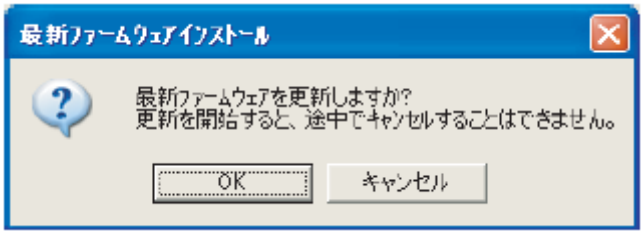
- ダウンロードしたファームウェアファイルは、「6.2.3 ファームウェア更新」機能で別途ファームウェア更新を行うことができます。

6.2.4.5. ファームウェア更新確認

ファームウェアのダウンロードが完了すると、以下の確認画面が表示されます。

ファームウェアの更新を行う場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

ファームウェアの更新を行わず、ここで終了する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

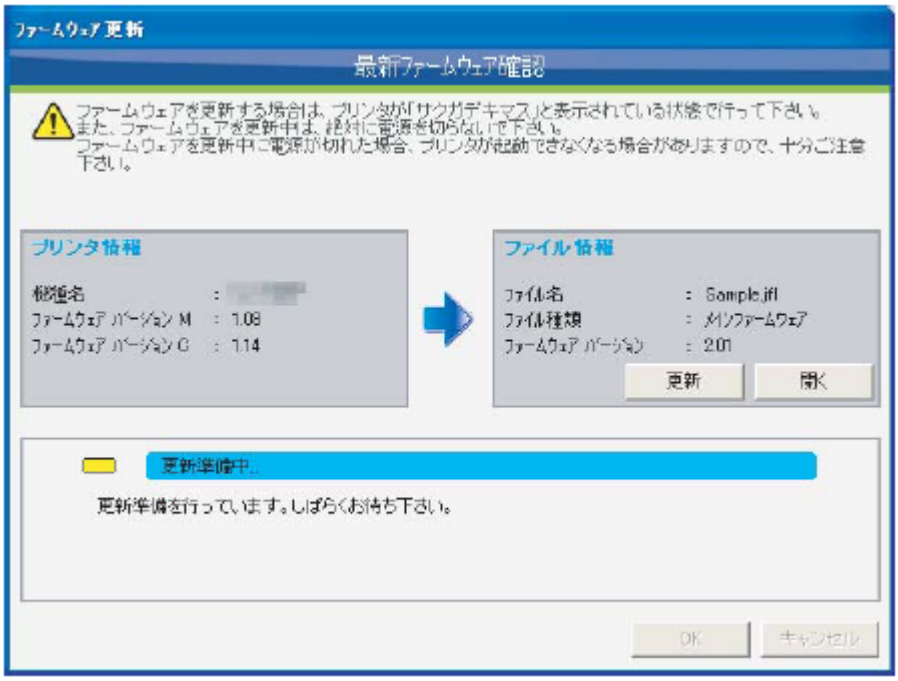


注 記

- 次項の手順に進んだ場合、以後ファームウェアの更新を中断することはできません。
- ファームウェアの更新中は電源を絶対に切らないで下さい。途中で電源を切ると、正常に更新できず、プリンタが起動しなくなる場合がありますので、十分注意して下さい。
- プリンタパネルが「サクガデキマス」と表示されている状態で更新可能です。印刷中などプリンタが動作中は更新できません。

6.2.4.6. プリンタの更新準備

「更新」ボタンをクリックすると、プリンタが更新モードに移行します。プリンタが更新モードに移行するまでしばらくお待ち下さい。

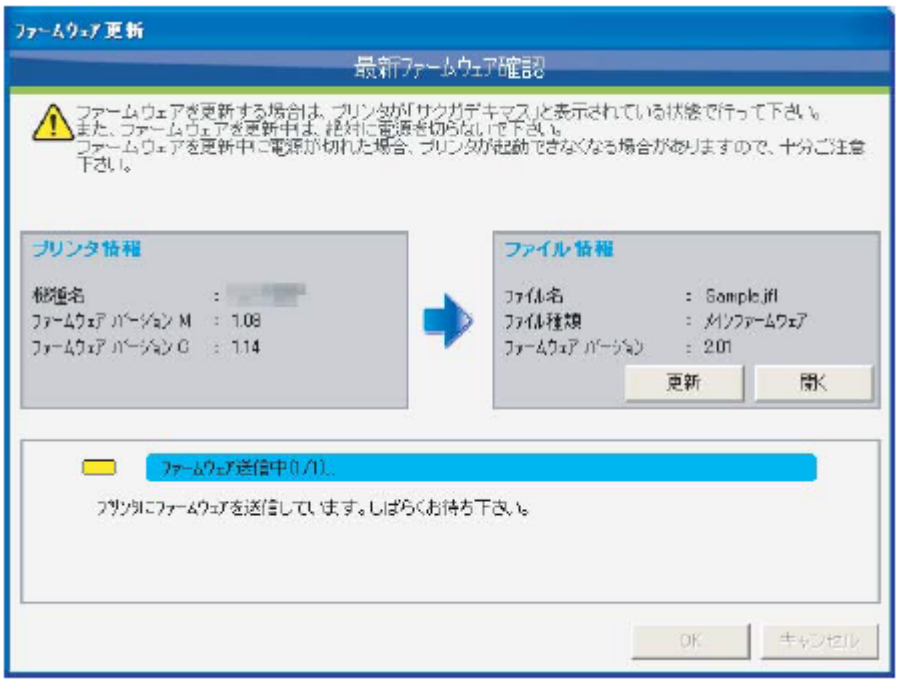


注 記

- プリンタが更新モードに移行するまで、数分かかる場合があります。
- プリンタが更新モードに移行しない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、プリンタを再起動して下さい。

6.2.4.7. ファームウェアファイルの送信

プリンタが更新モードに移行すると、ダウンロードしたファームウェアファイルをプリンタに自動送信します。しばらくお待ち下さい。



注 記

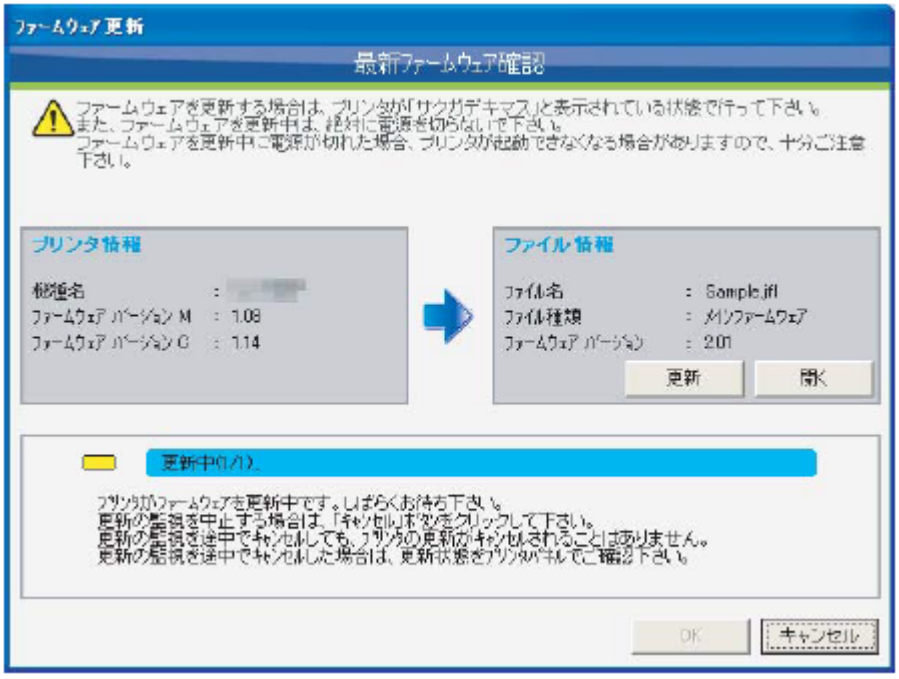
- ファームウェアファイル送信には、数分かかる場合があります。
- ファームウェアファイルをプリンタに送信すると、以後更新をキャンセルすることはできません。
- ファームウェアファイルを送信中に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないで下さい。その場合、正常にファームウェア更新できず、プリンタが起動しなくなる場合がありますので、十分注意して下さい。

6.2.4.8. ファームウェア更新

プリンタがファームウェアファイルを受信完了すると、プリンタはファームウェアの更新を実行します。しばらくお待ち下さい。

ファームウェアの更新中に MSM は、ファームウェア更新が完了するまでプリンタを監視します。プリンタのファームウェア更新が完了しない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、監視を中断して下さい。

※「キャンセル」ボタンで監視を中断しても、プリンタのファームウェア更新を中断できる訳ではありません。
監視を中断した場合は、プリンタのパネルで更新確認を行って下さい。

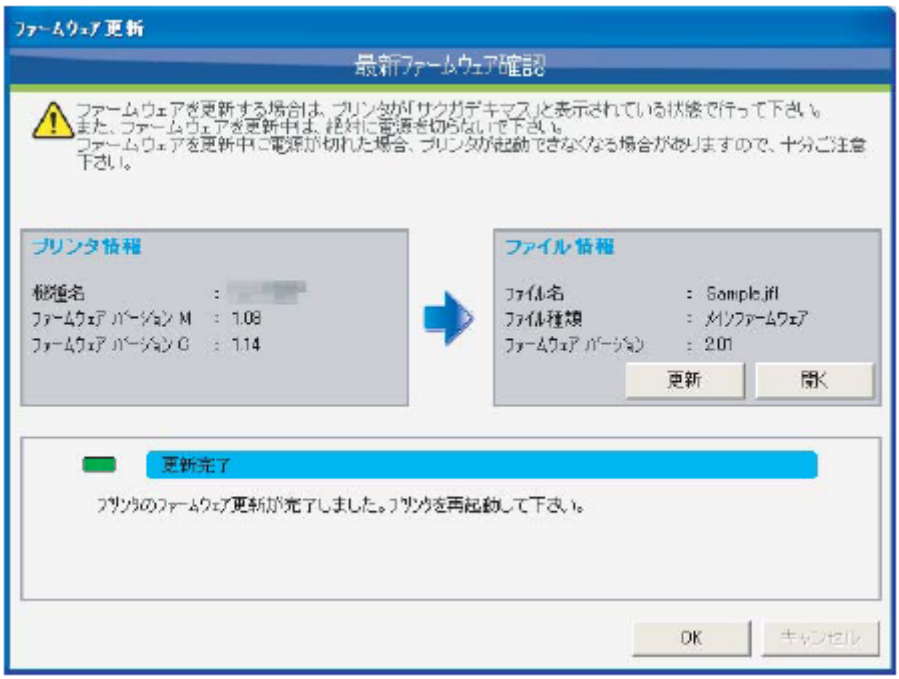


注 記

- ファームウェアの更新には、数分かかる場合があります。
- ファームウェアの更新中に絶対にプリンタの電源を切らないで下さい。プリンタが正常に起動できなくなる場合があります。

6.2.4.9. ファームウェア更新完了

プリンタがファームウェアを更新完了したら、プリンタを再起動して下さい。



注 記

- ファームウェアの更新が完了してもプリンタは更新モードのままのため、必ずプリンタを再起動して下さい。

6.2.5. プリンタ情報バックアップ

プリンタ情報をディスク上に保存します。

プリンタにエラーが発生した場合など、代理店等への問い合わせ時に本機能で取得したファイルを提供頂ければ、プリンタの解析が事前に行え、トラブル解決がスムーズに行えます。

代理店等からプリンタ情報の提供を依頼された場合は、本機能でプリンタ情報ファイルをPCのディスク上に保存し、メール等で提供をお願いします。

注 記

- プリンタの状態によって、プリンタ情報が取得出来ない場合があります。

6.2.6. プリンタ情報アップロード

MUTOH Clubとインターネット通信を行い、プリンタ情報をMUTOH Clubへアップロードします。

MSM がオンランで使用されている場合、プリンタにエラーが発生した場合など、代理店等への問い合わせ時に本機能でプリンタ情報ファイルをMUTOH Club 提供頂ければ、プリンタの解析が事前に行え、トラブル解決がスムーズに行えます。

代理店等からプリンタ情報の提供を依頼された場合は、本機能でプリンタ情報ファイルを MUTOH Club へアップロードしてください。

注 記

- 本機能は、MSM がインターネット通信可能な環境で、MUTOH Club へログインしている必要があります。

6.2.7. 終了(MSM 最小化)

MSM を最小化します。MSM を再表示する場合は、タスクトレイの MSM アイコンをクリックしてください。MSM アイコンについては、「4.2 タスクトレイアイコン」を参照してください。

7. ステータスモニタ

ステータスモニタは監視を行っているプリンタの情報を表示します。

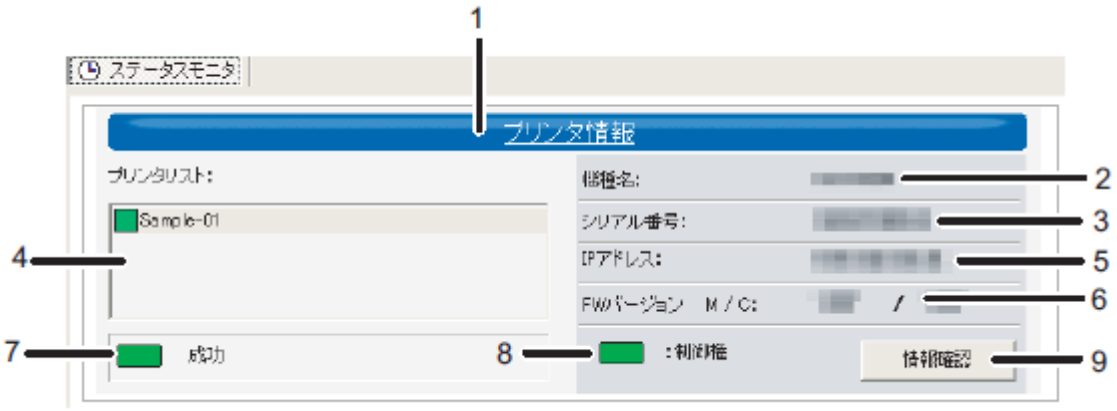
番号	名称	内容
1	プリンタ情報	監視しているプリンタの基本情報を表示します。 詳細は、「7.1プリンタ情報」を参照してください。
2	詳細情報	プリンタがエラーとなった場合、推測される原因及び対策方法などを表示します。 詳細は、「7.2詳細情報」を参照してください。
3	ステータス情報	プリンタのステータス情報を表示します。 詳細は、「7.3ステータス情報」を参照してください。
4	Smart/C情報	プリンタのSmart/C情報を表示します。 詳細は、「7.4Smart/C情報」を参照してください。
5	ヒーター情報	プリンタのヒーター情報を表示します。 詳細は、「7.5ヒーター情報」を参照してください。
6	ヘッド/カートリッジ情報	プリンタのヘッド及びカートリッジ情報を表示します。 詳細は、「7.6ヘッド/カートリッジ情報」を参照してください。
7	S/Cカード情報	プリンタのS/Cカード情報を表示します。 詳細は、「7.7S/Cカード情報」を参照してください。
8	用紙情報	プリンタの用紙情報を表示します。 詳細は、「7.8用紙情報」を参照してください。
9	印刷情報	プリンタの印刷情報を表示します。 詳細は、「7.9印刷情報」を参照してください。

注 記

- 使用できる機能は機種によって異なります。

7.1. プリンタ情報

監視しているプリンタの基本情報を表示します。



番号	名称	内容
1	プリンタ情報 (詳細情報の表示/非表示)	プリンタ情報ラベルをクリックすると、詳細情報の表示／非表示を切り替えられます。表示／非表示の画面については、「7.1.1詳細情報の表示」を参照してください。
2	プリンタ機種名	監視中プリンタの機種名を表示します。
3	プリンタシリアル番号	監視中プリンタのシリアル番号を表示します。
4	プリンタリスト	登録したプリンタを一覧表示し、プリンタの通信状態も表示します。登録時に任意で設定した登録名で表示されます。 :通信成功 :エラー発生 :警告発生
5	IPアドレス	監視中のプリンタのIP アドレスを表示します。
6	ファームウェアバージョン	監視中のプリンタのファームウェアバージョンを表示します。 M:メイン ／ C:コントローラ
7	通信状態	監視中のプリンタとの通信状態を確認できます。
8	制御権	監視中のプリンタに対する制御権の有無を表示します。 :制御権あり :制御権なし
9	情報確認	プリンタの情報を取得し、表示内容を最新の情報に更新します。

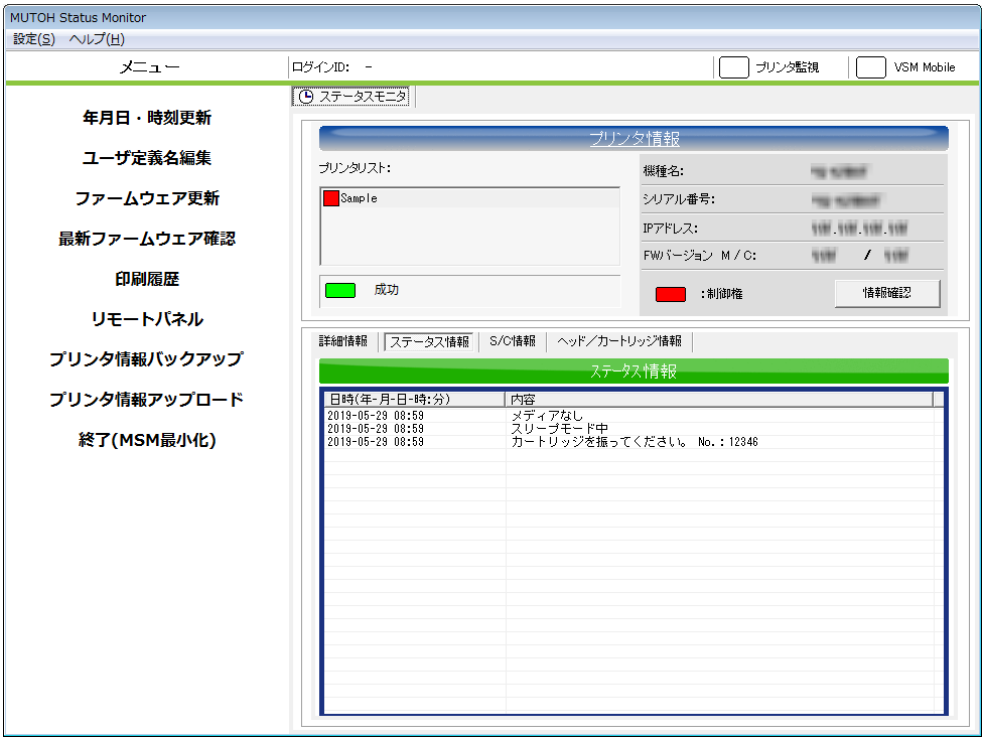
7.1.1. 詳細情報の表示

詳細情報の表示／非表示状態を以下に示します。

情報:OFF



情報:ON(※デフォルト)

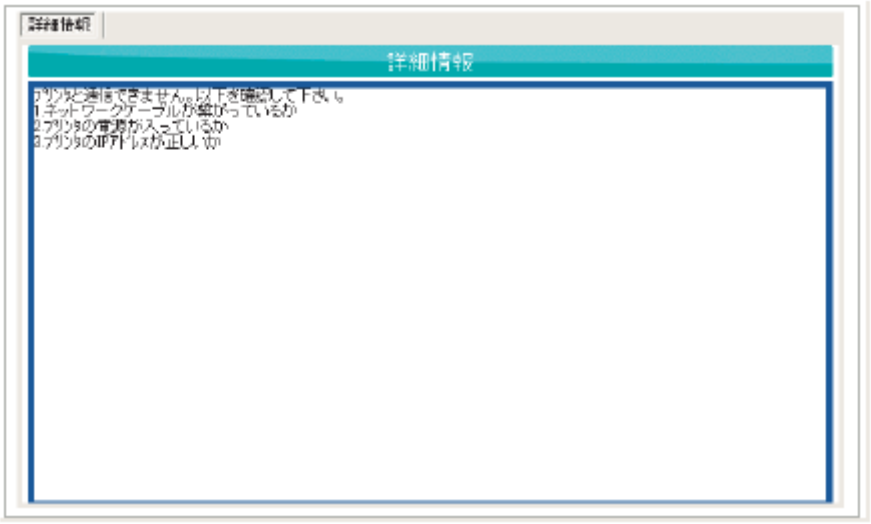


7.2. 詳細情報

監視中のプリンタとの通信エラー情報を確認できます。

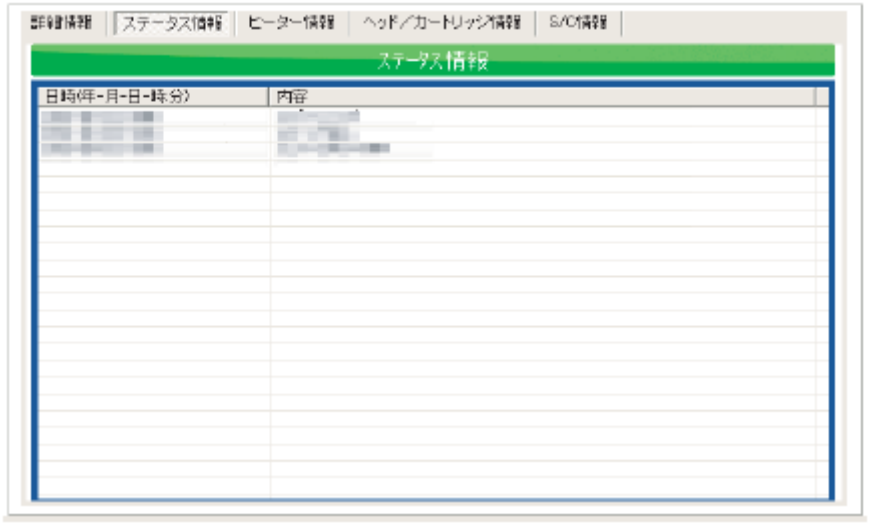
エラーの原因が表示されますので、内容を確認してエラーを解消してください。

例)プリンタの電源が OFF になっている。



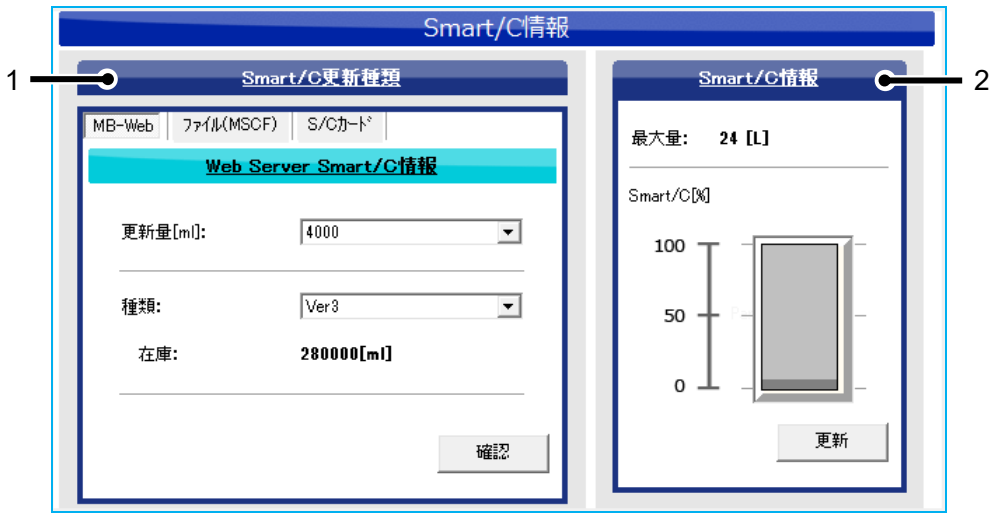
7.3. ステータス情報

監視中のプリンタのステータス情報を表示します。



7.4. Smart/C 情報

監視中プリンタの Smart/C 情報を確認できます。



番号	名称	内容
1	Smart/C更新種類	更新するSmart/Cの種類を表示します。 詳細は、「**7.4.1MB-WebでSmart/Cを更新する、** **7.4.2更新ファイル(MSCF)**でSmart/Cを更新する、 **7.4.3S/CカードでSmart/C**を更新する」を参照してください。
2	プリンタSmart/C情報	監視中のプリンタのSmart/C 情報を表示します。 詳細は、「**7.4.4Smart/C情報**」を参照してください。

7.4.1. MB-Web で Smart/C を更新する

MB-Web からインターネット接続で使用可能な Smart/C 情報を取得し表示します。



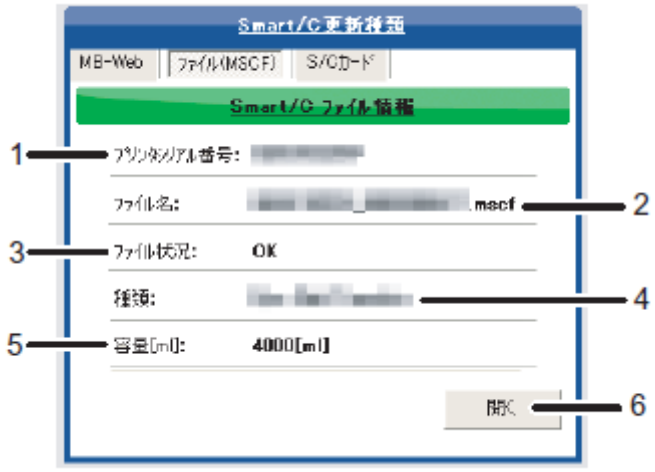
番号	名称	内容
1	更新量[ml]	更新するSmart/C量を選択します。 ※選択できる更新量は機種によって異なります。
2	種類	更新を行うSmart/C種類を選択します。
3	在庫	2で選択しているSmart/Cの在庫を表示します。 ※在庫が更新量より少ない場合は更新できません。
4	確認	MB-Webから最新のSmart/C情報を取得します。 ※MB-Webにログインしていないと情報を取得できません。

注 記

- 機種によって使用できない場合があります。
- インターネット接続設定で、「接続可能」を選択している時のみ表示されます。

7.4.2. 更新ファイル(MSCF)で Smart/C を更新する

MSCF 情報を表示します。



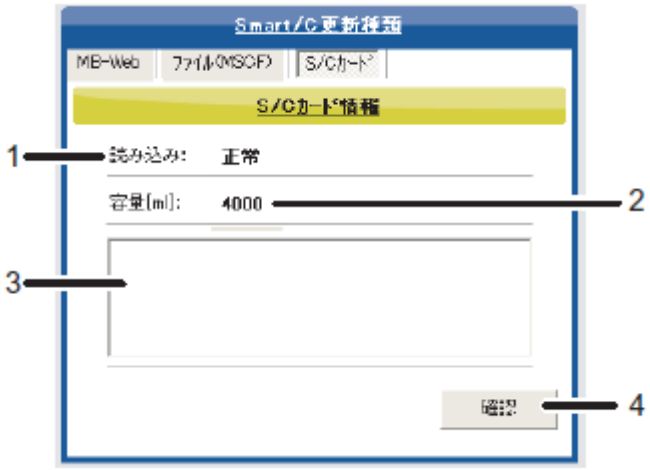
番号	名称	内容
1	プリンタシリアル番号	監視中のプリンタのシリアル番号を表示します。
2	ファイル名	読み込んだMSCFのファイル名を表示します。
3	ファイル状況	読み込んだMSCFの状況を表示します。 条件によってエラーとなります。 ・該当プリンタ用以外のMSCF ・更新済みのMSCF
4	種類	読み込んだMSCFのSmart/C種類を表示します。
5	容量[ml]	読み込んだMSCFのSmart/C容量をml単位で表示します。
6	開く	読み込むMSCFを選択します。

注 記

- 機種によって使用できない場合があります。
- MSCF ： Smart/C 更新ファイル

7.4.3. S/C カードで Smart/C を更新する

S/C カード情報を表示します。



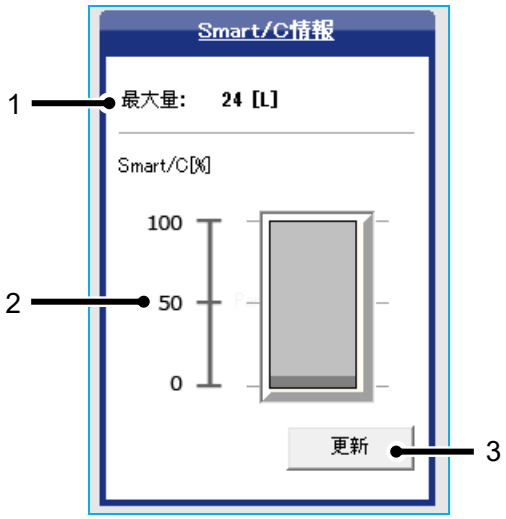
番号	名称	内容
1	読み込み	読み込んだS/Cカードの状態を表示します。
2	容量[ml]	読み込んだS/CカードのSmart/C容量をml単位で表示します。
3	詳細情報	S/Cカードの読み込みエラーの原因が表示されます。
4	確認-停止	S/Cカードの読み込み確認または、読み込み停止を行います。

注 記

- 機種によって使用できない場合があります。
- S/C カード・リーダ・ライタは、弊社推奨品をご使用ください。
  弊社推奨品以外の S/C カード・リーダ・ライタはご使用できません。
  弊社推奨品については、販売店へお問い合わせください。

7.4.4. Smart/C 情報

監視中プリンタの Smart/C 情報を表示します。



番号	名称	内容
1	最大量	監視中プリンタのSmart/C最大量を表示します。 ※Smart/C最大量は機種によって異なります。
2	残量	監視中プリンタのSmart/C残量を[%]で表示します。
3	更新	Smart/Cを更新する場合はクリックしてください。 詳細は、「7.4.4.1Smart/Cの更新」を参照してください。

7.4.4.1. Smart/C の更新

Smart/C 更新条件を満たしている場合、「更新」ボタンが有効になりますのでクリックしてください。

注 記

- MB-Web での Smart/C 更新の場合、プリンタのサービス情報を MB-Web へ転送します
- S/C カードでの Smart/C 更新の場合、更新途中に S/C カードを絶対に抜かないで下さい。更新途中に S/C カードを抜くと正常に Smart/C 更新が行えません。
- 以下の条件を全て満たさないと、Smart/C は更新できません。

  MB-Web 更新の場合

  ・ユーザーログイン済み

  ・Smart/C 在庫が十分である

  MSCF 更新の場合

  ・有効な MSCF である

  S/C カード更新の場合

  ・有効な S/C カードである

  共通条件

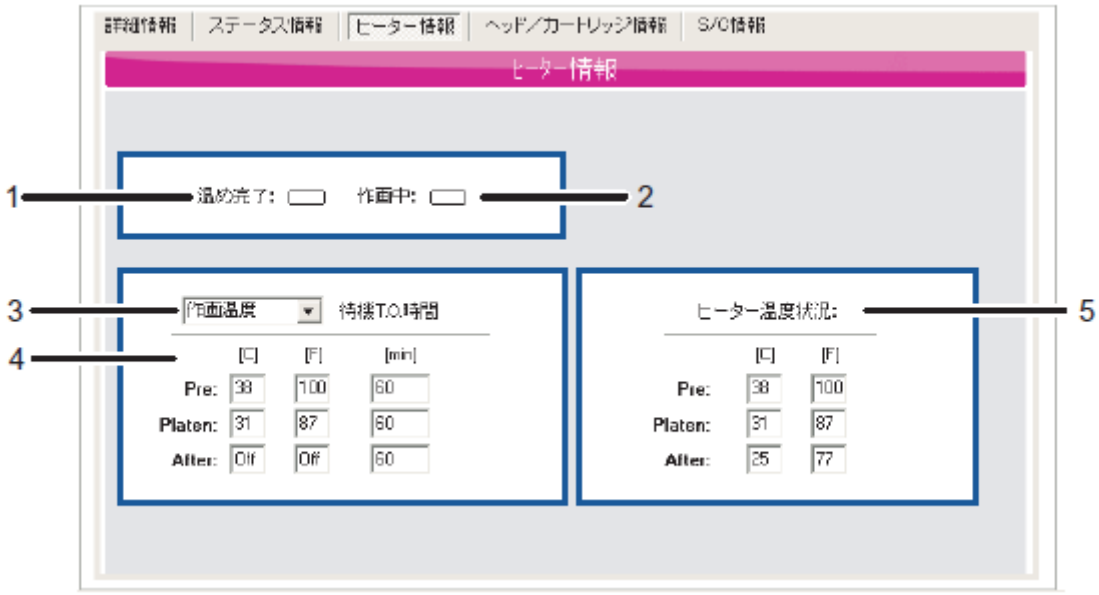
  ・Smart/C 更新回数制限内

  ・制御権を所有している

7.5. ヒーター情報

7.5.1. ヒーター情報

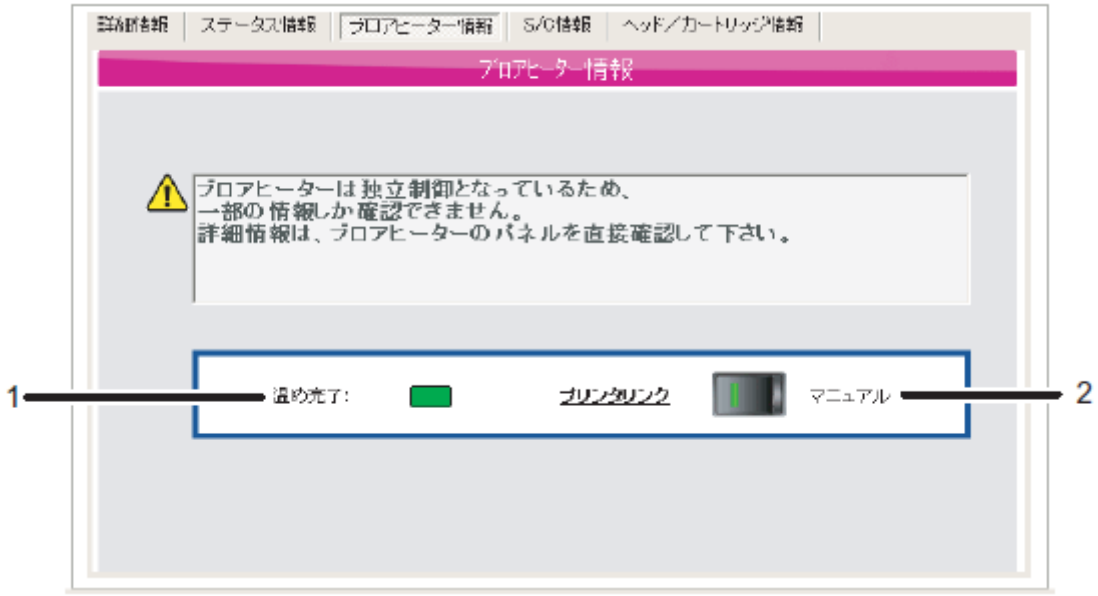
監視中プリンタのヒーター情報を確認できます。



番号	名称	内容
1	温め完了	サーミスタが設定温度に達すると緑色で表示されます。 :設定温度到達 :設定温度未到達
2	作画中	温め完了状態で作画を開始すると緑色で表示されます。 :作画開始 :待機状態
3	設定温度種類	設定温度の種類を選択します。 作画温度:作画時の温度設定 待機温度:待機時の温度設定
4	ヒーター設定温度	設定温度種類で設定した各温度、待機タイムアウト時間を表示します。 Pre:プリヒーター Platen:プラテンヒーター After:アフターヒーター C:摂氏 F:華氏
5	ヒーター温度状況	ヒーターの実温度を表示します。 Pre:プリヒーター Platen:プラテンヒーター After:アフターヒーター C:摂氏 F:華氏

7.5.2. ブロアヒーター情報

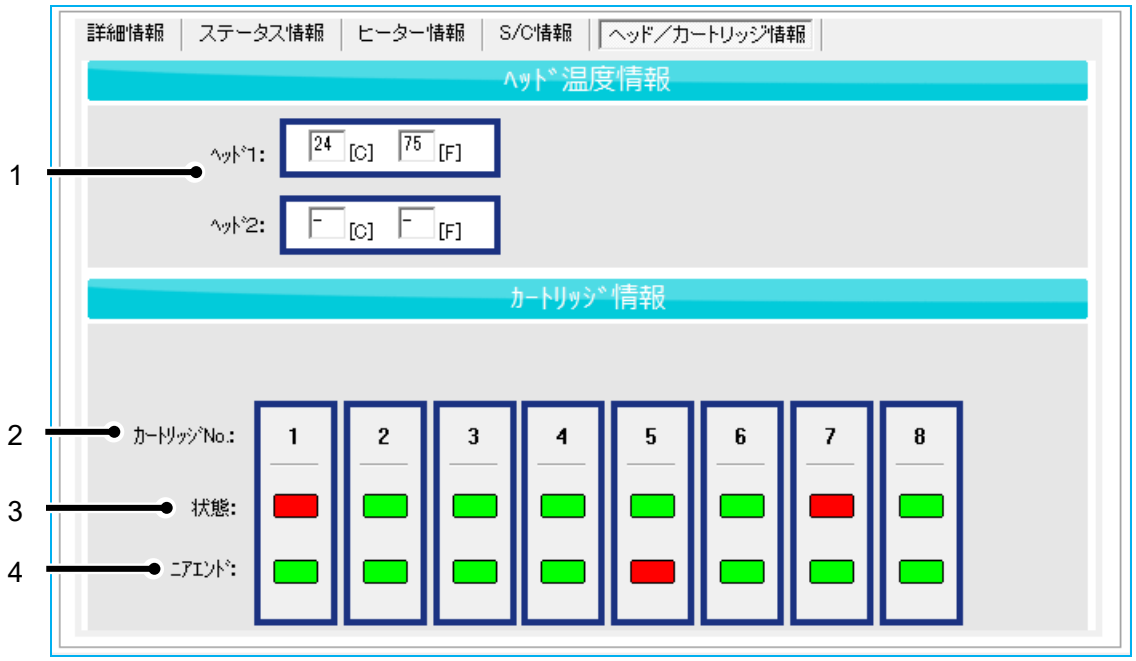
監視中プリンタのブロアヒーター情報を確認できます。



番号	名称	内容
1	温め完了	設定温度に達すると緑色で表示されます。 :設定温度到達 :設定温度未到達
2	リンク	ヒーターの動作方法を表示します。 プリンタリンク:プリンタに連動して動作します。 マニュアル :ヒーター単独で動作します。

7.6. ヘッド/カートリッジ情報

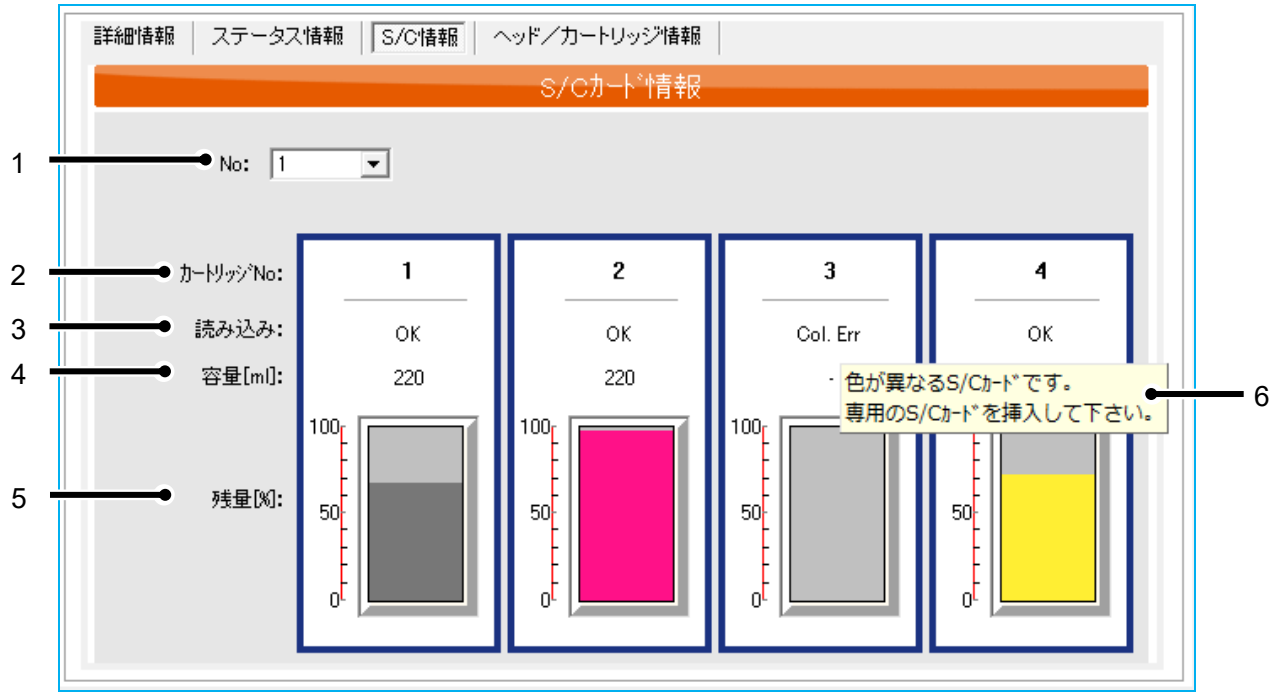
監視中プリンタのヘッド及びカートリッジ情報を確認できます。



番号	名称	内容
1	ヘッド温度	監視中プリンタのヘッド温度を表示します。Cは摂氏、Fは華氏の温度を表します。 ※ヘッド数は機種によって異なります。
2	カートリッジNo.	スロットNo.を表示します。 ※スロット数は機種によって異なります。
3	状態	カートリッジの状態を表示します。 :カートリッジあり :カートリッジなし
4	ニアエンド	インク残量の状態を表示します。 :インク残量が十分 :インク残量が少ない ※機種によっては表示されません。

7.7. S/C カード情報

監視中プリンタの S/C カード情報を確認できます。



番号	名称	内容
1	No.	S/Cカードを4個1グループとする。
2	カートリッジNo.	カートリッジNo.を表示します。
3	読み込み	S/Cカード読み込み状態を表示します。 詳細は、「7.7.1読み込み」を参照してください。
4	カラー	S/Cカードのカラー情報を表示します。
5	容量	S/Cカードのインク容量情報を「ml」単位で表示します。
6	残量	S/Cカードのインク残量を1%単位で表示します。
7	詳細表示	S/Cカードの読み込みがエラーの場合、マウスポインタを「読み込み」ラベルに合わせると、詳細情報が表示されます。 詳細は、「7.7.1読み込み」を参照してください。

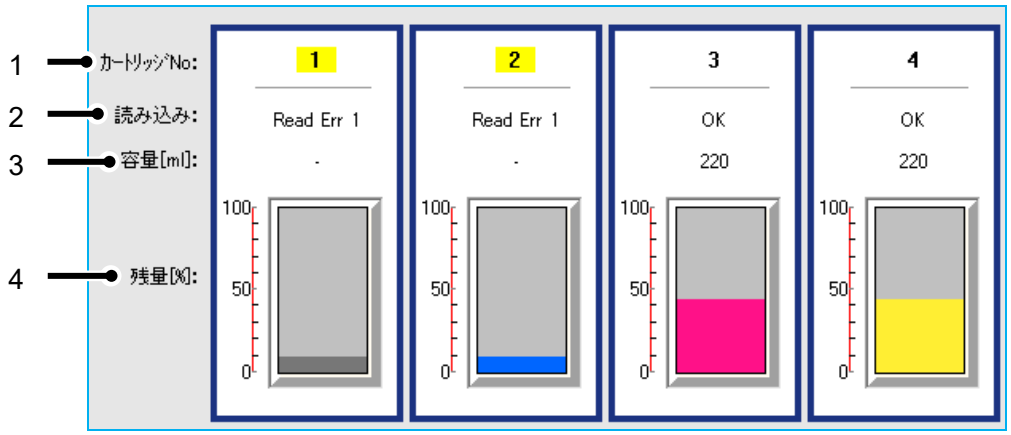
7.7.1. 読み込み

S/C カード読み込み状態を表示します。

名称	内容
OK	読み込み正常。
–	情報なし。
Read Err 1	S/Cカードが読めません。S/Cカードを確認して下さい。
Read Err 2	
Read Err 3	
Col. Err	色が異なるS/Cカードです。専用のS/Cカードを挿入して下さい。
Ink Err	未対応のS/Cカードです。専用のS/Cカードを挿入して下さい。
Code Err	
Ink End	インクがなくなりました。インクを交換して下さい。
Broken Chip 1.～28.	破損したS/Cカードのため使用できません。
Size Err	非対応のカートリッジサイズです。

7.7.2. S/C カードリカバリー

S/C カードがリカバー中の場合は、S/C カード情報が取得できないため、容量、残量が正しく表示されませんのでご注意ください。ただし、印刷は可能です。



番号	名称	内容
1	カートリッジNo.	リカバリー中の場合は、黄色表示となります。
2	読み込み	S/Cカード読み込み状態を表示します。 詳細は、「7.7.1読み込み」を参照してください。
3	容量	リカバリー中は、「-」となります。
4	残量 ※1	リカバリー中は、10%固定となります。

注 記

- ※1 残量は 10%固定となるため、インクの残量はインクカートリッジ等を直接ご確認ください。
- リカバリー仕様は、プリンタの種類によって異なる場合がありますので、詳細は各種最新のプリンタマニュアルをご確認ください。

7.8. 用紙情報

プリンタにセットされている用紙情報を確認できます。



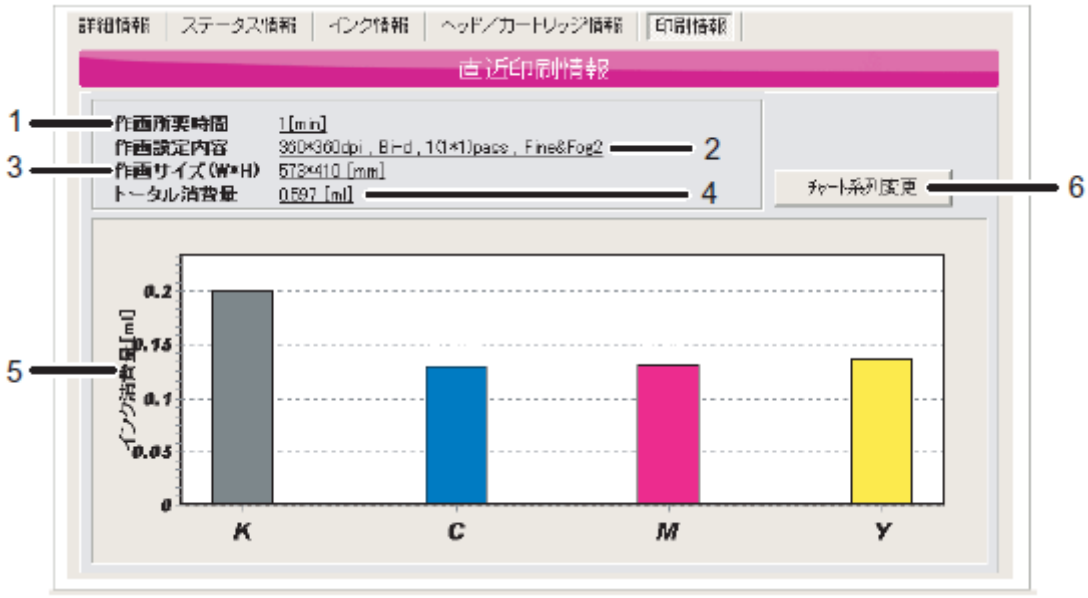
番号	名称	内容
1	用紙種類	プリンタにセットしている用紙種類を表示します。
2	給紙方式	プリンタにセットしている用紙の給紙方式を表示します。
3	用紙サイズ	プリンタにセットしている用紙サイズを表示します。
4	印刷可能枚数	プリンタにセットしている用紙で、残り印刷できる枚数を表示します。 ※セットしている用紙が以下の条件を満たしている場合のみ有効 ・ロール紙 ・ロール紙管理が有効 ※印刷可能枚数は目安です。

注 記

1. USB 接続のみ対応

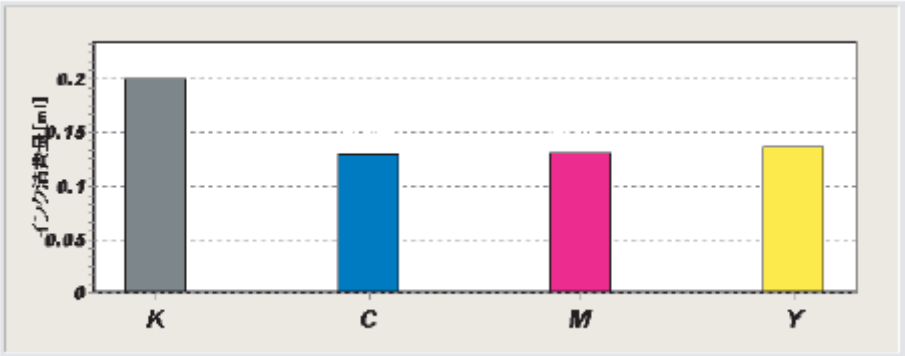
7.9. 印刷情報

直近の印刷情報を確認できます。

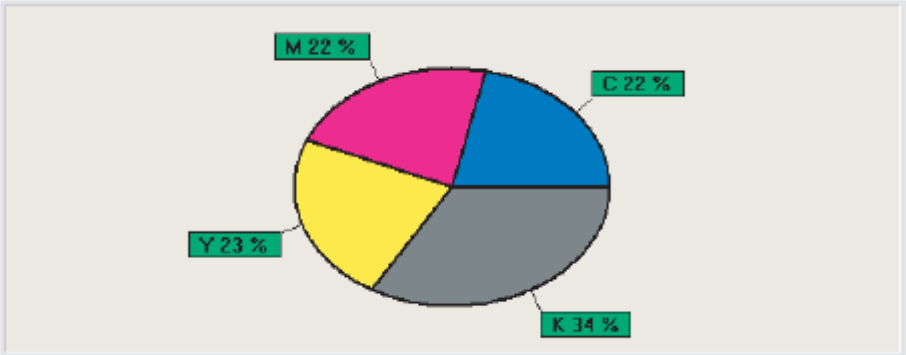


番号	名称	内容
1	作画所要時間	直近印刷の所要時間を1分単位で表示します。
2	作画設定内容	直近印刷の設定内容を表示します。
3	作画サイズ	直近印刷の作画サイズを表示します。
4	トータル消費量	直近印刷のトータルインク消費量を表示します。
5	インク消費量	直近印刷の各色のインク消費量を表示します。
6	チャート系列変更	直近印刷のインク消費量のグラフを変更します。 ※グラフは2種類。

1. インク消費量グラフ



2. インク消費比率グラフ



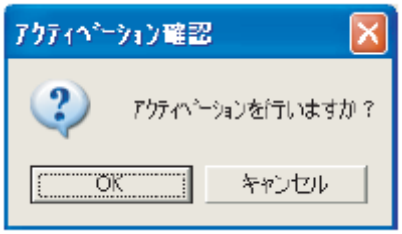
8. アクティベーション

8.1. インターネット経由でアクティベーションを実行

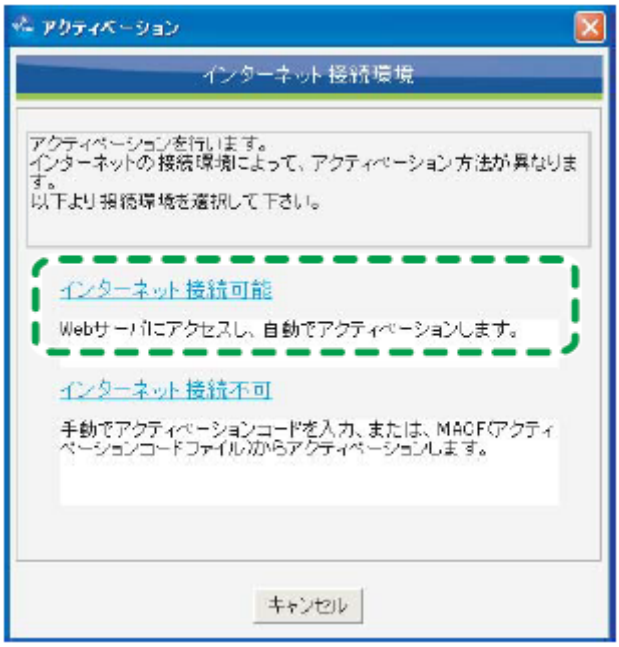
プリンタの登録を行う場合、アクティベーションを実行しないと登録できません。

インターネットに接続可能な場合、MB-Web にアクセスしてアクティベーションすることができます。

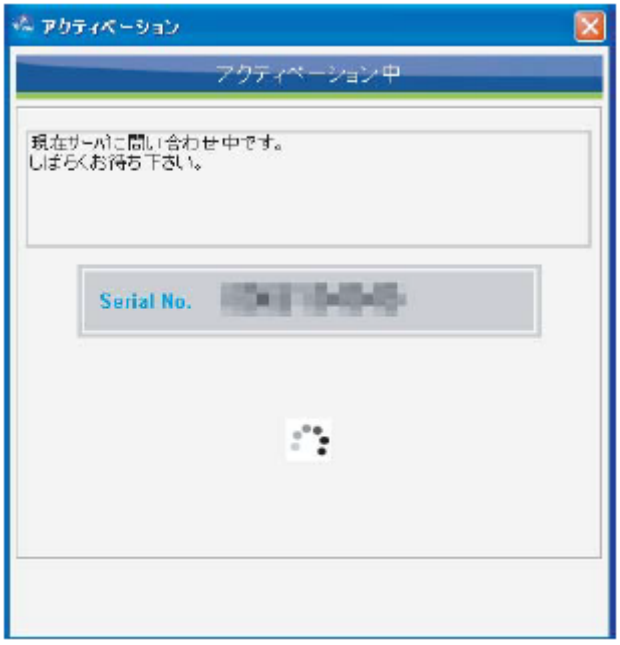
1. アクティベーション未実行のプリンタを登録する場合、以下のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてアクティベーションを行います。



2. 「インターネット接続可能」をクリックします。



3. MB-Web にアクセスして「アクティベーションコード」を取得し、アクティベーションを行っています。しばらくお待ちください。



4. アクティベーションが完了すると、以下の画面が表示されます。

注 記

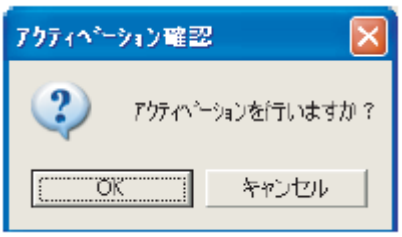
- アクティベーションが完了すると、MB-Web へプリンタのサービス情報を登録します。
- エラーになる場合は、「ErrCode」を販売店までお知らせください。
- アクティベーションが完了したら、プリンタを再起動してください。



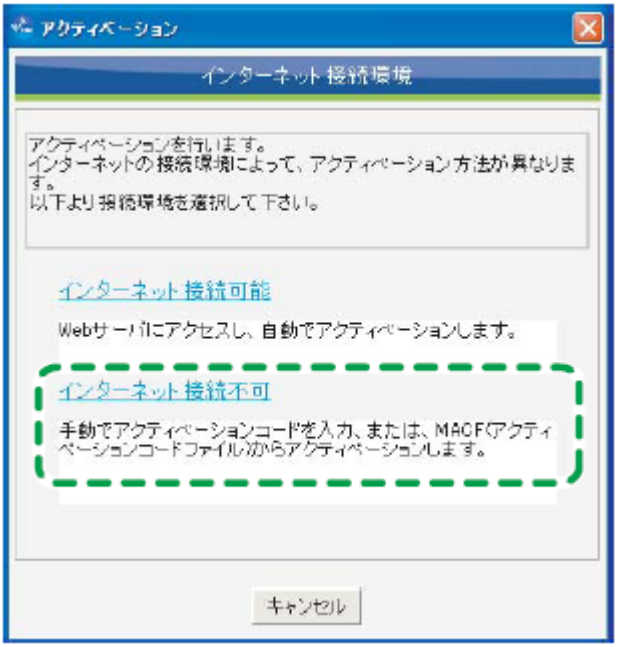
8.2. アクティベーションコードを入力してアクティベーションを実行

プリンタの登録を行う場合、プリンタがアクティベーションを実行しないと登録できません。インターネットに接続できない場合、アクティベーションコードまたはアクティベーションコードファイルを販売店から発行してもらい、アクティベーションを実行することができます。

1. アクティベーション未実行のプリンタを登録する場合、以下のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてアクティベーションを行います。



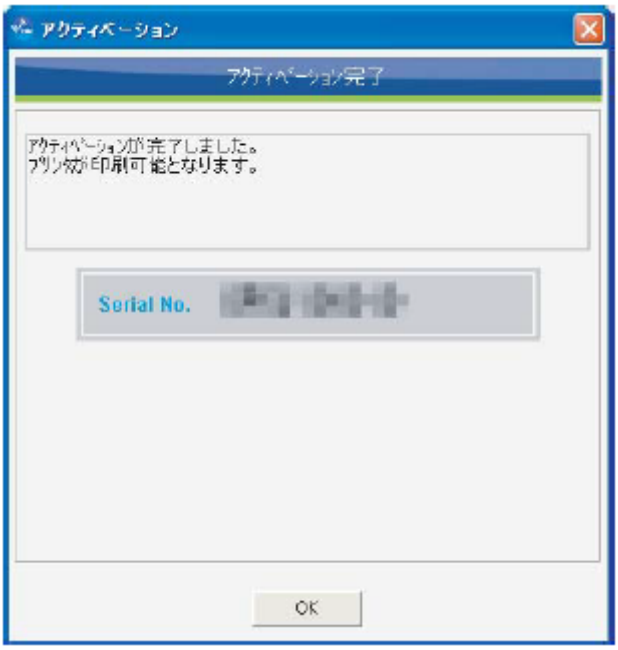
2. 「インターネット接続不可」をクリックします。



3. 販売店から発行されたアクティベーションコードを入力し「実行」をクリックします。 アクティベーションコードファイルの場合は、フォルダアイコンをクリックし、ファイルを選択してください。



4. アクティベーションが完了すると、以下の画面が表示されます。



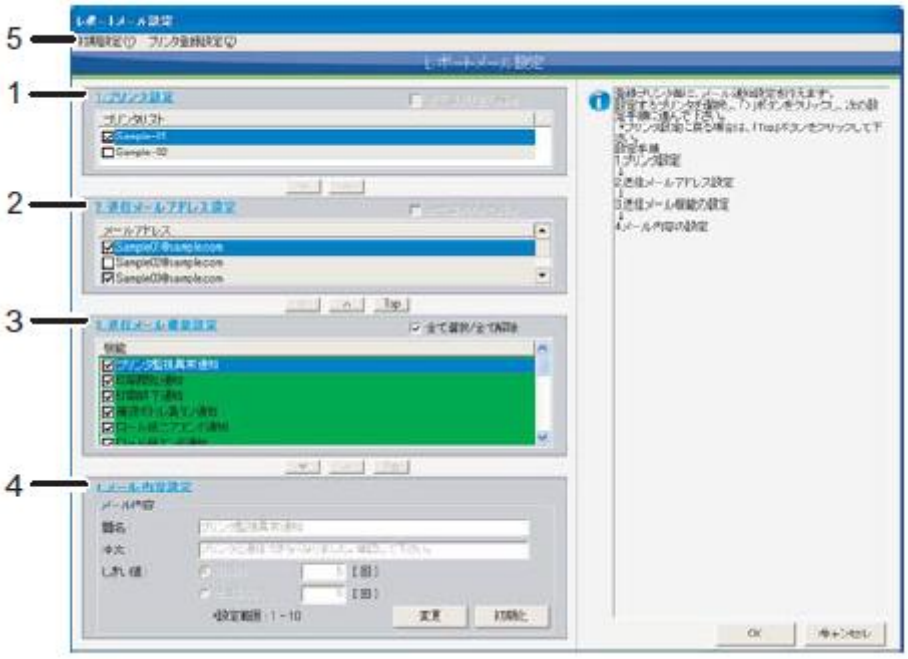
注 記

- エラーになる場合は、「ErrCode」を販売店までお知らせください。
- アクティベーションが完了したら、プリンタを再起動してください。

9. レポートメール

監視中のプリンタがエラーや警告になった場合、設定したメールアドレスへお知らせメールを送信します。

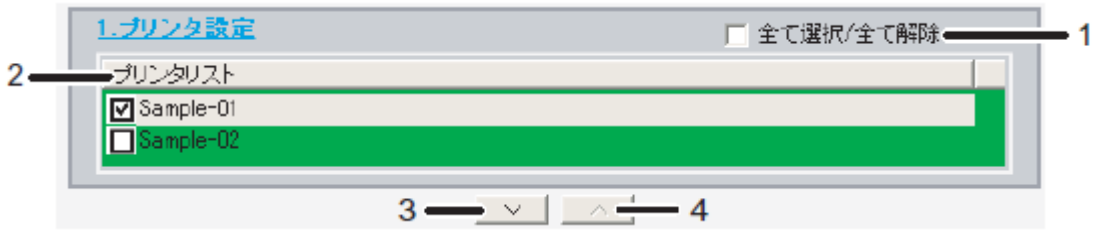
メール通知を行う、プリンタ、メールアドレス、機能、メール内容を順に設定します。



番号	名称	内容
1	プリンタ設定	登録されているプリンタの、メールお知らせ機能を「有効/無効」に設定します。 ※詳細は、「9.1プリンタ設定」を参照してください。
2	送信メールアドレス設定	プリンタ毎に、送信するメールアドレスを「有効/無効」に設定します。 ※詳細は、「9.2送信メールアドレス設定」を参照してください。
3	送信メール機能設定	プリンタ、メールアドレス毎に、送信する機能を「有効/無効」に設定します。 ※詳細は、「9.3送信メール機能設定」を参照してください。
4	メール内容設定	プリンタ毎に、送信するメール内容の詳細を設定します。 ※詳細は、「9.4メール内容設定」を参照してください。
5	設定一覧	メールお知らせ機能を使用するのに必要な各種設定を行います。 ※詳細は、「9.5設定一覧」を参照してください。

9.1. プリンタ設定

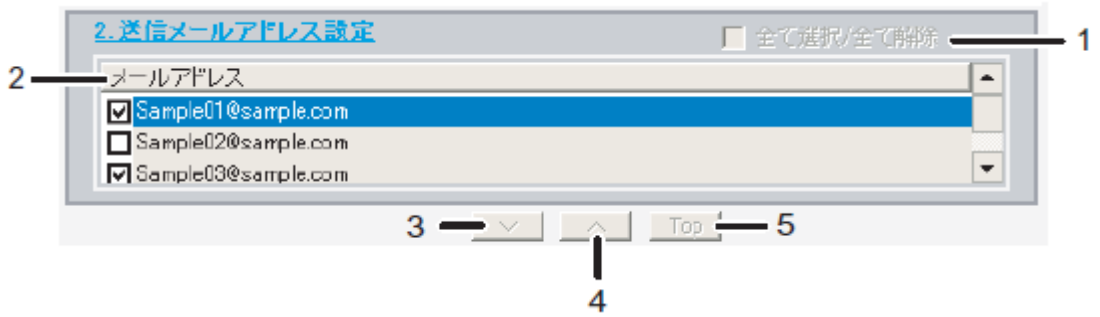
登録されているプリンタの、メールお知らせ機能を「有効/無効」に設定します。



番号	名称	内容
1	全て選択/全て解除	リスト全ての選択を変更します。
2	プリンタリスト	登録されているプリンター覧です。 プリンタ名のチェックボックスを選択することで、お知らせメール機能を設定できます。 チェックOn：お知らせメール有効 チェックOff：お知らせメール無効
3	次へ	設定するプリンタを選択し、次項へ移ります。
4	戻る	プリンタ設定へ戻ります。

9.2. 送信メールアドレス設定

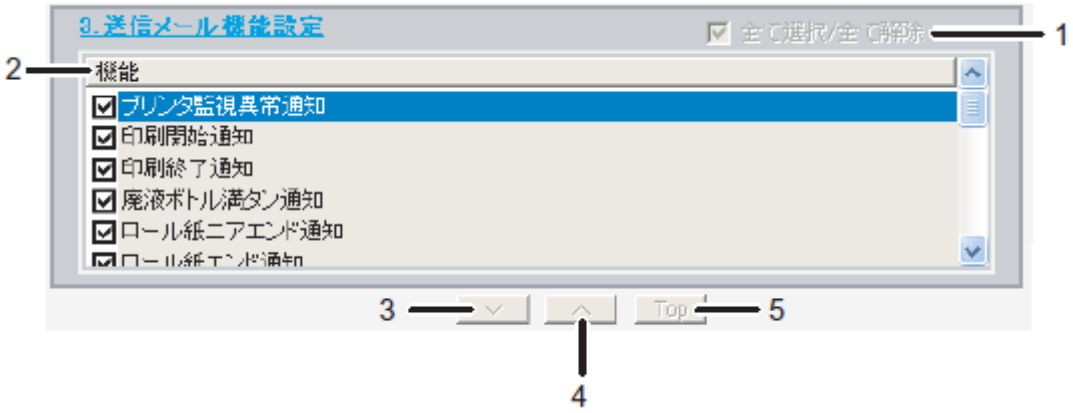
プリンタ毎に、送信するメールアドレスを「有効/無効」に設定します。



番号	名称	内容
1	全て選択/全て解除	リスト全ての選択を変更します。
2	メールアドレス	登録されているメールアドレス一覧です。 メールアドレスのチェックボックスを選択することで、お知らせメール機能を設定できます。 チェックOn：お知らせメール有効 チェックOff：お知らせメール無効
3	次へ	設定するメールアドレスを選択し、次項へ移ります。
4	戻る	送信メールアドレス設定へ戻ります。
5	Topへ戻る	プリンタ設定へ戻ります。

9.3. 送信メール機能設定

プリンタ、メールアドレス毎に、送信する機能を「有効/無効」に設定します。



番号	名称	内容
1	全て選択/全て解除	リスト全ての選択を変更します。
2	送信メール機能	送信メール機能一覧です。 メールアドレスのチェックボックスを選択することで、お知らせメール機能を設定できます。 チェックOn:お知らせメール有効 チェックOff:お知らせメール無効 ※詳細は、「9.3.1送信メール機能」を参照してください。
3	次へ	設定する機能を選択し、次項へ移ります。
4	戻る	送信メール機能設定へ戻ります。
5	Topへ戻る	プリンタ設定へ戻ります。

9.3.1. 送信メール機能

送信メール機能の一覧です。

番号	名称	内容
1	プリンタ監視異常通知	プリンタがエラーなどでMSMと通信できなくなった場合にメール通知します。
2	印刷開始通知	プリンタが印刷を開始した場合にメール通知します。
3	印刷終了通知 ※2	プリンタが印刷を終了した場合にメール通知します。
4	廃液ボトル満タン通知 ※1	プリンタの廃液ボトルが満タンになった場合にメール通知します。
5	ロール紙ニアエンド通知 ※2	ロール紙が残り少なくなった場合にメール通知します。 ※プリンタの「ロール紙長さ設定」を使用している場合のみ
6	ロール紙エンド通知	ロール紙がなくなった場合にメール通知します。
7	インク残量ニアエンド通知 ※2	プリンタのインクの残りが少なくなった場合にメール通知します。
8	インク残量エンド通知	プリンタのインクがなくなった場合にメール通知します。
9	Smart/C残量ニアエンド通知 ※1	プリンタのSmart/Cの残りが少なくなった場合にメール通知します。
10	Smart/C残量エンド通知 ※1	プリンタのSmart/Cがなくなった場合にメール通知します。
11	用紙斜行エラー通知	プリンタが斜行エラーになった場合にメール通知します。
12	用紙カットエラー通知 ※1	プリンタが用紙カットエラーになった場合にメール通知します。
13	S/Cカードエラー通知 ※1	プリンタがS/Cカードエラーになった場合にメール通知します。
14	寿命発生通知	プリンタの部品が寿命になった場合にメール通知します。
15	Smart/C在庫ニアエンド通知 ※1	MB-WebサーバーのSmart/C在庫が少なくなった場合にメール通知します。
16	Smart/C在庫エンド通知 ※1	MB-WebサーバーのSmart/C在庫がなくなった場合にメール通知します。
17	ファームウェア更新終了通知	プリンタのファームウェアの更新が終了した場合にメール通知します。
18	S/C インクニアエンド通知 ※1,2	プリンタのS/C インクの残りが少なくなった場合にメール通知します。
19	S/Cインクエンド通知 ※1	プリンタのS/C インクがなくなった場合にメール通知します。

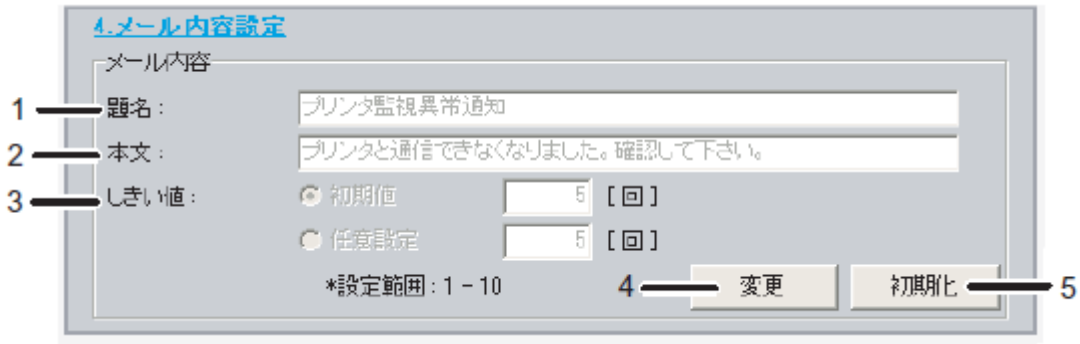
注 記

※1. プリンタによって、対応されていない機能があります。

※2. プリンタ設定によって、機能が制限される場合があり、その場合は、メール通知されません。

9.4. メール内容設定

プリンタ毎に、送信するメール内容を変更できます。



番号	名称	内容
1	題名	送信メールの題名を変更します。
2	本文	送信メールの本文を変更します。 ※機能によって、以下の情報が自動的に追加されます。 ・プリンタのシリアル番号 ・詳細情報(カートリッジ番号　他)
3	しきい値	メール送信のしきい値を変更します。 ※詳細は、「9.4.1しきい値」を参照してください。
4	変更	変更内容を保存します。
5	初期化	メール内容を初期化します。

注　記

設定を変更する場合は、「変更」ボタンを必ずクリックしてください。

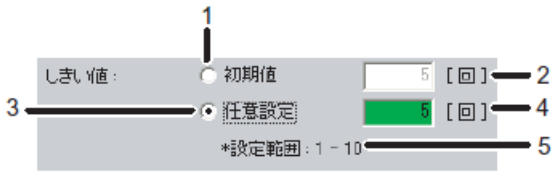
「変更」ボタンをクリックしないと、設定が反映されません。

9.4.1. しきい値

メール送信を行う基準となるしきい値を設定します。

プリンタが各しきい値に達した場合、メール送信を行います。

しきい値設定は、機能によって有効/無効となります。



番号	名称	内容
1	初期値	初期設定でメール送信を行う場合に設定してください。
2	初期設定値	初期値を選択した場合、メール送信を行うしきい値となります。 初期値は、プリンタ機種によって異なります。
3	任意設定	任意設定でメール送信を行う場合に設定してください。
4	任意設定値	任意設定を選択した場合、メール送信を行うしきい値となります。 設定値は、各設定範囲内で任意に入力することが可能です。 ※詳細は「表 9.1しきい値 機能/設定範囲表」を参照してください。
5	設定範囲	任意設定で入力可能な、設定範囲です。 ※詳細は「表 9.1しきい値 機能/設定範囲表」を参照してください。

表 9.1 しきい値 機能/設定範囲表

名称		設定範囲		初期値
		最小	最大	
プリンタ監視異常通知		1 [回]	10[回]	5 [回]
ロール紙ニアエンド通知		1[m]	10[m]	※1
インク残量ニアエンド通知		25[ml]	1000[ml]	※1
Smart/C残量ニアエンド通知	通常	20[ml]	1000[ml]	※1
	大容量	1000[ml]	最大容量の10%	※1
Smart/C在庫ニアエンド通知		100 [ml]	8000 [ml]	1000 [ml]

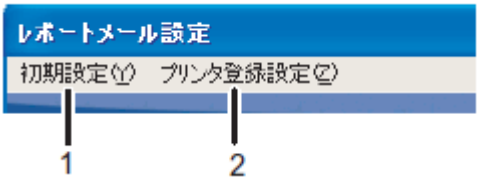
※ 1 プリンタ機種によって異なります。

注 記

しきい値を変更する場合は、制御権が必要です

9.5. 設定一覧

メールお知らせ機能を使用するのに必要な各種設定を行います。



番号	名称	内容
1	初期設定	MSM の初期設定を行います。 ※詳細は、「3初期設定」を参照してください。
2	プリンタ登録設定	MSMが監視するプリンタを登録します。 ※詳細は、「3.9.1プリンタを登録する」を参照してください。

注 記

- 各種設定が設定されていない場合は、メール通知されません。

10. カラーベリファイ

プリンタの色再現性は、温度や湿度などの動作環境の違い、インクやメディアの製造日からの経過日数や保管条件、ロット間で起こりうるバラツキ、そしてプリンタ自体の経年変化(機械的摩耗)など、様々な要因によって変わります。

これらの要因による影響は、通常は非常に小さいと考えられますが、長い時間が経つことなどによって累積され、結果として目に見えるほどの変動となることもあります。

カラーベリファイは、プリンタの操作者が、色再現性の変動が大きくなっていないかどうかを簡単な操作で点検できるようにする工程管理のための機能です。

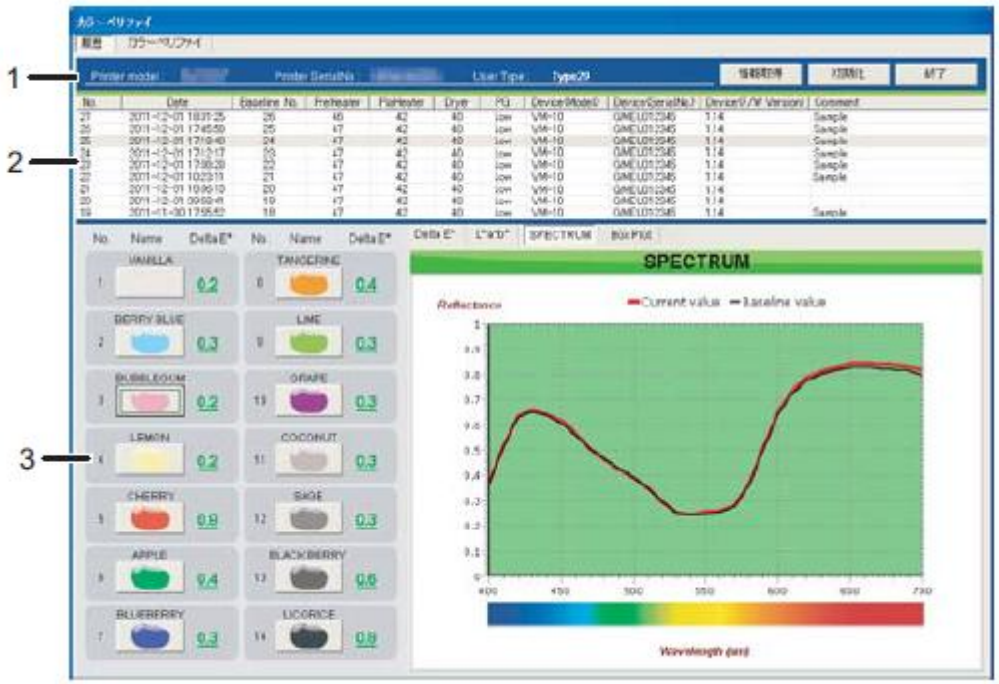
14 個のカラーパッチを作画し、オプションの分光光度計(SPECTROVUE VM-10)を使用して測定します。過去にカラーベリファイを実行し、その測定値が基準値として保存してある場合は、その基準値と比較した色差を結果として印刷します。

注 記

- 本機能の実行には、オプションの SPECTROVUE VM-10(以降、測色器) が必要です。
- 本機能を実行する前にノズル抜け等が起きていないか、ノズルチェックパターンの印刷を行ってご確認ください。
- カラーベリファイを正しく実行する為に、以下の項目については基準値を登録したときと同一になるように設定を合わせてご使用ください。異なる条件にて実行すると色差が大きくなる場合があります。
  ・各ヒーター温度設定、エフェクト設定、CR 作画移動幅設定、重ね書き設定
- ヘッド高さ調整レバーは「LOW」の状態にしてご使用ください。
- 室内の環境(温度、湿度)によっては印刷される色にも影響を与えますので、取扱説明書「8.1.1 本体仕様」の「環境条件」に記載されている条件に合わせてご使用ください。またメディアやインクはその環境条件にて二時間程度放置し、よく馴染ませてからご使用ください。
- 本機能は、印刷環境における様々な要因によって起こりうる色再現性の変動を簡単な操作で点検し工程管理に役立てるための機能です。
  それ自体は、プリンタの色再現性や再現の正確さを保証するものではなく、また、適切なカラーワークフローを不要にするものでもありません。
- 本機能では色差(dE)を CIE 94 * の方法で計算しています。
  * CIE94 は CIE(国際照明委員会)によって 1994 年に提案されました。
- 本機能の実行には、ファイル転送プログラム(ftp.exe)の Windows ファイアウォールの解除が必要です。
  詳細は、「Windows ファイアウォール」を参照してください。
- VM-10 の生産終了後に生産された機体は未対応。

10.1. 履歴

カラーベリファイの履歴を表示します。



番号	名称	内容
1	プリンタ情報	プリンタ情報を表示します。 ※詳細は、「プリンタ情報」を参照してください。
2	履歴一覧	カラーベリファイの履歴一覧を表示します。 ※詳細は、「履歴一覧」を参照してください。
3	詳細情報	カラーベリファイの詳細情報を表示します。 ※詳細は、「詳細情報」を参照してください。

10.1.1. プリンタ情報

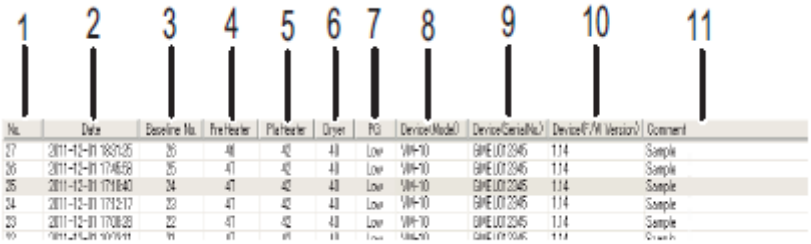
プリンタ情報を表示します。



番号	名称	内容
1	機種名	機種名を表示します。
2	プリンタシリアル番号	プリンタのシリアル番号を表示します。
3	ユーザー定義	プリンタで設定しているユーザー定義名を表示します。
4	情報取得	最新のプリンタ情報を取得します。
5	初期化	履歴情報を初期化します。
6	終了	カラーベリファイを終了します。

10.1.2. 履歴一覧

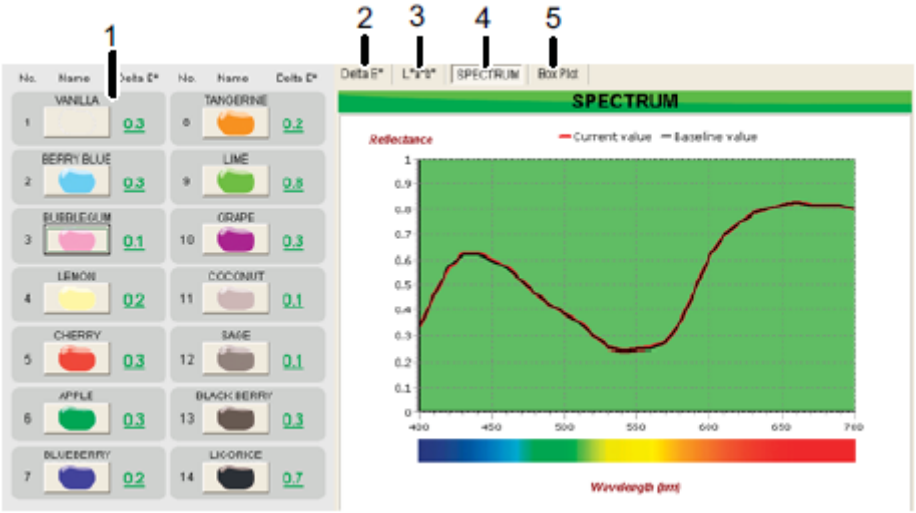
これまでのカラーベリファイ履歴を一覧表示します。



番号	名称	内容
1	No.	カラーベリファイのデータNo.を表示します。
2	Date	カラーベリファイを行った日時を表示します。
3	Baseline No.	基準値No.を表示します。 ※基準値指定がなかった場合は、「-」となります。
4	PreHeater	カラーベリファイを行った時の、プリヒーター温度設定を表示します。
5	PlaHeater	カラーベリファイを行った時の、プラテンヒーター温度設定を表示します。
6	Dryer	カラーベリファイを行った時の、アフターヒーター温度設定を表示します。
7	PG	カラーベリファイを行った時の、ヘッド高さ設定を表示します。
8	Device(Model)	測色器名を表示します。
9	Device(SerialNo.)	測色器のシリアル番号を表示します。
10	Device(F/W Version)	測色器のF/W バージョンを表示します。
11	Comment	カラーベリファイを行った時の、コメントを表示します。

10.1.3. 詳細情報

カラーベリファイの詳細情報を表示します。



番号	名称	内容
1	Delta E*	Delta E*情報を表示します。 ※詳細は、「10.1.3.1Delta E*」を参照してください。
2	Delta E* グラフ	Delta E*グラフを表示します。 ※詳細は、「10.1.3.2Delta E*グラフ」を参照してください。
3	L*a*b* グラフ	L*a*b*グラフを表示します。 ※詳細は、「10.1.3.3L*a*b*グラフ」を参照してください。
4	SPECTRUM グラフ	SPECTRUMグラフを表示します。 ※詳細は、「10.1.3.4SPECTRUMグラフ」を参照してください。
5	箱ひげ図	箱ひげ図を表示します。 ※詳細は、「10.1.3.5箱ひげ図」を参照してください。

10.1.3.1. Delta E*

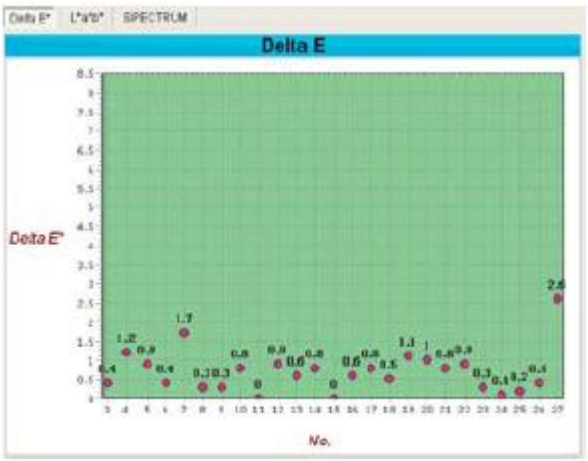
各パッチの Delta E*情報を表示します。



番号	名称	内容
1	No.	パッチ番号を表示します。
2	パッチ名	パッチ名を表示します。 また、パッチボタンをクリックすると、各グラフに反映され、グラフ表示されます。
3	Delta E*	パッチのDelta E*情報を表示します。

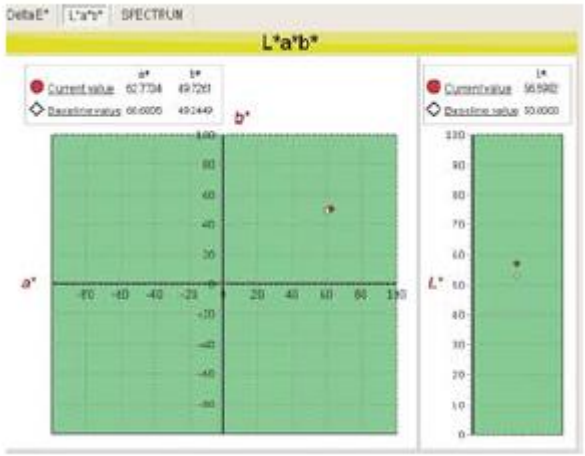
10.1.3.2. Delta E*グラフ

直近 25 回分の Delta E*情報をグラフ表示します。



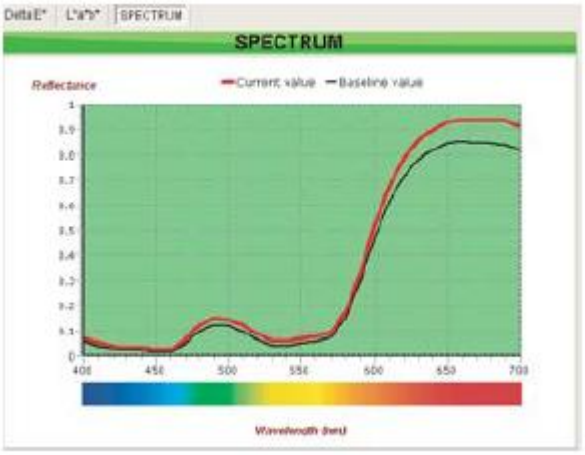
10.1.3.3. L*a*b*グラフ

選択したパッチの L*a*b*情報をグラフ表示します。



10.1.3.4. SPECTRUM グラフ

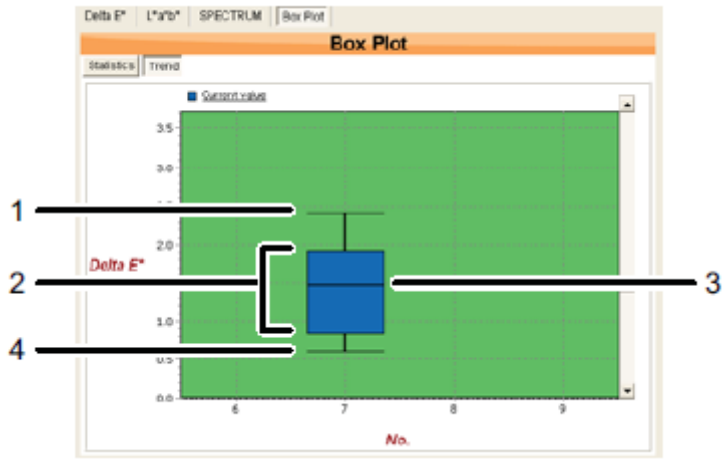
選択したパッチの SPECTRUM 情報をグラフ表示します。



10.1.3.5. 箱ひげ図

箱ひげ図は、データの分布を分かりやすく表現するためのグラフです。

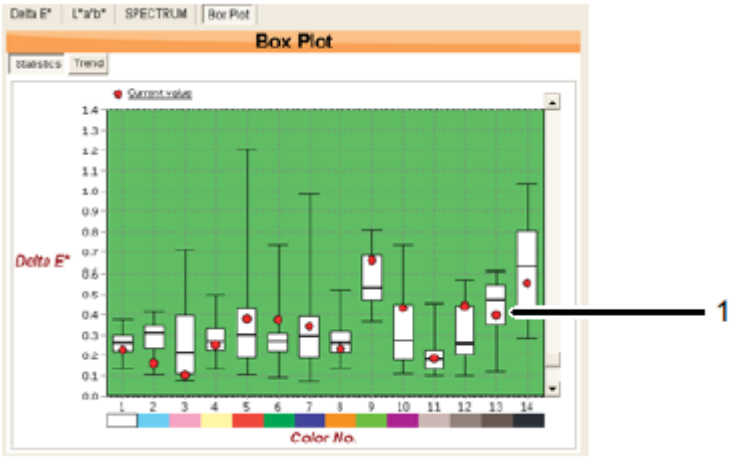
一般に、箱ひげ図は以下の特徴を持っています。



番号	名称	内容
1	最大値	データの最大値を示しています。
2	箱	箱の範囲内に、データの半分が分布しています。
3	中央値	データを小さい順に並べたときの、真ん中の値。
4	最小値	データの最小値を示しています。

(1) カラー別統計

測定した Delta E*値の統計情報を、カラー別に表示します。



番号	名称	内容
1	測定値	リストで選択した測定値を表示します。

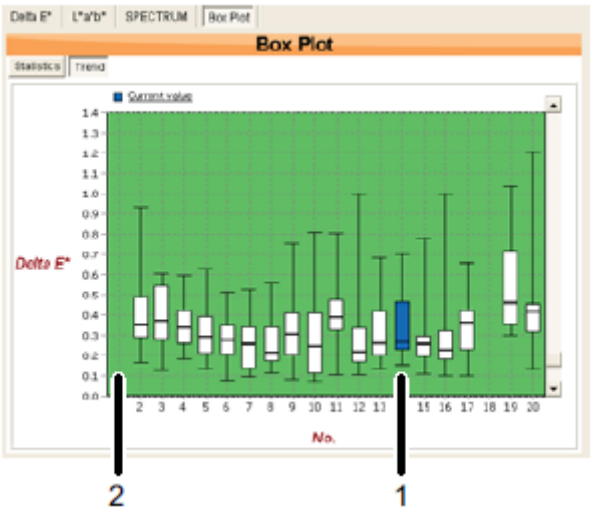
注 記

- 測定値が箱の中に入っている場合、過去の測定値との比較から、安定している色ということが分かります。
- 測定値が箱の上にある場合、今までとは色が異なる傾向にあります。合否は Delta E*値で判断してください。
- 測定値が箱の下にある場合、ベースラインに近い値なので問題ありません。
- 図を表示するには、同じベースラインでの測定が 3 回以上必要です。

(2) 傾向

測定ごとのデータ分布を比較します。

箱の位置および大きさの変動から、色再現性の傾向を読み取ることができます。



番号	名称	内容
1	測定値	リストで選択した測定値を表示します。箱の色が変わります。
2	ベースライン	箱は表示されません。

注 記

- 何色か Delta E*値が大きかったが、箱はそれほど動いていない場合:
  メディアの浮きやゴミの付着等で正常に測定できなかった可能性があります。再測定してください。
- Delta E*値は許容範囲内だが、箱の位置が大きく上に移動した場合:
  環境や設定が異なる可能性があります。または、メディアの特性が変わった(メディアの色やドットゲインが異なっている)可能性があります。
- 図を表示するには、同じベースラインでの測定が 2 回以上必要です。

10.2. カラーベリファイ

実際にカラーベリファイを行います。

カラーベリファイを行う場合は、注記を参照の上、手順に従って行って下さい。

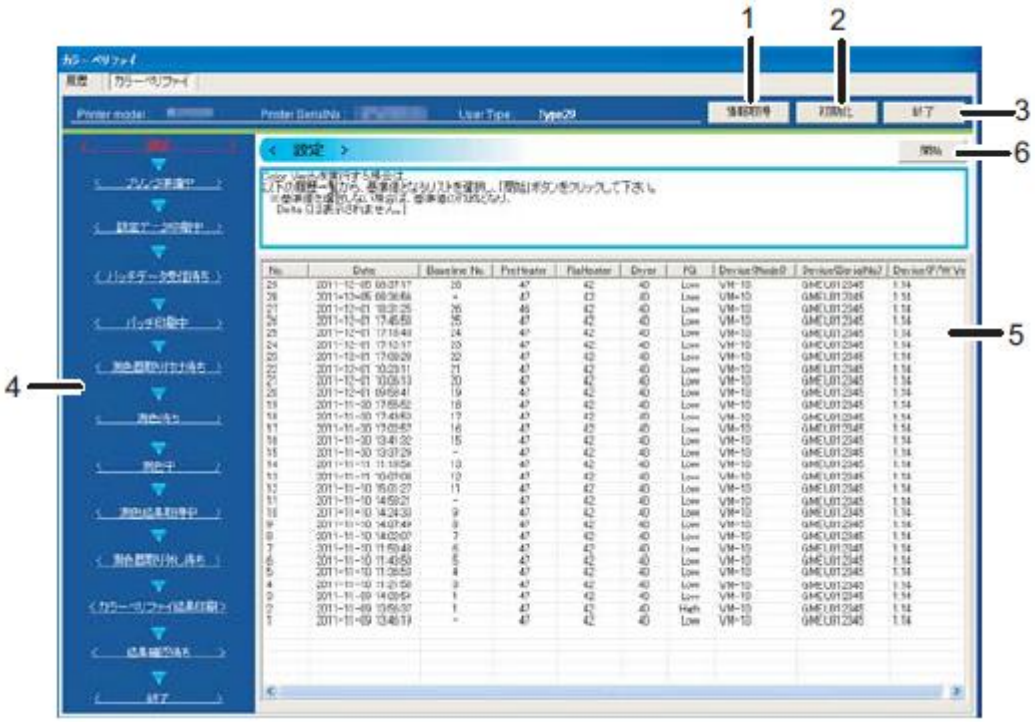
注 記

- 本機能の実行には、オプションの測色器が必要です。
- 本機能の実行には、インクや用紙の残りが十分であることを確認し、プリンタのパネルや、MSM の指示に従ってください。
- カラーベリファイ中にエラーが発生すると、続行できない場合があります。
  その場合は、はじめからやり直してください。
- プリンタが動作中の場合は、カラーベリファイは実行されません。プリンタのパネルに「作画できます」であることを確認してください。
- 本機能は、印刷環境における様々な要因によって起こりうる色再現性の変動を簡単な操作で点検し工程管理に役立てるための機能です
  それ自体は、プリンタの色再現性や再現の正確さを保証するものではなく、また、適切なカラーワークフローを不要にするものでもありません。

10.2.1. 設定

カラーベリファイを実行する場合は、履歴一覧から、基準値となるリストを選択し、「開始」ボタンをクリックして下さい。

基準値を選択しない場合は、基準値の作成となり、Delta E は表示されません。

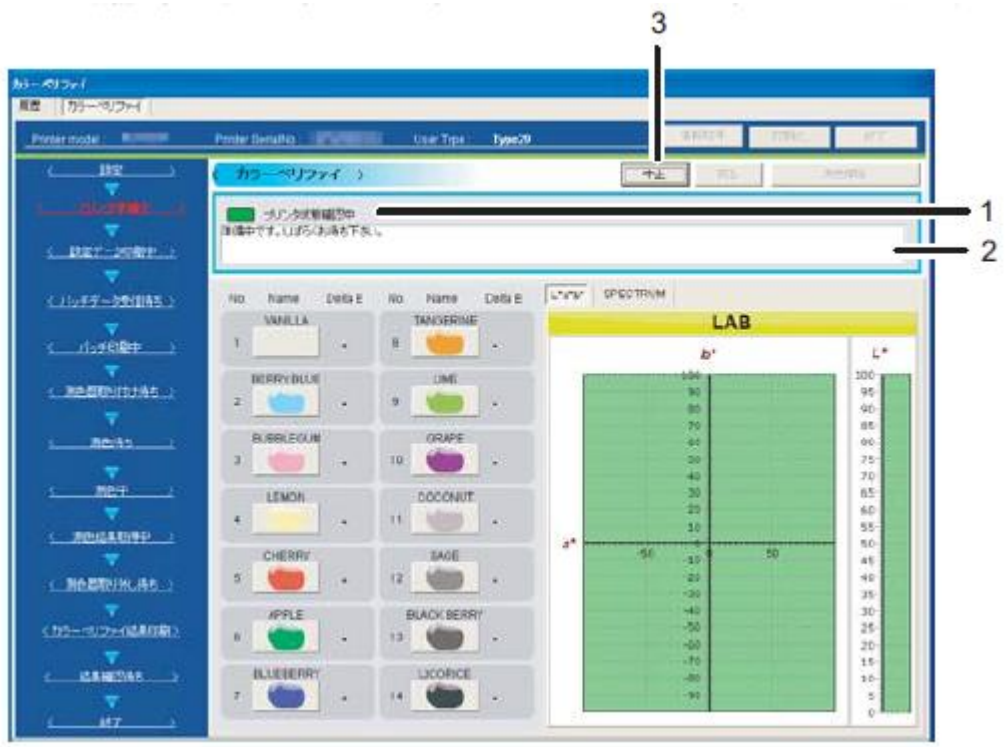


番号	名称	内容
1	情報取得	最新のプリンタ情報を取得します。
2	初期化	履歴情報を初期化します。
3	終了	カラーベリファイを終了します。
4	カラーベリファイ進行状況	カラーベリファイの進行状況を表示します。 現在の進行状況が赤文字で表示されている項目となります。
5	履歴一覧	今までのカラーベリファイの履歴一覧が表示されます。 カラーベリファイを実行する場合は、基準値となるリストを選択して下さい。
6	開始	基準値を選択し、カラーベリファイを開始します。

10.2.2. プリンタ準備中

プリンタがカラーベリファイを実行する準備を行っています。

プリンタの準備が完了すると、自動的に次の項目へ進みますので、しばらくお待ち下さい。



番号	名称	内容
1	カラーベリファイ進行状況	カラーベリファイの進行状況を表示します。
2	詳細	進行状況に応じて、詳細情報が表示されます。
3	中止	カラーベリファイを途中で中止する場合クリックしてください。 途中で中止した場合は、履歴として残りません。 ※詳細は、「10.2.14中止」を参照してください。

注 記

- プリンタが動作中の場合は、カラーベリファイは実行されません。

10.2.3. 設定データ印刷中

プリンタが設定データを印刷しています。

印刷が完了すると、自動的に次の項目へ進みますので、しばらくお待ちください。

10.2.4. パッチデータ受信待ち

プリンタがパッチデータの受信待ちとなります。

MSM よりパッチデータが自動的に印刷されますので、しばらくお待ちください。

10.2.5. パッチ印刷中

プリンタがパッチデータを印刷しています。

印刷が完了すると、自動的に次の項目へ進みますので、しばらくお待ちください。

10.2.6. 測色器取り付け待ち

パッチデータの印刷が完了したら、プリンタのパネルに従って、測色器をプリンタへ取り付けてください。

10.2.7. 測色待ち

プリンタへ測色器を取り付け準備が完了すると、プリンタは測色待ち状態となります。

パネルの確定キーを押すか、MSM の「測色開始」ボタンをクリックすると、測色が開始されます。



10.2.8. 測色中

プリンタがパッチを測色しています。

完了すると、自動的に次の項目へ進みますので、しばらくお待ちください。

10.2.9. 測色結果取得中

測色が終了すると、測色結果をプリンタより取得します。

完了すると、自動的に次の項目へ進みますので、しばらくお待ちください。

10.2.10. 測色器取り外し待ち

プリンタより測色結果を取得すると、MSM に結果が表示されます。

また、プリンタのパネルに従って、測色器をプリンタから取り外してください。



10.2.11. カラーベリファイ結果印刷中

プリンタがカラーベリファイ結果を印刷しています。

印刷が完了すると、自動的に次の項目へ進みますので、しばらくお待ちください。

10.2.12. 結果確認待ち

カラーベリファイ結果の印刷を確認し、パネルの確定キーを押してください。



10.2.13. 終了

カラーベリファイ結果を履歴に残す場合は、コメントを入力し「保存」ボタンをクリックしてください。また、結果を残さない場合は、「終了」ボタンをクリックしてください。

「保存」/「終了」ボタンをクリックすると、カラーベリファイは終了となります。



番号	名称	内容
1	保存	カラーベリファイ結果を履歴に保存する場合は、クリックしてください。 ※保存する場合は、コメントを入力してください。
2	終了	カラーベリファイ結果を履歴に保存しない場合は、クリックしてください。
3	コメント	カラーベリファイ結果を履歴に保存する場合は、コメントを入力してください。

10.2.14. 中止

カラーベリファイを途中で中止します。中止した場合は、履歴に残りません。



番号	名称	内容
1	戻る	設定画面に戻ります。

10.2.15. Windows ファイアウォール

カラーベリファイ機能では、Windows の「ファイル転送プログラム（ftp.exe）」を使用するため、ファイアウォールの警告が表示された場合は、ブロックを解除してください。

ブロックを解除しない場合は、パッチデータが印刷されません。



11. VSM Mobile

スマートフォン等の携帯情報端末用アプリケーション「VSM Mobile」を使用する場合は、MSM を経由しプリンタ情報を取得するため、MSM に使用する携帯情報端末を登録する必要があります。

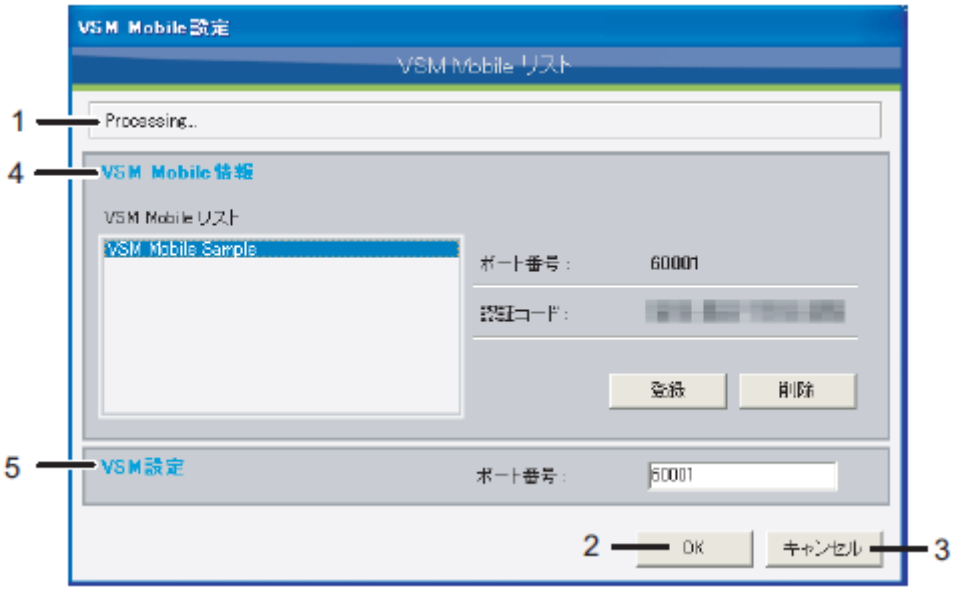


注 記

- 携帯情報端末用アプリケーション「VSM Mobile」は、Android マーケットから無料でダウンロードできます。
- Android マーケットへの接続通信料はお客様の負担となります。
- 携帯情報端末と MSM を通信させるには、Wi-Fi 接続が必要です。
- 携帯情報端末と MSM を通信させるには、特定のポートを使用するため、Windows ファイアウォールや、セキュリティソフトの設定変更が必要な場合は、ネットワーク管理者へご確認ください。

11.1. VSM Mobile 設定

VSM Mobile を使用している、携帯情報端末の情報確認や、携帯情報端末を登録することができます。



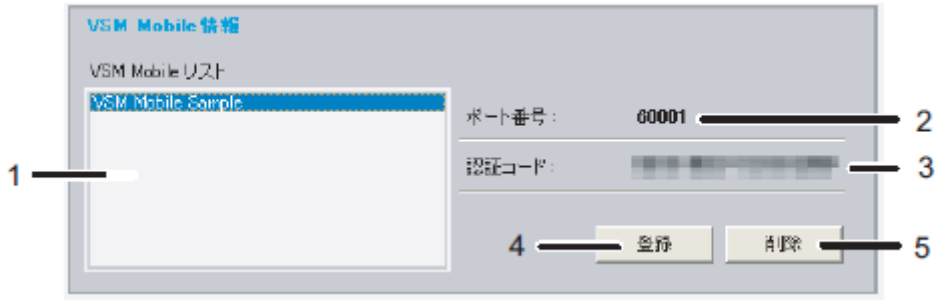
番号	名称	内容
1	状態	VSM Mobileの接続状態を表示します。
2	OK	登録情報などを保存し、VSM Mobile設定を終了します。
3	キャンセル	登録情報などを保存せずに、VSM Mobile設定を終了します。
4	VSM Mobile情報	VSM Mobileを確認することができます。 詳細は、「11.1.1VSM Mobile情報」を参照してください。
5	MSM設定	VSM Mobileと連携するために必要な、MSM設定を行います。 詳細は、「11.1.2MSM設定」を参照してください。

注 記

- VSM Mobile の接続を有効にする場合は、「VSM Mobile 監視」機能を有効にしてください。詳細は、「5.1 設定」を参照してください。
- VSM Mobile は MSM よりプリンタ情報を取得するため、MSM がプリンタ情報を取得している必要があります。

11.1.1. VSM Mobile 情報

MSM に登録してある VSM Mobile 情報の確認や、VSM Mobile の登録/削除することができます。



番号	名称	内容
1	VSM Mobileリスト	MSMに登録されているVSM Mobileを表示します。
2	ポート番号	VSM Mobile登録時に登録した接続ポート番号を表示します。
3	認証コード	VSM Mobile登録時に登録した認証コードを表示します。
4	登録	新規のVSM Mobileを登録する場合に選択してください。 ※詳細は、「11.1.1.1登録」を参照してください。
5	削除	登録済みのVSM Mobileを削除することができます。 不必要になった、VSM Mobileをリストから選択し削除します。 ※VSM Mobileを削除した場合は、VSM Mobileと通信できなくなりますのでご注意ください。 再度通信を行う場合は、再登録してください。

11.1.1.1. 登録

新規の VSM Mobile を MSM に登録することができます。

登録は以下の手順で行ってください。

番号	名称	対象アプリ	内容
(1)	VSM Mobile同期	MSM	MSMがVSM Mobileとの同期待ち状態となります。
(2)	VSM Mobile登録情報の 入力/登録	VSM Mobile	MSMで表示されている入力情報を基に、 VSM Mobileに入力情報を入力し登録します。
(3)	VSM Mobileの登録	MSM	MSMとVSM Mobileが正常に同期されると、 MSMにVSM Mobileを登録することができます。

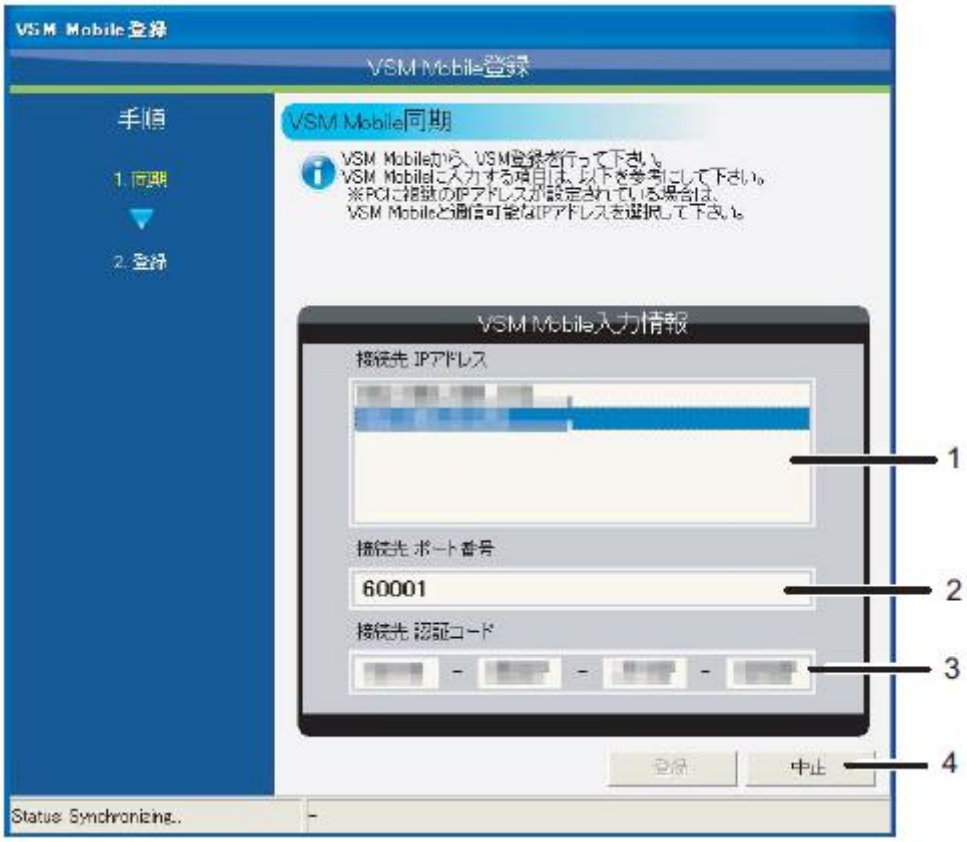
注 記

- MSM に VSM Mobile を登録する場合は、お手持ちの携帯情報端末に VSM Mobile を、Android マーケットからダウンロードしインストールしてください。

（１） VSM Mobile 同期

登録ボタンを選択すると、VSM Mobile 登録用画面が表示されます。

MSM は同期待ち状態となり、VSM Mobile からの接続を待ちます。



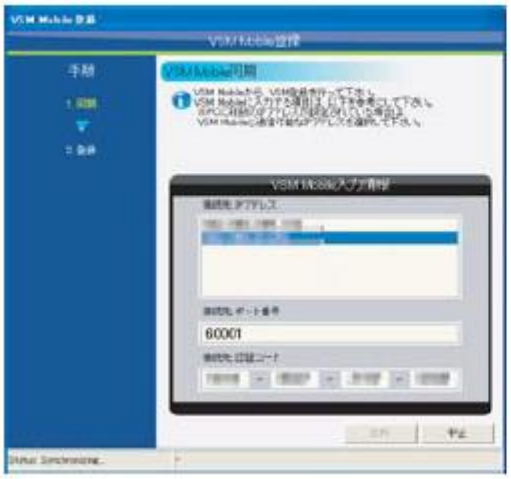
番号	名称	内容
1	接続先　IPアドレス	MSMがインストールされているPCのIPアドレス一覧が表示されます。 ※PCに複数のIPアドレスが設定させている場合は、 VSM Mobileと通信可能なIPアドレスを選択してください。
2	接続先　ポート番号	MSMとVSM Mobileが接続に使用するポート番号が表示されます。
3	接続先　認証コード	VSM Mobileを識別するための、認証コードが表示されます。
4	中止	VSM Mobile登録を中止します。

（２） VSM Mobile 登録情報の入力/登録

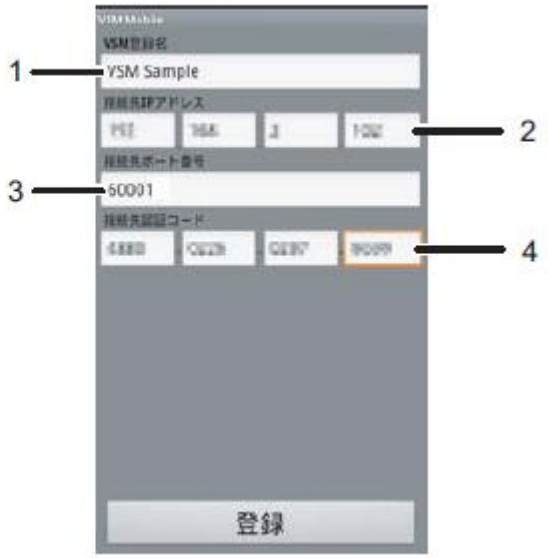
VSM Mobile から MSM の登録を行い、同期待ちの MSM と接続確認を行います。

MSM の VSM Mobile 入力情報を参考に、各情報を入力してください。

MSM



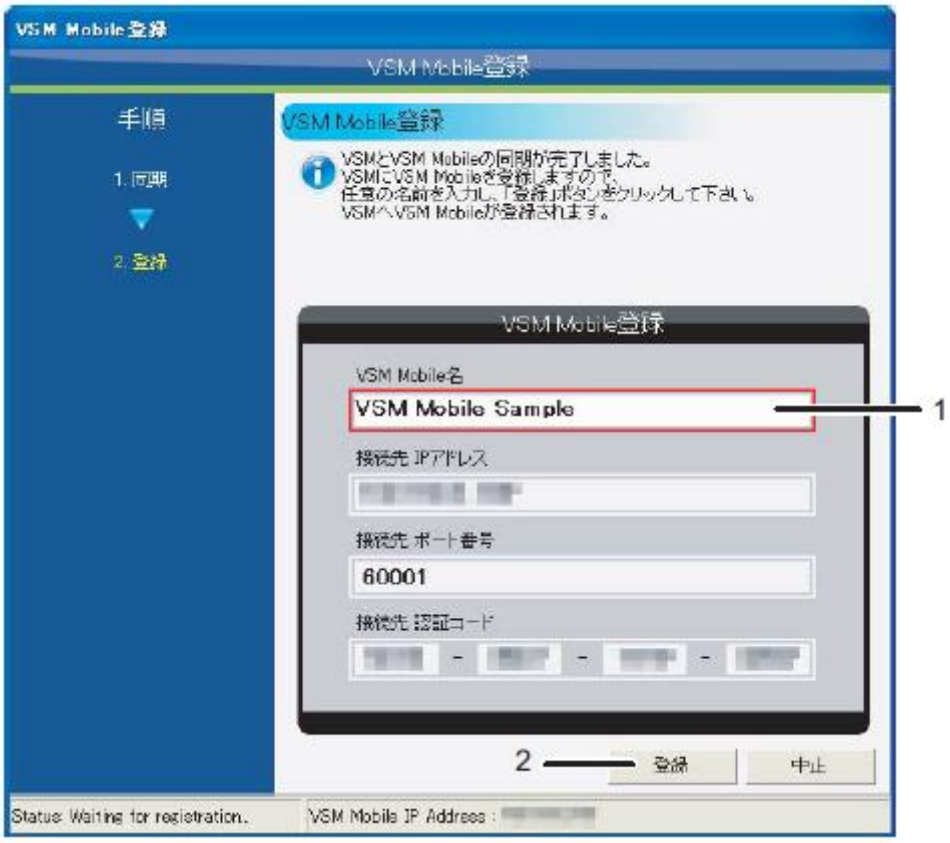
VSM Mobile



番号	名称	内容
1	MSM登録名	登録するMSMの任意名を入力してください。
2	接続先　IPアドレス	MSMがインストールさせているPCのIPアドレスを入力します。 ※PCに複数のIPアドレスが設定させている場合は、 VSM Mobileと通信可能なIPアドレスを入力してください。
3	接続先 ポート番号	MSMとVSM Mobileが接続に使用するポート番号を入力します。
4	接続先 認証コード	VSM Mobileを識別するための、認証コードを入力します。

（３） VSM Mobileの登録

MSMとVSM Mobileが正常に同期されると、MSMにVSM Mobileを登録することができます。



番号	名称	内容
1	VSM Mobile名	登録するVSM Mobileの任意名を入力してください。
2	登録	VSM Mobile名を入力し、同一名がなければ登録することができます。

11.1.2. MSM 設定

MSM と VSM Mobile が接続するポートを設定します。



番号	名称	内容
1	ポート番号	MSMとVSM Mobileが接続に使用するポート番号を入力します。

注 記

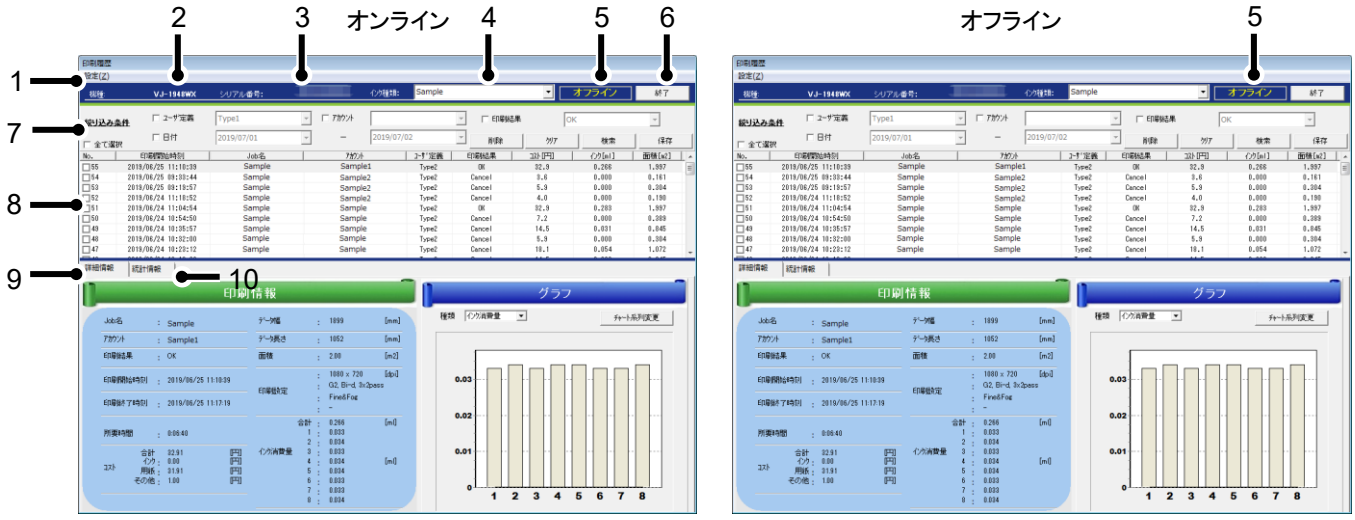
- 他のアプリケーション等とポート番号が競合した場合は、任意のポート番号に変更してください。変更する場合は、ネットワーク管理者へご確認ください。
- ポート番号を変更した場合、変更前に登録した VSM Mobile のポート番号も変更してください。

12. 印刷履歴

プリンタが保持している印刷履歴情報を MSM が取得し、印刷履歴として管理する機能です。

主な機能:

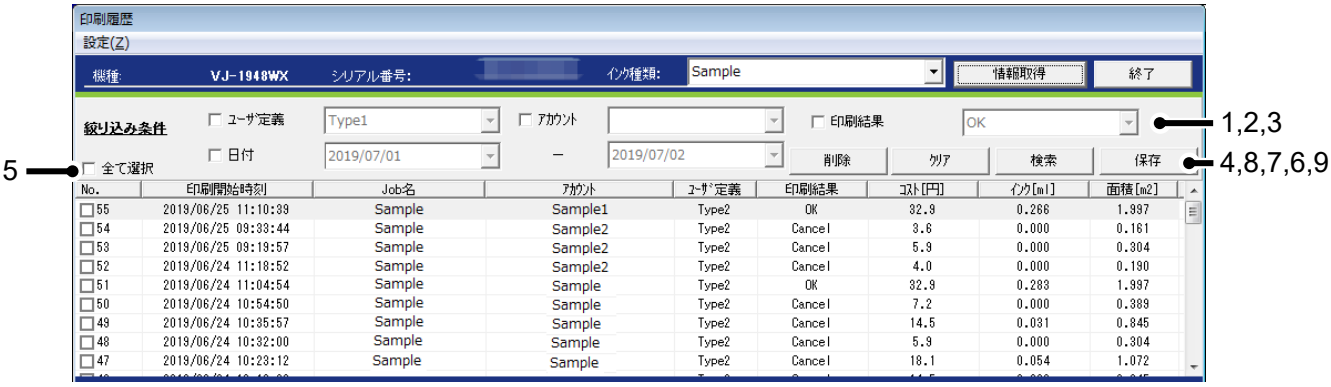
・印刷履歴の閲覧 ・統計情報 ・コスト情報



番号	名称	内容
1	設定	印刷履歴の設定を行います。 詳細は、「12.5設定」を参照してください。
2	機種	現在選択されているプリンタの機種名を表示します。
3	シリアル番号	現在選択されているプリンタのシリアル番号を表示します。
4	インク種類	コスト設定で追加したインク種類一覧から、 現在使用しているインクを選択してください。
5	情報取得ボタン	プリンタから最新の印刷履歴を取得します。 プリンタがオンライの場合のみ使用可能です。
6	終了ボタン	印刷履歴を終了します。
7	絞り込み条件	印刷履歴の絞り込み条件を設定します。 詳細は、「12.1絞り込み条件」を参照してください。
8	印刷履歴一覧	プリンタから取得した、印刷履歴の一覧を表示します。 詳細は、「12.2印刷履歴一覧」を参照してください。
9	詳細情報	選択した印刷履歴の詳細情報を表示します。 詳細は、「12.3詳細情報」を参照してください。
10	統計情報	印刷履歴の統計情報を表示します。 詳細は、「12.4統計情報」を参照してください。

12.1. 絞り込み条件

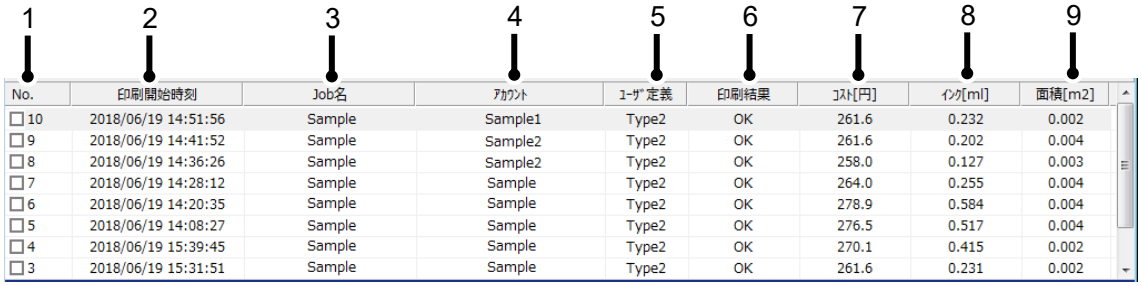
絞り込み条件を設定することで、表示するデータを絞り込むことができます。



番号	名称	内容
1	ユーザ定義	印刷時のユーザ定義を選択します。
2	アカウント	印刷時のアカウントを選択します。
3	印刷結果	印刷時の印刷結果を選択します。 OK : 印刷が成功した場合 Cancel : 印刷が途中で中断した場合
4	日付	印刷を行った日付(印刷開始時刻)を選択します。
5	全て選択	印刷履歴の削除を行う場合、全て選択することができます。
6	検索	絞り込み条件で選択された条件に一致する履歴を表示します。
7	クリア	絞り込み条件を初期化し、全ての印刷履歴を表示します。
8	削除	選択した印刷履歴を削除します。 1度削除した印刷履歴は復帰できません。
9	保存	リストアップされている印刷履歴をcsvファイルに保存します。 詳細は「12.8 保存」を参照

12.2. 印刷履歴一覧

プリンタから取得した印刷履歴の一覧を表示します。



No.	印刷開始時刻	Job名	ｱｶｳﾝﾄ	ﾕｰｻﾞｰ定義	印刷結果	ｺｽﾄ[円]	ｲﾝｸ[ml]	面積[m2]
10	2018/06/19 14:51:56	Sample	Sample1	Type2	OK	261.6	0.232	0.002
9	2018/06/19 14:41:52	Sample	Sample2	Type2	OK	261.6	0.202	0.004
8	2018/06/19 14:36:26	Sample	Sample2	Type2	OK	258.0	0.127	0.003
7	2018/06/19 14:28:12	Sample	Sample	Type2	OK	264.0	0.255	0.004
6	2018/06/19 14:20:35	Sample	Sample	Type2	OK	278.9	0.584	0.004
5	2018/06/19 14:08:27	Sample	Sample	Type2	OK	276.5	0.517	0.004
4	2018/06/19 15:39:45	Sample	Sample	Type2	OK	270.1	0.415	0.002
3	2018/06/19 15:31:51	Sample	Sample	Type2	OK	261.6	0.231	0.002

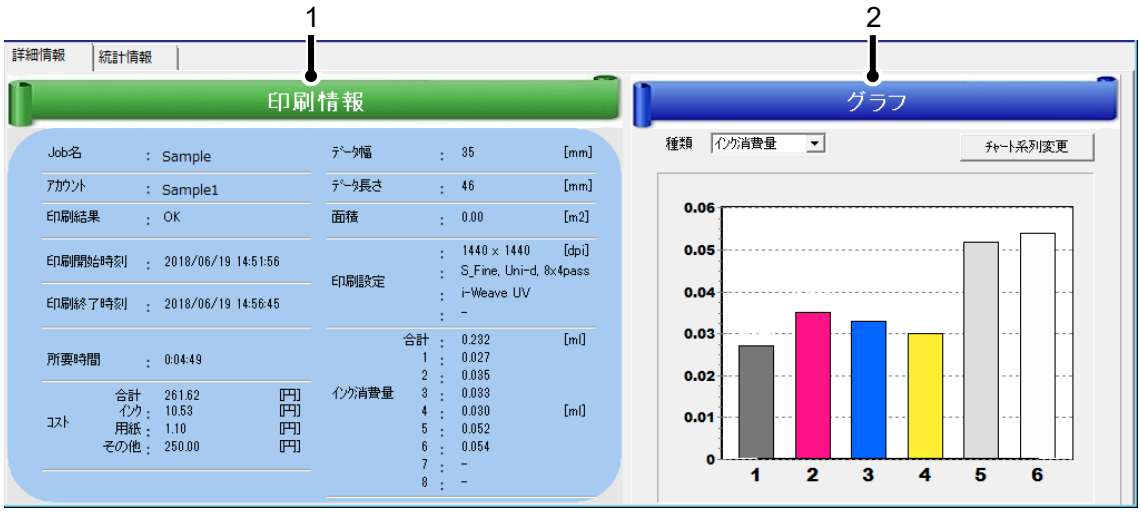
番号	名称	内容
1	Job No.	JobNo.を表示します
2	印刷開始時刻	印刷開始時刻を表示します。
3	Job名	Job名を表示します。 データにJob名情報が含まれていない場合は表示されません。
4	アカウント	印刷を行ったアカウントが表示されます。 データにアカウント情報が含まれていない場合は表示されません。
5	ユーザ定義	印刷時に設定されていた、ユーザ定義を表示します。
6	印刷結果	印刷結果を表示します。 OK : 印刷が成功した場合 Cancel : 印刷が途中で中断した場合
7	コスト	コスト設定を行っている場合は、印刷コストを表示します。
8	インク ※1	印刷に使用した、インク消費量を表示します。
9	面積	印刷データの面積を表示します。

注 記

- ※1 インク消費量は、同じ印刷データであっても、作画モードや印刷状況により、変動する場合がります。
- プリンタの初期化を行うと、プリンタの印刷データが初期化される場合があるため、MSM で印刷情報が取得出来ない場合がありますのでご注意ください。

12.3. 詳細情報

選択した印刷履歴の詳細情報を表示します。



番号	名称	内容
1	印刷情報	印刷時の詳細情報を表示します。
2	グラフ	印刷情報をグラフ表示します。 ・インク消費量 ・コスト

12.3.1. 印刷情報

印刷時の詳細情報を表示します。



番号	名称	内容
1	Job名	Job名を表示します。 データにJob名情報が含まれていない場合は表示されません。
2	アカウント	印刷を行ったアカウントが表示されます。 データにアカウント情報が含まれていない場合は表示されません。
3	印刷結果	印刷結果を表示します。 OK : 印刷が成功した場合 Cancel : 印刷が途中で中断した場合
4	印刷開始時刻	印刷開始時刻を表示します。
5	印刷終了時刻	印刷終了時刻を表示します。
6	所要時間	印刷にかかった時間を表示します。
7	コスト	コスト設定を行っている場合は、各種印刷コストを表示します。
8	データ幅	印刷データの幅を表示します。
9	データ長さ	印刷データの長さを表示します。
10	面積	印刷データの面積を表示します。
11	印刷設定	印刷を行った時の、各種設定を表示します。 ・解像度 ・作画モード ・作画方向 ・パス数 ・エフェクト
12	インク消費量 ※1	印刷に使用した、インク消費量を表示します。

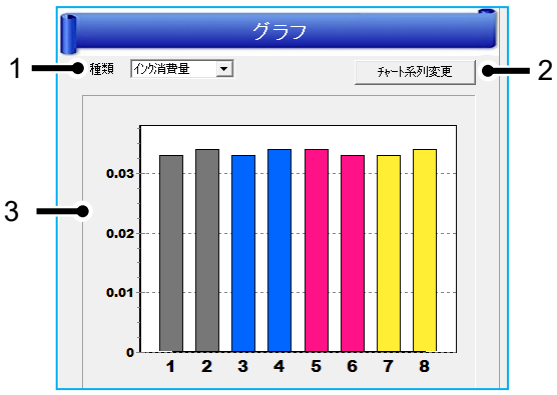
注 記

- ※1 インク消費量は、同じ印刷データであっても、作画モードや印刷状況により、変動する場合がります。

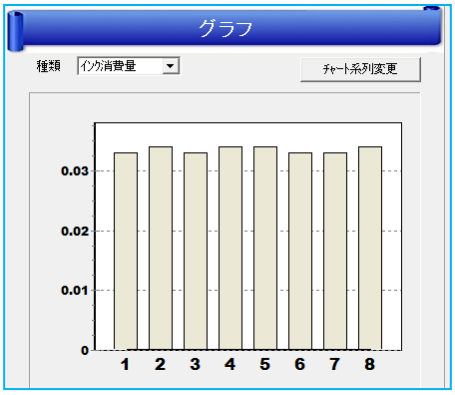
12.3.2. グラフ

印刷情報をグラフ表示します。

オンライン



オフライン



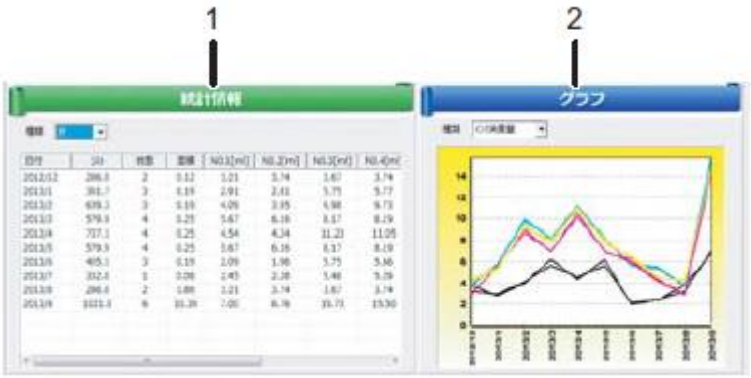
番号	名称	内容
1	種類	グラフ表示する項目を選択します。 ・インク消費量 ・コスト
2	チャート系列変更	グラフの種類を変更します。 ・棒グラフ ・円グラフ
3	グラフ ※1	指定した情報をグラフ表示します。

注 記

- ※1 プリンタがオフラインの場合は、プリンタの色情報が取得できないため、「カスタム色」が表示されます。

12.4. 統計情報

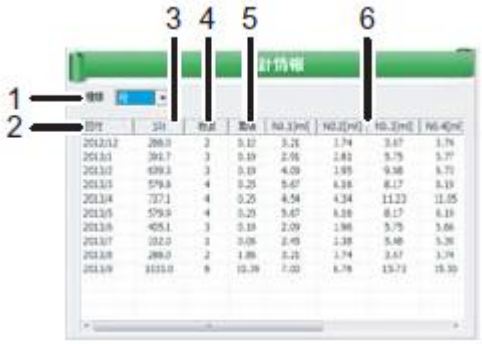
印刷履歴の統計情報を表示します。



番号	名称	内容
1	統計情報	印刷履歴の統計情報を表示します。
2	グラフ	統計情報をグラフ表示します。 ・コスト ・印刷枚数 ・面積 ・インク消費量

12.4.1. 統計情報

印刷履歴の統計情報を表示します。



番号	名称	内容
1	種類	統計情報の種類を選択します。 ・日 ・月 ・年
2	日付	選択した種類毎の日付を表示します。 例） 1. 種類:月 日付: ・2013/9 ・2013/8 ・2013/8 2. 種類:日 日付: ・2013/9/12 ・2013/9/10 ・2013/9/8
3	コスト	選択した種類毎のコストを表示します。
4	枚数	選択した種類毎の枚数を表示します。
5	面積	選択した種類毎の面積を表示します。
6	インク消費量	選択した種類毎のインク消費量をスロット毎に表示します。

12.4.2. グラフ

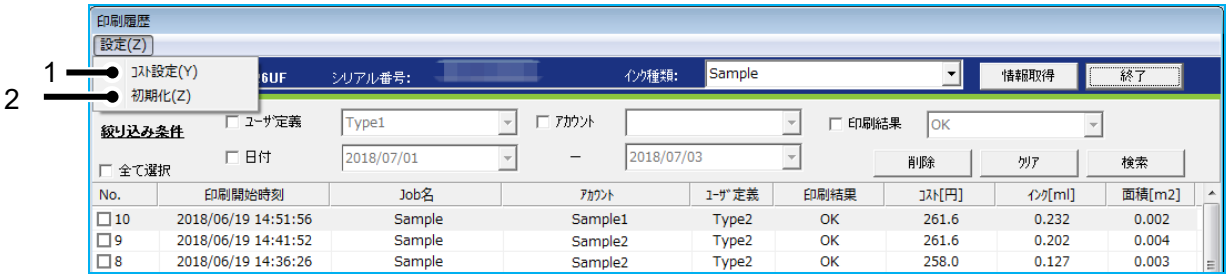
統計情報をグラフ表示します。



番号	名称	内容
1	種類	グラフ表示する項目を選択します。 ・コスト ・印刷枚数 ・面積 ・インク消費量
2	グラフ	指定した情報をグラフ表示します。

12.5. 設定

印刷履歴の各種設定を行います。



番号	名称	内容
1	コスト設定	印刷履歴で使用する、コスト設定を行います。 詳細は、「12.6コスト設定」を参照してください。
2	初期化	印刷履歴を初期化します。 詳細は、「12.7初期化」を参照してください。

12.6. コスト設定

印刷履歴で使用するコスト設定を行います。



番号	名称	内容
1	インク	インクのコスト設定を行います。
2	用紙	用紙のコスト設定を行います。
3	その他	その他のコスト設定を行います。

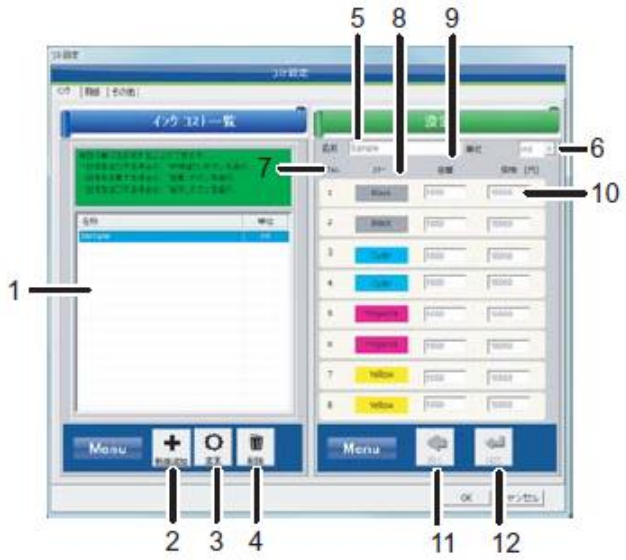
注 記

- 算出されるコスト情報には多少の誤差がありますので、コスト情報は目安としてご利用ください。

12.6.1. インク

印刷履歴で使用する、インクのコスト設定を行います。

ご使用インクのコスト情報を設定しておくと、印刷毎にインク消費量からコストを算出します。

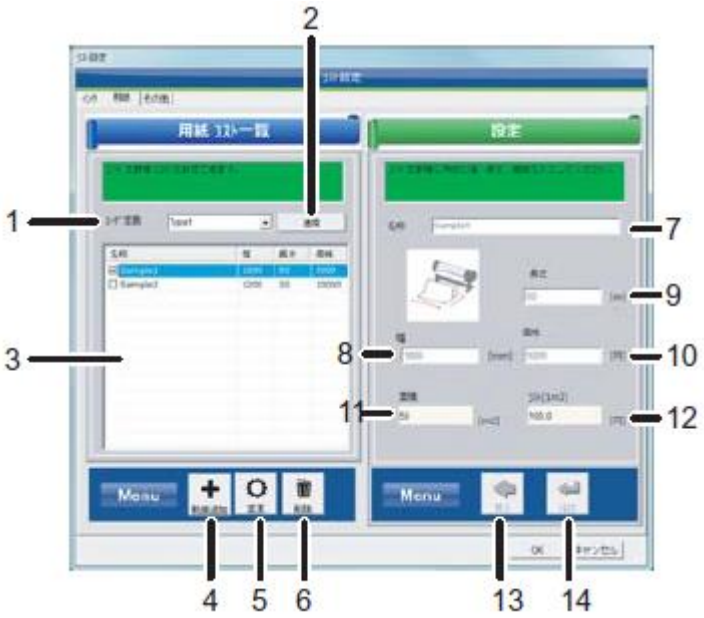


番号	名称	内容
1	インクコスト一覧	登録したコストを一覧で表示します。
2	新規追加ボタン	新規でコストを登録する場合に選択してください。
3	変更ボタン	登録済みのコストを変更する場合に選択してください。
4	削除ボタン	登録済みのコストを削除する場合に選択してください。
5	名称	登録するコストの名称を入力してください。 ※最大40文字まで入力可能 ※同名の保存はできません
6	単位	登録するコストの単位を選択してください。 ・ml / cc
7	No.	プリンタのインクスロット番号が表示されます。
8	カラー	プリンタにセットしているインク色を表示します。 ※プリンタの設定によっては、色が異なる場合があります ※プリンタがオフラインの場合は、プリンタの色情報が取得できないため、「カスタム色」が表示されます。
9	容量	プリンタにセットしているインク容量を入力してください。
10	価格	プリンタにセットしているインク価格を入力してください。
11	戻るボタン	コスト一覧に戻る場合に選択してください。
12	保存ボタン	コストを登録または変更する場合に選択してください。

12.6.2. 用紙

印刷履歴で使用する、用紙のコスト設定を行います。

ご使用用紙のコスト情報を設定しておくと、印刷毎に印刷面積からコストを算出します。

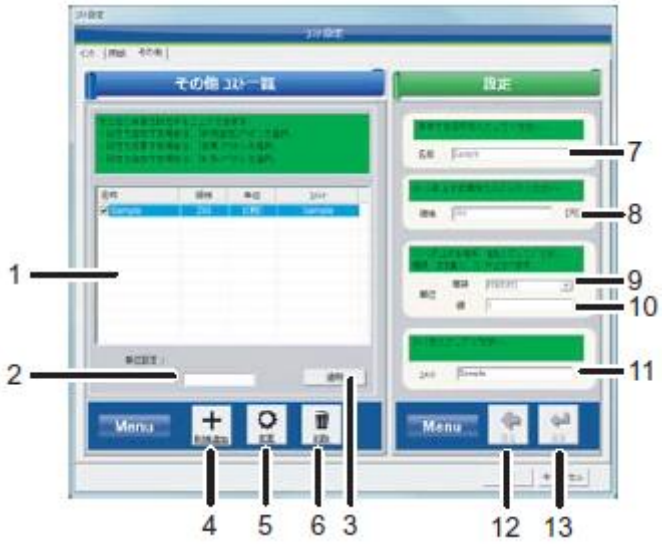


番号	名称	内容
1	ユーザ定義	ユーザ定義毎に、登録しているコストを選択できます。 コスト計算は、チェックをしたコストが反映されます。 ※選択できるコストはユーザ定義毎に1個です
2	適用ボタン	ユーザ定義毎に用紙コストを反映させる場合に選択してください。
3	用紙コスト一覧	登録したコストを一覧で表示します。
4	新規追加ボタン	新規でコストを登録する場合に選択してください。
5	変更ボタン	登録済みのコストを変更する場合に選択してください。
6	削除ボタン	登録済みのコストを削除する場合に選択してください。
7	名称	登録するコストの名称を入力してください。 ※最大40文字まで入力可能 ※同名の保存はできません
8	幅	登録する用紙の幅を入力してください。 単位：mm
9	長さ	登録する用紙の長さを入力してください。 単位：m
10	価格	登録する用紙の価格を入力してください。
11	面積	入力した用紙情報を元に、用紙の面積を表示します。
12	コスト	入力した用紙情報を元に、1m2当りのコストを表示します。
13	戻るボタン	コスト一覧に戻る場合に選択してください。
14	保存ボタン	コストを登録または変更する場合に選択してください。

12.6.3. その他

印刷履歴で使用する、その他のコスト設定を行います。

その他のコスト情報を設定しておくと、印刷毎に印刷面積からコストを算出します。



番号	名称	内容
1	その他コスト一覧	登録したコストを一覧で表示します。 コスト計算は、チェックをしたコストが反映されます。 ※コストは複数選択可能です
2	単位設定	コスト設定で使用する、通貨単位を任意で登録できます。
3	適用ボタン	コスト及び、単位設定を反映させる場合に選択してください。
4	新規追加ボタン	新規でその他コストを登録する場合に選択してください。
5	変更ボタン	登録済みのコストを変更する場合に選択してください。
6	削除ボタン	登録済みのコストを削除する場合に選択してください。
7	名称	登録するコストの名称を入力してください。 ※最大40文字まで入力可能 ※同名の保存はできません
8	価格	登録するコストの価格を入力してください。
9	単位(種類)	登録するコストの種類を入力してください。 選択した種類によって、コスト計上されます。 ・枚数[枚] ・面積[m2] ・長さ[m]
10	単位(値)	登録するコストの値を入力してください。 登録した値によって、コスト計上されます。
11	コメント	登録するコストのコメントを任意で入力してください。
12	戻るボタン	コスト一覧に戻る場合に選択してください。
13	保存ボタン	コストを登録または変更する場合に選択してください。

12.7. 初期化

印刷履歴を初期化します。初期化すると、取得した印刷履歴及び登録したコスト設定が全て削除されますので、初期化する場合はご注意ください。

12.8. 保存

リストアップされている印刷履歴をcsvファイルに保存します。
保存方法は、2種類あります。



番号	名称	内容
1	機種名	現在選択されているプリンタの機種名を表示します。
2	シリアル番号	現在選択されているプリンタのシリアル番号を表示します。
3	区切り文字設定 ※1	各区切り文字の設定を選択してください。 区切り文字: タブ ／ セミコロン ／〈カンマ〉 小数点文字:カンマ／〈ピリオド〉
4	保存設定	保存種類を選択してください。 手動 ／ 自動
5	OK	設定を保存する場合に選択してください。
6	キャンセル	設定をキャンセルする場合に選択してください。

注 記

- ※1 区切り文字と小数点は異なる設定を選択してください。

12.8.1. 手動

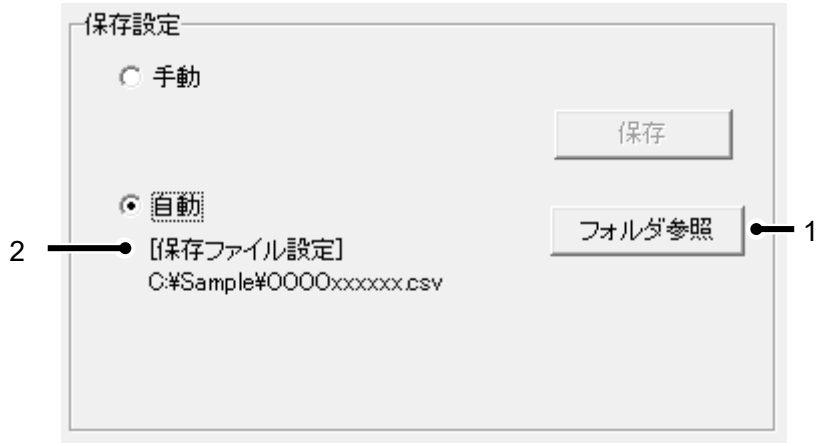
保存先を指定し、手動で保存します。



番号	名称	内容
1	保存	保存先を指定し、手動で保存します。

12.8.2. 自動

予め保存先を指定しておき、プリンタ情報取得時に自動で保存します。



番号	名称	内容
1	フォルダ参照	保存先を指定します。
2	保存ファイル設定	設定されている保存先を表示します。

13. リモートパネル

プリンタの設定を確認したり、テスト作画などを実行することができます。

機種によって機能が異なります。

13.1. VJ-628/628X/628MP/XPJ-C641SR-P の場合

13.1.1. リモートパネルメニュー

リモートパネルを使用するプリンタの情報や、リモートパネルの状態等を確認する。



番号	名称	内容
1	機種	現在選択されているプリンタの機種名を表示します。
2	シリアル番号	現在選択されているプリンタのシリアル番号を表示します。
3	Status	リモートパネルの状態を表示します。
4	リモートパネルモード(状況)	現在のリモートパネルモード(操作権限)の取得状況を表示します。 :リモートパネルモード オン :リモートパネルモード オフ
5	リモートパネルモードボタン	リモートパネルモードをオン/オフします。
6	変更	プリンタの設定を変更します。
7	情報取得ボタン	プリンタから最新のパネル設定を取得します。 ※取得する情報は、選択された画面の情報のみとなります。
8	終了ボタン	リモートパネルを終了します。

13.1.2. プリンタステータス

プリンタの状態を表示します。また、プリンタをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	ステータス情報	プリンタのステータス情報を表示します。 プリンタに重障害が発生した場合は、対策方法が表示されます。
2	ヒーター情報	プリンタのヒーター情報を確認、変更することができます。 ※ヒーター情報は、現在選択されているメディア種類となります。 また、プリンタがウォームアップ中の場合は、ウォームアップをキャンセルし、印刷を開始することができます。
3	インク情報	プリンタのインク残量を表示します。 S/Cリカバリーの詳細は、「7.7.2S/Cカードリカバリー」を参照
4	プリンタ制御	プリンタをリモート制御することが可能です。 ・印刷キャンセル ・用紙カット ・ノズルチェック
5	スリープモード	スリープモードのリモート制御が可能です。
6	廃液	廃液の状態を表示します。 また、廃液初期化のリモート制御が可能です。
7	自動プリンタ情報取得	プリンタ情報を自動で取得します。 On ： 有効 Off ： 無効 ※Windowsドライバからの起動要求だった場合、本機能は使用できません。
8	間隔	自動プリンタ情報取得を有効にした場合、プリンタ情報を自動取得する間隔を指定します。 設定値 <60[sec]> / 30[sec] / 10[sec] / 3[sec]
9	ステータスのみ	取得する情報を、プリンタステータスのみとし、取得時間を短縮します。 ※「自動プリンタ情報取得」が「On」状態で有効となります。

13.1.2.1.ヒーター情報

プリンタのヒーター情報を確認、変更することができます。

(1) XPJ-C641SR-P の場合



番号	名称	内容
1	ヒーター :温度設定	現在プリンタに設定されているメディアのヒーターの温度設定を確認、変更することができます。
2	ヒーター :温度状況	ヒーターの実温度を表示します。
3	ウォームアップキャンセル	プリンタがウォームアップ中の場合は、ウォームアップをキャンセルし、印刷を開始することができます。
4	クールダウンキャンセル	プリンタがクールダウン中の場合は、クールダウンをキャンセルし、輪郭カットを開始することができます。

(2) VJ-628/628X/628MP の場合



番号	名称	内容
1	ヒーター :温度設定	現在プリンタに設定されているメディアのヒーターの温度設定を確認、変更することができます。
2	ヒーター :温度状況	ヒーターの実温度を表示します。
3	ドライヤー : オートオフ ※1	ドライヤーのオートオフ設定をします。 設定値: <オン> /オフ
4	ウォームアップキャンセル	プリンタがウォームアップ中の場合は、ウォームアップをキャンセルし、印刷を開始することができます。

注 記

- ※1 VJ-628MP で有効になります。

13.1.2.2. スリープモード

スリープモードのリモート制御が可能です。



番号	名称	内容
1	実行 ※2	スリープモードの実行/停止を行います。
2	クリーニングタイマー ※3	スリープモード中のクリーニングタイマーを設定します。 設定値: VJ-628: <オフ> / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 9 / 12 / 18 / 24 [時間] VJ-628X: オフ/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 9 / 12 / 18 / < 24 [時間] > XPJ-C641SR-P: ※5 オフ/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 9 / 12 / 18 / 24 [時間]
3	クリーニング種類 ※4	スリープモード中のクリーニング種類を設定します。 設定値: 微量 / 通常 / 強力 / フラッシング
4	オートタイマー ※1	プリンタが待機中にスリープモードに自動で移行するタイマーを設定します。 設定値: 1 / 2 / < 3 > / 4 / 5 / 6 [時間]

注 記

- ※1 VJ-628X で White インク使用時に有効になります。
- ※2 VJ-628MP では、スリープモード実行前にデイリーメンテナンスを行う必要がるため、
  自動でデイリーメンテナンスへ移行します。
- ※3 VJ-628MP では無効となります。
- ※4 XPJ-C641SR-P で有効となります。
- ※5 設定したクリーニング種類に合わせて初期値が異なります。

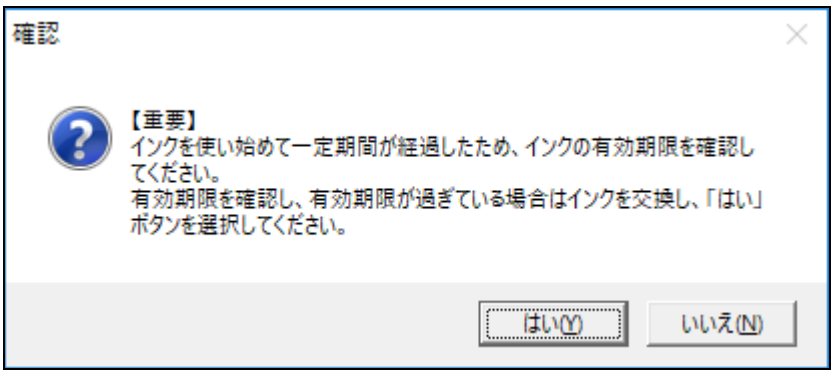
13.1.2.3. ステータス解除

プリンタが特定のステータス状態となった場合、解除することが可能です。

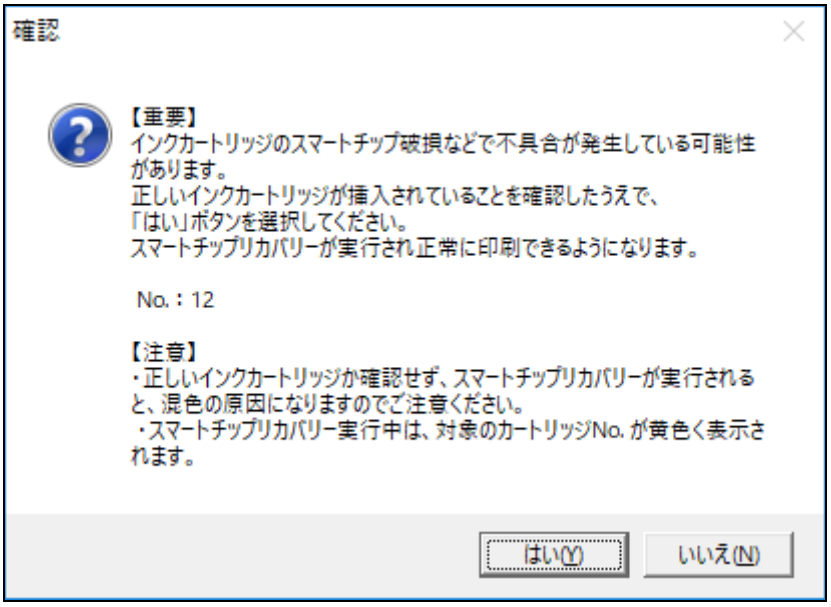
表示されるメッセージボックスの内容をご確認の上、ステータス解除を行ってください。

【解除可能ステータス】

・インク有効期限確認



・カラー確認(スマートチップリカバリー)

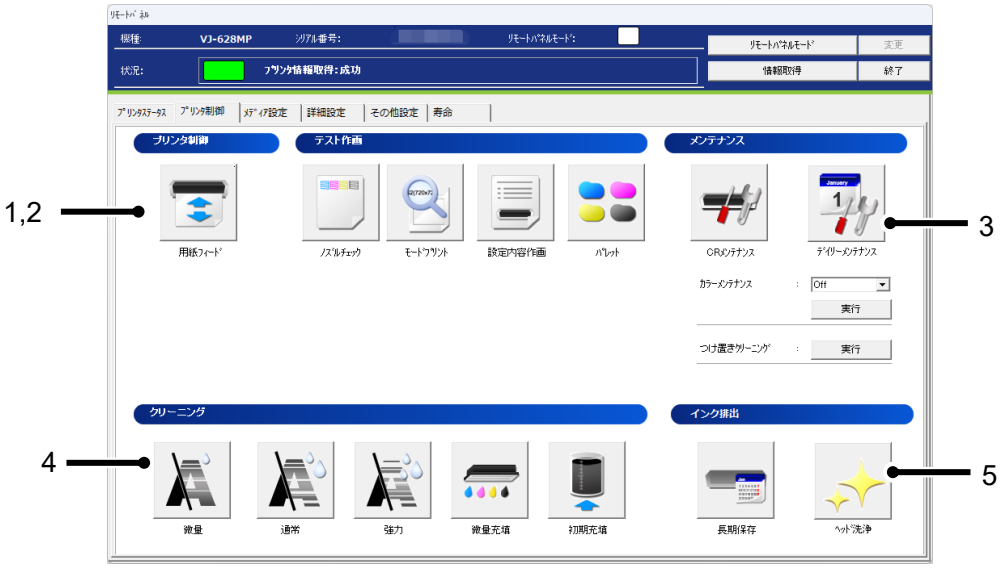


注 記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- 表示されるメッセージボックスの内容をご確認の上、ステータス解除を行ってください。

13.1.3. プリンタ制御

プリンタをリモート制御します。



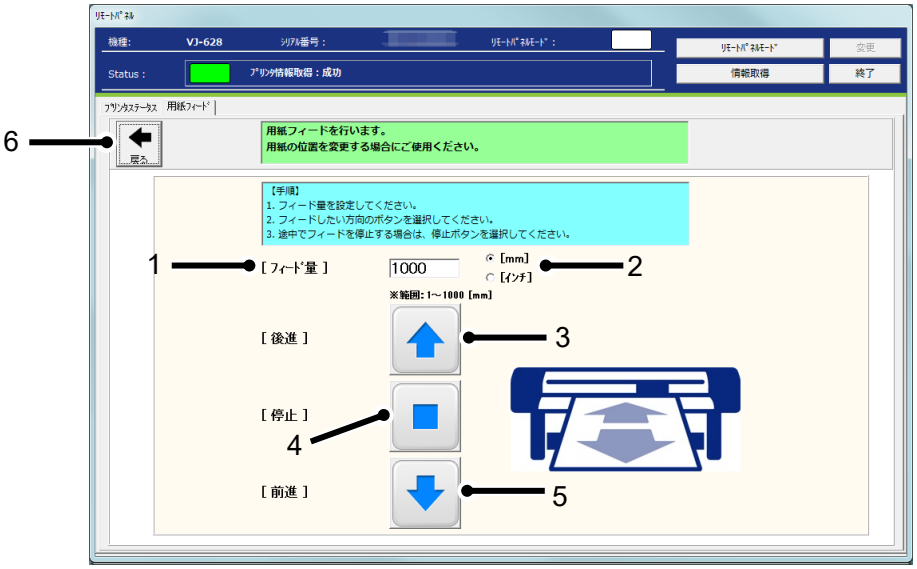
番号	名称	内容
1	プリンタ制御	プリンタをリモート制御します。
2	テスト作画	各種テスト作画をリモート制御します。
3	メンテナンス	プリンタメンテナンスをリモート制御します。
4	クリーニング	各種クリーニングをリモート制御します。
5	インク排出	インク排出を制御します。

13.1.3.1. プリンタ制御

プリンタをリモート制御します。

(1)メディアフィード

プリンタにセットしている用紙のフィードをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	フィード量	メディアのフィード量を設定します。 設定範囲: ・1 ～ < 1000 [mm] > 1 [mm]単位 ・0.04 ～ < 39.37 [インチ] > 0.01 [インチ]単位
2	フィード量の単位	フィード量の単位を設定します。 ・< mm > / インチ
3	後進	設定したフィード量分、メディアを後進させます。
4	停止	メディアフィード中に停止させます。
5	前進	設定したフィード量分、メディアを前進させます。
6	戻る	制御画面に戻ります。

<>初期値

注 記

- 設定したフィード量分、用紙フィードを行うため、用紙の状態によっては用紙が外れる場合がありますので、ご注意ください。

13.1.3.2.テスト作画

各種テスト作画をリモート制御します。



番号	名称	内容
1	ノズルチェック	ノズルチェックをリモート制御します。
2	モードプリント	モードプリントをリモート制御します。
3	設定内容作画	設定内容作画をリモート制御します。
4	パレット	パレットをリモート制御します。 ※プリンタに設定されている作画モードによっては印刷できない場合があります。
5	ノズルチェックB ※1 ノズルチェックF ※2	ノズルチェックBをリモート制御します。 ノズルチェックFをリモート制御します。

注 記

- ※1 VJ-628X/628MP で White インク使用時に有効になります。
- ※2 XPJ-C641SR-P で有効になります。

13.1.3.3. メンテナンス

プリンタメンテナンスをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	CR メンテナンス	CR メンテナンスをリモート制御します。
2	デイリーメンテナンス ※1	デイリーメンテナンスをリモート制御します。
3	カラーメンテナンス ※1	カラーメンテナンスを設定します。 設定値： Off / On
4	カラーメンテナンス 実行 ※1	カラーメンテナンスを実行します。
5	つけ置きクリーニング ※1	つけ置きクリーニングを実行します。

注 記

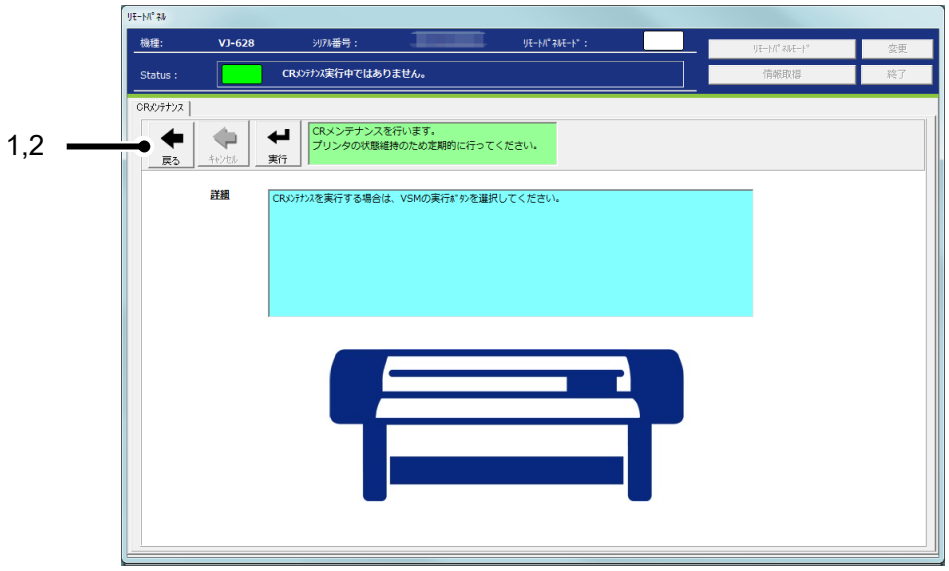
- ※1 VJ-628MP で有効になります。

(1)CR メンテナンス

1)VJ-628/628X の場合

1-1)プリンタ状態確認

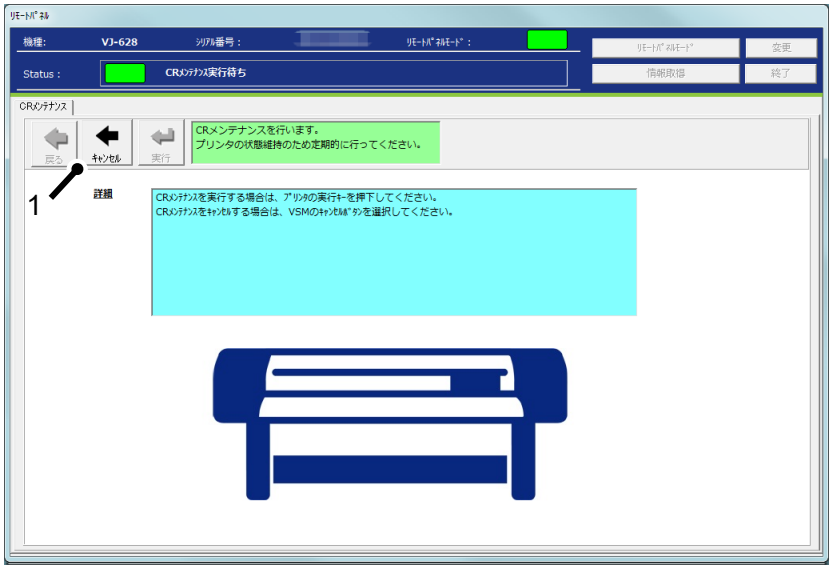
CR メンテナンスを実行するため、プリンタの状態を確認します。



番号	名称	内容
1	実行	CRメンテナンスをリモート制御します。
2	戻る	制御画面に戻ります。

1-2)CR メンテナンス実行待ち

プリンタが CR メンテナンス実行待ちとなっているため、プリンタのオペレーションキーで CR メンテナンスを開始してください。



番号	名称	内容
1	キャンセル	CRメンテナンス実行待ちを中止します。

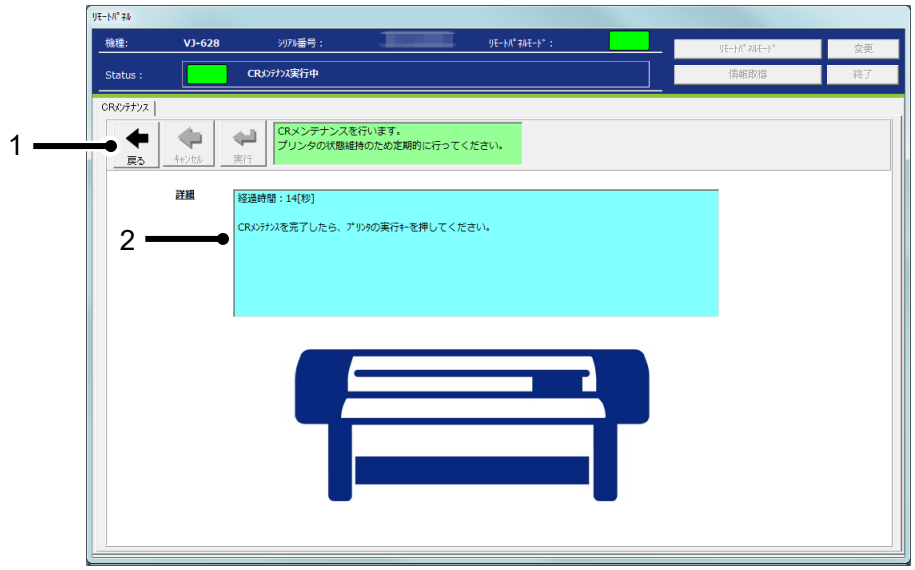
注 記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの開始はプリンタの汎用キーで開始されます。

1-3)CR メンテナンス実行中

プリンタが CR メンテナンス実行中となります。

CR メンテナンスを終了する場合は、プリンタの汎用キーで CR メンテナンスを終了してください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	CRメンテナンスの経過時間を表示します。

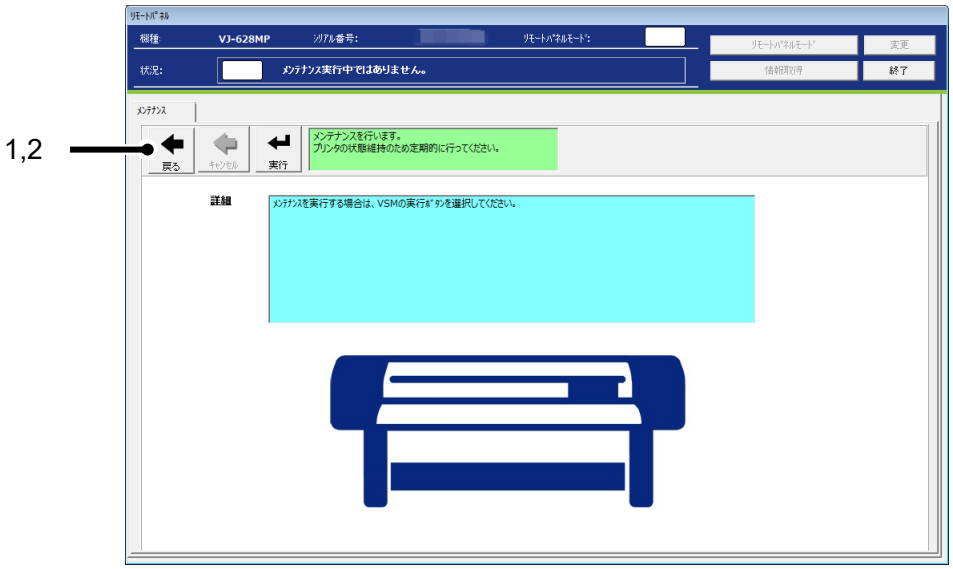
注 記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの終了はプリンタのオペレーションキーで終了します。

2)VJ-628MP の場合

2-1)プリンタ状態確認

メンテナンスを実行するため、プリンタの状態を確認します。



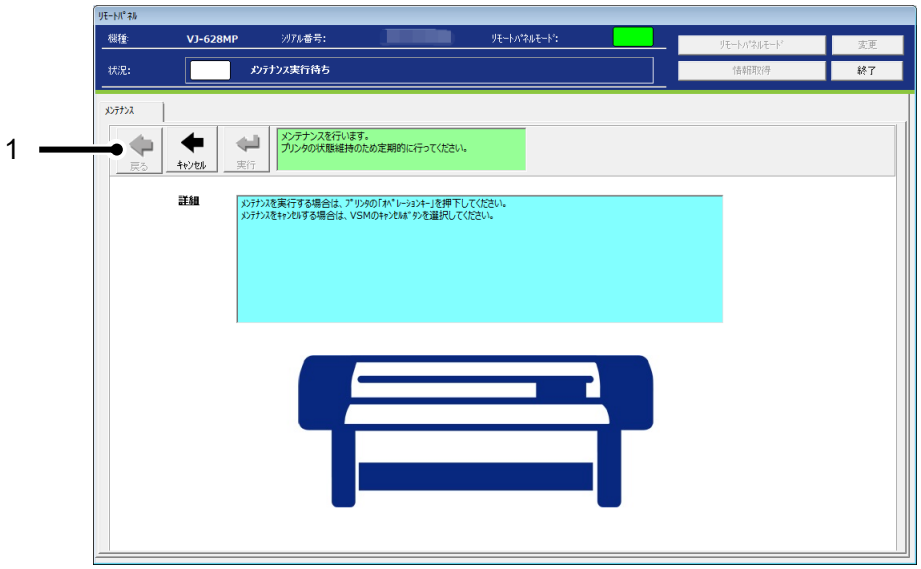
番号	名称	内容
1	実行	メンテナンスをリモート制御します。
2	戻る	制御画面に戻ります。

プリンタがメンテナンス実行中となります。

メンテナンスを終了する場合は、プリンタのオペレーションキーで CR メンテナンスを終了してください。

2-2）メンテナンス実行待ち

プリンタがメンテナンス実行待ちとなっているため、プリンタのオペレーションキーで CR メンテナンスを開始してください。



番号	名称	内容
1	キャンセル	メンテナンス実行待ちを中止します。

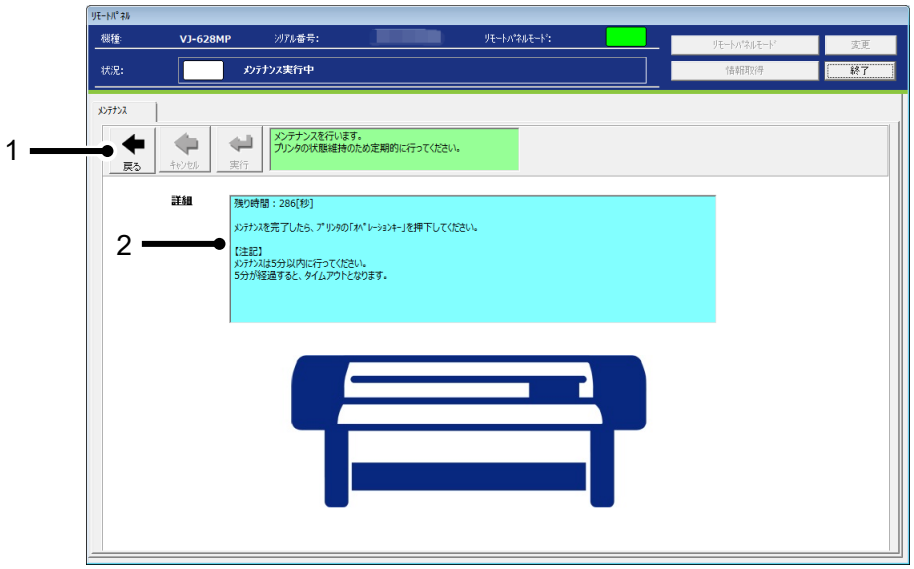
注 記

- メンテナンスは、プリンタで作業を行うためメンテナンスの開始はプリンタのオペレーションキーで開始されます。

2-3）メンテナンス実行中

プリンタがメンテナンス実行中となります。

メンテナンスを終了する場合は、プリンタのオペレーションキーでメンテナンスを終了してください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	メンテナンスの残り時間を表示します。

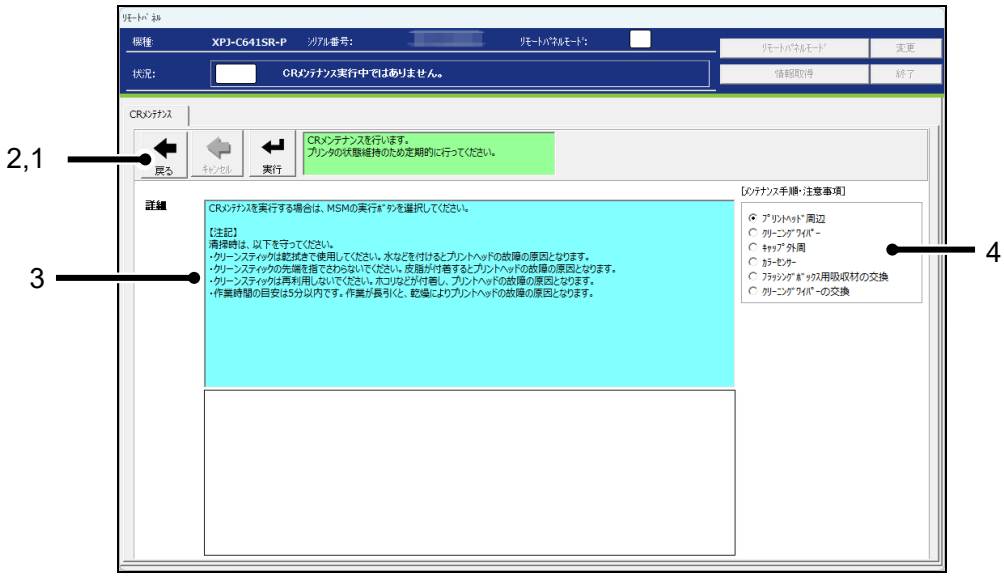
注　記

- メンテナンスは、プリンタで作業を行うためメンテナンスの終了はプリンタのオペレーションキーで終了します。
- メンテナンスは、5 分以内に行ってください。5 分が経過すると、タイムアウトとなります。タイムアウトとなったら、メンテナンスを終了してください。

3）XPJ-C641SR-P の場合

3-1）プリンタ状態確認

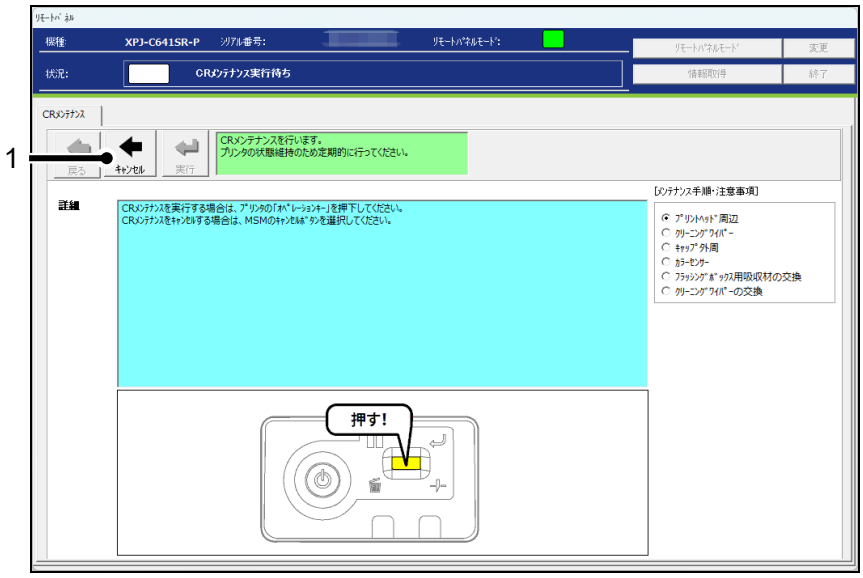
CR メンテナンスを実行するため、プリンタの状態を確認します。



番号	名称	内容
1	実行	CRメンテナンスをリモート制御します。
2	戻る	制御画面に戻ります。
3	詳細	各メンテナンスの注意点を表示します。
4	メンテナンス手順・注意事項	メンテナンスの種類を選択してください。 選択したメンテナンスの手順・注意事項を表示します。

3-2)CR メンテナンス実行待ち

プリンタが CR メンテナンス実行待ちとなっているため、プリンタのオペレーションキーで CR メンテナンスを開始してください。



番号	名称	内容
1	キャンセル	CRメンテナンス実行待ちを中止します。

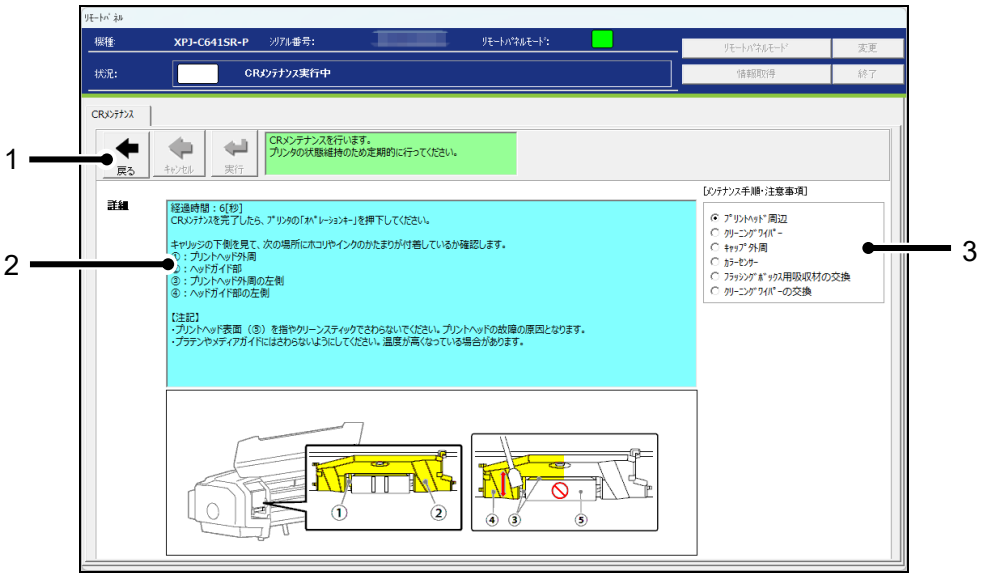
注 記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの開始はプリンタの汎用キーで開始されます。

3-3)CR メンテナンス実行中

プリンタが CR メンテナンス実行中となります。

CR メンテナンスを終了する場合は、プリンタの汎用キーで CR メンテナンスを終了してください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	CRメンテナンスの経過時間及び、各種メンテナンス方法を表示します。
3	メンテナンス手順・注意事項	メンテナンスの種類を選択してください。 選択したメンテナンスの手順・注意事項を表示します。

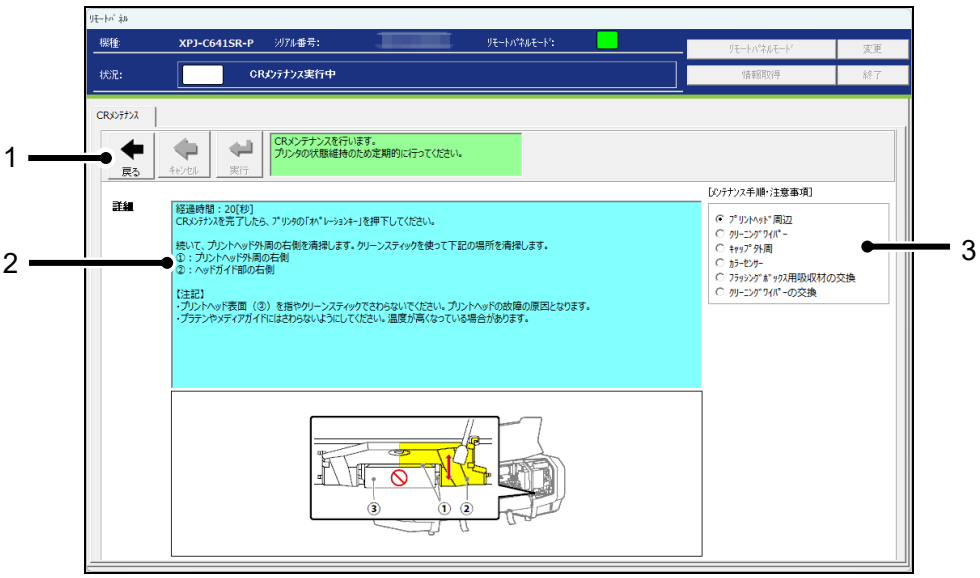
注 記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの終了はプリンタのオペレーションキーで終了します。

3-4)CR メンテナンス実行中

続いて、原点側の CR メンテナンス実行中となります。

CR メンテナンスを終了する場合は、プリンタの汎用キーで CR メンテナンスを終了してください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	CRメンテナンスの経過時間及び、各種メンテナンス方法を表示します。
3	メンテナンス手順・注意事項	メンテナンスの種類を選択してください。 選択したメンテナンスの手順・注意事項を表示します。

注　記

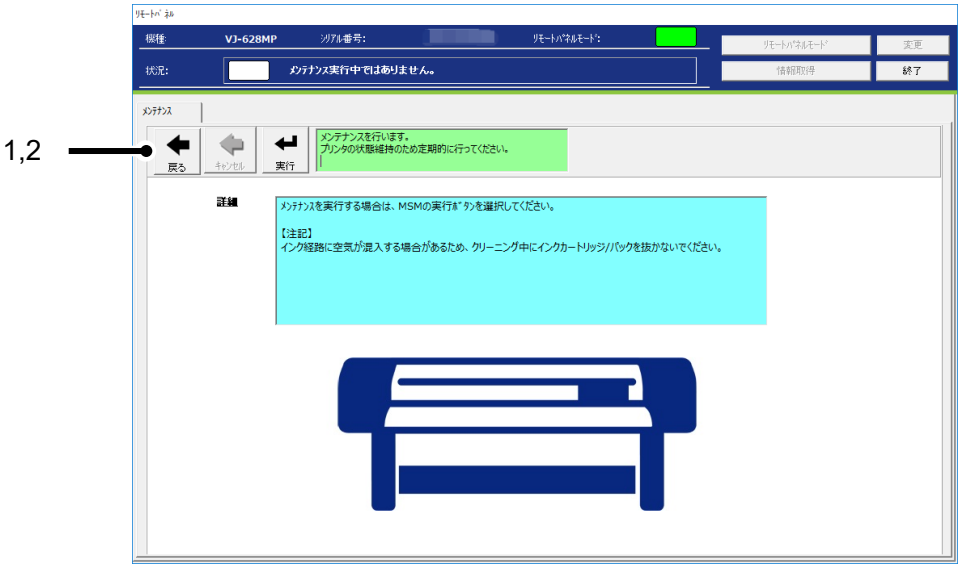
- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの終了はプリンタのオペレーションキーで終了します。

(2)デイリーメンテナンス

デイリーメンテナンスをリモート制御します。

1) プリンタ状態確認

メンテナンスを実行するため、プリンタの状態を確認します。



番号	名称	内容
1	実行	メンテナンスをリモート制御します。
2	戻る	制御画面に戻ります。

プリンタがメンテナンス実行中となります。

メンテナンスを終了する場合は、プリンタのオペレーションキーでメンテナンスを終了してください。

2）メンテナンス実行待ち

プリンタがメンテナンス実行待ちとなっているため、プリンタのオペレーションキーでメンテナンスを開始してください。



番号	名称	内容
1	キャンセル	メンテナンス実行待ちを中止します。

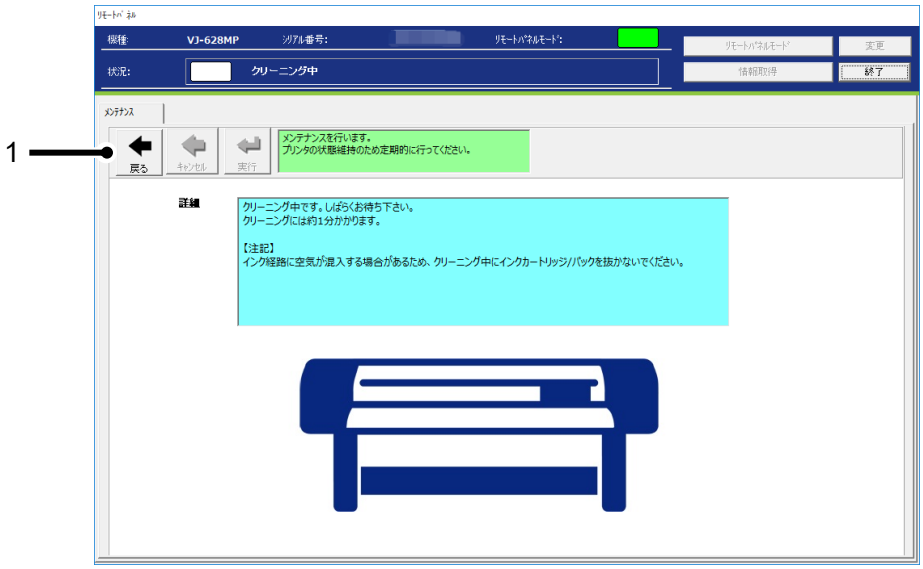
注　記

- メンテナンスは、プリンタで作業を行うためメンテナンスの開始はプリンタのオペレーションキーで開始されます。

3）クリーニング中

デイリーメンテナンス実行前に、クリーニングを行います。

クリーニングが終了するまでしばらくおまちください。



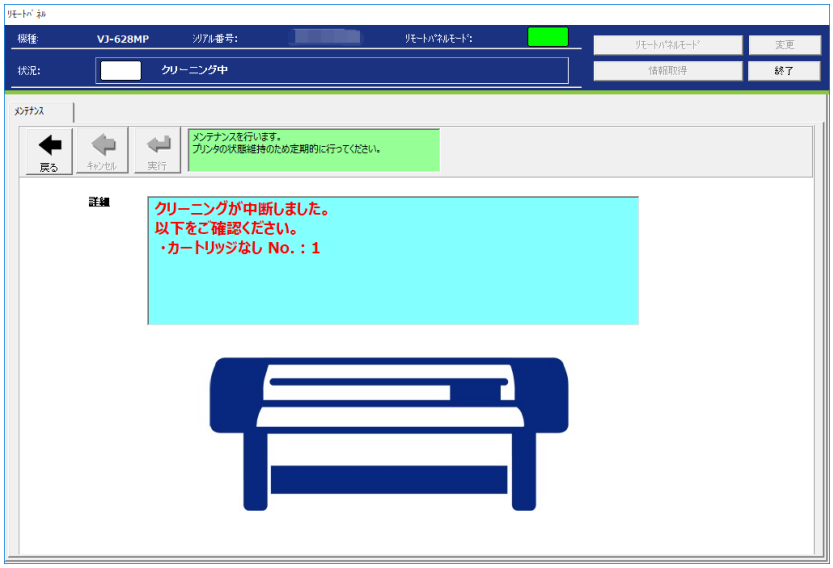
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。

注　記

- クリーニングが終了すると、プリンタヘッドがデイリーメンテナンス位置に移動するので、デイリーメンテナンスを行ってください。
- インク経路に空気が混入する場合があるため、クリーニング中にインクカートリッジ/パックを抜かないでください。

4）クリーニング中のエラー確認

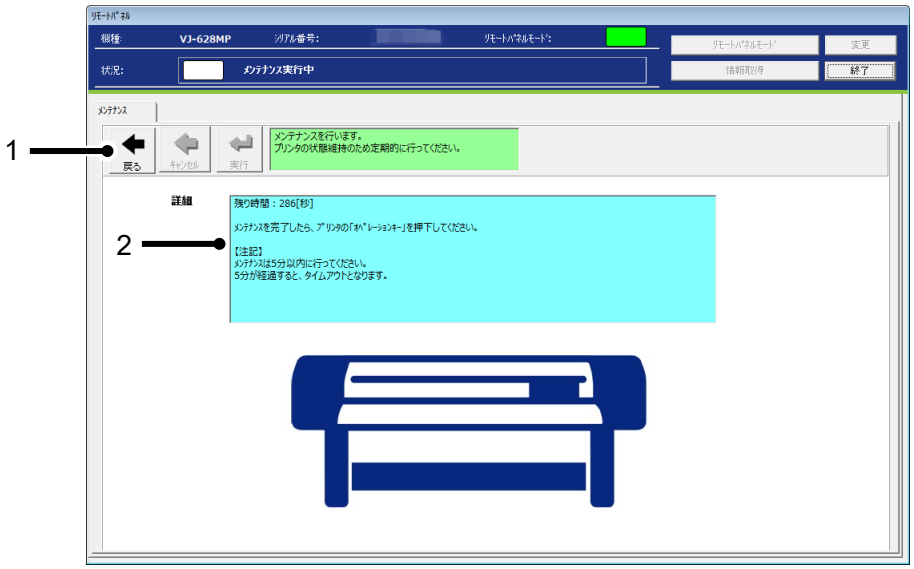
クリーニング中にエラーが発生し、クリーニングが中断した場合は、画面に表示されているエラーを改善してください。



5）メンテナンス実行中

プリンタがメンテナンス実行中となります。

メンテナンスを終了する場合は、プリンタのオペレーションキーでメンテナンスを終了してください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	メンテナンスの残り時間を表示します。

注　記

- メンテナンスは、プリンタで作業を行うためメンテナンスの終了はプリンタのオペレーションキーで終了します。
- メンテナンスは、5 分以内に行ってください。5 分が経過すると、タイムアウトとなります。タイムアウトとなったら、メンテナンスを終了してください。

(3)つけ置きクリーニング

つけ置きクリーニングをリモート制御します。

1)プリンタ状態確認

つけ置きクリーニングを実行するため、プリンタの状態を確認します。



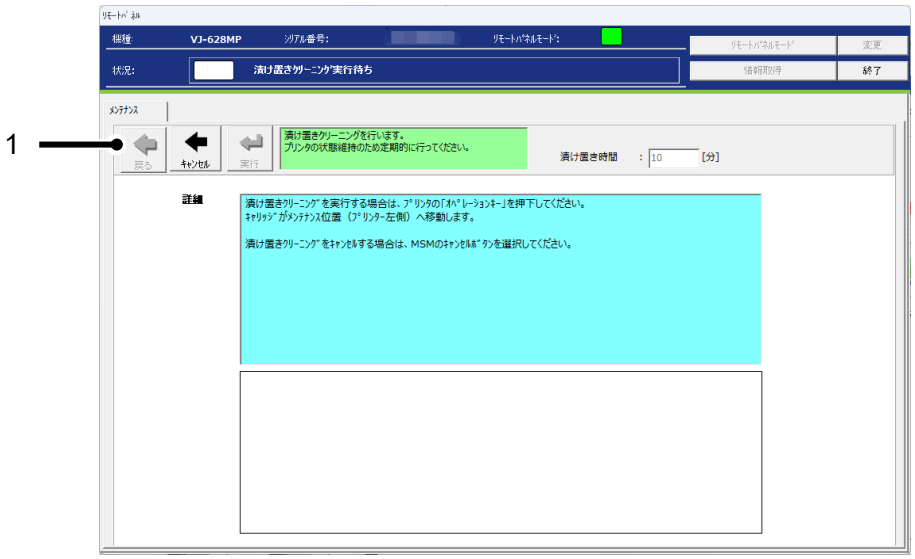
番号	名称	内容
1	実行	メンテナンスをリモート制御します。
2	戻る	制御画面に戻ります。
3	つけ置き時間	漬け置き時間を設定します。 設定値: 1分 ～ < 10 分 > ～ 99分 ※1分単位

注 記

- プリンタで作業を行うため、つけ置きクリーニングの終了はプリンタのオペレーションキーで終了します。

2)つけ置きクリーニング実行待ち

プリンタがつけ置きクリーニング実行待ちとなっているため、プリンタのオペレーションキーでつけ置きクリーニングを開始してください。



番号	名称	内容
1	キャンセル	つけ置きクリーニング実行待ちを中止します。

注 記

- つけ置きクリーニングは、プリンタで作業を行うため開始はプリンタのオペレーションキーで開始されます。

3)つけ置きクリーニング準備中

プリンタがつけ置きクリーニング準備中となります。

マニュアルを参考に準備を行ってください。



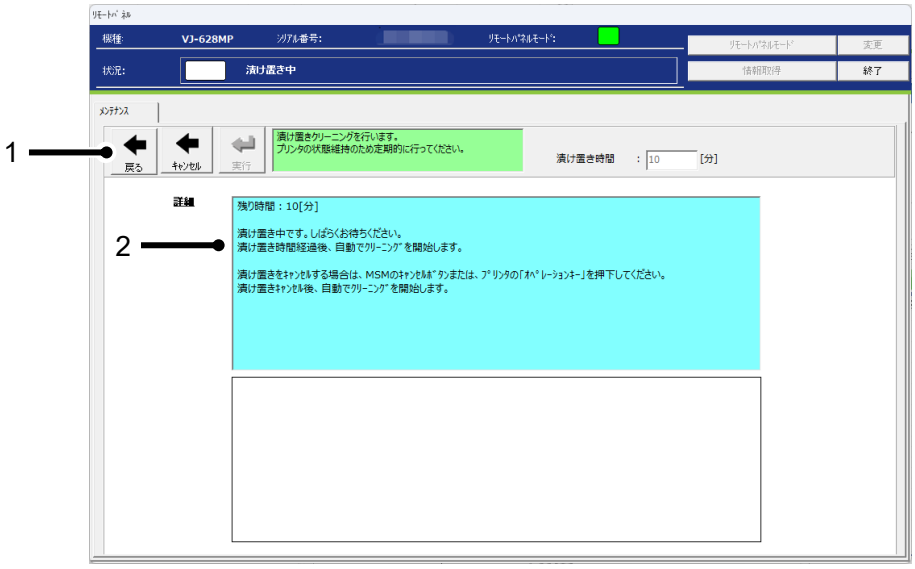
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	準備の残り時間を表示します。

注　記

- 準備は、5 分以内に行ってください。5 分が経過すると、タイムアウトとなります。

4）つけ置き中

プリンタがつけ置き中となります。しばらくお待ちください。

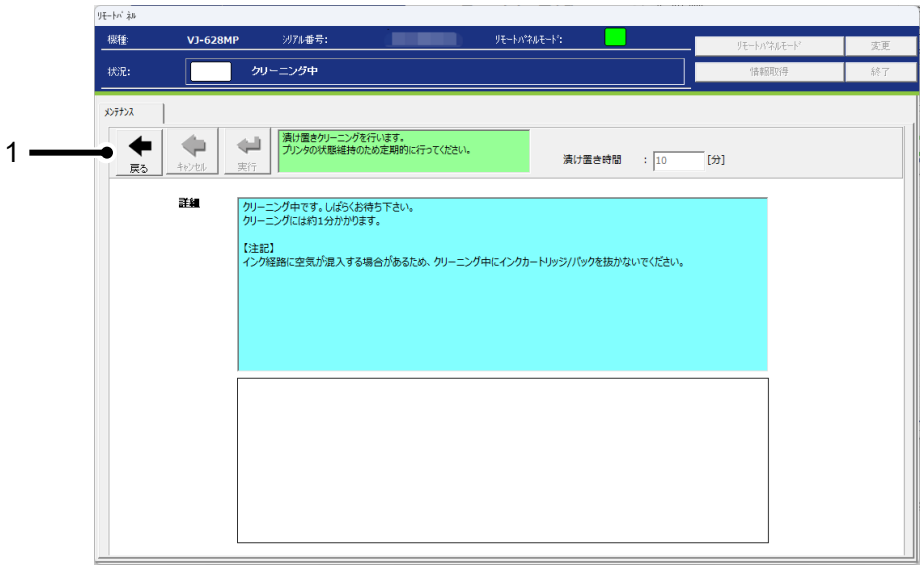


番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	ｷｬﾝｾﾙ	つけ置きを途中でｷｬﾝｾﾙします。 キャンセル後、クリーニングへ移行します。
3	詳細	つけ置きの残り時間を表示します。

5)クリーニング中

クリーニングを行います。

クリーニングが終了するまでしばらくおまちください。



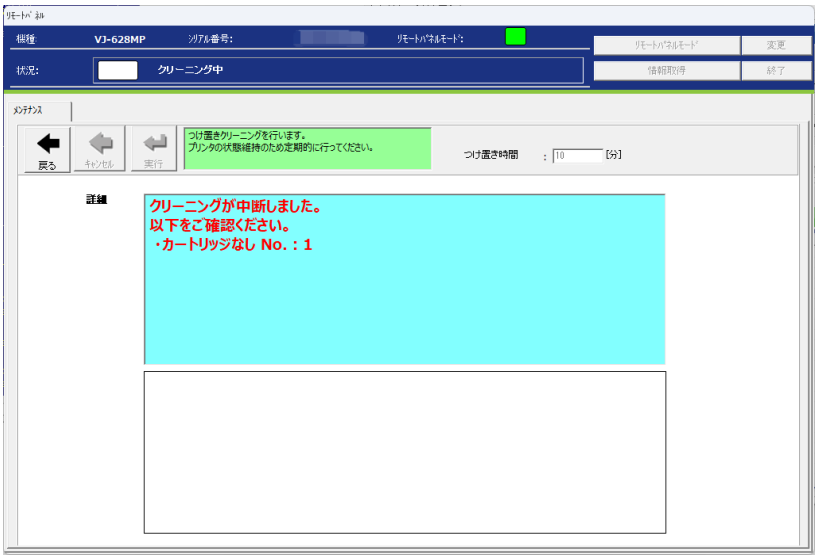
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。

注　記

- インク経路に空気が混入する場合があるため、クリーニング中にインクカートリッジ/パックを抜かないでください。

6）クリーニング中のエラー確認

クリーニング中にエラーが発生し、クリーニングが中断した場合は、画面に表示されているエラーを改善してください。



13.1.3.4. クリーニング

ヘッドクリーニングを行います。



番号	名称	内容
1	微量クリーニング	「通常」よりも少量のインクを排出します。
2	通常クリーニング	通常はこのモードを選択します。
3	強力クリーニング	「通常」よりも多量のインクを排出します。 通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。
4	微量充填	微量充填を行います。 初期充填を行っても作画が安定しない場合に、微量充填を行ってください。
5	初期充填	初期充填を行います。 詳細は「（1）初期充填」を参照

注 記

- インク経路に空気が混入する場合があるため、クリーニング中にインクカートリッジ/パックを抜かないでください。

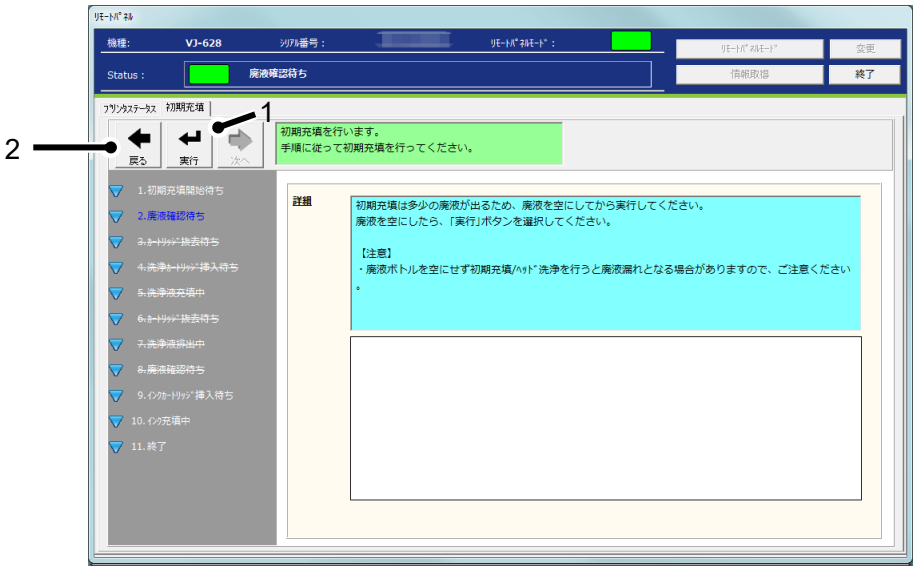
(1)初期充填

インク充填されたプリンタに、初期充填を行います。

1)廃液確認待ち

初期充填前に廃液の確認を促す。

廃液処理を終えたら、実行ボタンで廃液初期化します。



番号	名称	内容
1	実行	廃液初期化します。
2	戻る	制御画面に戻ります。

注 記

- 初期充填は、多少の廃液が出るため、廃液ボトルを空にしてから実行してください。
  廃液ボトルを空にせず初期充填を行うと廃液漏れとなる場合がありますので、ご注意ください。

2)インクカートリッジ挿入待ち

廃液初期化が完了すると、インクカートリッジ挿入待ちとなります。

全てのスロットにインクカートリッジが挿入されたら、インク充填が開始されます。

[VJ-628/628X/XPJ-C641SR-P]

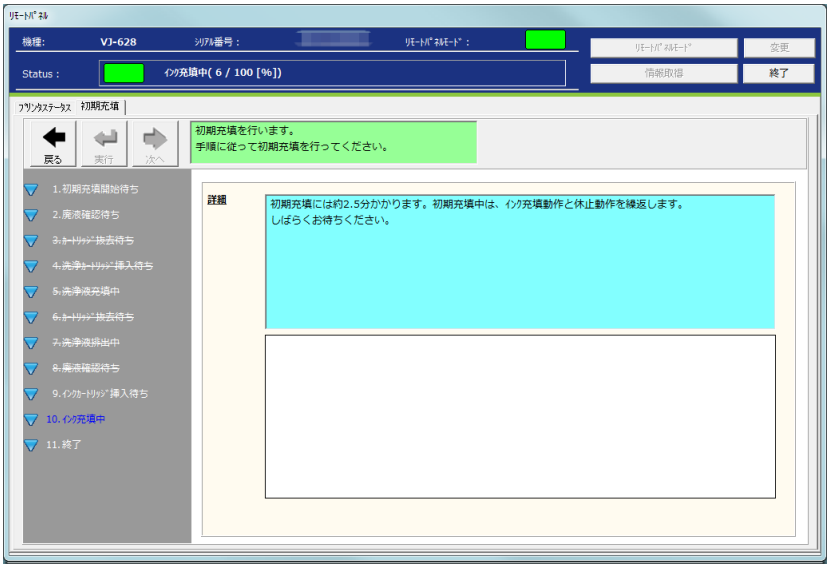


[VJ-628MP]



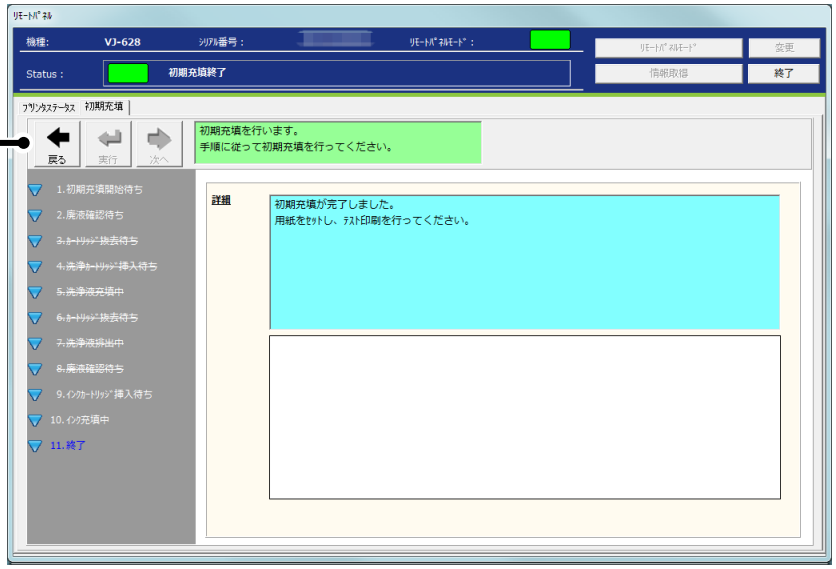
3)インク充填中

インク充填中です。



4)終了

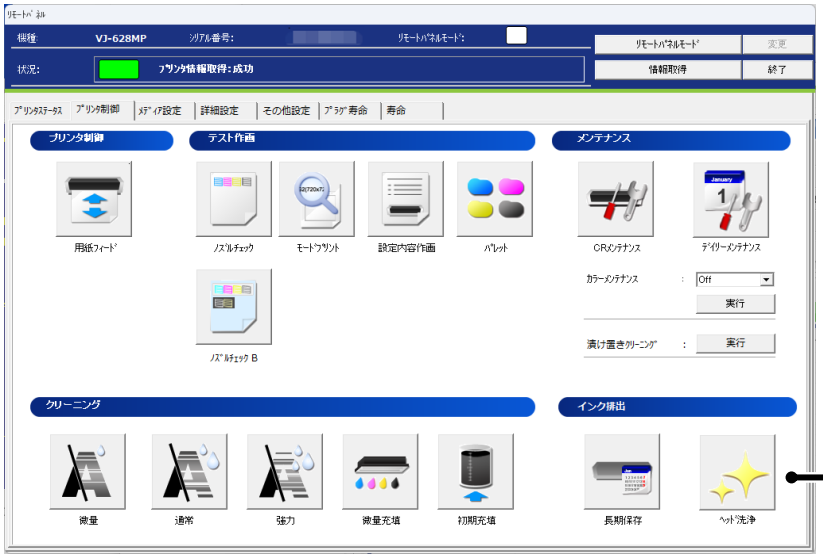
インク充填が完了しました。



番号	名称	内容
1	次へ	プリンタ制御へ戻ります。

13.1.3.5. インク排出

プリンタのインク排出をリモート制御します。



番号	名称	内容
1	長期保存 ※1	長期保存をリモート制御します。
2	ヘッド洗浄 インク排出 ※2	ヘッド洗浄をリモート制御します。 インク排出をリモート制御します。

注 記

- ※1 VJ-628MP で有効になります。
- ※2 XPJ-C641SR-P で有効になります。

(1)長期保存

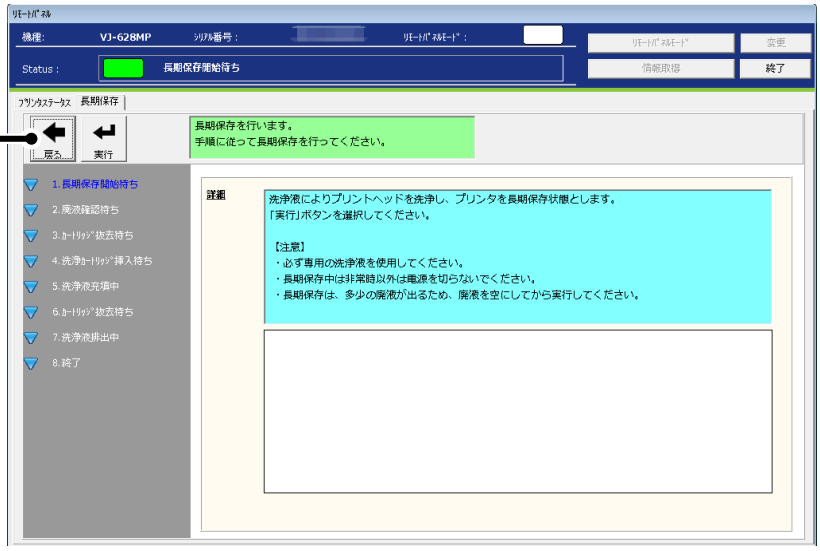
プリンタを 2 週間以上放置する場合は、長期保存を行ってください。

長期保存は全経路を洗浄し、電源を完全にオフした状態で保存します。

注 記

- 必ず専用の洗浄液を使用してください。

1)長期保存開始待ち

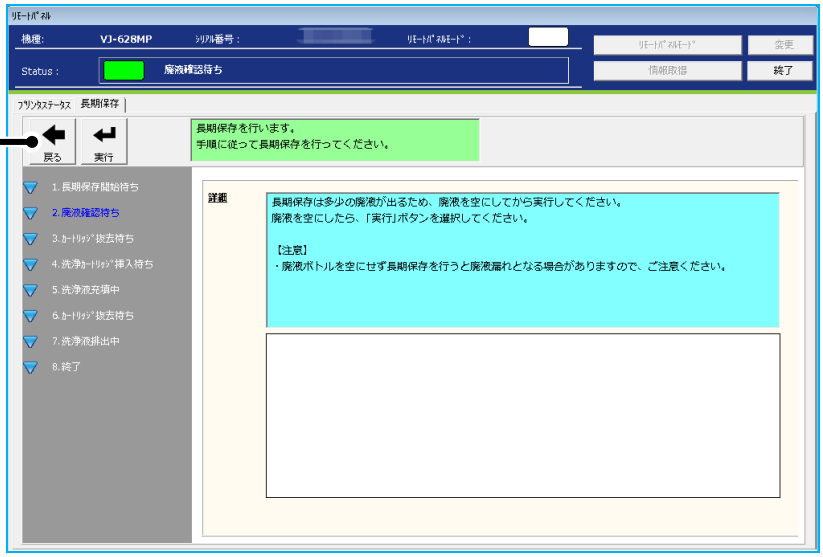


番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	実行	長期保存を開始します。

2）廃液確認待ち

長期保存前に廃液処理を行ってください。

廃液処理を終えたら、実行ボタンで廃液初期化します。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	実行	廃液初期化します。

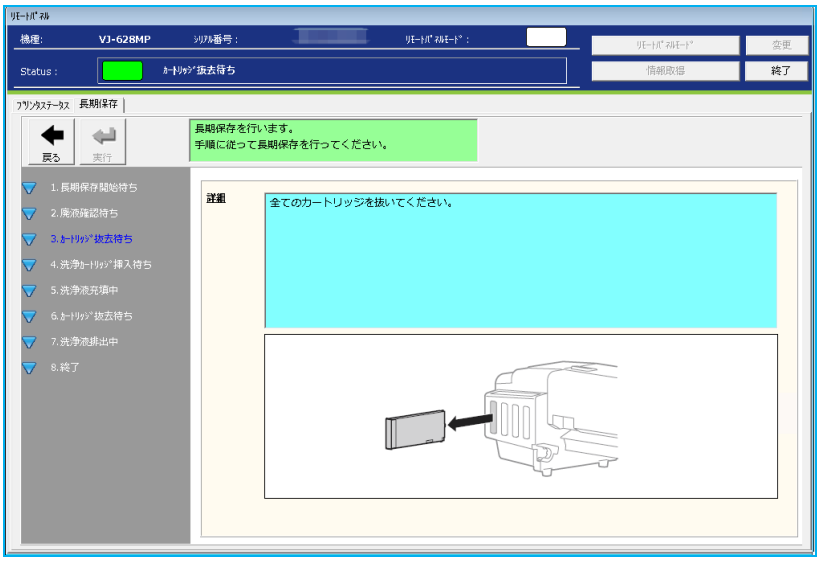
注　記

- 長期保存は、多少の廃液が出るため、廃液ボトルを空にしてから実行してください。
  廃液ボトルを空にせずヘッド洗浄を行うと廃液漏れとなる場合がありますので、ご注意ください。

3)カートリッジ抜去待ち

プリンタにいずれかのカートリッジが挿入されている場合に表示します。

カートリッジが挿入されていない場合はスキップされます。



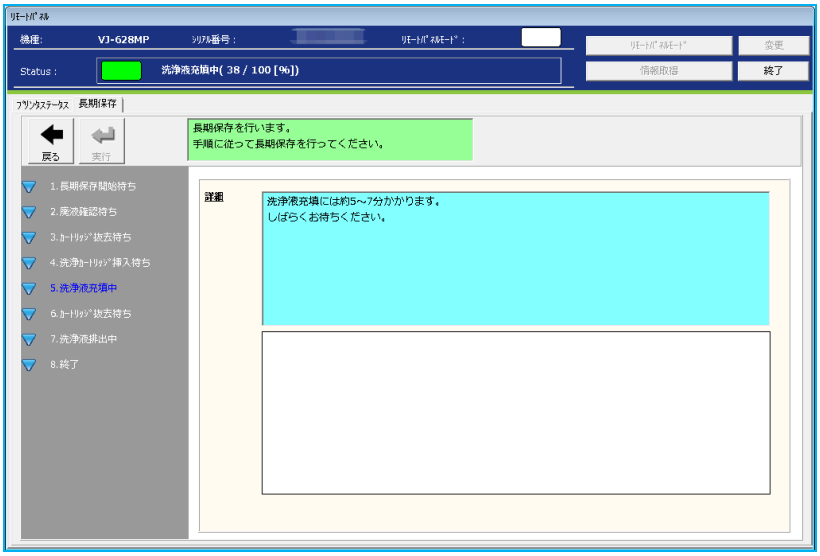
4)洗浄カートリッジ挿入待ち

洗浄カートリッジの挿入待ちとなり、全てのスロットに洗浄カートリッジを挿入してください。



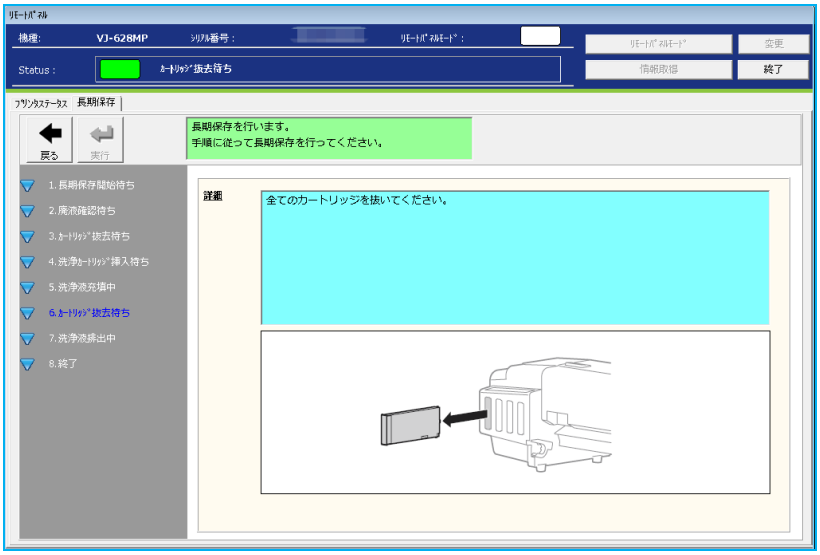
5）洗浄液充填中

全てのスロットに洗浄カートリッジが挿入されたら、洗浄液の充填が開始されます。



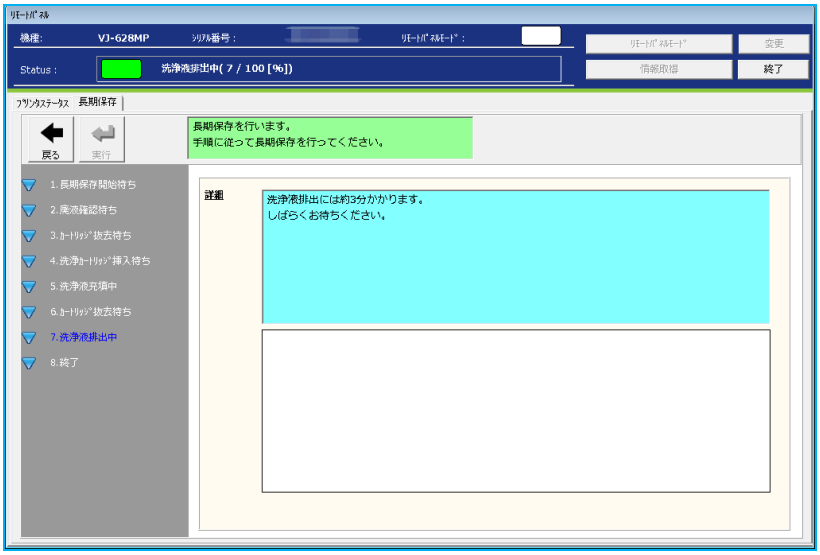
6）カートリッジ抜去待ち

洗浄液の充填が完了したら、全ての洗浄カートリッジを抜去してください。



7)洗浄液排出中

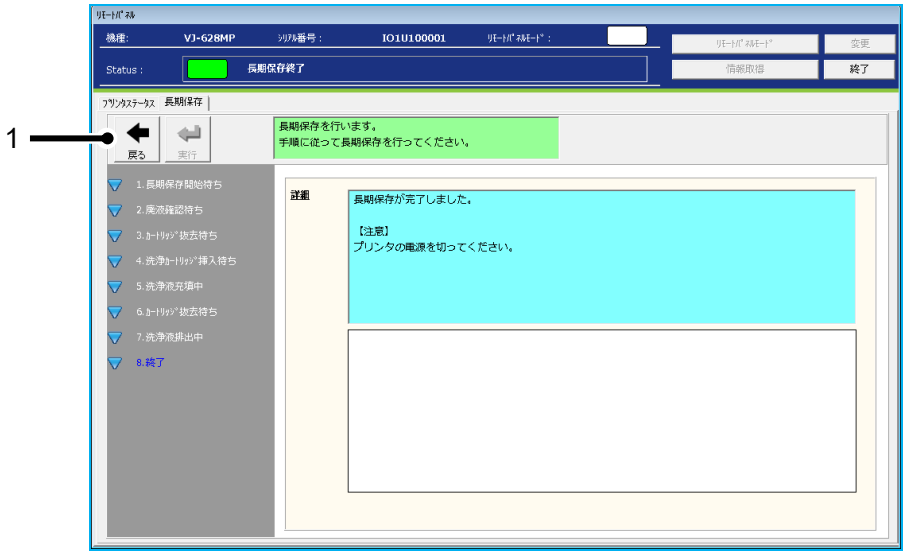
全ての洗浄カートリッジが抜去されたら、洗浄液の排出を行います。



8)終了

長期保存が完了しました。

プリンタの電源をオフにしてください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。

(2)ヘッド洗浄/インク排出

(2)-1 XPJ-C641SR-P の場合

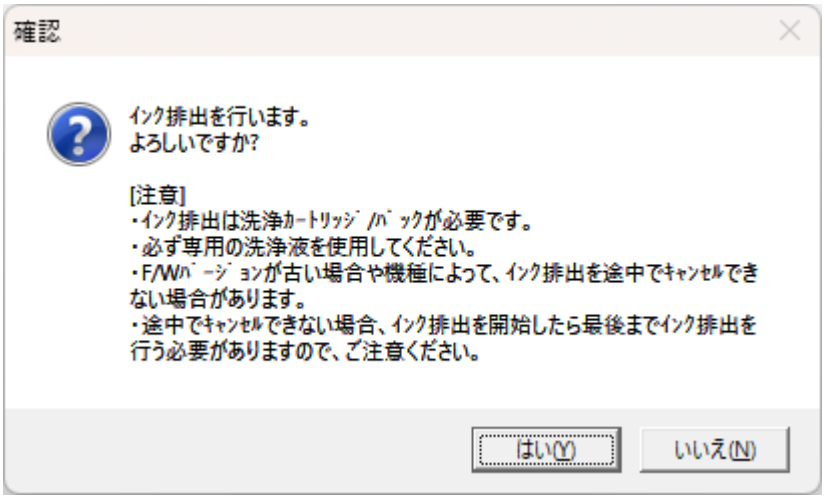
洗浄液によりインクを排出します。

注 記

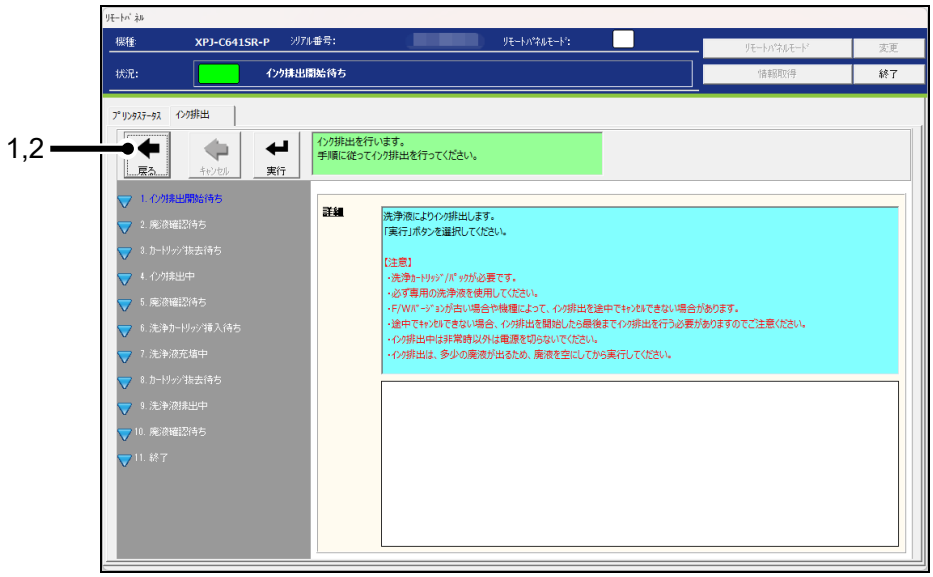
- 洗浄カートリッジ/パックが必要です。
- 必ず専用の洗浄液を使用してください。
- F/W バージョンが古い場合や機種によって、インク排出を途中でキャンセルできない場合があります。
- 途中でキャンセルできない場合、インク排出を開始したら最後までインク排出を行う必要がありますので、ご注意ください。

1)確認

確認用メッセージが表示されます。内容を確認してからインク排出を開始してください。



2)インク排出開始待ち

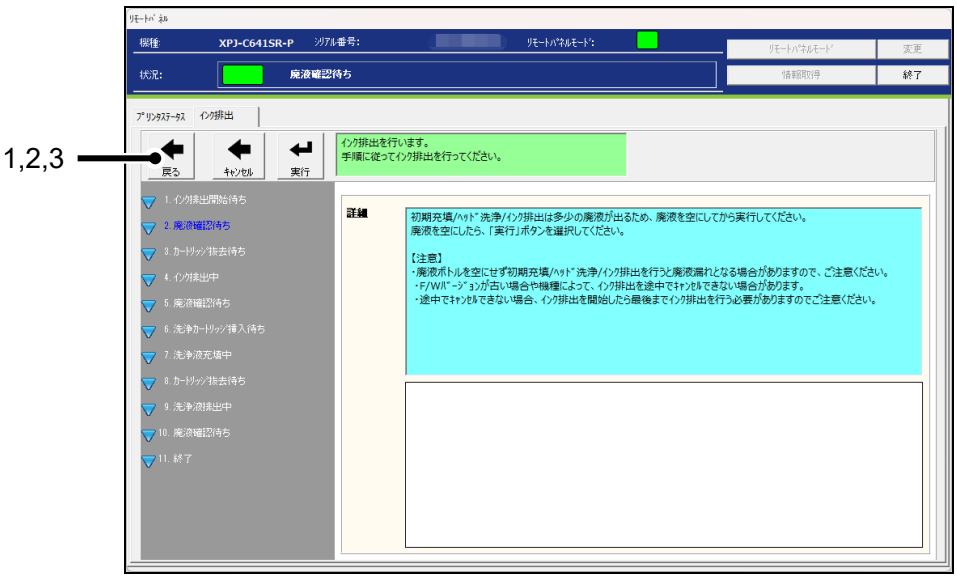


番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	実行	インク排出を開始します。

3)廃液確認待ち

インク排出前に廃液処理を行ってください。

廃液処理を終えたら、実行ボタンで廃液初期化します。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	キャンセル	ヘッド洗浄をキャンセルします。
3	実行	廃液初期化します。

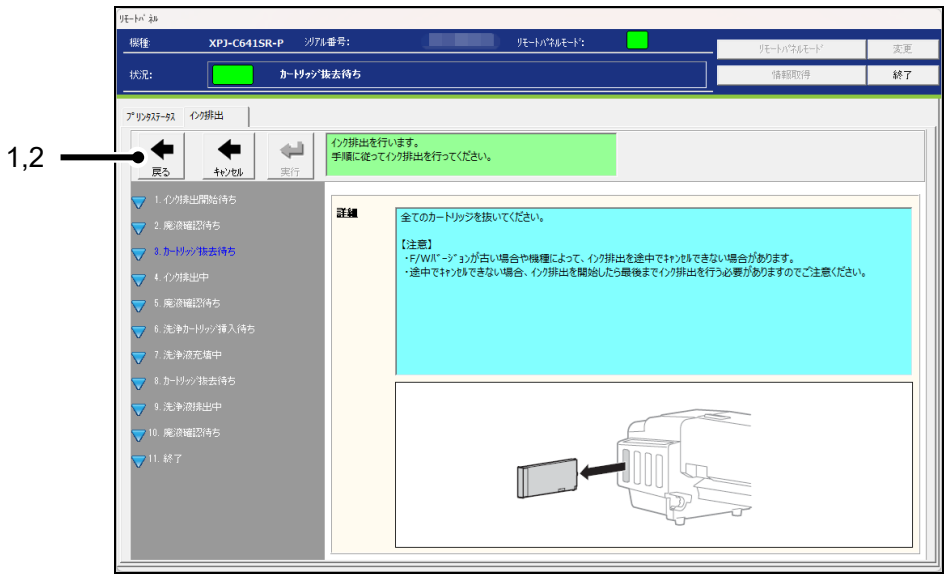
注 記

- インク排出は、多少の廃液が出るため、廃液ボトルを空にしてから実行してください。
  廃液ボトルを空にせずインク排出を行うと廃液漏れとなる場合がありますので、ご注意ください。
- F/W バージョンが古い場合や機種によって、キャンセルできない場合があります。

4)カートリッジ抜去待ち

プリンタにいずれかのカートリッジが挿入されている場合に表示します。

カートリッジが挿入されていない場合はスキップされます。



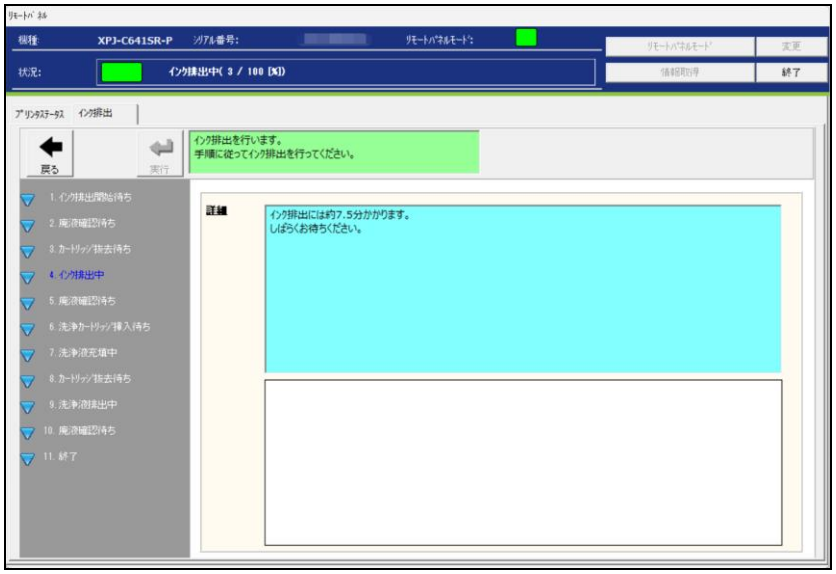
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	キャンセル	ヘッド洗浄をキャンセルします。

注 記

- 次項に進むとｲﾝｸ排出が開始されキャンセルできなくなりますので、ご注意ください。
- F/W バージョンが古い場合や機種によって、キャンセルできない場合があります。

5)インク排出中

全てのカートリッジが抜去されたら、インクの排出を行います。



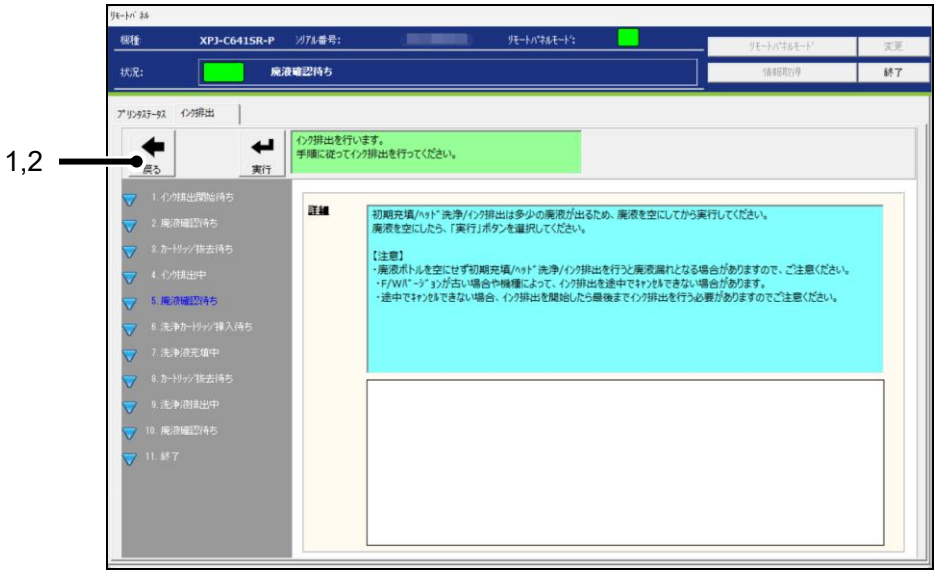
注 記

- インク排出をキャンセルできませんので、インク排出を最後まで行ってください。

6)廃液確認待ち

洗浄液充填前に廃液処理を行ってください。

廃液処理を終えたら、実行ボタンで廃液初期化します。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	実行	廃液初期化します。

注 記

- インク排出は、多少の廃液が出るため、廃液ボトルを空にしてから実行してください。
  廃液ボトルを空にせずインク排出を行うと廃液漏れとなる場合がありますので、ご注意ください。

7）洗浄カートリッジ挿入待ち

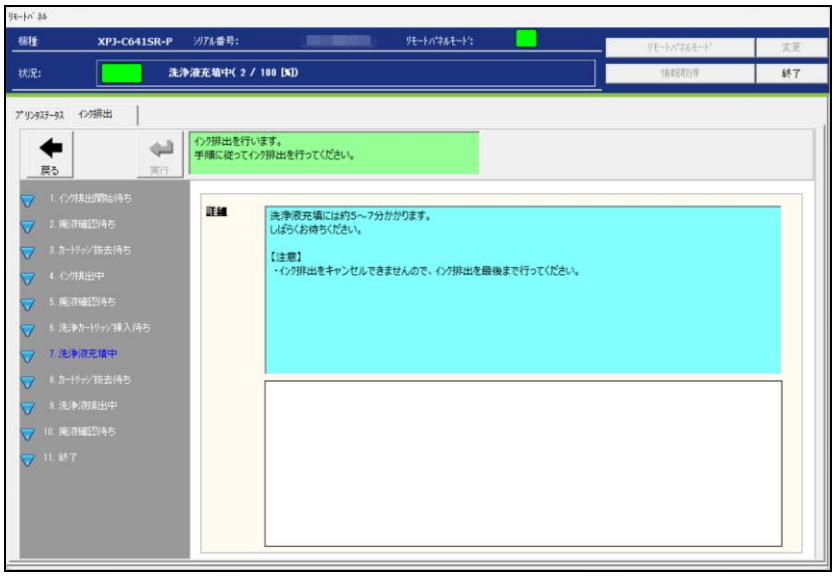
洗浄カートリッジの挿入待ちとなり、全てのスロットに洗浄カートリッジを挿入してください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。

8）洗浄液充填中

全てのスロットに洗浄カートリッジが挿入されたら、洗浄液の充填が開始されます。



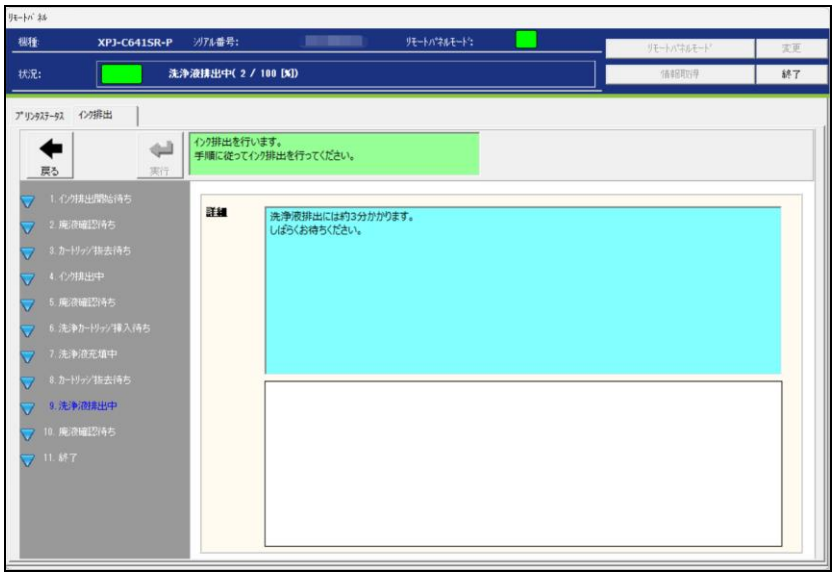
9)カートリッジ抜去待ち

洗浄液の充填が完了したら、全ての洗浄カートリッジを抜去してください。



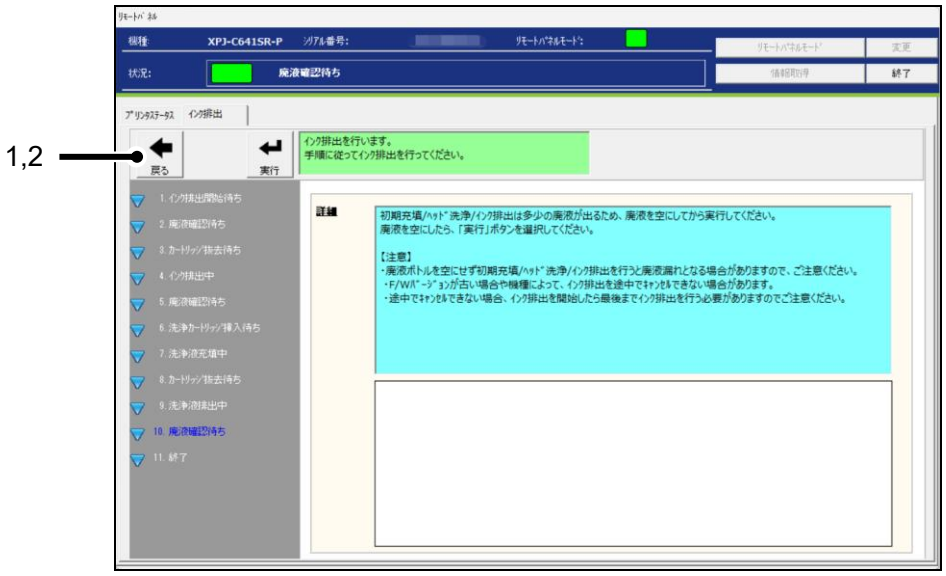
10)洗浄液排出中

全ての洗浄カートリッジが抜去されたら、洗浄液の排出を行います。



11）廃液確認待ち

廃液処理を行ってください。廃液処理を終えたら、実行ボタンで廃液初期化します。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	実行	廃液初期化します。

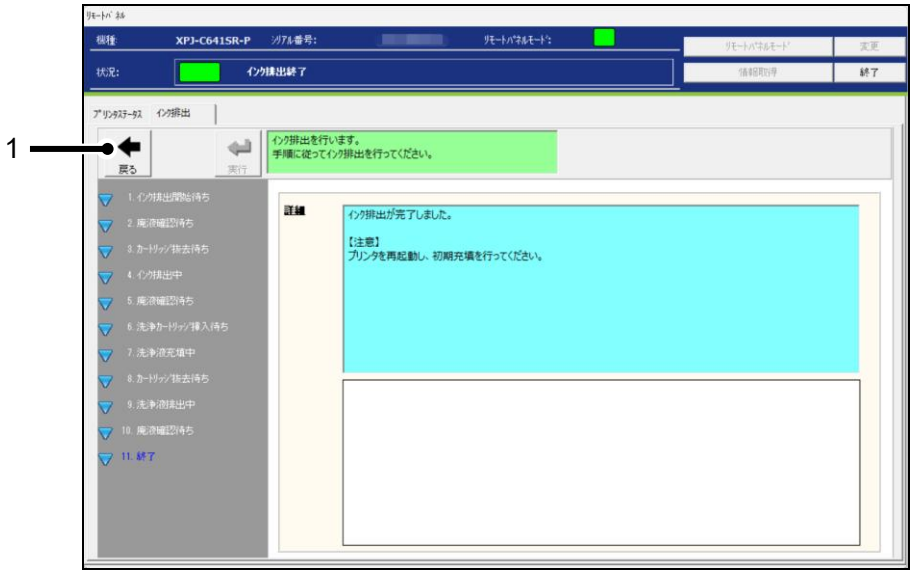
注　記

- インク排出は、多少の廃液が出るため、廃液ボトルを空にしてから実行してください。
  廃液ボトルを空にせずインク排出を行うと廃液漏れとなる場合がありますので、ご注意ください。

12）終了

ヘッド洗浄が完了しました。

プリンタを再起動し、初期充填を行ってください。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。

(2)-2 VJ-628/628X/628MP の場合

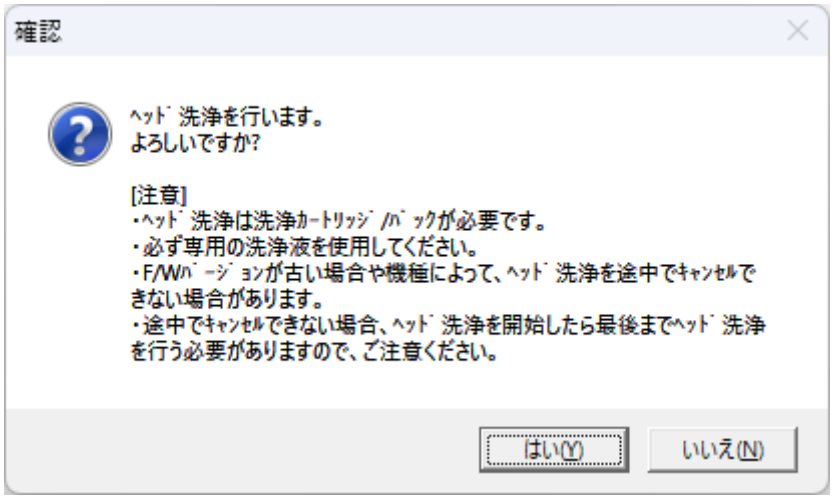
洗浄液によりプリントヘッドを洗浄します。

注 記

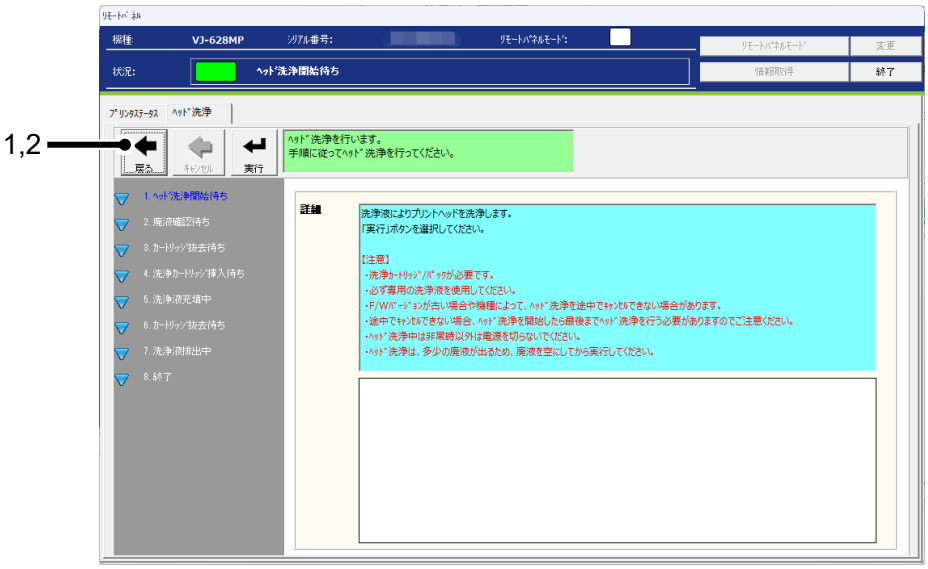
- 洗浄カートリッジ/パックが必要です。
- 必ず専用の洗浄液を使用してください。
- F/W バージョンが古い場合や機種によって、ヘッド洗浄を途中でキャンセルできない場合があります。
- 途中でキャンセルできない場合、ヘッド洗浄を開始したら最後までヘッド洗浄を行う必要がありますので、ご注意ください。

1)確認

確認用メッセージが表示されます。内容を確認してからヘッド洗浄を開始してください。



2)ヘッド洗浄開始待ち



番号	名称	内容
1	実行	ヘッド洗浄を開始します。
2	戻る	制御画面に戻ります。

3)廃液確認待ち

ヘッド洗浄前に廃液処理を行ってください。

廃液処理を終えたら、実行ボタンで廃液初期化します。



番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	キャンセル	ヘッド洗浄をキャンセルします。
3	実行	廃液初期化します。

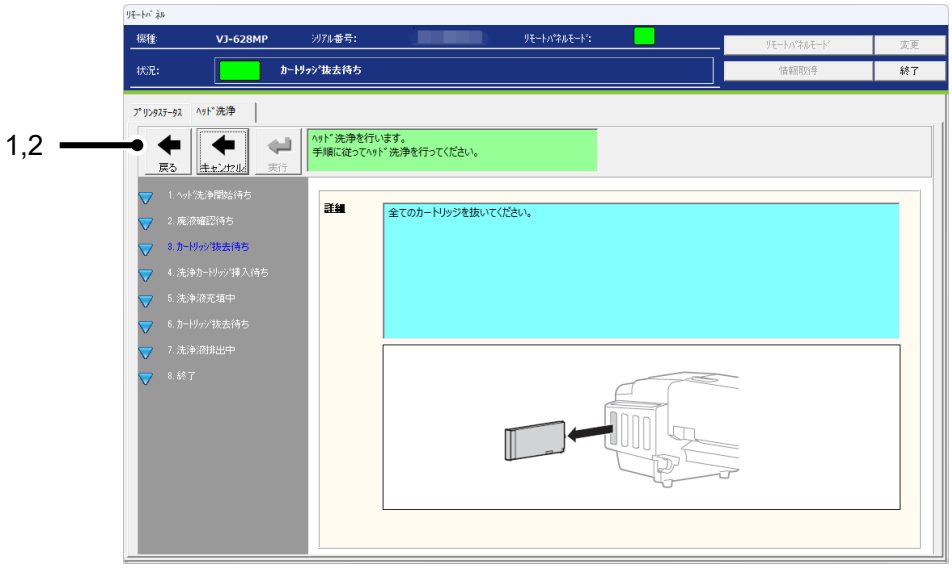
注 記

- ヘッド洗浄は、多少の廃液が出るため、廃液ボトルを空にしてから実行してください。
  廃液ボトルを空にせずヘッド洗浄を行うと廃液漏れとなる場合がありますので、ご注意ください。
- F/W バージョンが古い場合や機種によって、キャンセルできない場合があります。

4)カートリッジ抜去待ち

プリンタにいずれかのカートリッジが挿入されている場合に表示します。

カートリッジが挿入されていない場合はスキップされます。



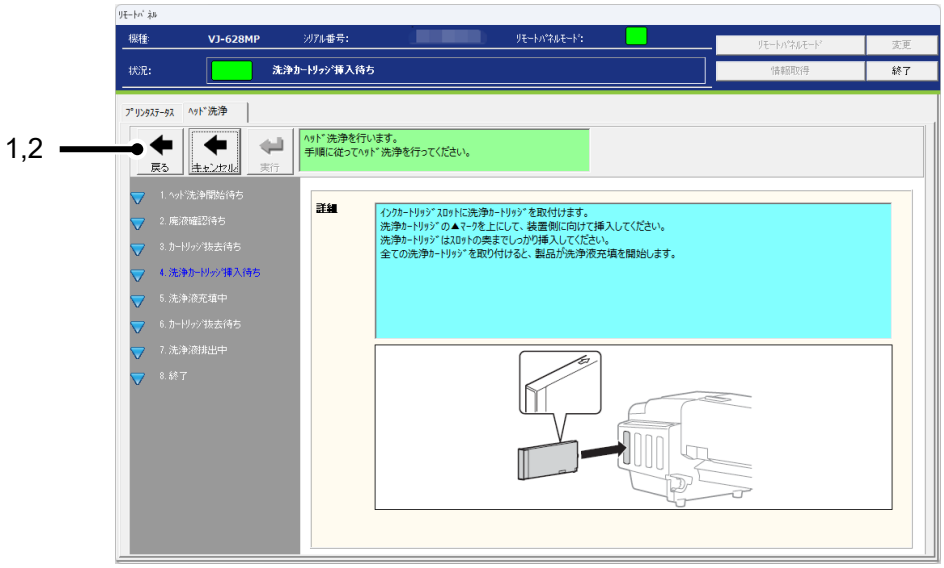
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	キャンセル	ヘッド洗浄をキャンセルします。

注 記

- F/W バージョンが古い場合や機種によって、キャンセルできない場合があります。

5）洗浄カートリッジ挿入待ち

洗浄カートリッジの挿入待ちとなり、全てのスロットに洗浄カートリッジを挿入してください。



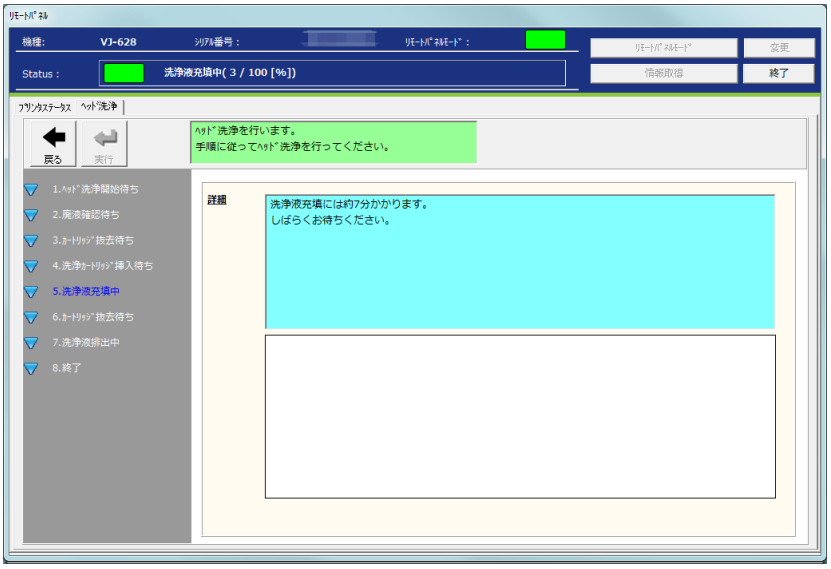
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	キャンセル	ヘッド洗浄をキャンセルします。

注　記

- 次項に進むとヘッド洗浄が開始されキャンセルできなくなりますので、ご注意ください。
- F/W バージョンが古い場合や機種によって、キャンセルできない場合があります。

6)洗浄液充填中

全てのスロットに洗浄カートリッジが挿入されたら、洗浄液の充填が開始されます。

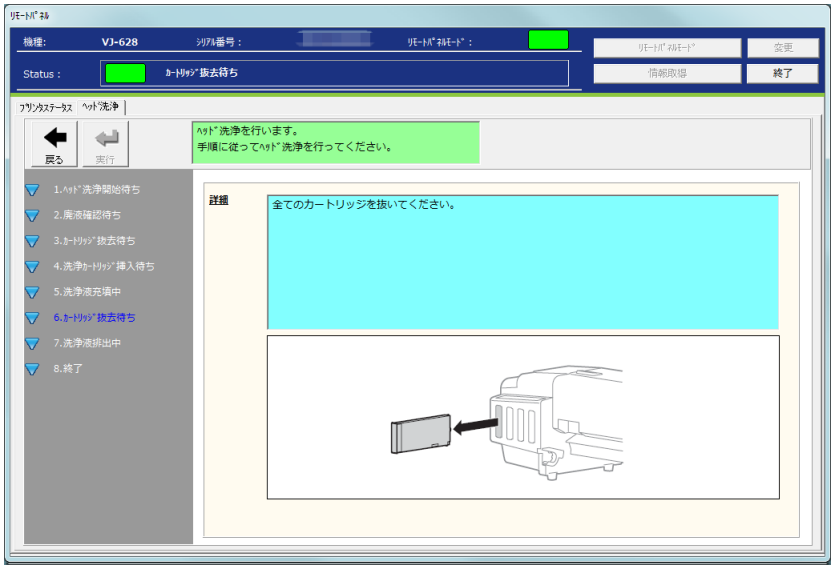


注 記

- これ以降ヘッド洗浄をキャンセルできませんので、ヘッド洗浄を最後まで行ってください。

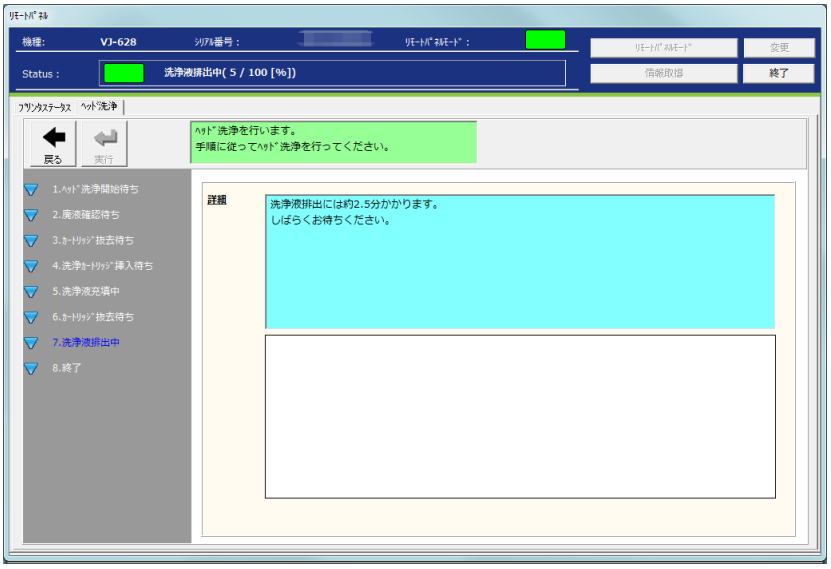
7)カートリッジ抜去待ち

洗浄液の充填が完了したら、全ての洗浄カートリッジを抜去してください。



8）洗浄液排出中

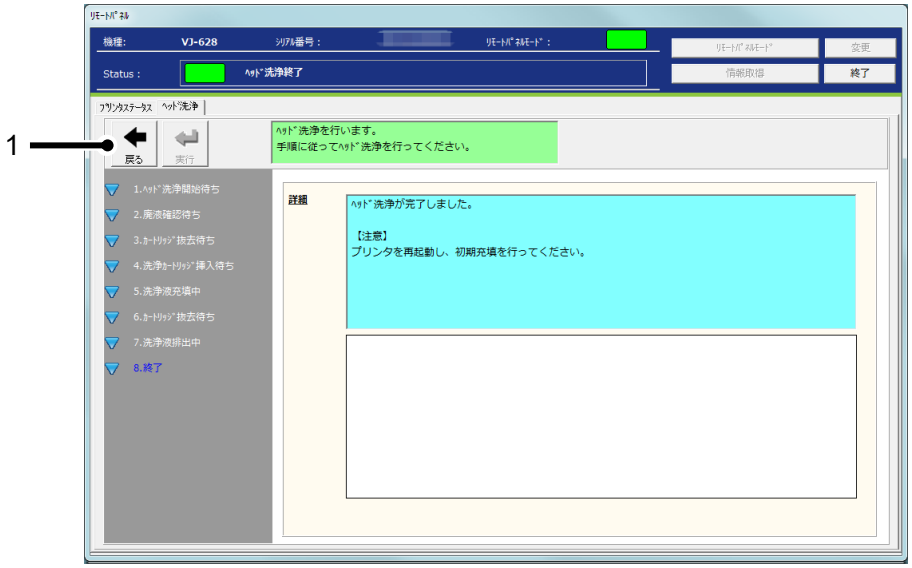
全ての洗浄カートリッジが抜去されたら、洗浄液の排出を行います。



9）終了

ヘッド洗浄が完了しました。

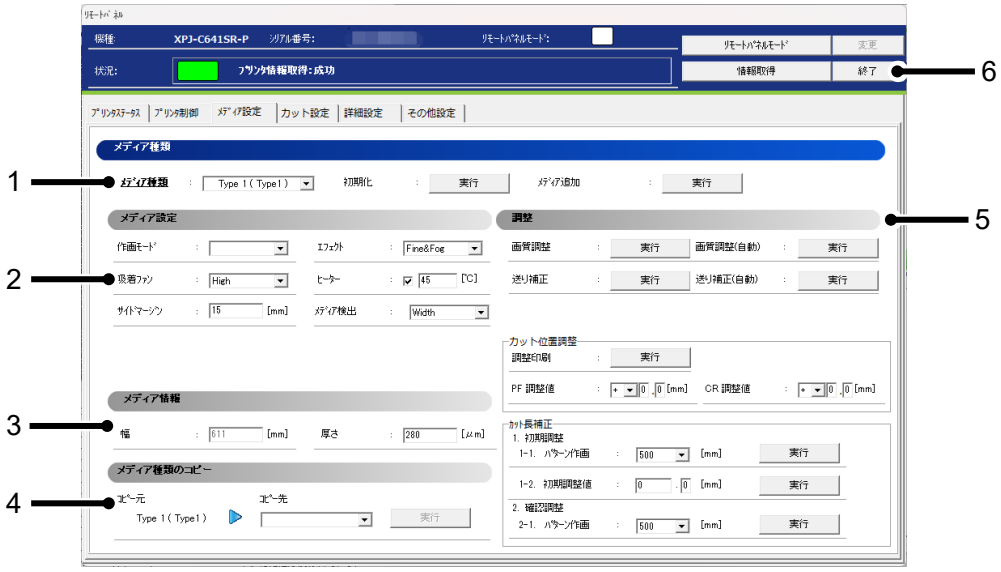
プリンタを再起動し、初期充填を行ってください。



13.1.4. メディア設定

メディア種類の設定をリモート制御します。

ご使用のメディアが複数ある場合、ヒーター設定などを個別に設定しプリンタに記憶することができます。



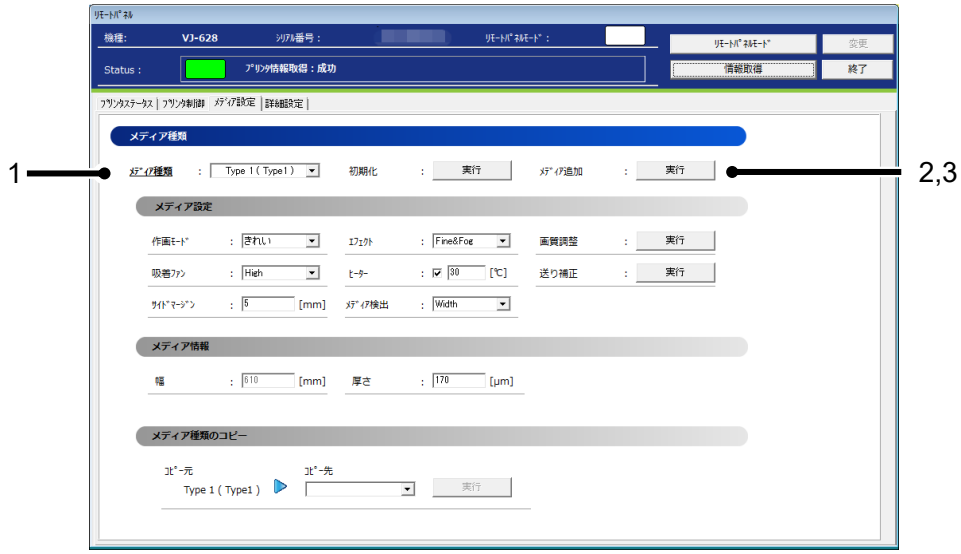
番号	名称	内容
1	メディア種類	現在プリンタに設定されているメディア種類を確認、変更することができます。
2	メディア設定	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定を確認、変更することができます。
3	メディア情報	現在プリンタに設定されているメディア情報を確認、変更することができます。
4	メディア種類のコピー	メディア種類の設定をコピーします。
5	調整	現在プリンタにセットされているメディアの各種調整をすることができます。
6	変更	設定を変更します。

注 記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。

13.1.4.1. メディア種類

現在プリンタに設定されているメディア種類を確認、変更することができます。



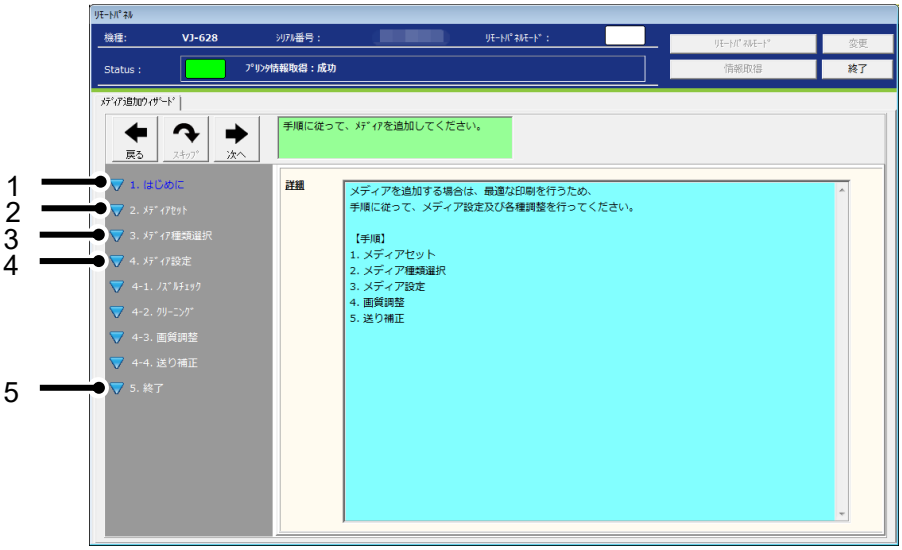
番号	名称	内容
1	メディア種類	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定を表示、変更ができます。
2	初期化	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定のみを初期化します。
3	メディア追加 ※1	ウィザード形式で、新しいメディアを追加します。

注 記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- ※1 XPJ-C641SR-P では無効になります。

(1)メディア追加

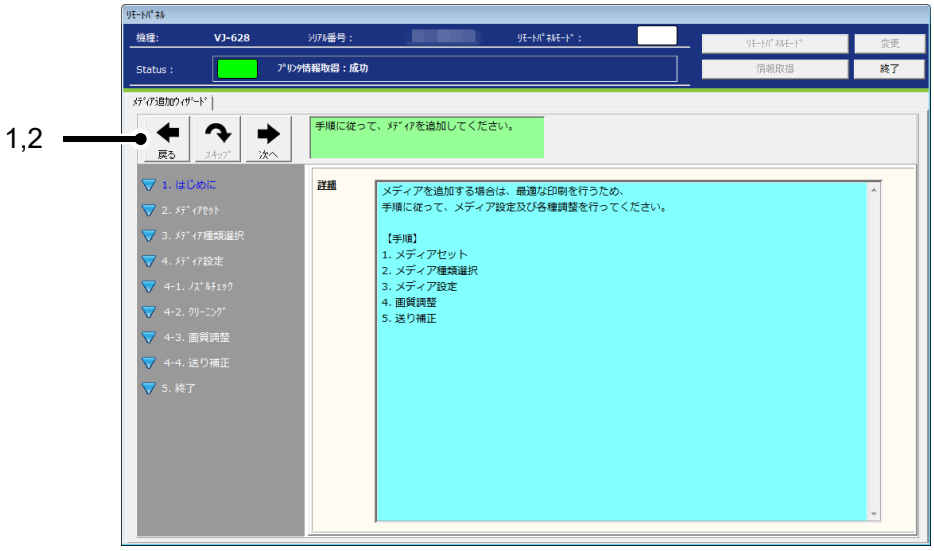
メディア追加時に必要な各設定/調整をウィザード方式でサポートします。



番号	名称	内容
1	はじめに	メディア追加の説明を表示します。
2	メディアセット	プリンタへのメディアセット方法を表示します。
3	メディア種類選択	追加するメディアの種類を選択します。
4	メディア設定	各種メディア設定、調整を行います。
5	終了	メディア追加を終了します。

1）はじめに

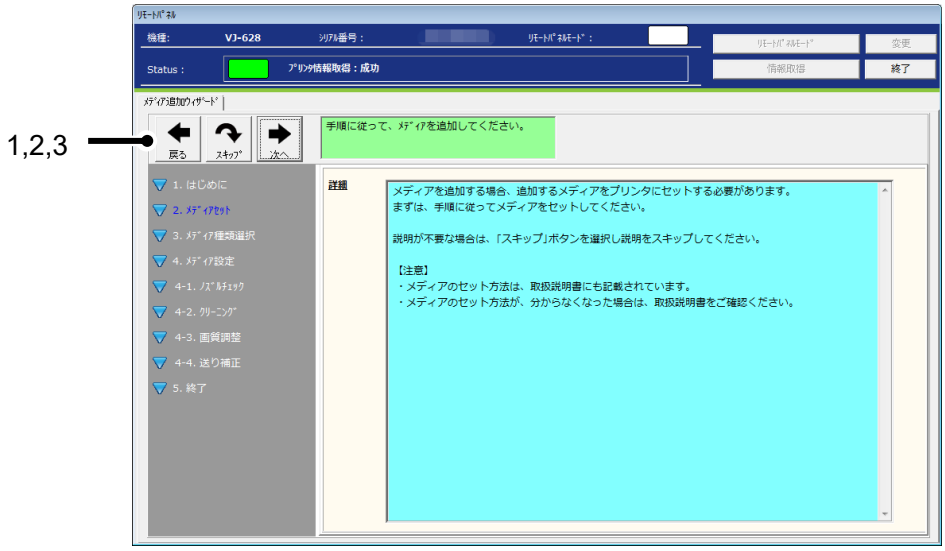
メディア追加ウィザードの説明を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	メディア追加をキャンセルし、メディア設定画面へ戻ります。
2	次へ	メディアセットへ移行します。

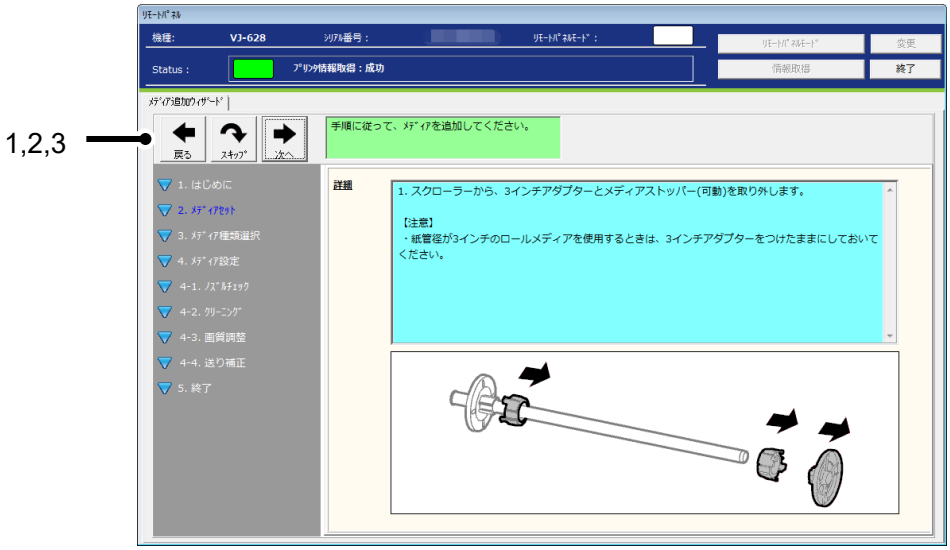
2）メディアセット

メディアのセット方法をウィザードで説明します。



番号	名称	内容
1	戻る	はじめに画面へ戻る。
2	スキップ	メディアセットを飛ばして、メディア種類設定へ移行します。
3	次へ	メディアセットへ移行します。

2-1）メディアセット：手順 1



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	メディアセットを飛ばして、メディア種類設定へ移行します。
3	次へ	次画面へ移行します。

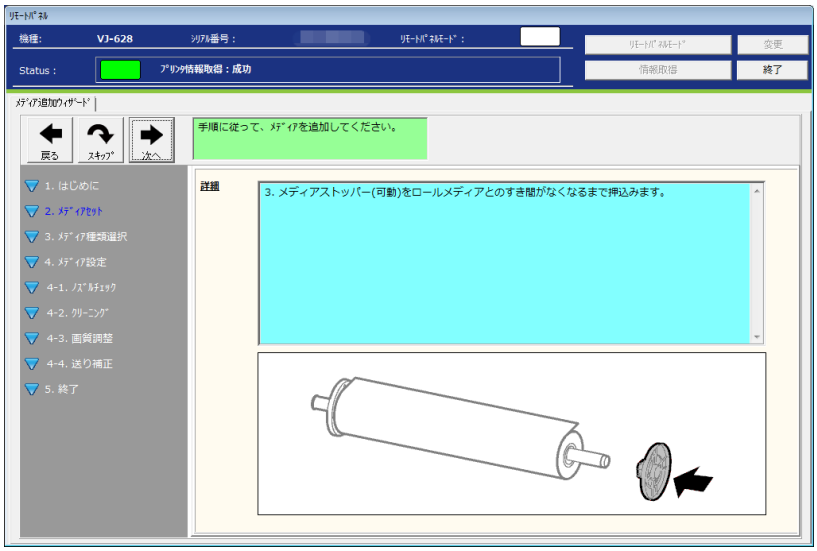
注　記

- メディアセットの各ステップのボタン機能については、本項目と同機能です。

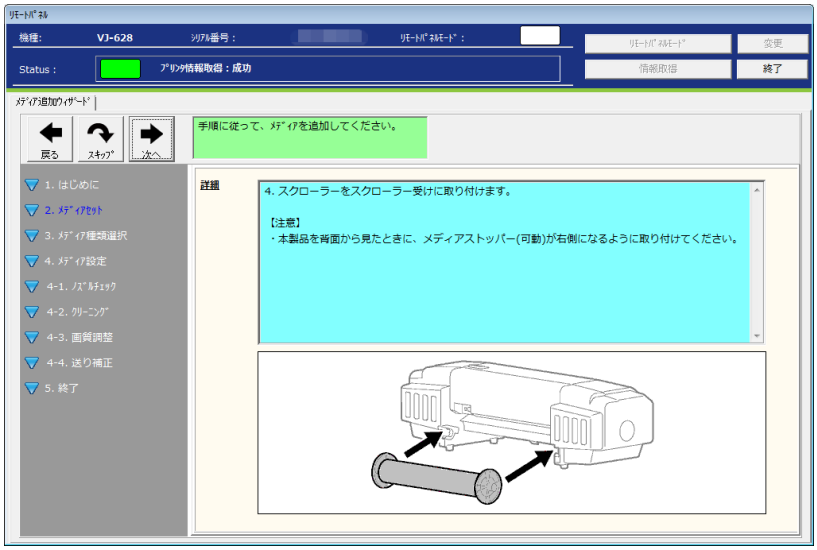
2-2）メディアセット：手順 2



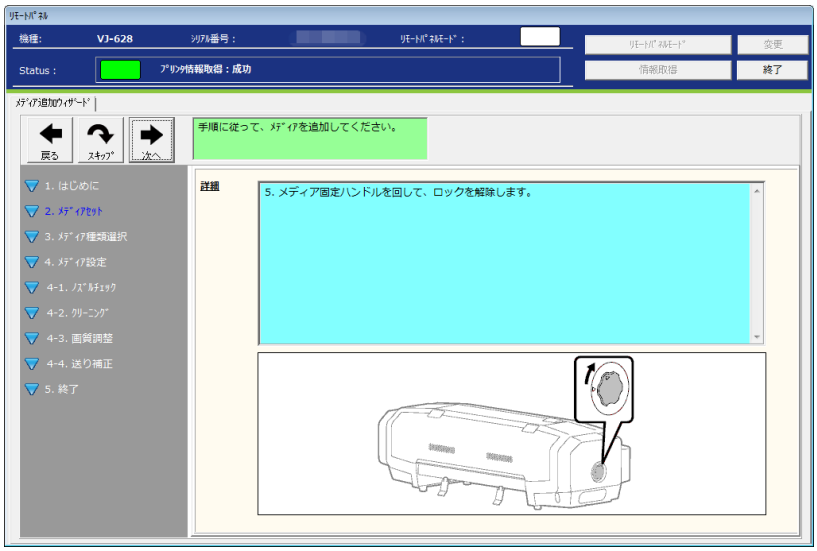
2-3）メディアセット：手順 3



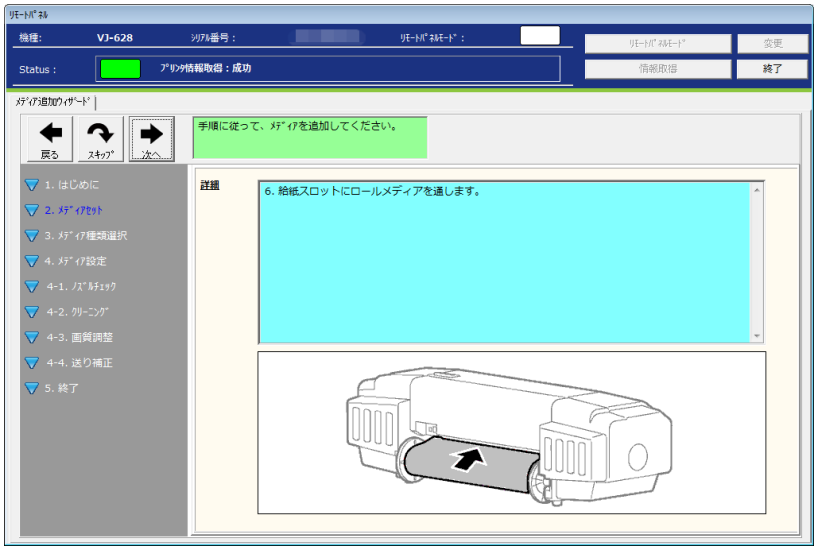
2-4）メディアセット：手順 4



2-5）メディアセット：手順 5



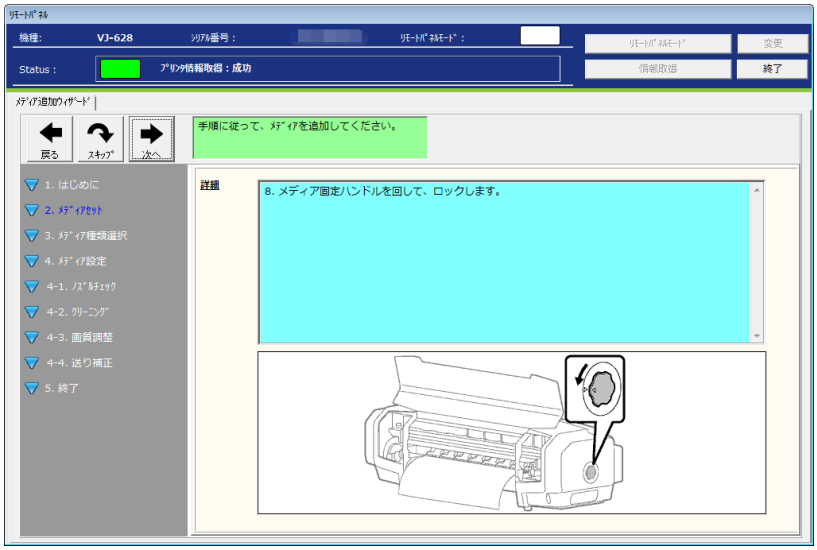
2-6）メディアセット：手順 6



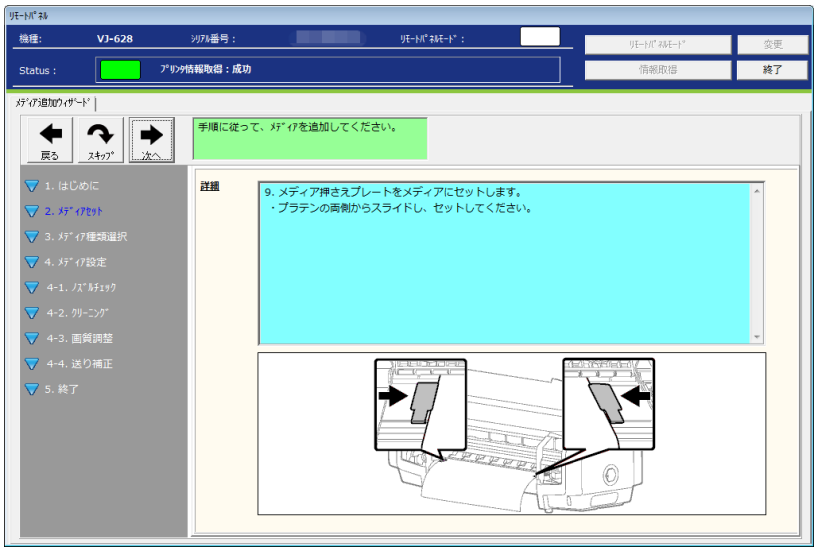
2-7）メディアセット：手順 7



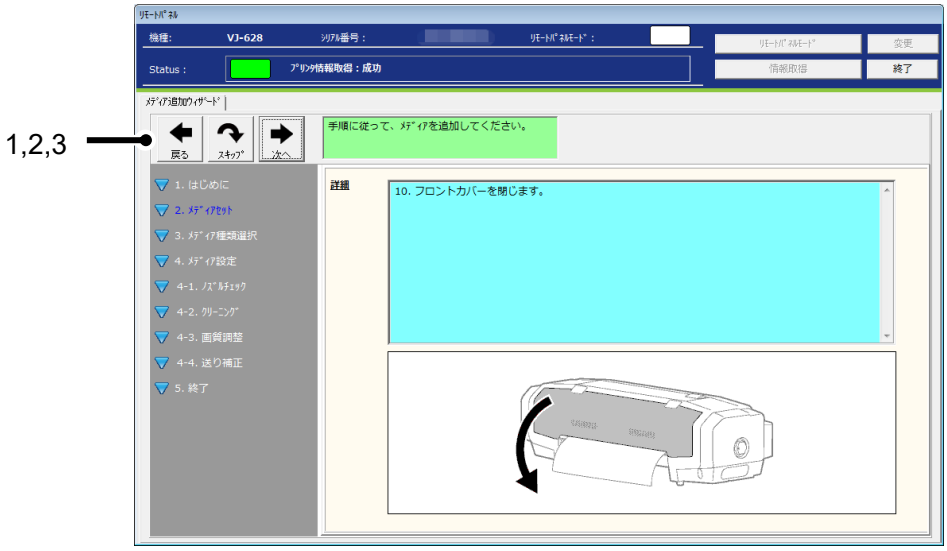
2-8）メディアセット：手順 8



2-9）メディアセット：手順 9



2-10）メディアセット：手順 10

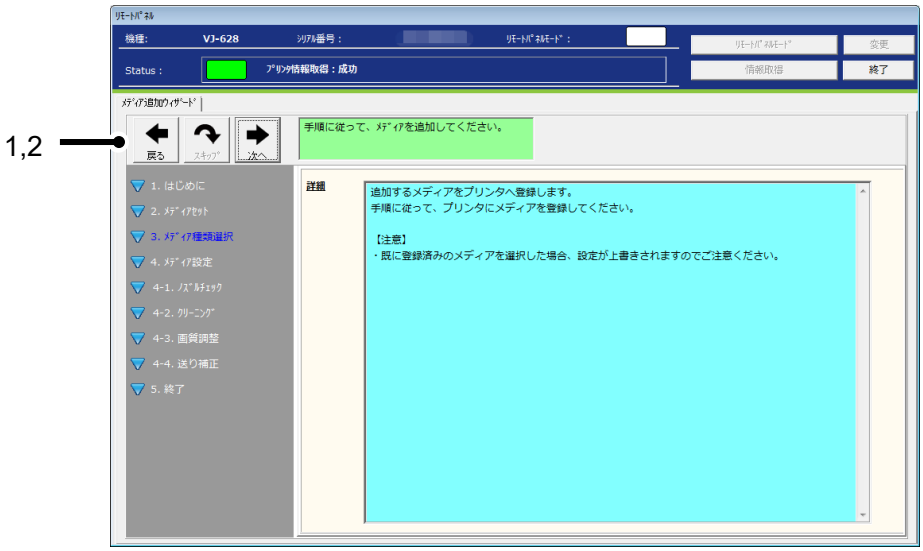


番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	メディアセットを飛ばして、メディア種類設定へ移行します。
3	次へ	メディア種類設定画面へ移行します。

3)メディア種類選択

追加するメディアをプリンタに登録します。

手順に従って、プリンタにメディアを登録してください。



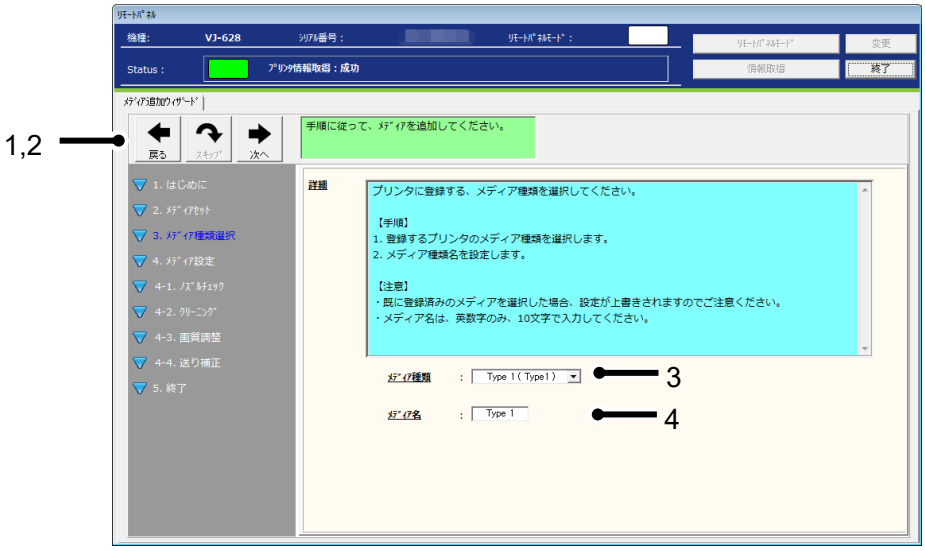
番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	次へ	メディア種類設定画面へ移行します。

注　記

- 本手順はスキップできません。

3-1）メディア種類選択

プリンタに登録する、メディア種類を選択します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	次へ	プリンタへメディア種類を登録します。
3	メディア種類	プリンタのメディア種類を選択します。
4	メディア名	登録するメディアの名称を入力します。

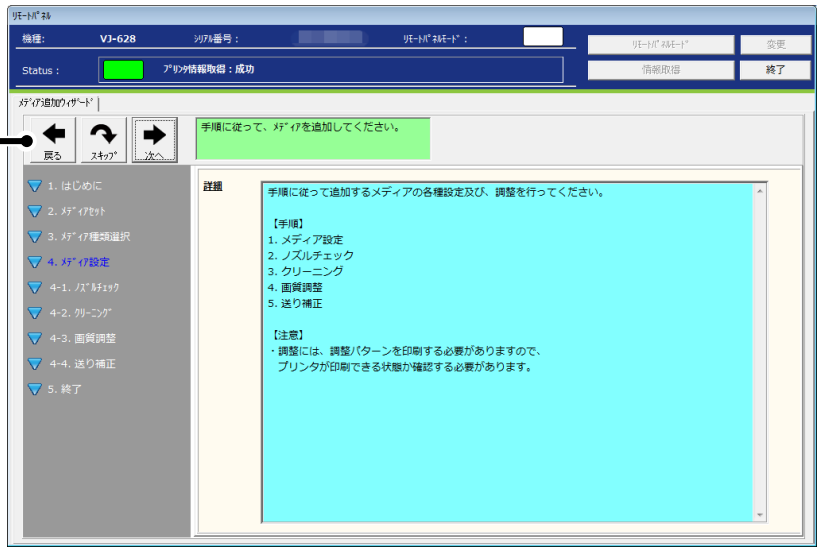
注　記

- 本手順はスキップできません。
- メディア名を変更する場合はカーソルを変更対象に合わせて直接文字を入力します。
- メディア名には、半角英数字のみ、最大10文字まで入力できます。

4)メディア設定

メディアの各種設定を行います。

最適な印刷を行うために、各種設定を行ってください。



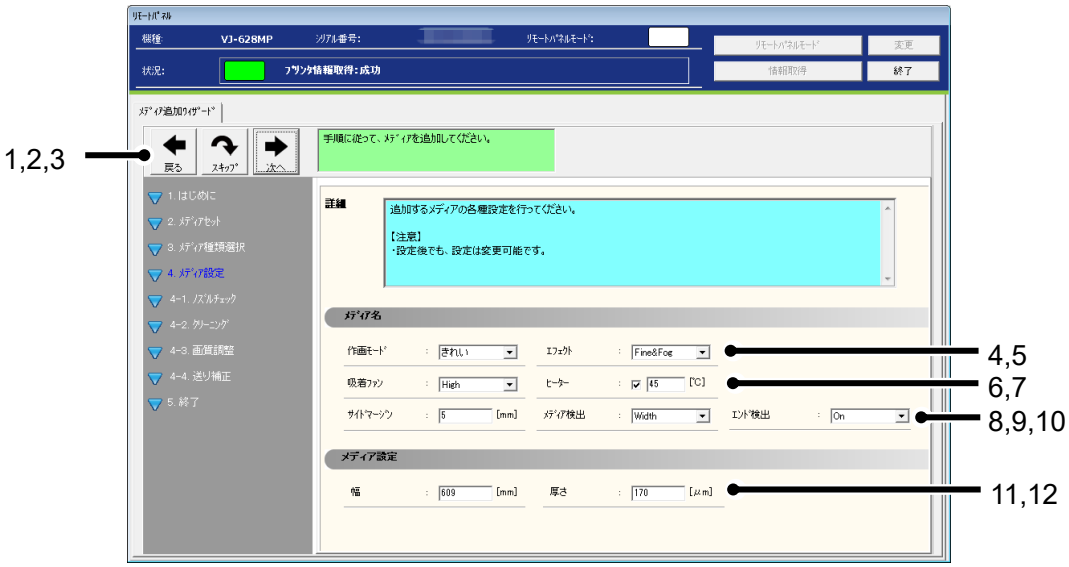
番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	メディア設定を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	メディア種類設定画面へ移行します。

注　記

- メディア設定をスキップした場合、各種設定及び調整については、現在の設定のままとなります。

4-1）メディア設定

メディア設定を行います。



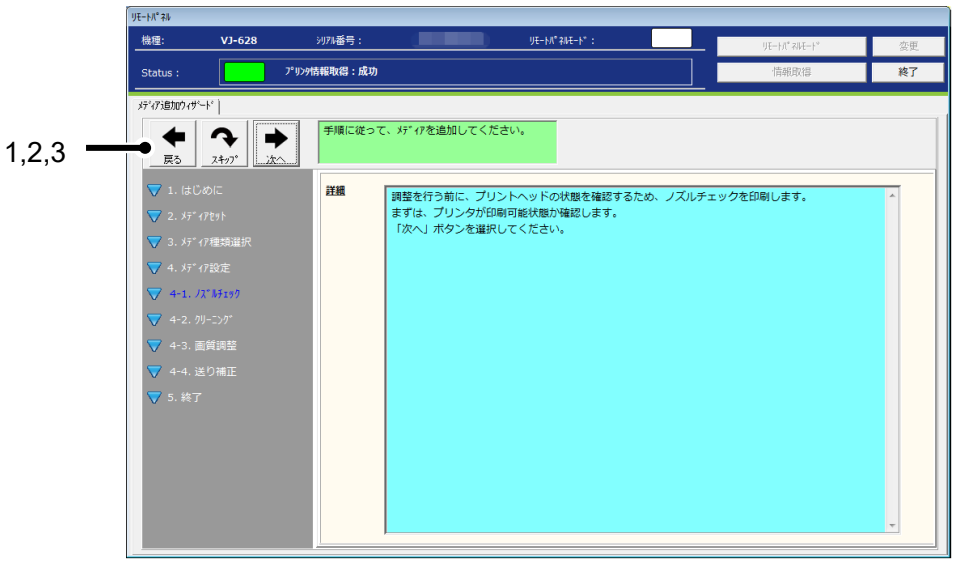
番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	メディア設定を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	メディア設定の変更を実行する。 変更後、ノズルチェックへ移行する。
4	作画モード	作画モードを設定する。
5	エフェクト	エフェクトを設定する。
6	吸着ファン	吸着ファンを設定する。
7	ヒーター	ヒーターを設定する。
8	サイドマージン	サイドマージンを設定する。
9	メディア検出	メディア検出を設定する。
10	エンド検出　※1	エンド検出を設定する。
11	メディア幅	メディア幅を設定する。
12	厚さ	メディアの厚さを設定する。

注 記

- ※1 VJ-628MP で有効になります。

4-2)ノズルチェック

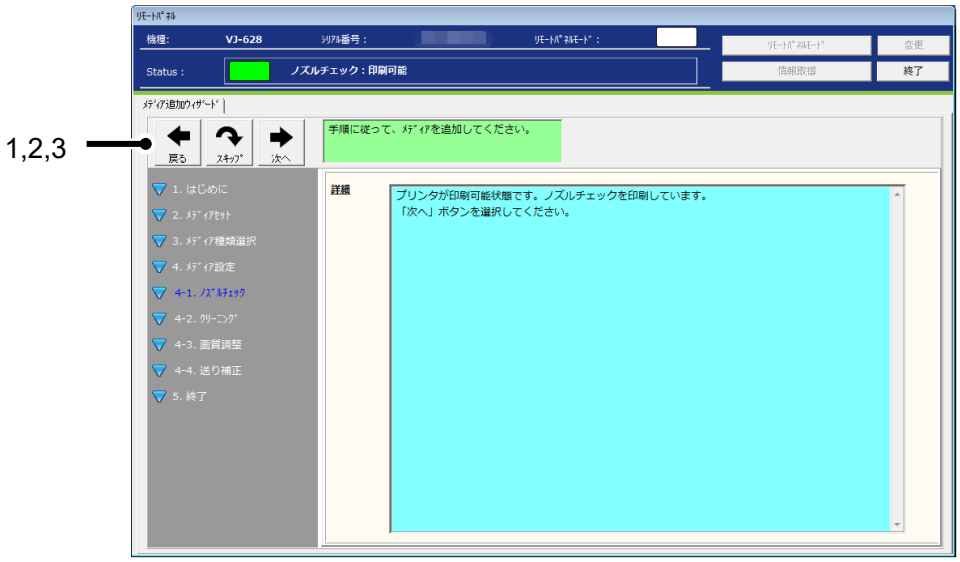
メディア設定を変更したら、画質調整を行うためヘッドの状態を確認します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	ノズルチェックを飛ばし、画質調整へ移行します。
3	次へ	プリンタが印刷可能状態か確認します。

4-3）プリンタ状態確認

プリンタが印刷可能か状態を確認します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	ノズルチェックを飛ばし、画質調整へ移行します。
3	次へ	ノズルチェックをプリンタに要求します。

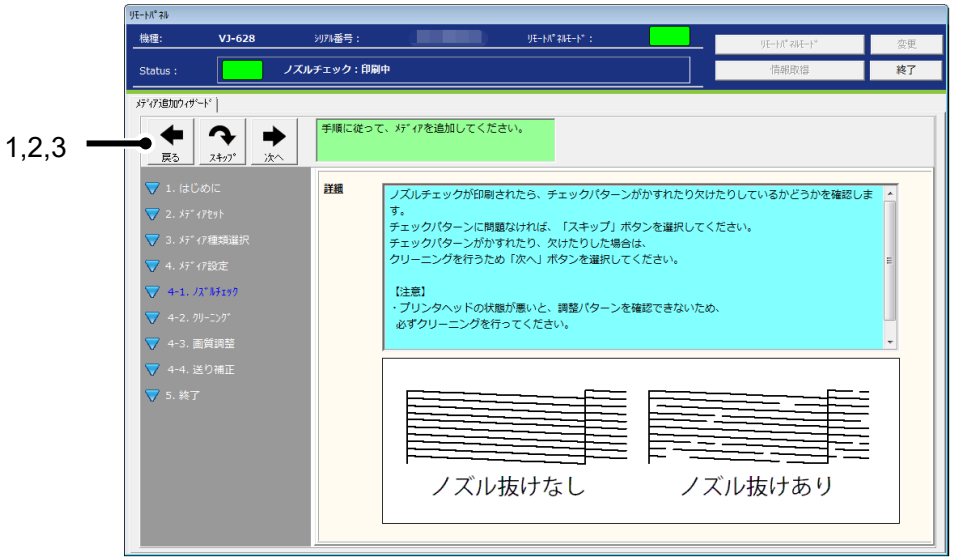
注　記

- プリンタが印刷可能状態でない場合は、ノズルチェックを印刷することができません。プリンタの状態を確認してください。

4-4）ノズルチェック確認

ノズルチェックパターンを確認し、プリンタヘッドの状態を確認してください。

ノズルの状態が悪い場合は、クリーニングを行ってください。

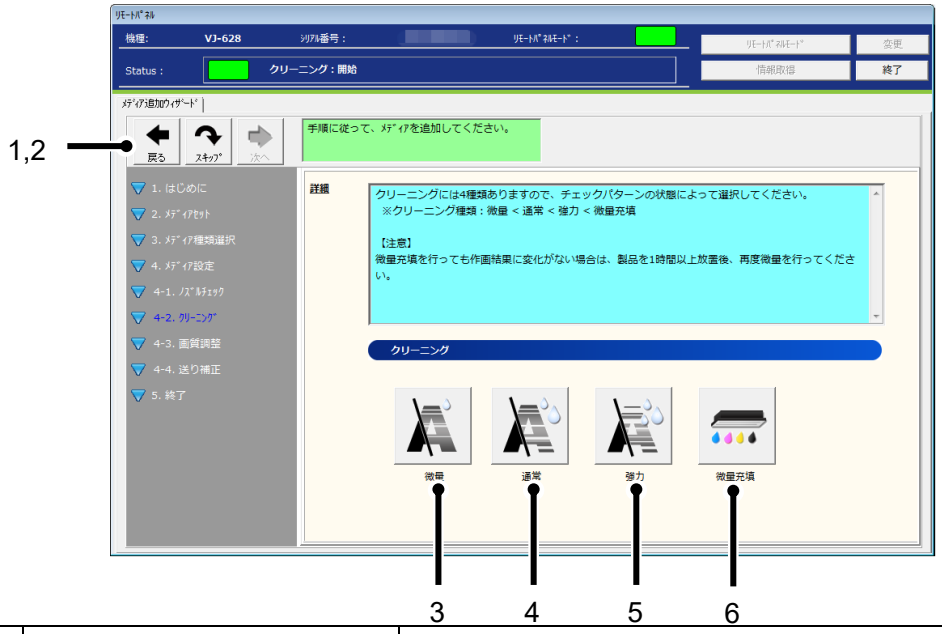


番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	ノズルチェックを飛ばし、画質調整へ移行します。
3	次へ	クリーニングへ移行します。

4-5）クリーニング

ノズルチェックを確認し、必要な場合はクリーニングを行ってください。

クリーニング実行後は、ノズルチェックへ戻るので、再度ヘッドの状態を確認してください。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	クリーニングを飛ばし、画質調整へ移行します。
3	微量クリーニング	微量クリーニングを実行します。 微量クリーニングを開始したら、ノズルチェックへ移行します。
4	通常クリーニング	通常クリーニングを実行します。 通常クリーニングを開始したら、ノズルチェックへ移行します。
5	強力クリーニング	強力クリーニングを実行します。 強力クリーニングを開始したら、ノズルチェックへ移行します。
6	微量充填	微量充填を実行します。 微量充填を開始したら、ノズルチェックへ移行します。

4-6）画質調整ウィザード

画質調整を手順に従って行ってください。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	画質調整を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	画質調整へ移行します。

4-6-1）メディア厚さ設定

追加するメディアの厚さを設定してください。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	メディア厚さを飛ばし、確認へ移行します。
3	次へ	メディア厚さ設定の変更を実行します。 メディア厚さを変更したら、確認へ移行します。
4	メディア種類	追加するメディア種類を表示します。
5	厚さ	メディアの厚さをマイクロ単位で入力します。

4-6-2）確認

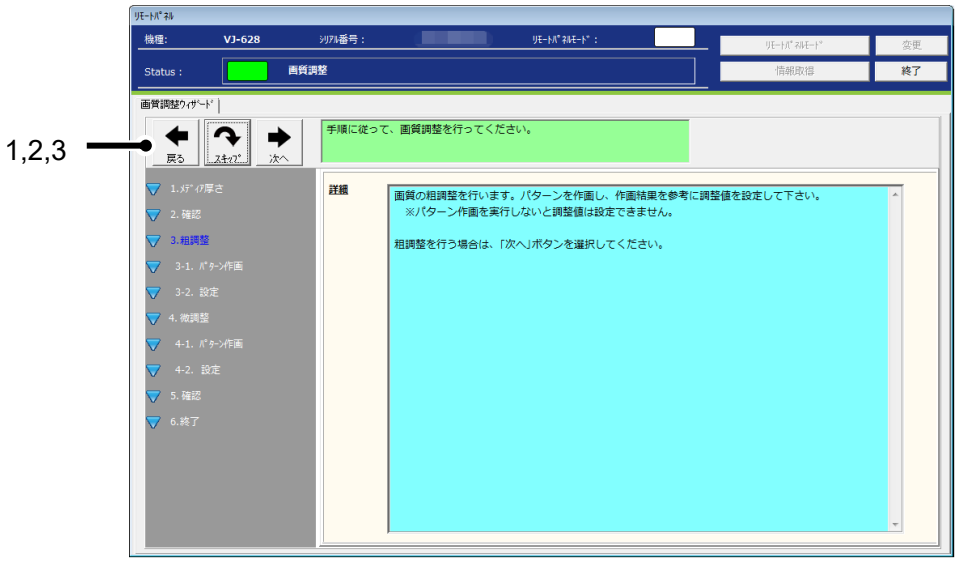
現在の画質調整を確認するためパターンを作画します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	確認を飛ばし、粗調整へ移行します。
3	次へ	確認パターンの印刷を実行します。 印刷を実行したら、粗調整へ移行します。

4-6-3）粗調整

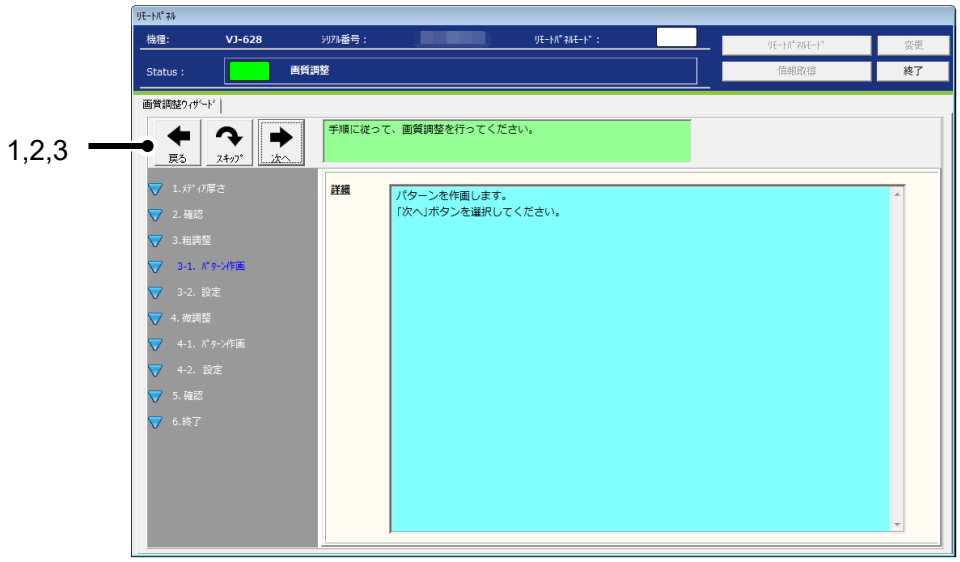
画質の粗調整を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	粗調整を飛ばし、微調整へ移行します。
3	次へ	粗調整へ移行します。

4-6-4）粗調整-パターン作画

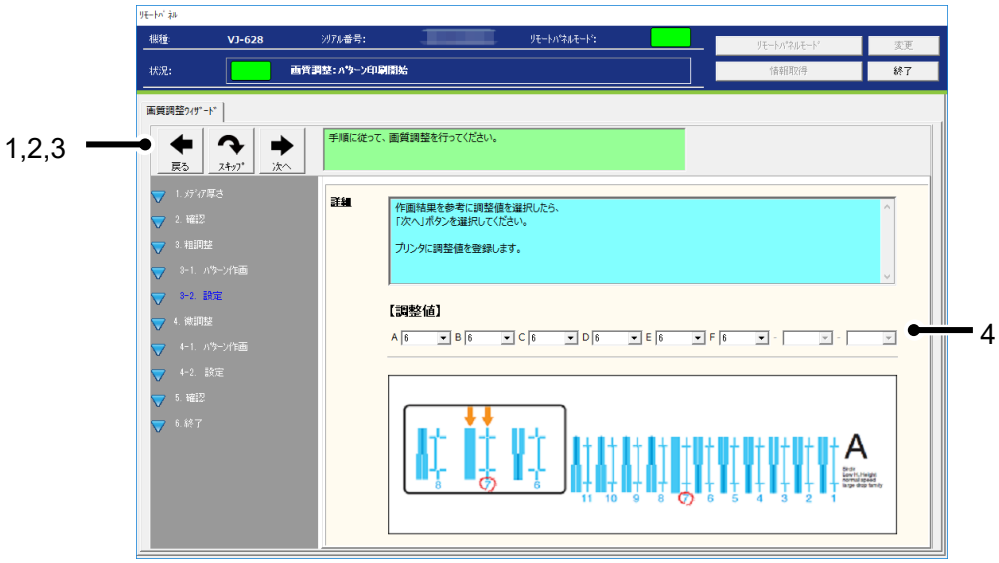
粗調整のパターンを作画します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	パターン作画を飛ばし、微調整へ移行します。
3	次へ	粗調整パターンの印刷を実行します。 印刷を実行したら、設定へ移行します。

4-6-5）粗調整-設定

作画結果を参考に調整値を設定します。



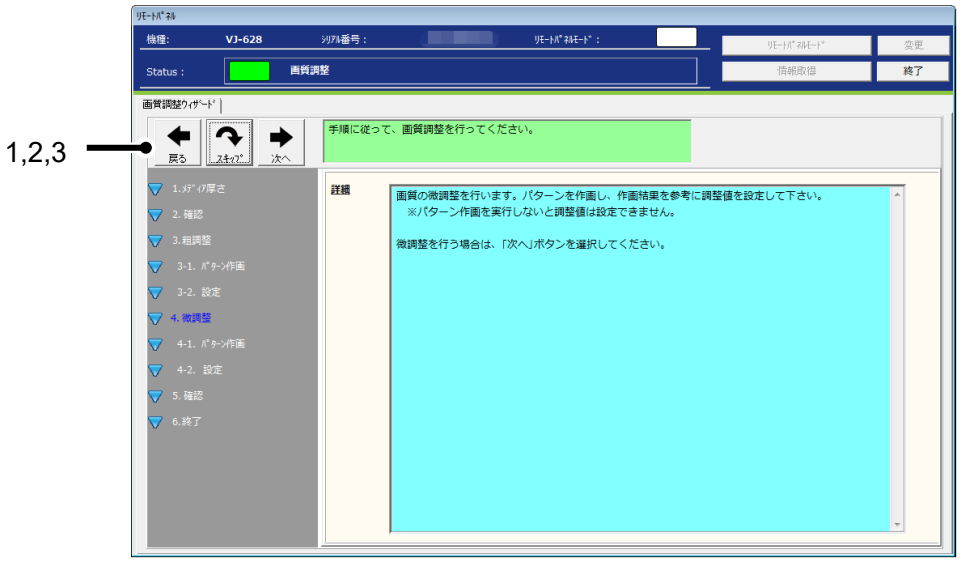
番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	設定を飛ばし、微調整へ移行します。
3	次へ	粗調整の設定を実行します。 設定を実行後、微調整へ移行します。
4	調整値	各パターンの調整値を変更します。

注　記

- パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なります。

4-6-6）微調整

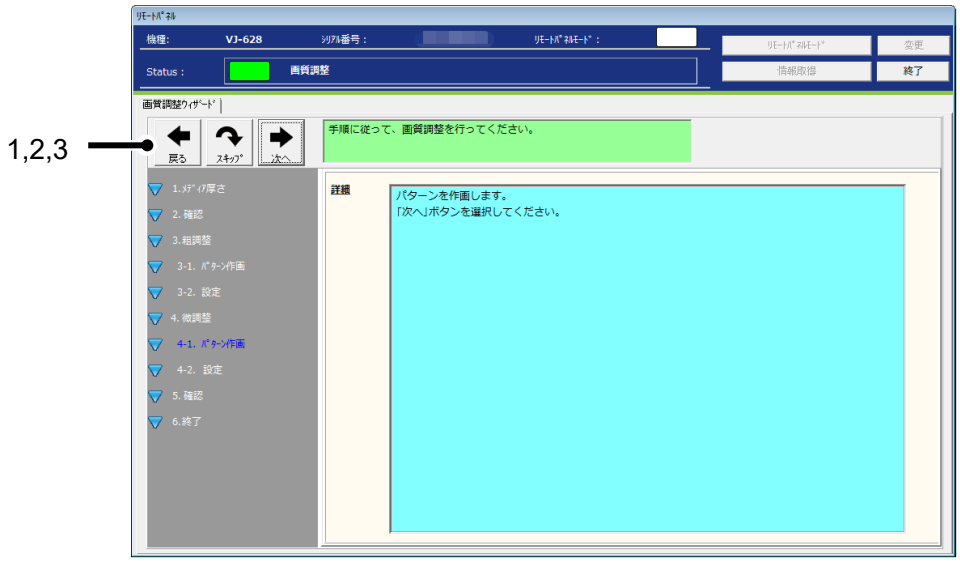
画質の微調整を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	微調整を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	微調整へ移行します。

4-6-7）微調整-パターン作画

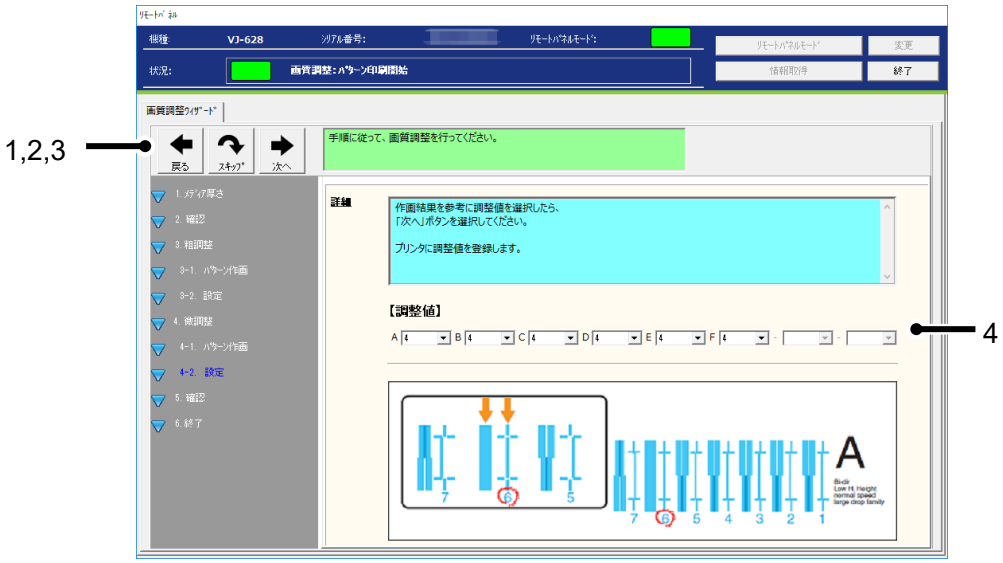
微調整のパターンを作画します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	パターン作画を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	微調整パターンの印刷を実行します。 印刷を実行したら、設定へ移行します。

4-6-8）微調整-設定

作画結果を参考に調整値を設定してください。



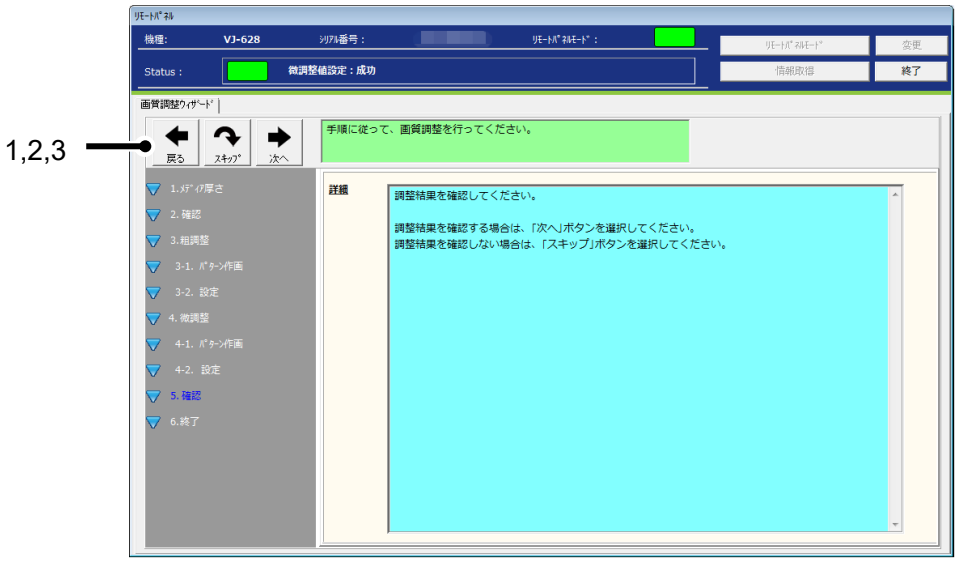
番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	設定を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	微調整の設定を実行します。 設定を実行後、確認へ移行します。
4	調整値	各パターンの調整値を変更します。

注　記

- パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なります。

4-6-9）確認

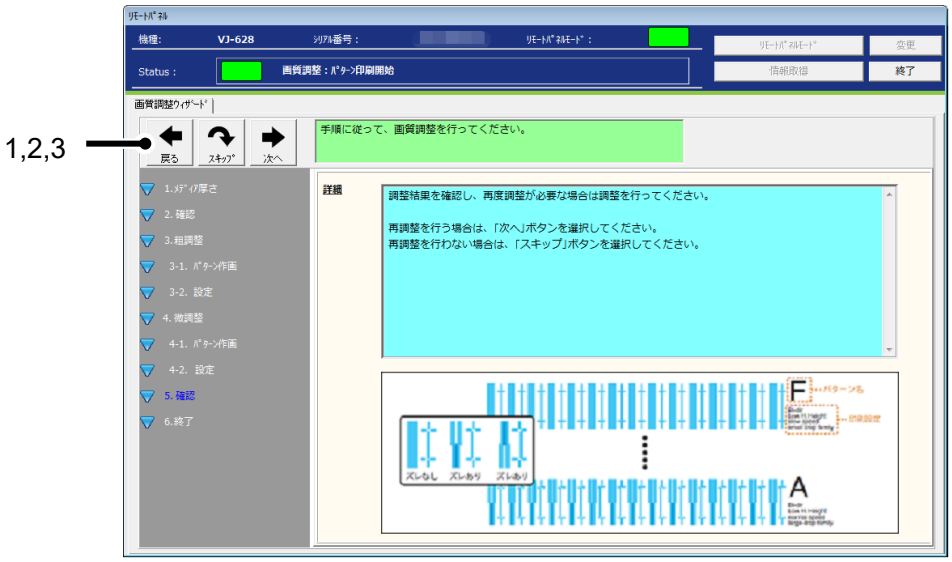
調整結果を確認するためパターン作画を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	確認を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	確認用パターンの印刷を実行します。

4-6-10）確認(パターン作画後)

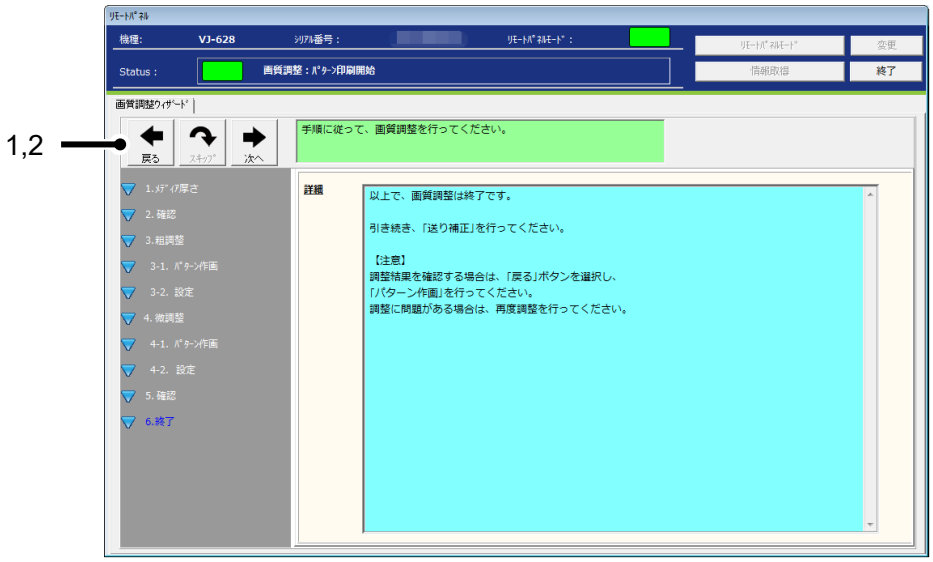
調整結果を確認し、再度調整が必要な場合は調整を行ってください。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	終了へ移行します。
3	次へ	再調整を行うため、微調整へ移行します。

4-6-11）終了

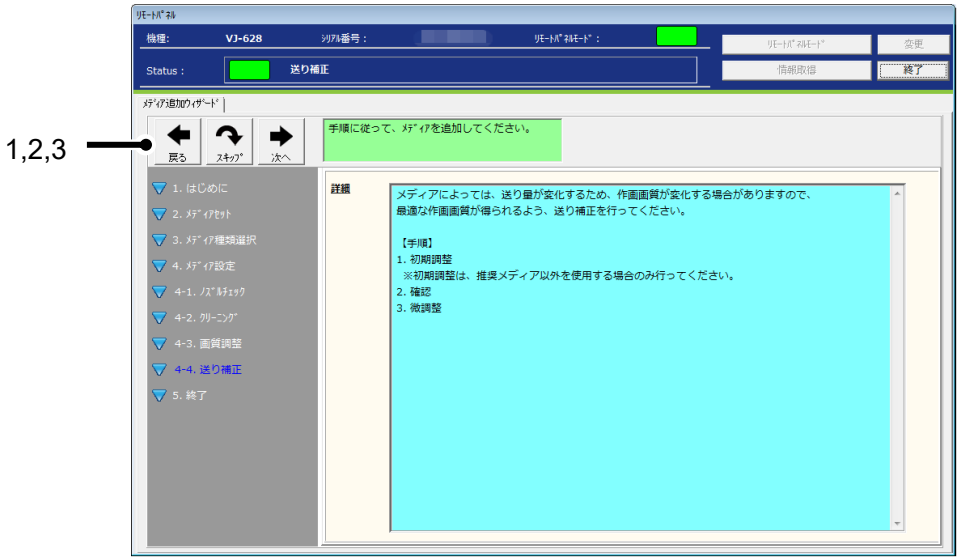
画質調整ウィザードを終了します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	次へ	メディア追加ウィザード画面へ移行します。

4-7）送り補正

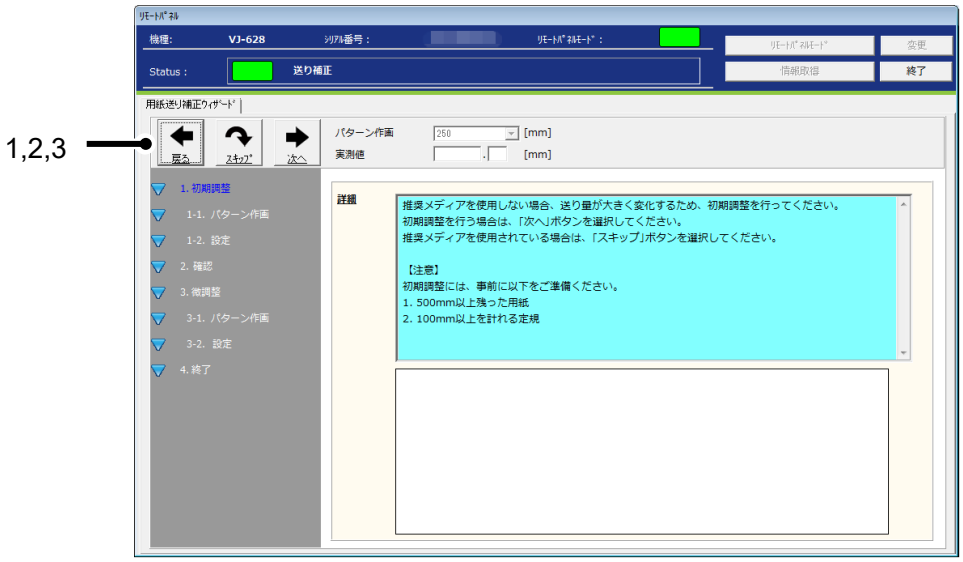
メディアによっては、送り量が変化するため、作画画質が変化する場合がりますので、
最適な作画画質が得られるよう、送り補正を行ってください。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	送り補正を飛ばし、終了へ移行します。
3	次へ	送り補正へ移行します。

4-7-1）初期調整

送り補正の初期調整を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	初期調整を飛ばし、微調整へ移行します。
3	次へ	送り補正へ移行します。

注　記

- 推奨メディアを使用されている場合は、初期調整は不要なため、「スキップ」ボタンを選択してください。

4-7-2）初期調整-パターン作画

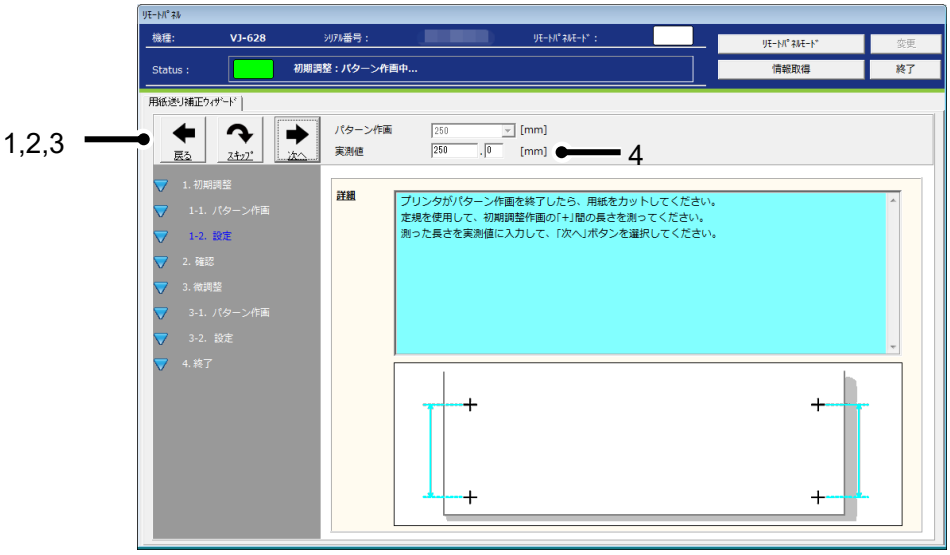
初期調整のパターン作画を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	初期調整を飛ばし、微調整へ移行します。
3	次へ	パターン作画を実行します。
4	パターン作画	リストから、パターン作画長を選択します。 パターン作画長範囲: 100mm ～ 250mm(初期値) ～ 500mm ※50mm刻み

4-7-3）初期調整-設定

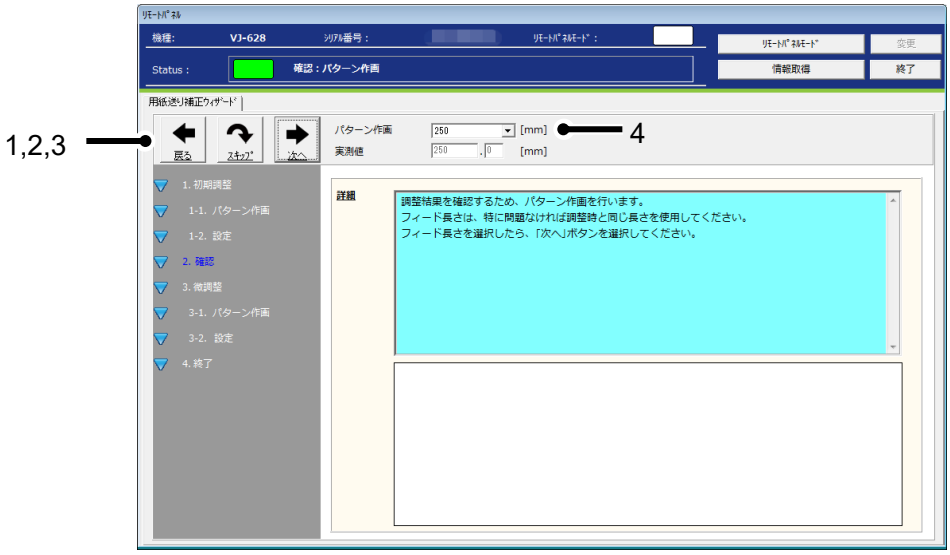
初期調整の設定を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	初期調整を飛ばし、微調整へ移行します。
3	次へ	初期調整の調整値をプリンタに設定します。
4	パターン作画	初期調整の実測値を入力します。 実測値範囲：パターン作画長の±50mm ※0.1mm刻み 例）パターン作画長：250mm 200mm ～ 300mm

4-7-4）確認-パターン作画

調整結果を確認するため、パターン作画を行います。

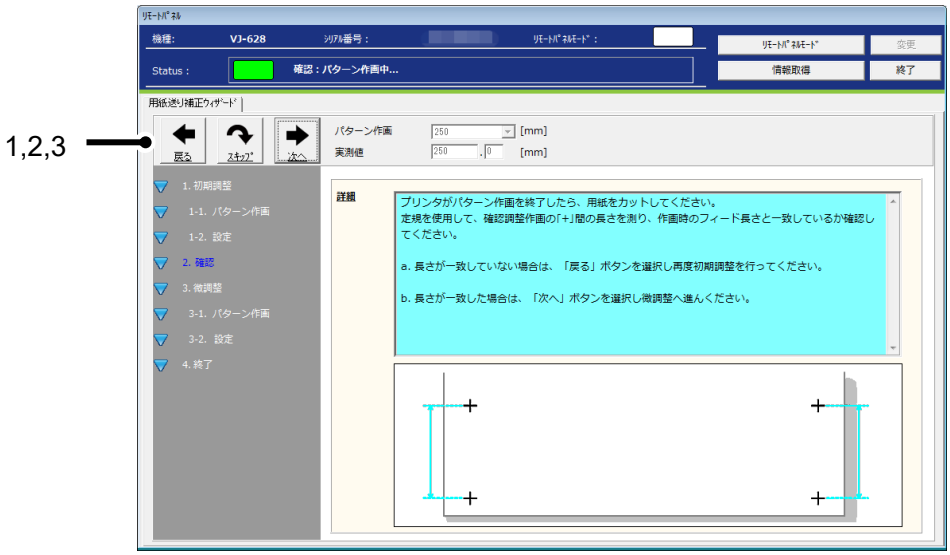


番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	確認を飛ばし、微調整へ移行します。
3	次へ	パターン作画を実行します。
4	パターン作画	リストから、パターン作画長を選択します。 パターン作画長範囲： 100mm ～ 250mm(初期値) ～ 500mm ※50mm 刻み

確認-確認

プリンタがパターン作画を終了したら、メディアをカットしてください。

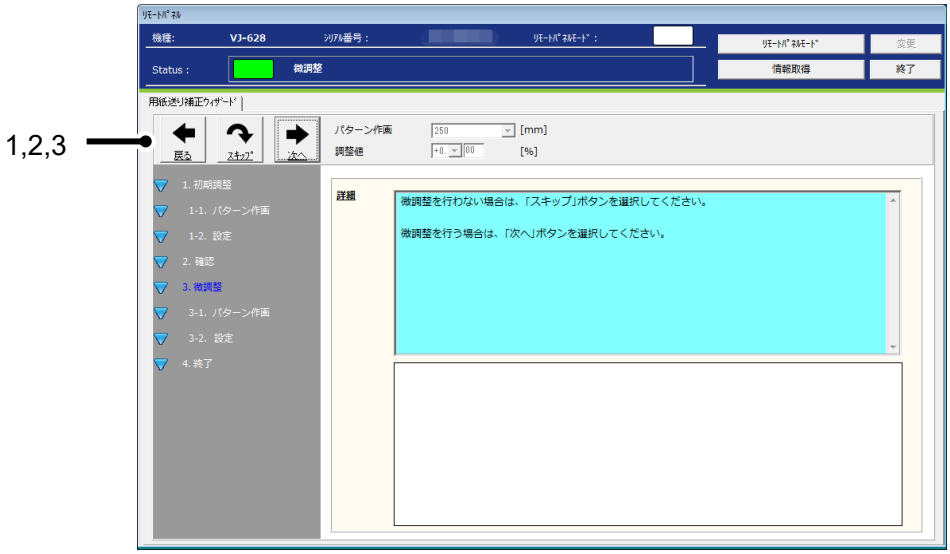
定規を使用して、確認調整作画の「+」間の長さを測り、作画時のフィード長さと一致しているか確認してください。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	微調整へ移行します。
3	次へ	

4-7-6）微調整

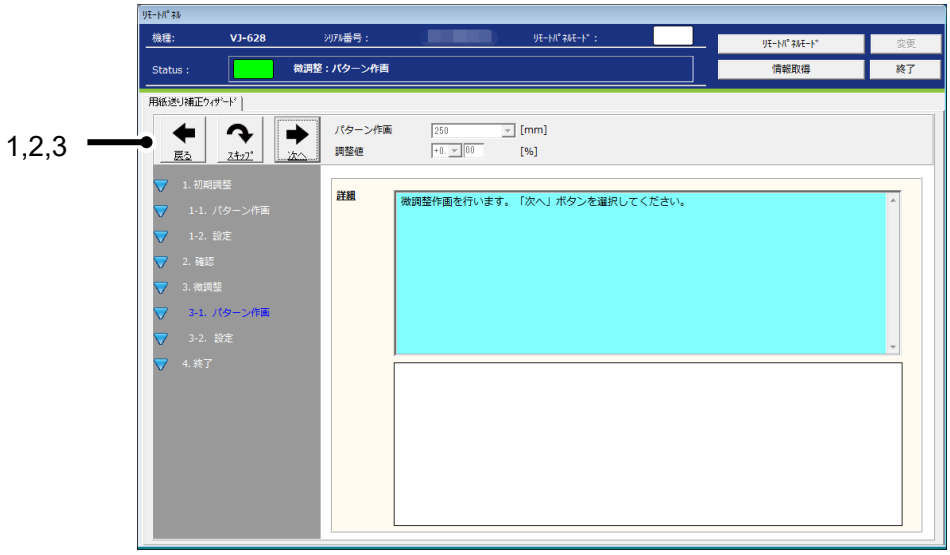
送り補正の微調整を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	終了へ移行します。
3	次へ	パターン作画に移行します。

4-7-7）微調整-パターン作画

微調整のパターン作画を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	終了へ移行します。
3	次へ	パターン作画に実行します。

4-7-8）微調整-設定

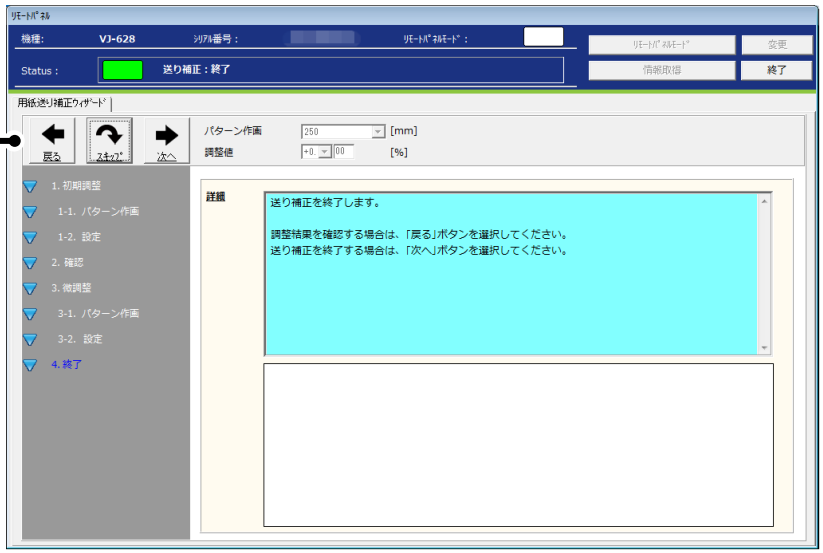
微調整の設定を行います。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	スキップ	終了へ移行します。
3	次へ	微調整の調整値をプリンタに設定します。
4	調整値	微調整の調整値を入力します。 調整値範囲: ±5.00% ※0.01%刻み

4-7-9）終了

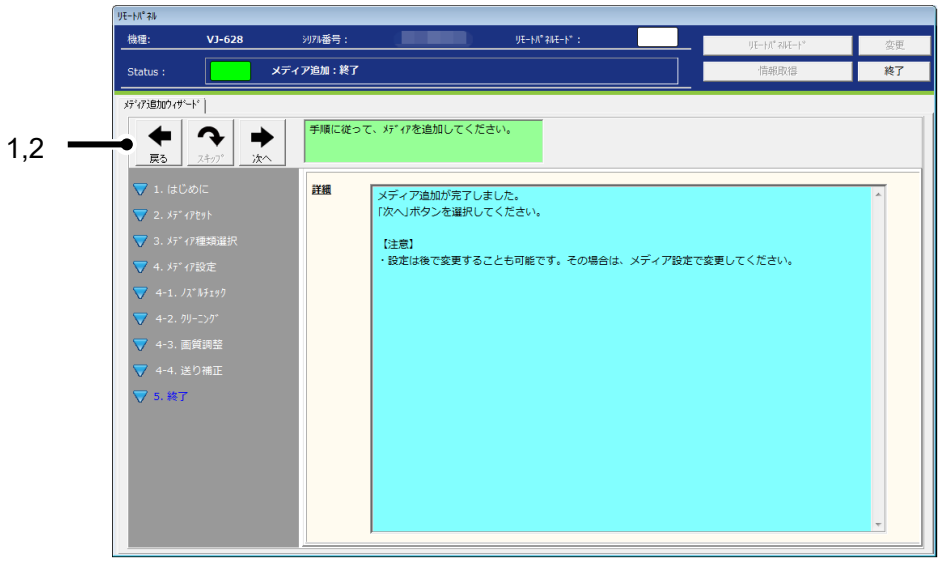
送り補正ウィザードを終了します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	次へ	メディア追加ウィザードに移行します。

5)終了

メディア追加ウィザードを終了します。



番号	名称	内容
1	戻る	前画面へ戻る。
2	次へ	メディア設定に戻ります。

13.1.4.2. メディア設定

現在プリンタに設定されているメディア設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	作画モード	現在プリンタに設定されているメディアの作画モード設定を確認、変更することができます。
2	エフェクト	現在プリンタに設定されているメディアのエフェクト設定を確認、変更することができます。
3	吸着ファン	現在プリンタに設定されているメディアの吸着ファン設定を確認、変更することができます。
4	ヒーター	現在プリンタに設定されているメディアのヒーターの温度設定を確認、変更することができます。
5	サイドマージン	現在プリンタに設定されているメディアのサイドマージン設定を確認、変更することができます。
6	メディア検出	現在プリンタに設定されているメディアのメディア検出設定を確認、変更することができます。
7	エンド検出　※1	現在プリンタに設定されているメディアのエンド検出設定を確認、変更することができます。
8	原点設定　※2,3	原点設定の詳細設定画面に移動します。
9	原点設定　※2	原点設定を設定します。 設定値:< オフ > / オン
10	設定値(CR)　※2,3	現在プリンタに設定されている原点設定の設定値(CR)を確認することができます。

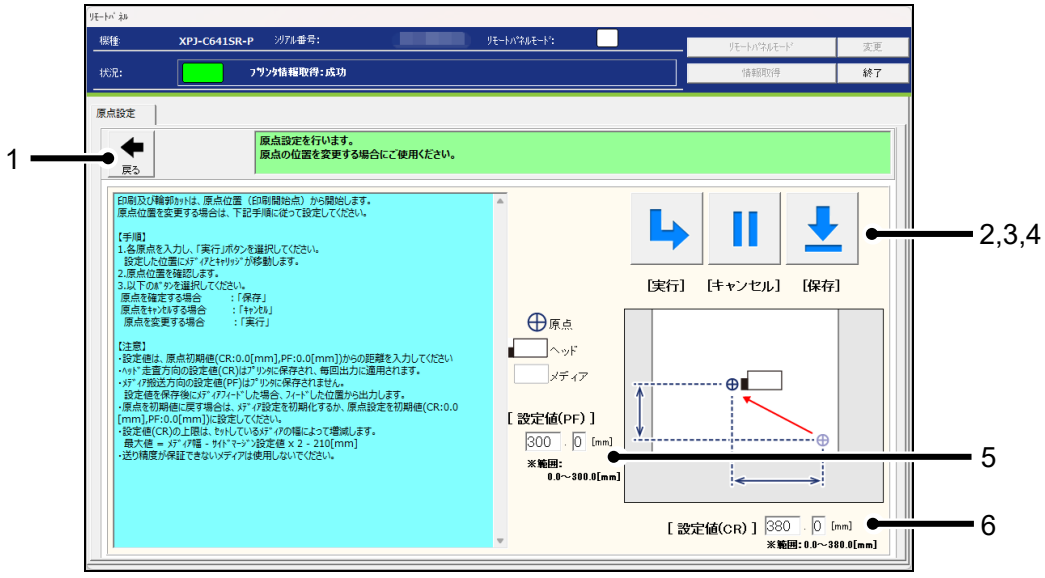
注 記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。
- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ※1 VJ-628MP/XPJ-C641SR-P で有効になります。
- ※2 XPJ-C641SR-P で有効になります。
- ※3 原点設定が「オン」の場合、有効になります。

(1)原点設定

印刷及び輪郭カットは、原点位置(印刷開始点)から開始します。

原点設定は、原点位置を変更することが可能です。



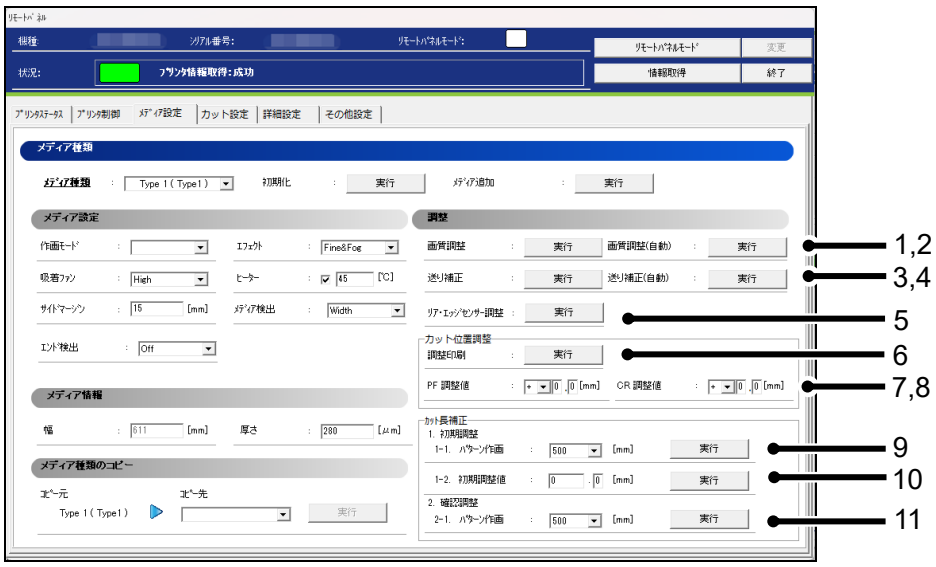
番号	名称	内容
1	戻る	メディア設定に戻ります。
2	実行	入力された各調整値の確認を行います。 ヘッド及びメディアが原点位置へ移動します。
3	キャンセル	原点設定をキャンセルします。 但し、原点設定の確認中のみ有効となります。
4	保存	原点設定をプリンタに保存します。 但し、原点設定の確認中のみ有効となります。
5	設定値(PF)	原点確認時にメディアフィードを行います。但し、設定値はプリンタに保存されません。原点設定後、メディアフィードを行った場合は、フィードした場所から印刷します。 設定値: 〈 0.0 mm 〉 ～ 300.0 mm
6	設定値(CR)	ヘッド移動方向の原点設定です。 プリンタに設定が保存され、印刷及び輪郭カットに毎回適用されます。 設定値: 〈 0.0 mm 〉 ～ 380.0 mm

注 記

- 設定値は、原点の初期値(CR:0.0,PF:0.0)からの距離を、絶対値(mm 単位)で入力してください。
- 原点を初期値に戻す場合は、メディア設定を初期化するか、原点設定を初期値(CR:0.0,PF:0.0)に設定してください

13.1.4.3. 調整

現在プリンタにセットされているメディアの各種調整をすることができます。



番号	名称	内容
1	画質調整	現在プリンタに設定されているメディアの画質調整を行います。
2	画質調整(自動) ※1	現在プリンタに設定されているメディアの画質調整を自動で行います。
3	送り補正	現在プリンタに設定されているメディアの送り補正を行います。
4	送り補正(自動) ※1	現在プリンタに設定されているメディアの送り補正を自動で行います。
5	リア・エッジセンサー調整 ※2	現在プリンタに設定されているメディアのリア・エッジセンサー調整を行います。
6	カット位置調整-調整印刷 ※1	カット位置調整のパターンを印刷します。
7	カット位置調整-PF調整値 ※1,2	カット位置調整のPF調整値を設定します。 調整値範囲 -9.9 [mm] ～ < 0.0[mm] > ～ +9.9 [mm]
8	カット位置調整-CR調整値 ※1,2	カット位置調整のCR調整値を設定します。 調整値範囲 -9.9 [mm] ～ < 0.0[mm] > ～ +9.9 [mm]
9	カット長補正-初期調整- パターン作画 ※1	カット長補正の初期調整パターン長を印刷します。 50 [mm]単位 パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm]
10	カット長補正-初期調整 - 初期調整値 ※1	カット長補正の初期調整用の初期調整値を設定します。 調整値範囲: 初期調整パターンの±50.0 [mm] 0.1[mm]単位 例)初期調整パターンが250[mm]の場合 調整値範囲 200 [mm] ～ 300 [mm]
11	カット長補正 - 確認調整 - パターン作画 ※1	確認パターンを印刷します。 50 [mm]単位 パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm]

注 記

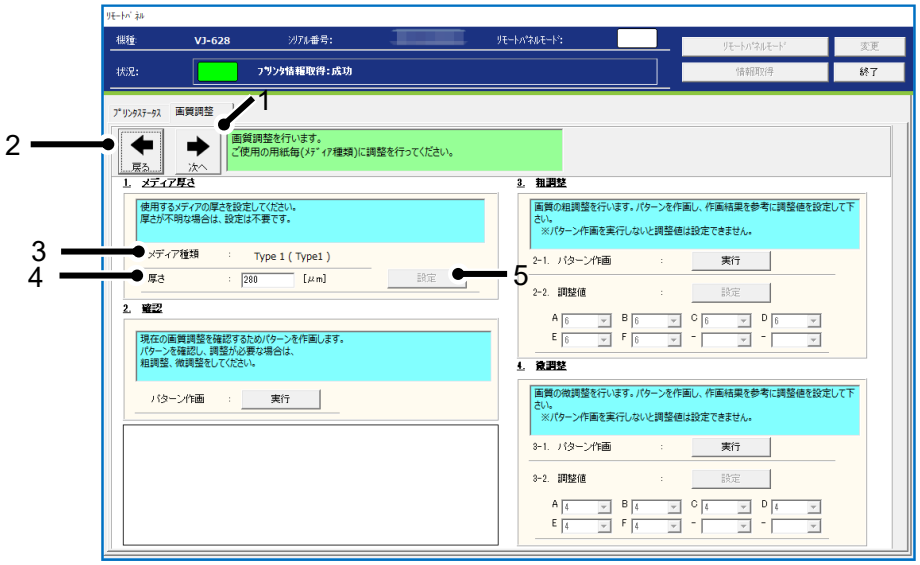
- ※1 XPJ−C641SR−P で有効になります。
- ※2 VJ-628MP,VJ-628X で有効になります。

(1)画質調整

作画に最適な画質の調整を行います。

1)メディア厚さ

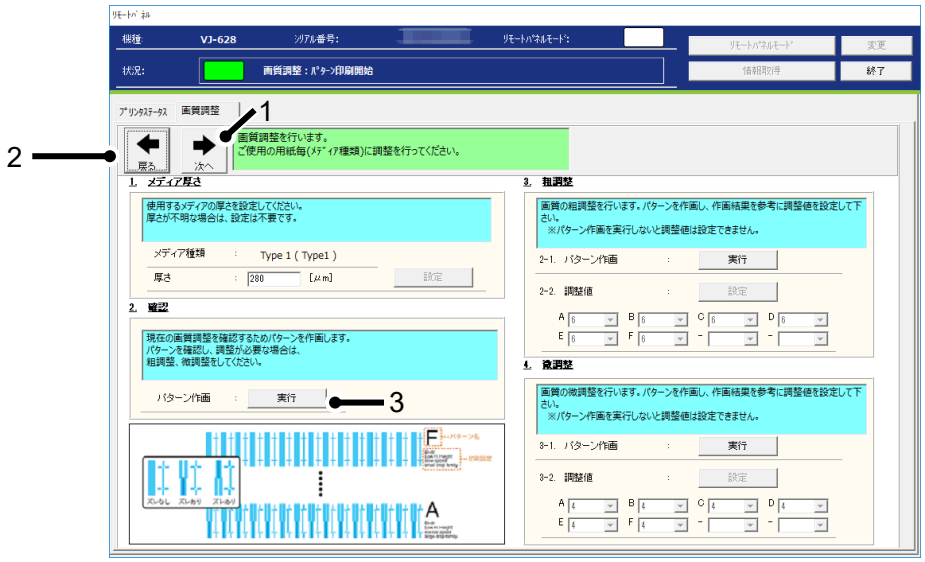
使用するメディアの厚さを設定します。



番号	名称	内容
1	次へ	送り補正に移行する
2	戻る	前項に戻る。
3	メディア種類	現在設定されているメディア種類を表示する。
4	厚さ	セットしているメディアの厚さを設定する。
5	設定	変更したメディア厚さをプリンタに設定する。

2)確認

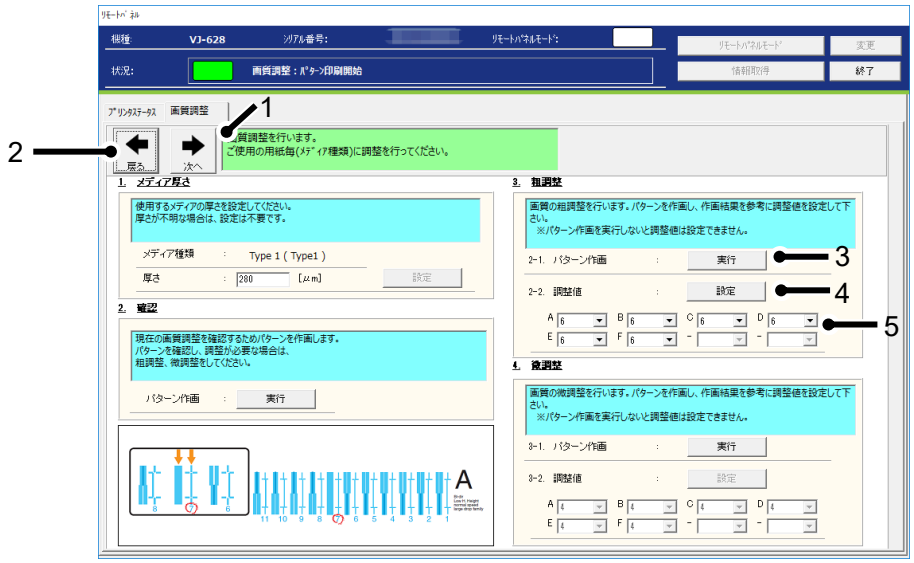
現在の画質調整を確認するパターンを作画する。



番号	名称	内容
1	次へ	送り補正に移行する
2	戻る	メディア設定に戻る。
3	実行	現在の画質調整を確認するパターンを作画する。

3)粗調整

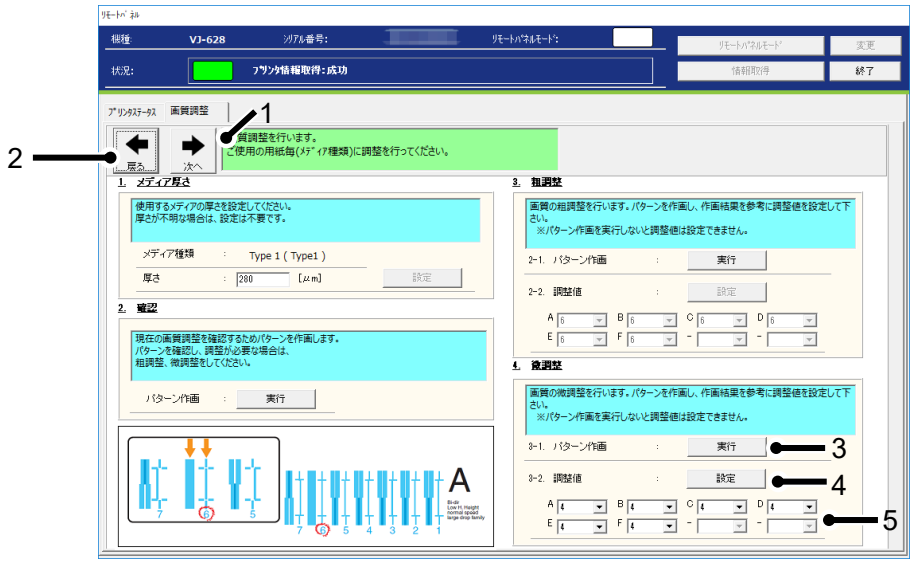
画質の粗調整を行います。



番号	名称	内容
1	次へ	送り補正に移行する
2	戻る	メディア設定に戻る。
3	実行	粗調整パターンを作画する。
4	設定	変更した調整値をプリンタに設定する。
5	調整値	各パターンの調整値を変更する。 ※パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なる。

4)微調整

画質の微調整を行う。

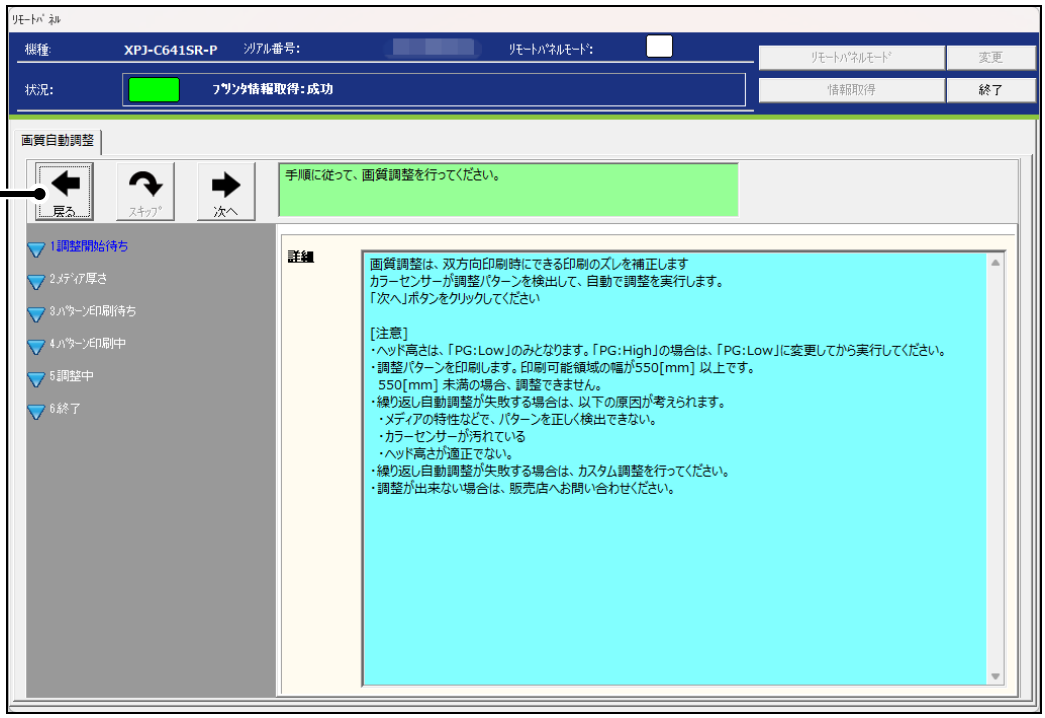


番号	名称	内容
1	次へ	送り補正に移行する
2	戻る	メディア設定に戻る。
3	実行	粗調整パターンを作画する。
4	設定	変更した調整値をプリンタに設定する。
5	調整値	各パターンの調整値を変更する。 ※パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なる。

(2)画質調整(自動)

作画に最適な画質の調整を自動で行います。

1)自動調整開始待ち

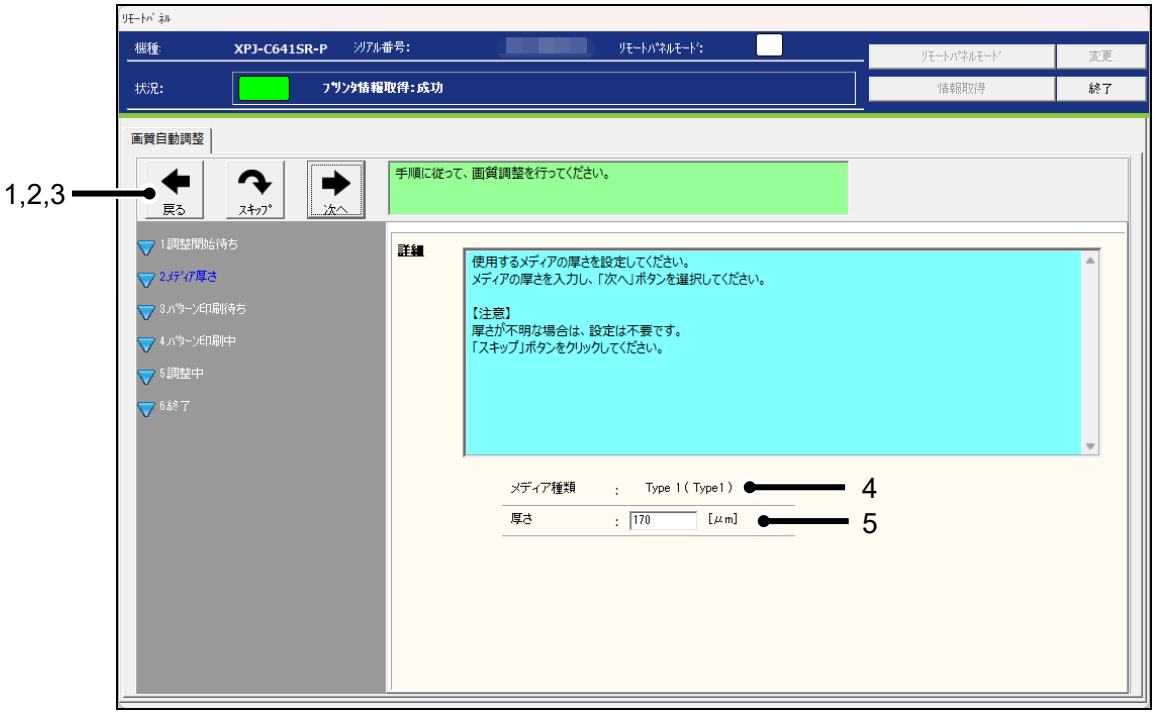


番号	名称	内容
1	戻る	メディア設定に戻る。
2	次へ	自動調整を開始します。

注 記

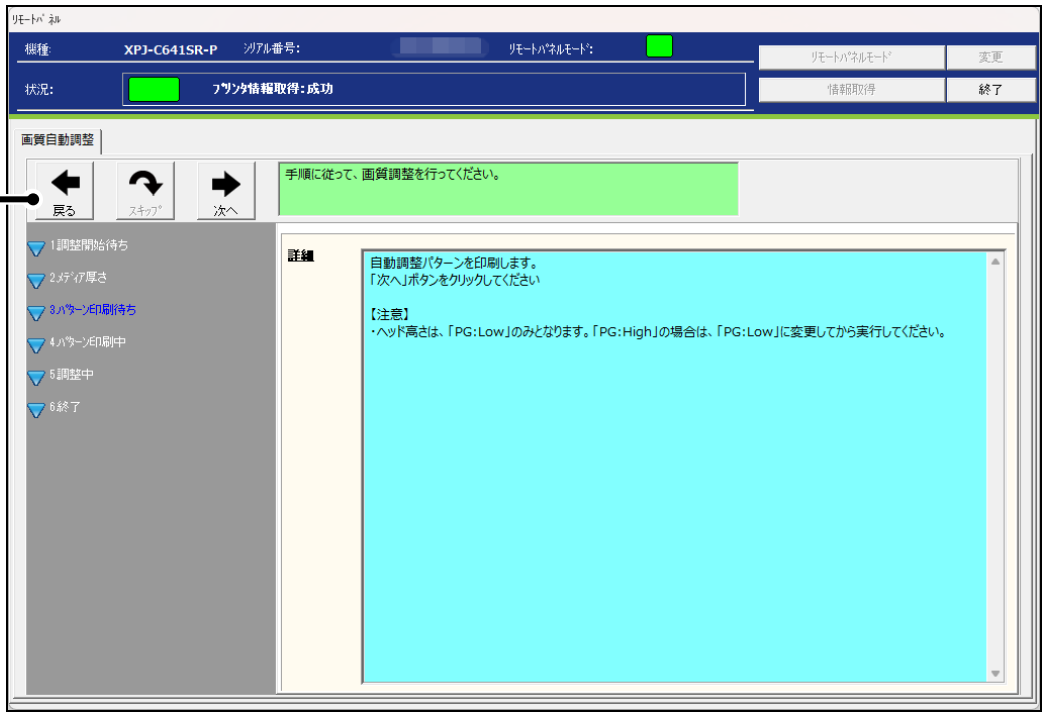
- ヘッド高さは、「PG:Low」のみとなります。「PG:High」の場合は、「PG:Low」に変更してから実行してください。

2)メディア厚さ設定



番号	名称	内容
1	戻る	前項に戻る。
2	スキップ	設定を変更せずパターン印刷へ移行します。
3	次へ	変更したメディア厚さをプリンタに設定します。
4	メディア種類	現在設定されているメディア種類を表示します。
5	厚さ	セットしているメディアの厚さを設定します。

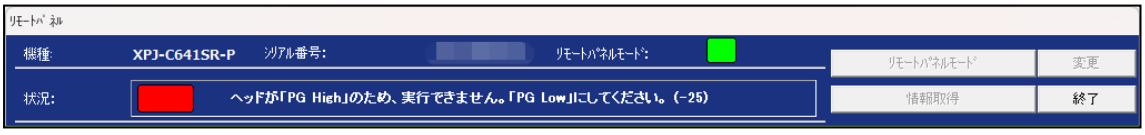
3)パターン印刷開始待ち



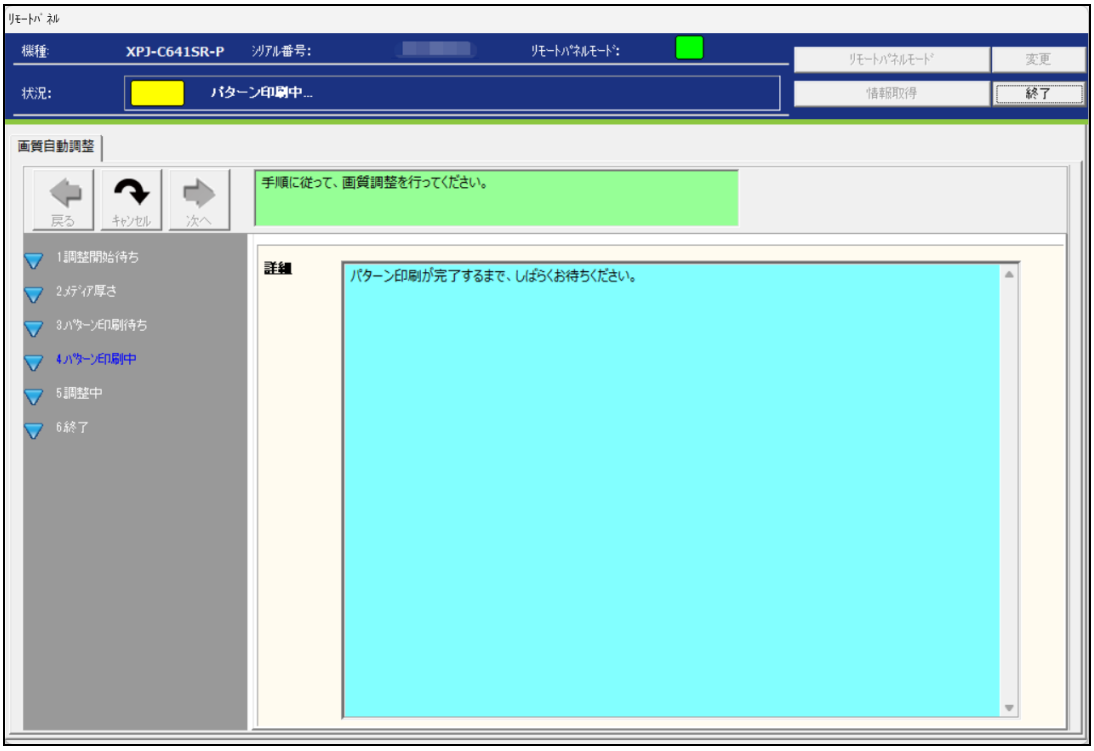
番号	名称	内容
1	戻る	前項に戻る。
2	次へ	パターンを印刷します。

注 記

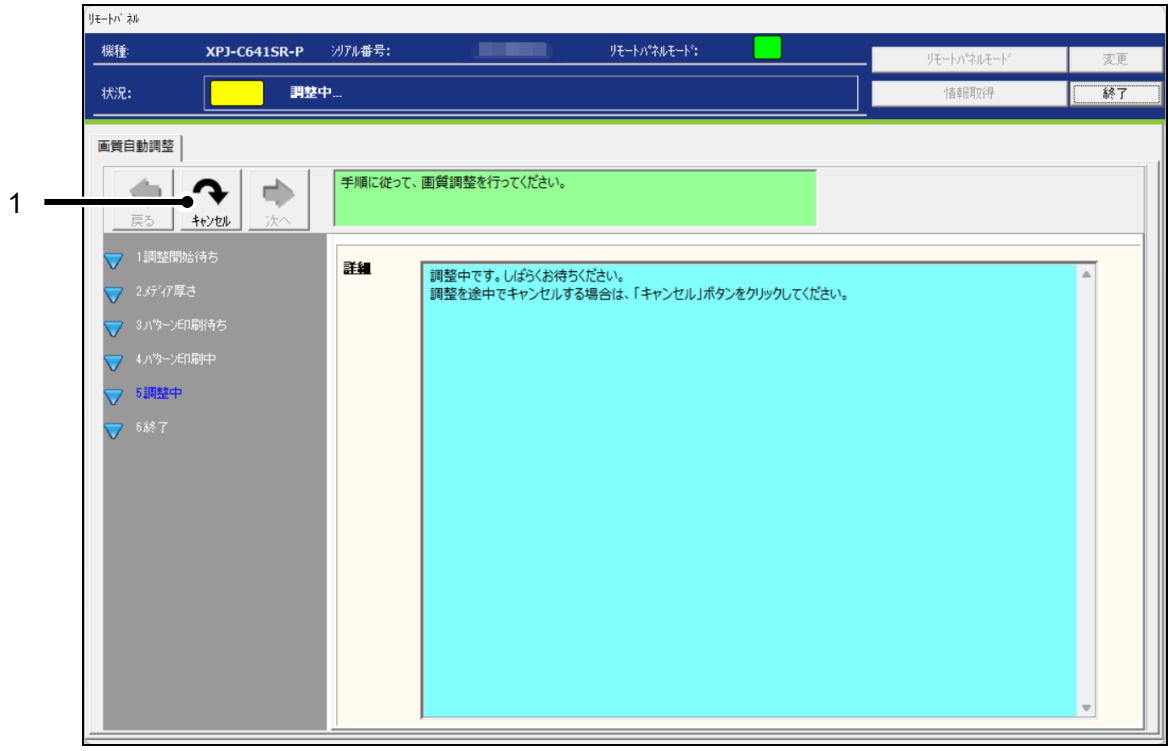
- ヘッド高さは、「PG:Low」のみとなります。「PG:High」の場合は、「PG:Low」に変更してから実行してください。



4）パターン印刷中

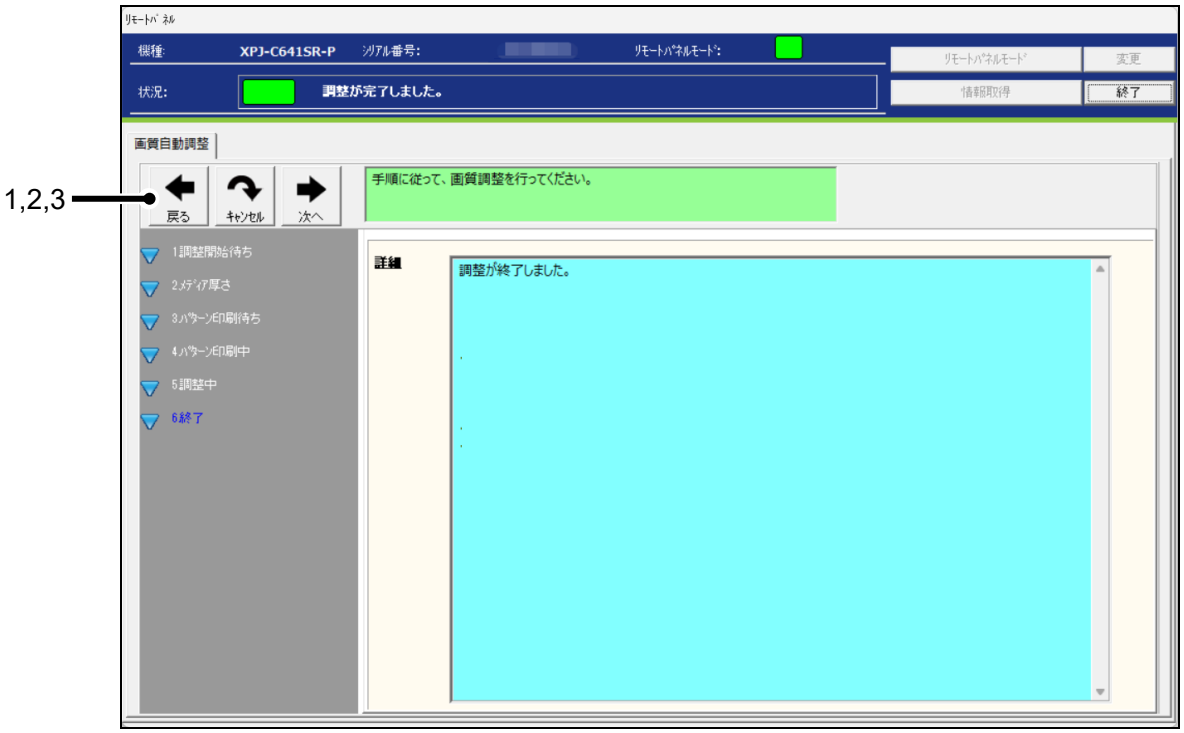

ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾈﾙ
機種:
XPJ-C641SR-P
ｼﾘｱﾙ番号:
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾈﾙﾓｰﾄﾞ:
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾈﾙﾓｰﾄﾞ
変更
状況:
パターン印刷中...
情報取得
終了
画質自動調整
戻る
ｷｬﾝｾﾙ
次へ
手順に従って、画質調整を行ってください。
1.調整開始待ち
2.ﾒﾃﾞｨｱ厚さ
3.ﾊﾟﾀｰﾝ印刷待ち
4.ﾊﾟﾀｰﾝ印刷中
5.調整中
6.終了
詳細
パターン印刷が完了するまで、しばらくお待ちください。

5)調整中



番号	名称	内容
1	キャンセル	調整を途中でキャンセルできます。 ただし、調整は保存されません。

6)終了



番号	名称	内容
1	戻る	前項に戻る。
2	カスタム調整	調整エラーになる場合は、カスタム調整を行ってください。
3	次へ	メディア設定に戻る。

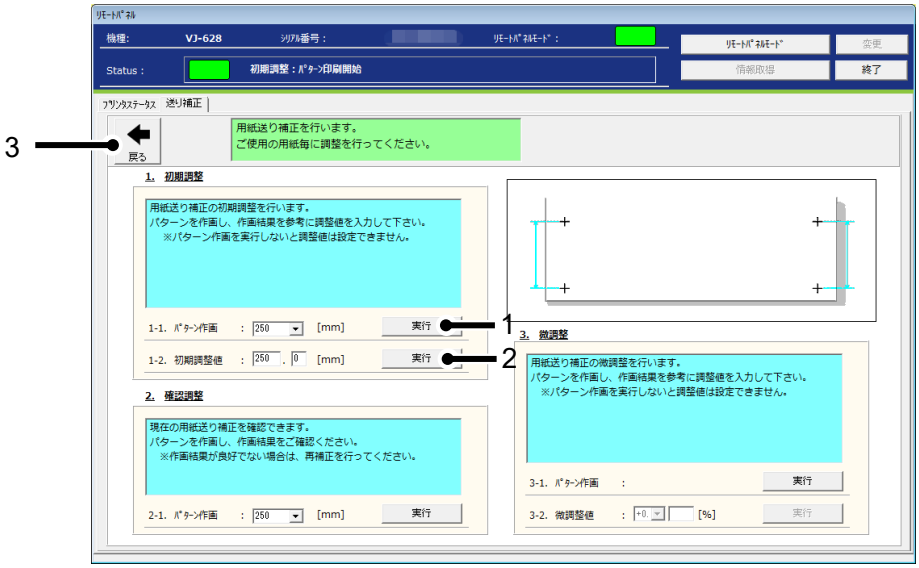
(3)送り補正

メディアの送り補正を行います。

1)初期調整

メディア送り補正の初期調整を行います。

パターンを作画し、作画結果を参考に調整値を入力してください。

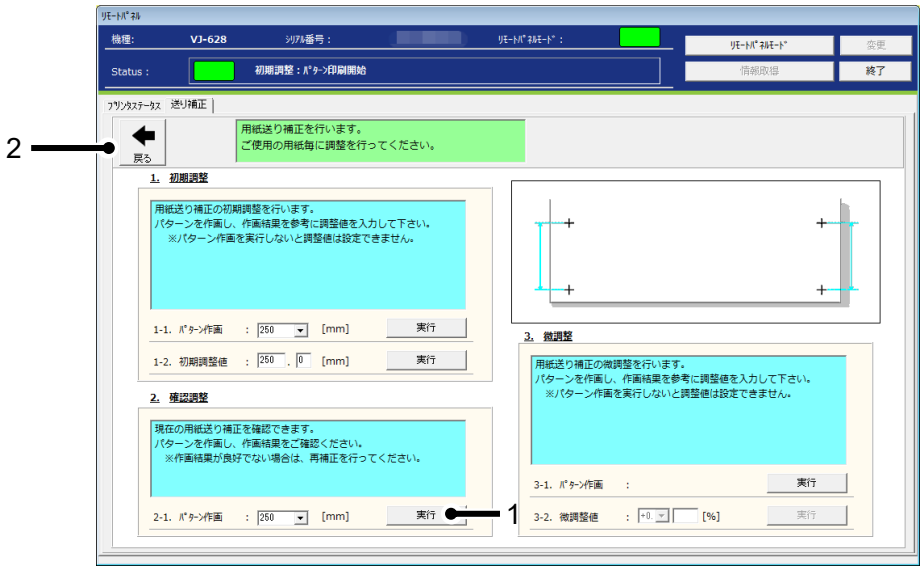


番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	初期調整パターンを作画します。 パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm] 50 [mm]単位
2	初期調整値-実行	初期調整値を設定します。 調整値範囲: 初期調整パターンの±50.0 [mm] 0.1[mm]単位 例)初期調整パターンが 250[mm]の場合 調整値範囲 200 [mm] ～ 300 [mm]
3	戻る	メディア設定に戻る。

2)確認調整

現在のメディア送り補正を確認できます。

パターンを作画し、作画結果をご確認ください。

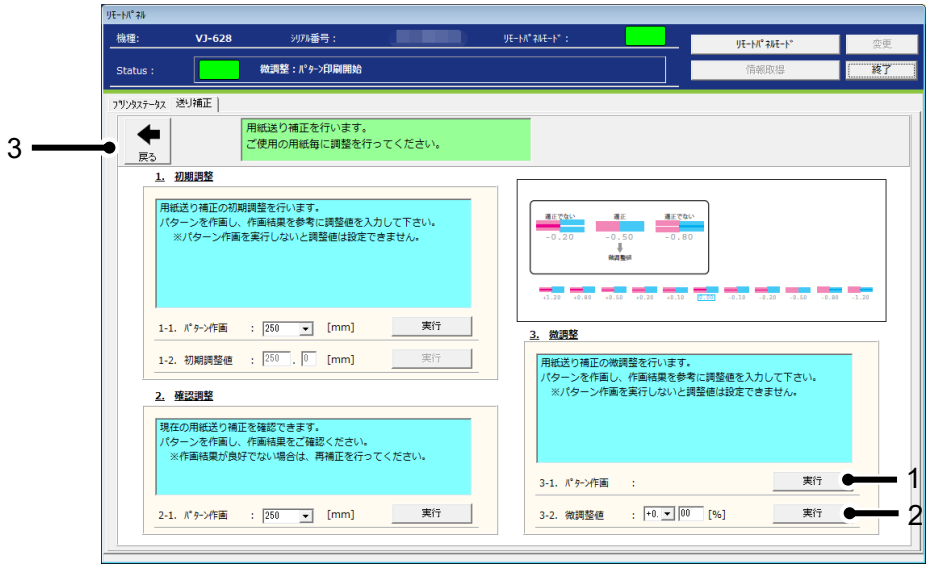


番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	初期調整パターンを作画します。 パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm] 50 [mm]単位
2	戻る	メディア設定に戻る。

3)微調整

メディア送り補正の微調整を行います。

パターンを作画し、作画結果を参考に調整値を入力してください。

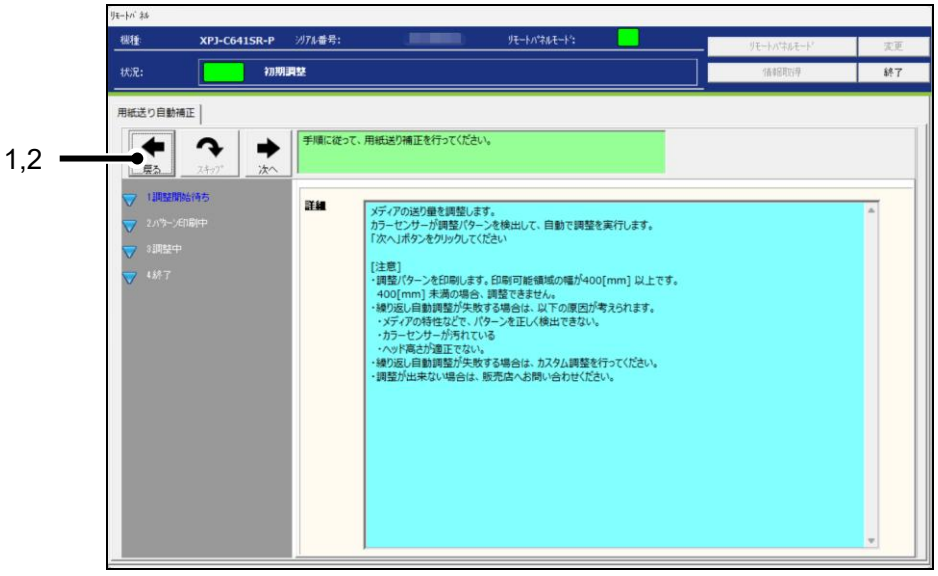


番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	初期調整パターンを作画します。
2	微調整値-実行	微調整値を設定します。 調整値範囲: 初期調整パターンの±5.00 [%] 0.01[%]単位
3	戻る	メディア設定に戻る。

(4)送り補正(自動)

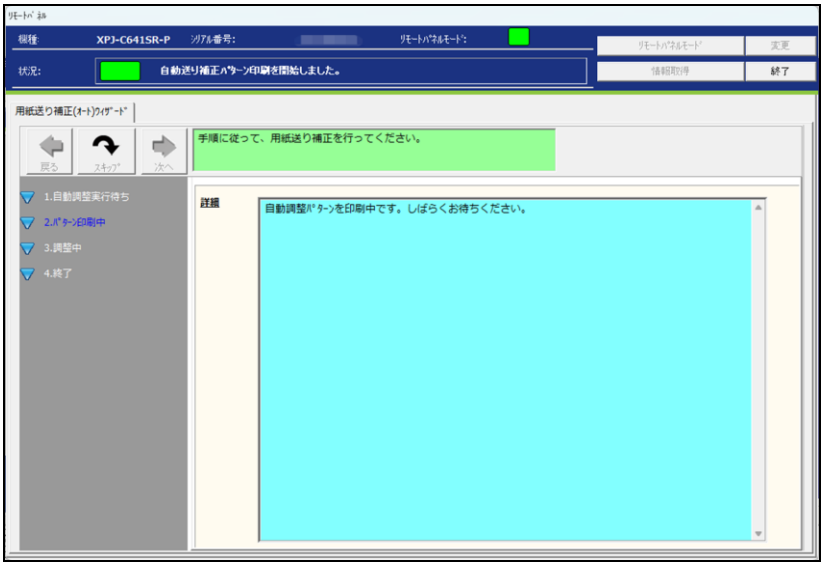
メディアの送り補正を自動で行います。

1)自動調整開始待ち

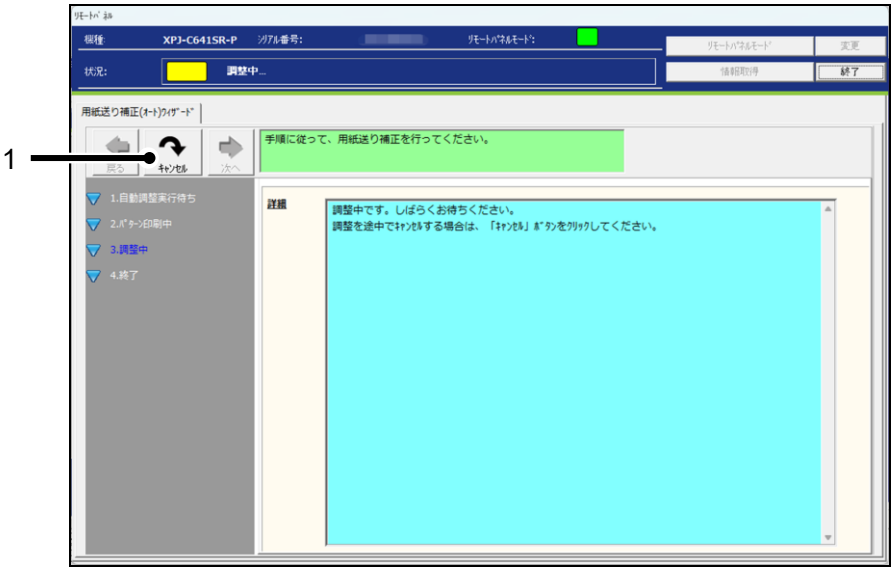


番号	名称	内容
1	戻る	前項に戻る。
2	次へ	自動調整を開始します。

2) パターン印刷中

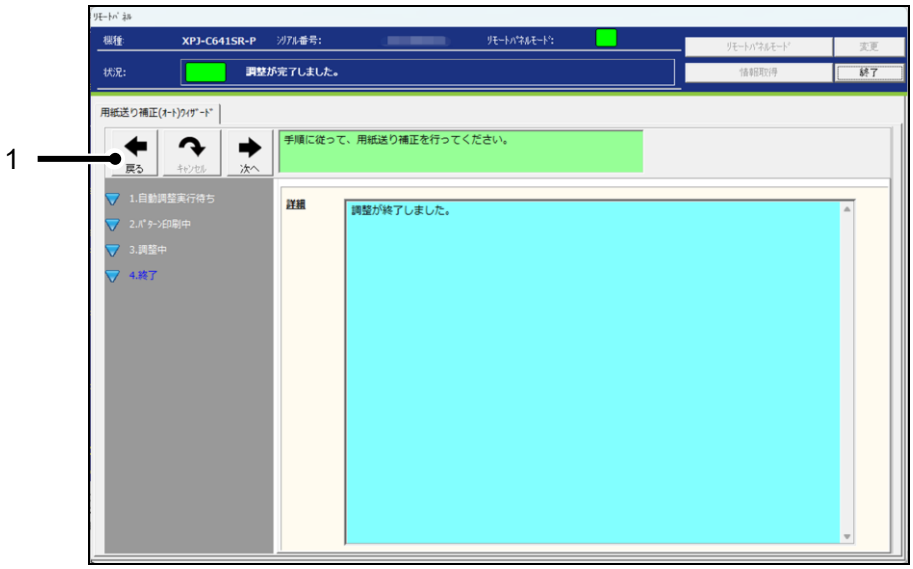


3) 調整中



番号	名称	内容
1	キャンセル	調整を途中でキャンセルできます。 ただし、調整は保存されません。

4) 終了



番号	名称	内容
1	戻る	前項に戻る。

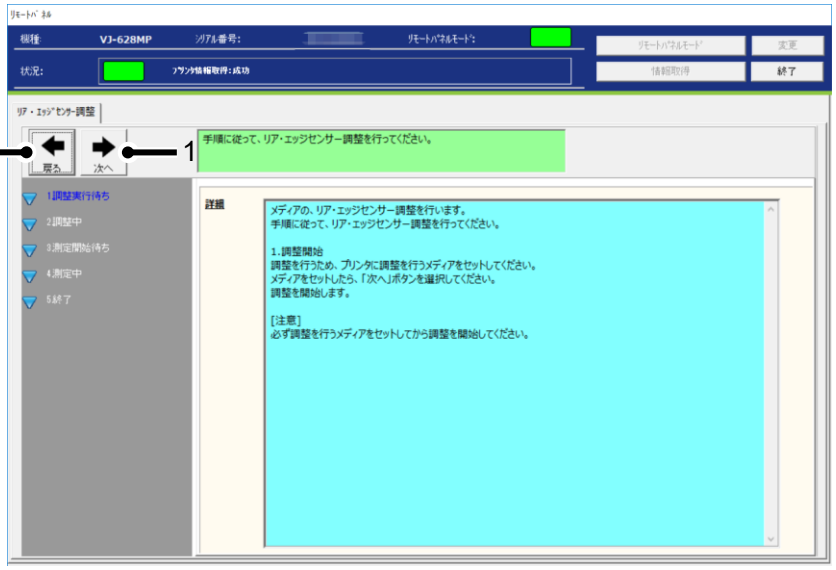
(5)リア・エッジセンサー調整

メディアのリア・エッジセンサー調整を行います。

1)調整開始待ち

調整を行うため、プリンタに調整を行うメディアをセットしてください。

メディアをセットしたら、「次へ」ボタンを選択すると、調整を開始します。



番号	名称	内容
1	次へ	調整を開始します。
2	戻る	メディア設定に戻る。

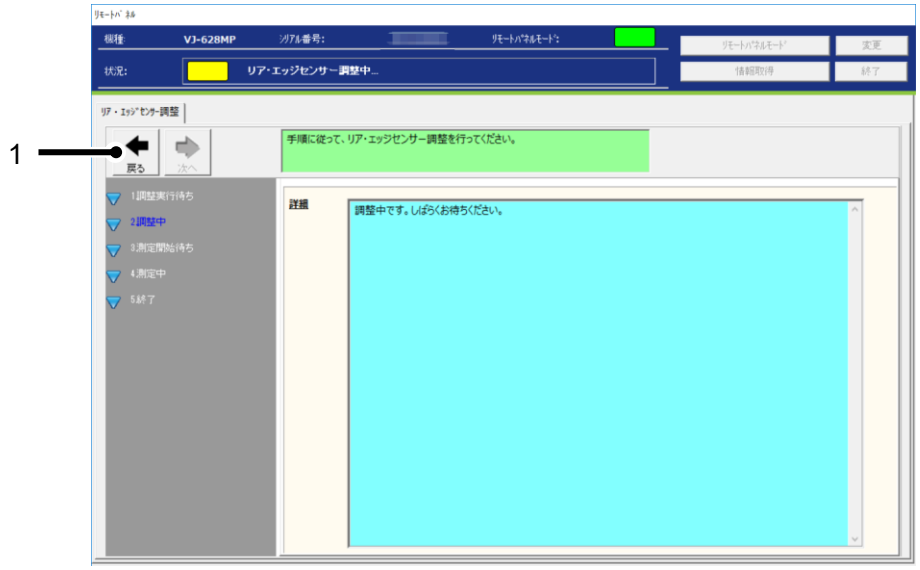
注 記

- 必ず調整を行うメディアをプリンタにセットしてから調整を開始してください。

2)調整中

調整中です。しばらくお待ちください。

調整が失敗した場合は、調整が終了となり、「5)終了」へ進みます。

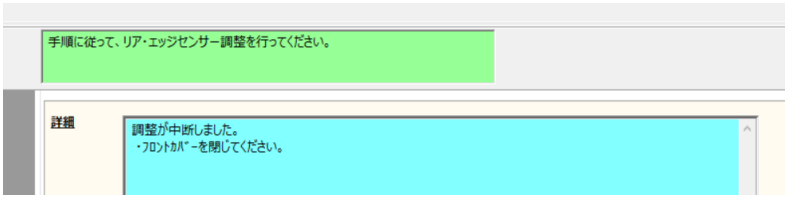


番号	名称	内容
1	戻る	メディア設定に戻ります。 プリンタは処理が中断するため、再開する場合は、メディア設定の「リア・エッジセンサー調整」を選択してください。

調整中にエラーが発生した場合は、調整が中断します。

画面にエラー内容が表示されますので、エラーを改善して調整を続行してください。

ただし、エラーの発生タイミングによっては、調整が失敗となる場合があります。



注 記

- 調整が失敗する場合は、以下の問題の可能性があるた、販売店へご連絡ください。

  ・メディアが認識できない ・プリンタの故障

  回避策としてメディア検出およびエンド検出メニューを OFF に設定し、メディア幅の値を入力することで使用いただくことが可能です。

  ※メディア検出およびエンド検出メニューを OFF に設定した場合は注意点がございます。

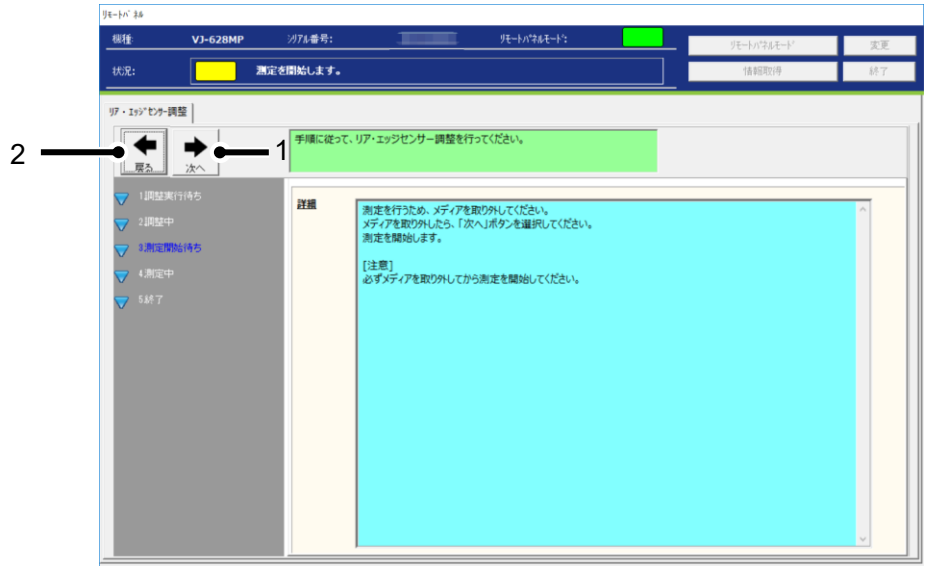
  取扱説明書の各設定項目をご確認ください。

  ※エンド検出メニューが表示されない場合は F/W を最新版にバージョンアップしてください。

3）測定開始待ち

測定を行うため、メディアを取り外してください。

メディアを取り外したら、「次へ」ボタンを選択すると、測定を開始します。



番号	名称	内容
1	次へ	測定を開始します。
2	戻る	メディア設定に戻ります。 プリンタは処理が中断するため、再開する場合は、メディア設定の「リア・エッジセンサー調整」を選択してください。

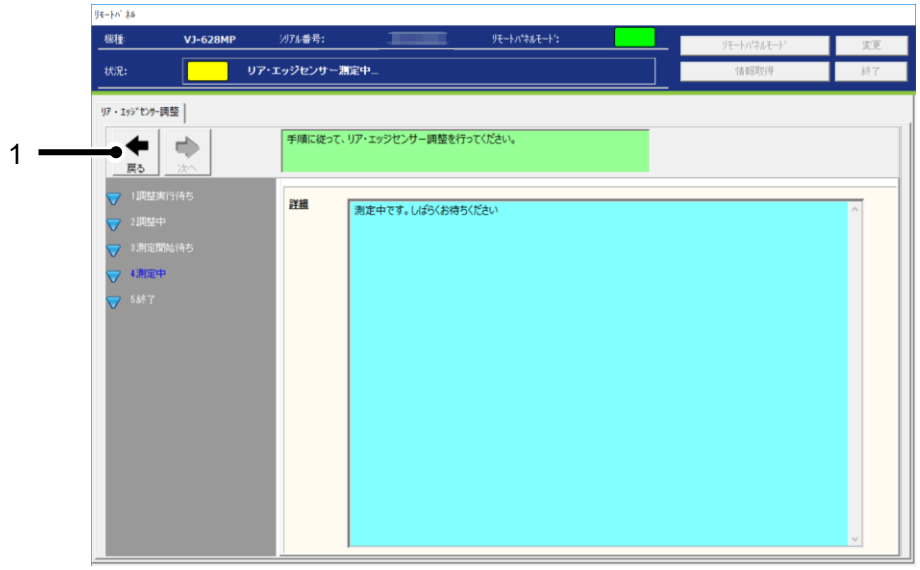
注　記

- 必ずメディアを取り外してから測定を開始してください。

4）測定中

測定中です。しばらくお待ちください。

測定が失敗した場合は、測定が終了となり、「5）終了」へ進みます。

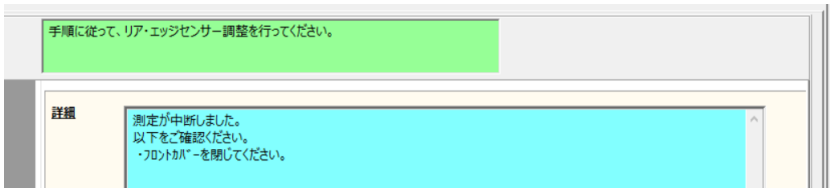


番号	名称	内容
1	戻る	メディア設定に戻ります。

測定中にエラーが発生した場合は、測定が中断します。

画面にエラー内容が表示されますので、エラーを改善して測定を続行してください。

ただし、エラーの発生タイミングによっては、測定が失敗となる場合があります。



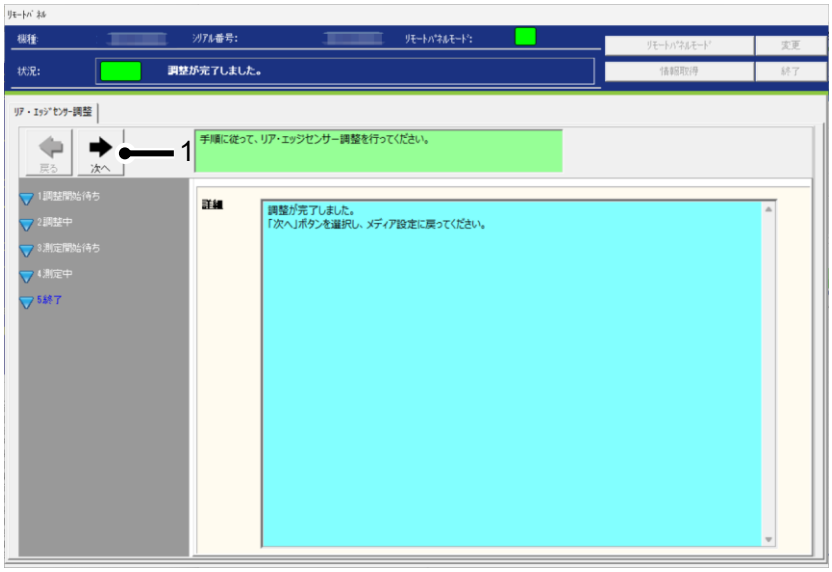
注　記

- 測定が失敗する場合は、以下の問題の可能性があるた、販売店へご連絡ください。
  - ・調整中にエラーが発生した
  - ・プリンタの故障

5)終了

調整が終了しました。

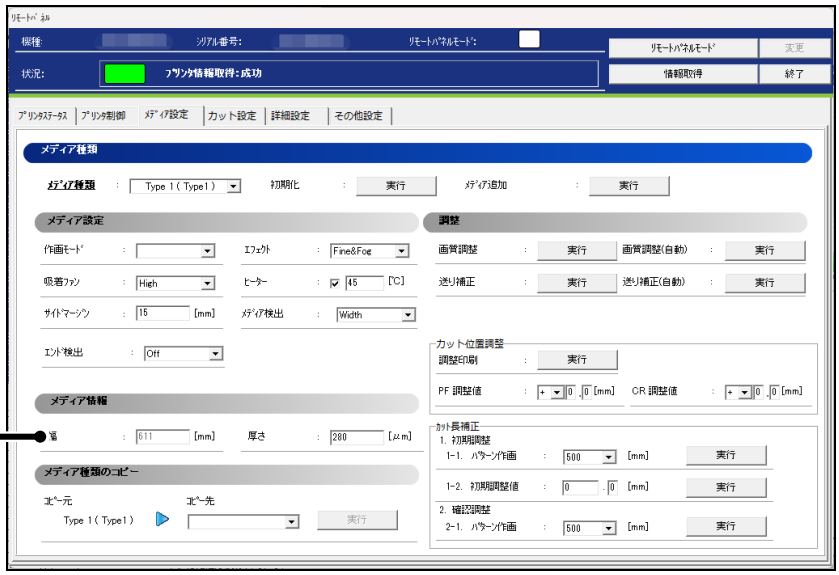
「次へ」ボタンを選択し、メディア設定に戻ってください。



番号	名称	内容
1	次へ	メディア設定に戻ります。

13.1.4.4. メディア情報

現在プリンタに設定されているメディア情報を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	幅	現在プリンタに設定されているメディアの幅を確認、変更することができます。 メディア検出がオフの場合は、幅の変更が可能です。 メディア検出がオフ以外の場合は、検出した幅を表示します。
2	厚さ	現在プリンタに設定されているメディアの厚さを確認、変更することができます。 画質調整後に厚さの異なるメディアを使用する場合、入力値に従って画質調整が自動補正されます。

注 記

- 厚さ設定の自動補正は、近似値となるため正確に合わせるには、画質調整を行ってください。
- 使用しているメディア厚さが不明な場合は、メディア厚さを変更せずに画質調整を行ってください。
- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。

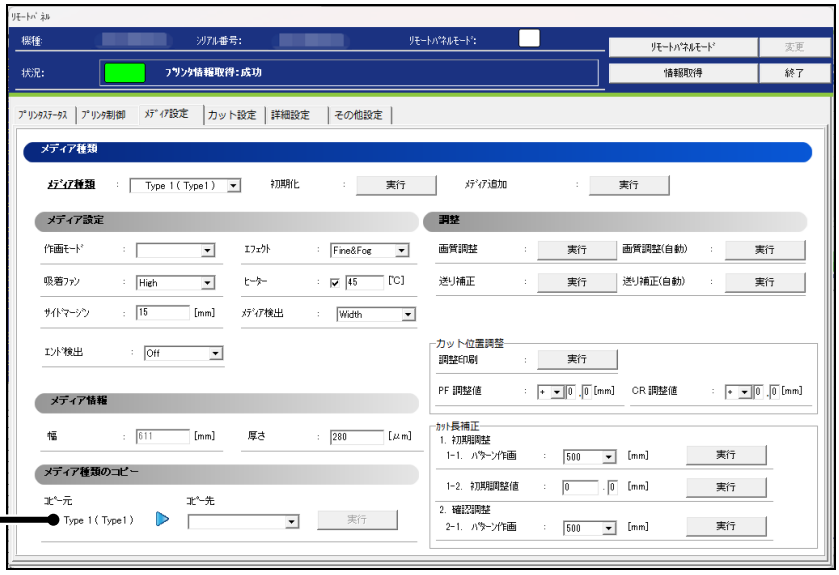
13.1.4.5.メディア種類コピー

現在設定しているメディア種類の設定を、一括して他のメディア種類にコピーすることができます。

コピーする項目は以下となります。

作画モード / エフェクト / 画質調整値 / 送り補正値 / ヒーター / 吸着ファン /

メディア厚さ / メディア設定 / カット位置調整 / カット長補正



番号	名称	内容
1	コピー元	現在選択しているメディア種類を表示します。
2	コピー先	コピー先のメディア種類を選択します。 コピー先は、コピー元以外及び全てのメディア種類を選択可能です。 例） 現在選択しているメディア種類が Type1 の場合、コピー先は、 Type2～10、全てとなります。
3	実行	メディア種類のコピーを行います。

注 記

- メディア種類をコピー後は、設定を復元できませんので、コピーする場合はご注意ください。

13.1.5. カット設定

現在プリンタに設定されている、カット設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	メディア種類	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定を表示します。
2	カット設定	現在プリンタに設定されているカット設定を確認、変更することができます。
3	カットテスト	カットテストをすることができます。

注 記

- XPJ-C641SR-P のみ

13.1.5.1. カット設定

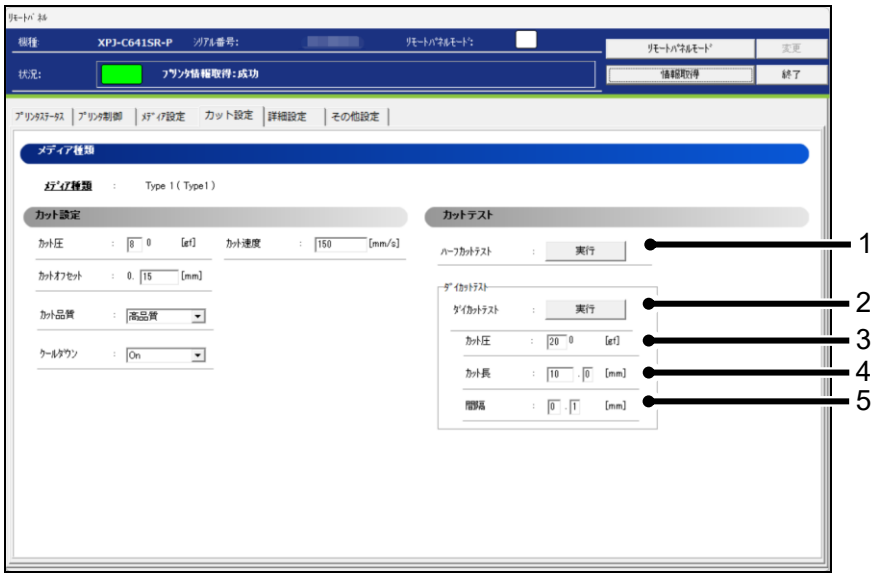
現在プリンタに設定されているカット設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	カット圧	カット圧を設定します。 設定値： 30 gf ～ < 80 gf > ～ 300 gf
2	カット速度	カット速度を設定します。 設定値： 20 mm/s ～ < 150 mm/s >
3	カットオフセット	カットオフセットを設定します。 設定値： 0.00 mm ～ < 0.15 mm > ～ 0.50 mm
4	カット品質	カット品質を設定します。 設定値:< 高品質 > / 標準 / 高速
5	クールダウン	クールダウンを設定します。 設定値： < On > / Off

13.1.5.2. カットテスト

カット設定を確認することができます。



番号	名称	内容
1	ハーフカットテスト	ハーフカットテストを実行します。
2	ダイカットテスト	ダイカットテストを実行します。
3	カット圧 ※1	ダイカットテストのカット圧を設定します。 設定値： 30 gf ～ < 200 gf > ～ 300 gf
4	カット長 ※1	ダイカットテストのカット長を設定します。 設定値： 0.1 mm ～ < 10.0 mm > ～ 100.0 mm
5	間隔 ※1	ダイカットテストの間隔を設定します。 設定値： < 0.1 mm > ～ 10.0 mm

注 記

- ※1 プリンタに設定は保存されません。RIP 側で設定してください。

13.1.6. 詳細設定

現在プリンタに設定されている、詳細設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	詳細設定	現在プリンタに設定されている詳細設定を確認、変更することができます。

13.1.6.1. 詳細設定

現在プリンタに設定されている、詳細設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	重ね描き回数	作画1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: ＜1 回＞ ～ 9 回
2	パス間乾燥時間	重ね描き作画時の作画1行あたりの乾燥時間を設定します。 設定値: ＜0.0 秒＞ ～ 0.1 秒 ～ 5.0 秒 幅の狭い用紙を使用して作画する場合、ヒーターで十分に温めることができない場合に設定してください。
3	レイヤー印刷重ね描き(Color) ※5	レイヤー印刷(Color)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: ＜1 回＞ ～ 9 回
4	レイヤー印刷重ね描き(White) ※5	レイヤー印刷(White)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: ＜1 回＞ ～ 9 回
5	レイヤー印刷重ね描き(Metallic) ※6	レイヤー印刷(Metallic)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: ＜1 回＞ ～ 9 回
6	CR作画移動幅	作画中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 設定値:データ幅 / 機械幅 /＜ メディア幅 ＞
7	ヘッダーダンプ	作画データについてダンプデータを印刷するかどうか設定できます。ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。
8	フラッシング	作画中のフラッシング動作を設定します。 設定値:＜ オン ＞/ オフ

番号	名称	内容
9	リターン回数	フラッシング設定で「オン」「メディア上」に設定した場合、プリントヘッドが原点側のフラッシングボックスに戻る頻度を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 999 回
10	クリーニング種類 ※10	オートクリーニング、スリープモード時のクリーニング種類を設定します。 設定値: 微量 /< 通常 >/ 強力
11	ホワイトメンテナンス ※7	ホワイトメンテナンスを設定します。 設定値: < 通常 > / 微量
12	オートクリーニング - 待機中	待機中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 VJ-628/628X: 設定値: < オフ > ～ 10分 ～ 360分 ～ 1440分 VJ-628MP: 設定値: オフ ～ 10分 ～ < 360分 > ～ 1440分
12	オートクリーニング - 待機中 クリーニング種類 ※9	オートクリーニング、スリープモード時のクリーニング種類を設定します。 設定値: オフ /微量 / 通常 / 強力 /< フラッシング >
13	オートクリーニング - 作画中	作画中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 VJ-628/628X: 設定値: < オフ > ～ 5分 ～ 180分 VJ-628MP: 設定値: 5分 ～ <360分> ～ 1440分
13	オートクリーニング - 待機中 クリーニング間隔 ※9	待機中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 設定値: 10分 ～ < 180分 > ～ 1440分
14	オートクリーニング - 作画前	作画前のオートクリーニングについて設定します。 設定値: < オフ > / オン XPJ-C641SR-P 設定値: オフ /微量 / 通常 / 強力
15	排紙モード	作画終了後のメディアの動作を設定します。 設定値: < オフ > / 巻取り ※1 / オートカット
16	インク乾燥時間	インク乾燥時間を設定します。 設定値: < 0 秒 > ～ 3600秒(60分)
17	カット方法 ※2	作画終了後のメディアカット動作について設定します。 設定値: 1度切り-2段 / < 1度切り-3段 > / 2度切り-2段 / 2度切り-3段
18	カット圧	カット動作時に、紙を断ち切る強さを設定します。 設定値: 弱い /< 強い >
19	ページ間余白 ※4	ページ間の余白を設定します。 設定値: < 通常 > ／ 狭い
20	スタートフィード	スタートフィードを設定します。 設定値: -10.0mm ～ < 0 mm > ～500.0mm 単位 : 0.1mm

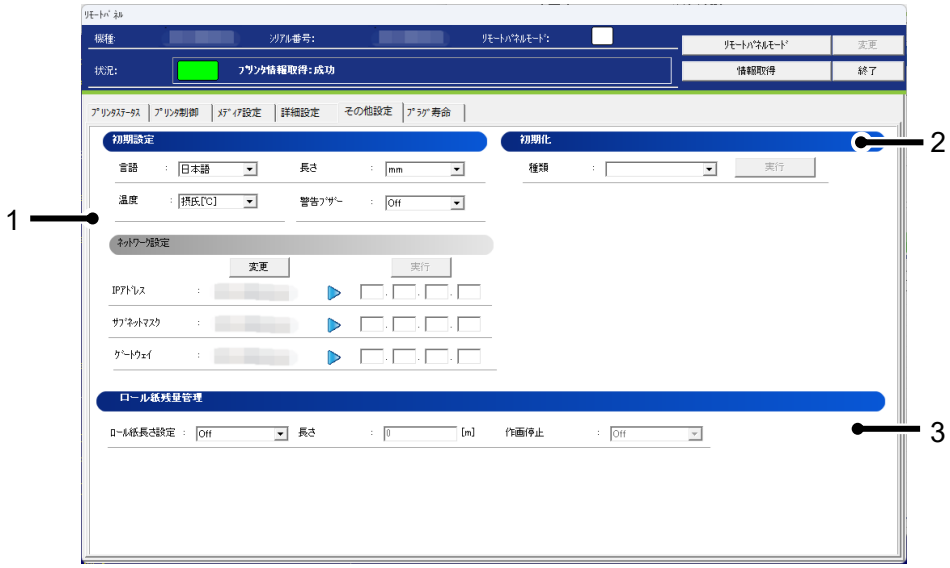
番号	名称	内容
21	待機ヒート	製品が待機中のときに、ヒーターを予熱する時間を設定します。 VJ-628/628X/XPJ-C641SR-P: 設定値: オフ ～ 10分 ～ < 60分 > VJ-628MP: 設定値: オフ ～ 10分 ～ < 60分 > ～ 2 ～ 8時間
22	吸着ファンモード	製品が待機ヒート中に、吸着ファンを動作させるかを設定します。 設定値: < スタンダード (動作) > / エコ (停止)
23	貼り付き防止 ※3	作画開始時のメディア貼付き防止動作を設定します。 設定値: < オフ > / オン
24	斜行チェック	メディア搬送中の斜行検出を設定します。 設定値: オフ / < オン >
25	カット前フィード	ロール紙のカット時に、追加でフィードする長さを設定します。 設定値: < オフ > ～ 1 mm ～ 250 mm
26	先端処理 ※8	先端処理を設定します。 設定値: オフ / < オート >
27	オートクリーニング - 作画中 クリーニング種類 ※9	オートクリーニング、スリープモード時のクリーニング種類を設定します。 設定値: < オフ >/微量 / 通常 / 強力
28	オートクリーニング - 作画中 クリーニング間隔 ※9	作画中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 設定値: 5分 ～ < 180分 >
29	ノズル選択 - パターン印刷 ※9	ノズル選択のパターンを印刷します。
30	ノズル設定 ※9	ノズル設定を設定します。 設定値: < ノズルオール > / ノズルA / ノズルB / ノズルC/ ノズルD / ノズルE / ノズルF
31	印刷許可 - 低温環境 ※8,11	低温の場合、印刷を許可するかの設定をします。 設定値: < オフ > / オン
32	印刷許可 - 白インクかくはん ※8,11	インクかくはん警告中で、印刷を許可するかの設定をします。 設定値: < オフ > / オン

注 記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ※1 製品に巻取り装置が取付けられていない場合は、排紙モード設定を「巻取り」に設定しないでください。製品が正しく動作しなくなります。
- ※2 メディア検出設定を「オフ」に設定した場合は、自動でカットすることができません。メディアによっては、カットできない（カット自体できない、またはきれいにカットできない）場合があります。その場合は、「排紙モード設定」にて「オフ」を設定し、手動でカットしてください。
- ※3 排紙モード設定が「巻取り」に設定されている場合は、貼り付き防止設定は無効になります。
- ※4 排紙モード設定が「巻取り」に設定されている場合は、ページ間余白設定は有効になります。
- ※5 VJ-628X/628MP で White インク使用し、重ね描き回数が 1 回の場合有効になります。
- ※6 VJ-628X で Metallic インク使用し、重ね描き回数が 1 回の場合有効になります。
- ※7 VJ-628X で White インク使用時に有効になります。
- ※8 VJ-628MP のみ
- ※9 XPJ-C641SR-P のみ
- ※10 XPJ-C641SR-P は無効
- ※11 設定を有効にした場合、画質保証されない場合があります。

13.1.7. その他設定

プリンタの初期設定の確認や、各種設定の初期化を行うことができます。



番号	名称	内容
1	初期設定	現在プリンタに設定されている初期設定を確認することができます。
2	初期化	現在プリンタに設定されている各種設定を初期化することができます。
3	ロール紙残量管理	現在プリンタに設定されているロール紙残量管理設定を確認することができます。

13.1.7.1. 初期設定

現在プリンタに設定されている、初期設定を確認することができます。



番号	名称	内容
1	言語	製品の言語を設定します。 設定値:<エイゴ　Ｅｎｇｌｉｓｈ> ／ ニホンゴ　Ｊａｐａｎｅｓｅ
2	長さ	製品の長さ単位を設定します。 設定値:<mm>／ｉｎｃｈ
3	温度	製品の温度単位を設定をします。 設定値:<摂氏[℃]>／華氏[F]
4	警告ブザー	製品の警告ブザー設定を確認、変更します。 設定値:<オン>／オフ
5	ネットワーク設定	製品のネットワーク設定を確認、変更します。

注　記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。

(1)ネットワーク設定

現在プリンタに設定されている、ネットワーク設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	変更	選択すると、変更用の入力項目(4)が有効となります。
2	実行	ネットワーク設定の変更を実行します。
3	現在のネットワーク設定	製品のネットワーク設定を表示します。
4	変更するネットワーク設定	変更するネットワーク設定を入力します。

注 記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ネットワーク設定の変更に対応していない機種の場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションで行ってください。
- 印刷途中でネットワーク設定を変更すると印刷できなくなります。
- ネットワーク設定を変更後プリンタと通信出来なくなった場合は、プリンタを再起動してください。プリンタを再起動しても通信出来ない場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションで確認してください。

13.1.7.2. 初期化

製品の各設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。



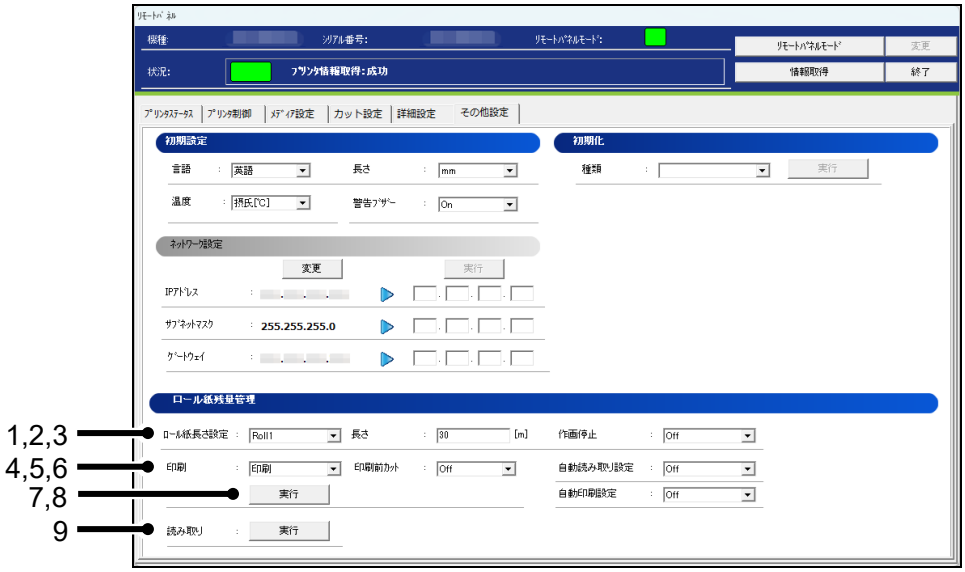
番号	名称	内容
1	種類	ALL: 全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 メディア種類 : メディア種類全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 詳細設定: 詳細設定全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 初期設定: 初期設定全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。
2	実行	種類で設定した初期化を実行します。

注 記

- 「初期設定」の項目は初期化されません。
  「初期設定」の項目を変更する場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションで行ってください。

13.1.7.3. ロール紙残量管理

現在プリンタに設定されている、ロール紙残量管理設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	ロール紙長さ設定	セットしたロール紙の長さを設定します。 設定値：＜ オフ ＞ / ロール紙1 / ロール紙2 / ロール紙3
2	長さ ※1	セットしたロール紙の長さを設定します。 設定値： 1 m ～ ＜ 30 m ＞ ～ 200 m
3	作画停止 ※2	ロール紙長さが0[m]になった場合に、作画を停止するかを設定します。 設定値：＜ オフ ＞ / オン
4	印刷 ※3	ロール紙残量管理のパターン印刷種類を設定します。 設定値：＜ 印刷 ＞ / 簡易印刷
5	印刷前カット ※3	ロール紙残量管理のパターン印刷前に、メディアをカットするか設定します。 設定値：＜ オフ ＞ / オン
6	自動読み取り設定 ※3	ロール紙残量管理の自動読み取り設定を設定します。 設定値：＜ オフ ＞ / オン
7	印刷 － 実行 ※3	ロール紙残量管理のパターンを印刷します。
8	自動印刷設定 ※3	ロール紙残量管理のパターンの自動印刷を設定します。 設定値：＜ オフ ＞ / オン
9	読み取り ※3	ロール紙残量管理のパターンを読み取ります。

注 記

- ※1 ロール紙を交換した場合は、ロール紙長さを再度設定してください。 ロール紙長さを設定しないと、
  ロール紙残量表示が正しく表示されない場合があります。
- ※2 ロール紙長さが有効になっている場合に有効になります。
- ※3 XPJ-C641SR-P のみ

13.1.8. プラグ寿命

大容量パックアダプターのコネクターゴムの寿命について、確認や初期化を行います。

13.1.8.1.プラグ寿命初期化

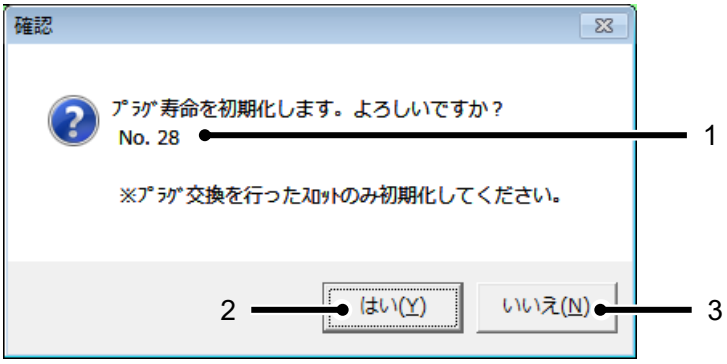


番号	名称	内容
1	プラグ寿命	各スロットのプラグ寿命を表示します。 ※大容量パックアダプタ対象のスロットのみ表示 ：未対応　：正常(100～81%) ：正常(80～61%)　：正常(60～41%) ：正常(40～21%)　：警告(20%～1%) ：寿命(0%)
2	プラグ寿命初期化	チェックされたスロットのプラグ寿命を初期化します。

注　記

- 大容量パックアダプタを使用していない場合は、本機能は表示されません。
- プラグ交換の方法は、大容量パックアダプタのマニュアルを確認してください。

13.1.8.2. 確認



番号	名称	内容
1	スロット番号	初期化を行うスロット番号を表示します。
2	はい	初期化を実行します。
3	いいえ	初期化をキャンセルします。

13.1.9. 寿命

製品各部の部品寿命を表示します。



番号	名称	内容
1	寿命	☆☆☆☆☆ :未対応 ★★★★ :正常(80～61%) ★★ :正常(40～21%) ★ :警告(5%～1%) ★★★★★ :正常(100～81%) ★★★ :正常(60～41%) ★ :正常(20～6%) ★★★★★ :寿命(0%)

注 記

- 本機能は、VJ-628MP 及び、MSM 言語設定が「日本語」のみで表示されます。

13.2. VJ-1x38(W)X/1x24(W)X/1628X/2638X/1938TX/1638UH(2)/1948WX/1324XS/1638UR(2)/162xMH の場合

13.2.1. リモートパネルメニュー

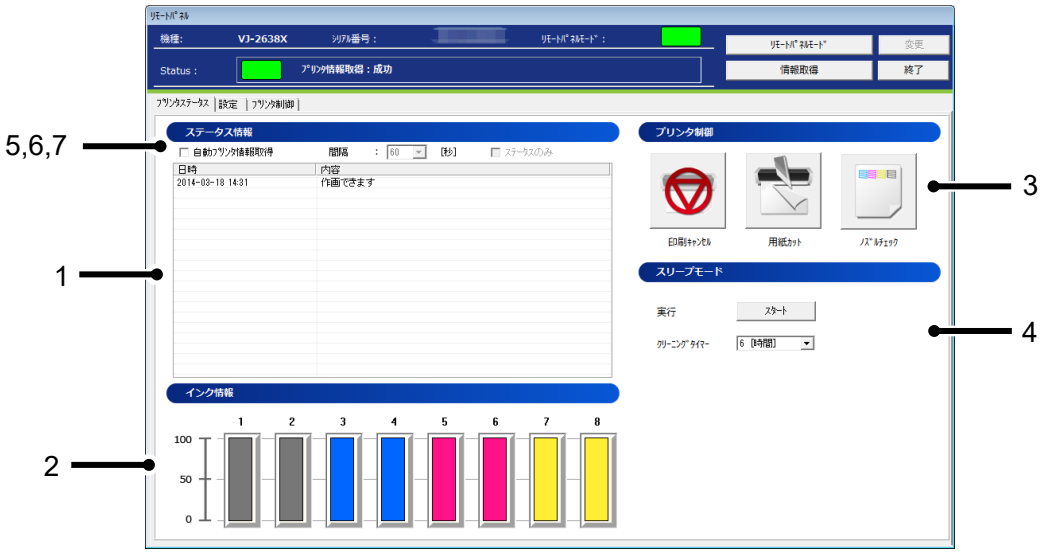
リモートパネルを使用するプリンタの情報や、リモートパネルの状態等を確認する。



番号	名称	内容
1	機種	現在選択されているプリンタの機種名を表示します。
2	シリアル番号	現在選択されているプリンタのシリアル番号を表示します。
3	リモートパネルモード(状況)	現在のリモートパネルモード(操作権限)の取得状況を表示します。 :リモートパネルモード オン :リモートパネルモード オフ
4	Status	リモートパネルの状態を表示します。
5	リモートパネルモードボタン	リモートパネルモードをオン/オフします。
6	変更	プリンタの設定を変更します。
7	情報取得ボタン	プリンタから最新のパネル設定を取得します。 ※取得する情報は、選択された画面の情報のみとなります。
8	終了ボタン	リモートパネルを終了します。

13.2.2. プリンタステータス

プリンタの状態を表示します。また、プリンタをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	ステータス情報	プリンタのステータス情報を表示します。 プリンタに重障害が発生した場合は、対策方法が表示されます。
2	インク情報	プリンタのインク残量を表示します。 S/Cリカバリーの詳細は、「7.7.2S/Cカードリカバリー」を参照
3	プリンタ制御 ※1	プリンタをリモート制御することが可能です。 ・印刷キャンセル ・用紙カット ・ノズルチェック
4	スリープモード	スリープモードのリモート制御が可能です。
5	自動プリンタ情報取得	プリンタ情報を自動で取得します。 On ： 有効 Off ： 無効 ※Windowsドライバからの起動要求だった場合、本機能は使用できません。
6	間隔	自動プリンタ情報取得を有効にした場合、プリンタ情報を自動取得する間隔を指定します。 設定値 <60[sec]> / 30[sec] / 10[sec] / 3[sec]
7	ステータスのみ	取得する情報を、プリンタステータスのみとし、取得時間を短縮します。 ※「自動プリンタ情報取得」が「On」状態で有効となります。

注 記

- ※1 使用できる機能は機種によって異なります。

13.2.3. 設定

現在プリンタに設定されている、各種設定を確認、変更することができます。



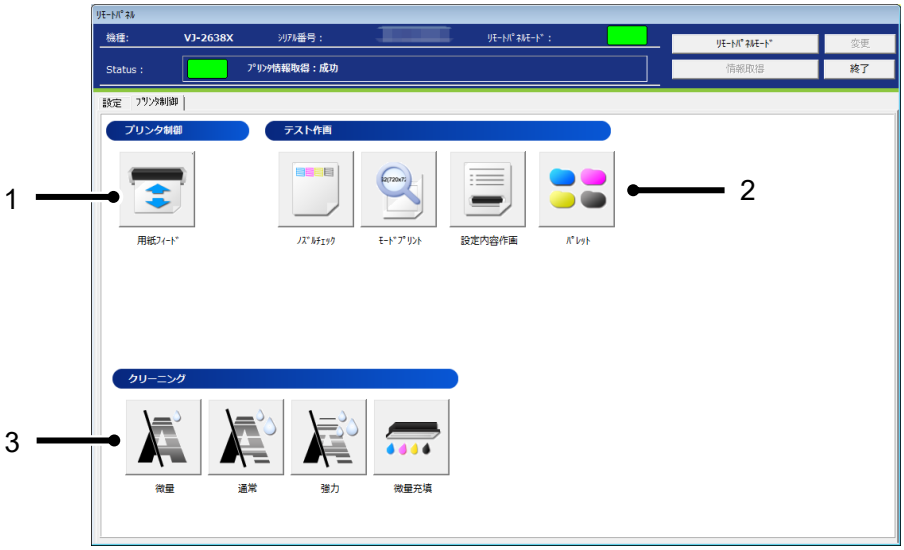
番号	名称	内容
1	設定	プリンタのパネル設定を表示します。 ※パネル設定内容は、機種によって異なります
2	表示設定	プリンタの表示設定を表示します。 ※表示設定内容は、機種によって異なります
3	初期化	現在プリンタに設定されている各種設定を初期化することができます。

注 記

- 使用できる機能は機種によって異なります。

13.2.4. プリンタ制御

プリンタをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	プリンタ制御	プリンタをリモート制御します。
2	テスト作画	各種テスト作画をリモート制御します。
3	クリーニング	各種クリーニングをリモート制御します。

注 記

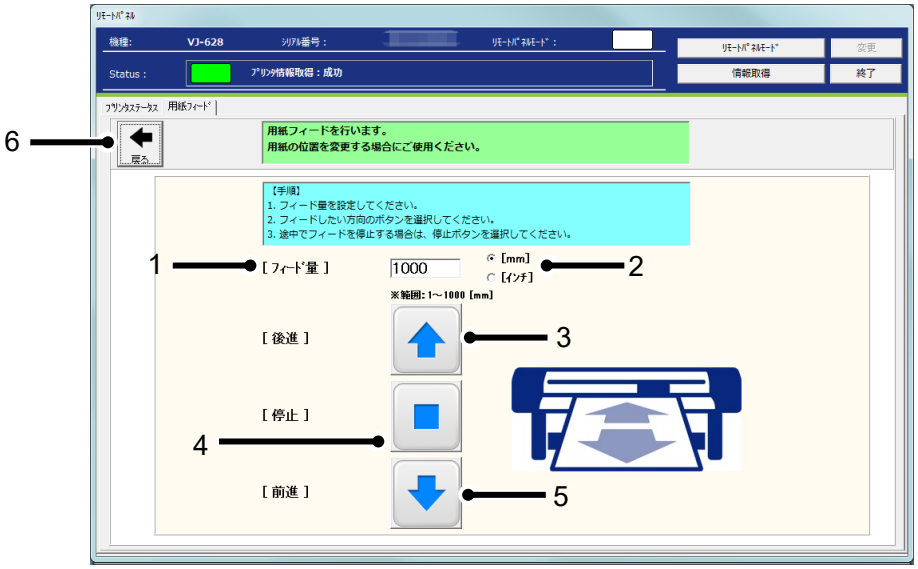
- 使用できる機能は機種によって異なります。

13.2.4.1. プリンタ制御

プリンタをリモート制御します。

(1) メディアフィード

プリンタにセットしている用紙のフィードをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	フィード量	メディアのフィード量を設定します。 設定範囲: ・1 ～ < 1000 [mm] > 1 [mm]単位 ・0.04 ～ < 39.37 [インチ] > 0.01 [インチ]単位
2	フィード量の単位	フィード量の単位を設定します。 ・< mm > / インチ
3	後進	設定したフィード量分、メディアを後進させます。
4	停止	メディアフィード中に停止させます。
5	前進	設定したフィード量分、メディアを前進させます。
6	戻る	制御画面に戻ります。

<>初期値

注 記

- 設定したフィード量分、用紙フィードを行うため、用紙の状態によっては用紙が外れる場合がありますので、ご注意ください。

13.2.4.2.テスト作画

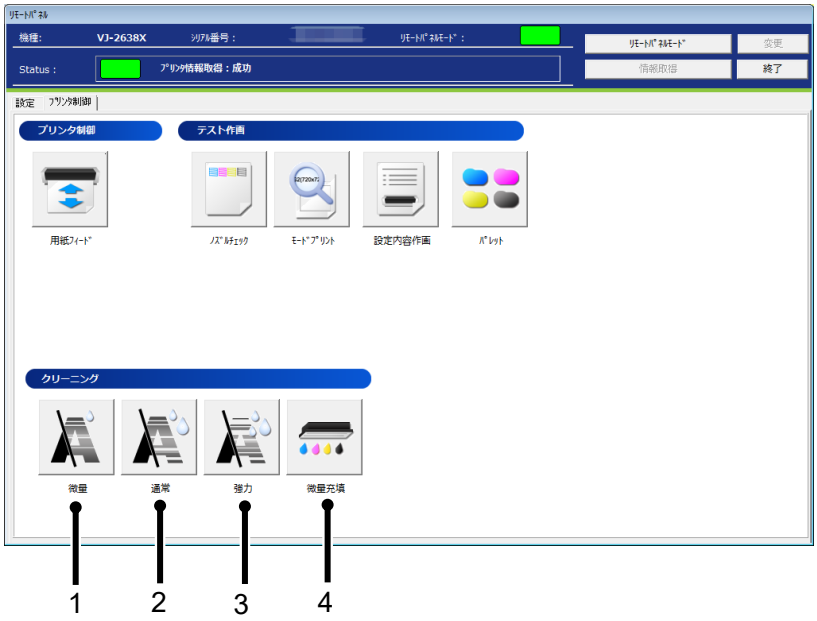
各種テスト作画をリモート制御します。



番号	名称	内容
1	ノズルチェック	ノズルチェックをリモート制御します。
2	モードプリント	モードプリントをリモート制御します。
3	設定内容作画	設定内容作画をリモート制御します。
4	パレット	パレットをリモート制御します。 ※プリンタに設定されている作画モードによっては印刷できない場合があります。

13.2.4.3. クリーニング

ヘッドクリーニングを行います。



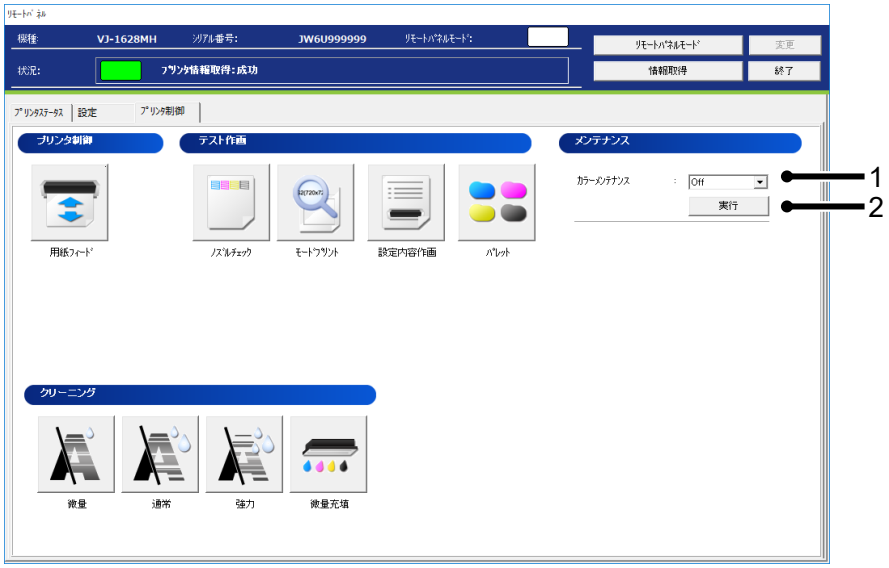
番号	名称	内容
1	微量クリーニング	「通常」よりも少量のインクを排出します。
2	通常クリーニング	通常はこのモードを選択します。
3	強力クリーニング	「通常」よりも多量のインクを排出します。 通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。
4	微量充填	微量充填を行います。 初期充填を行っても作画が安定しない場合に、微量充填を行ってください。

注 記

- インク経路に空気が混入する場合があるため、クリーニング中にインクカートリッジ/パックを抜かないでください。

13.2.4.4. メンテナンス

プリンタメンテナンスをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	カラーメンテナンス ※1	カラーメンテナンスを設定します。 設定値: Off / On
2	カラーメンテナンス 実行 ※1	カラーメンテナンスを実行します。

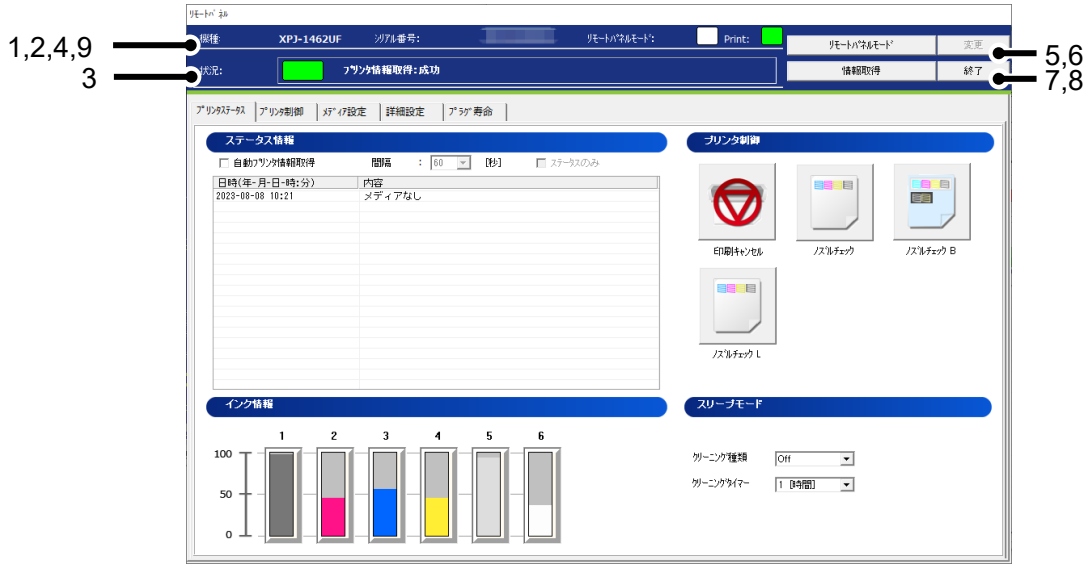
注 記

- ※1 VJ-1628MH の最新 F/W で有効になります。

13.3. VJ-426UF / 626UF/XPJ-461UF/661UF/1462UF/661UF-P

13.3.1. リモートパネルメニュー

リモートパネルを使用するプリンタの情報や、リモートパネルの状態等を確認する。



番号	名称	内容
1	機種	現在選択されているプリンタの機種名を表示します。
2	シリアル番号	現在選択されているプリンタのシリアル番号を表示します。
3	Status	リモートパネルの状態を表示します。
4	リモートパネルモード(状況)	現在のリモートパネルモード(操作権限)の取得状況を表示します。 :リモートパネルモード オン :リモートパネルモード オフ
5	リモートパネルモードボタン	リモートパネルモードをオン/オフします。
6	変更	プリンタの設定を変更します。
7	情報取得ボタン	プリンタから最新のパネル設定を取得します。 ※取得する情報は、選択された画面の情報のみとなります。
8	終了ボタン	リモートパネルを終了します。

番号	名称	内容
9	Print *1	Print状態を表示します。  :作業中でないことを示す。  :作業中(メディアセット)であることを示す

注 記

※1 XPJ-1462UF で有効になります。

13.3.2. プリンタステータス

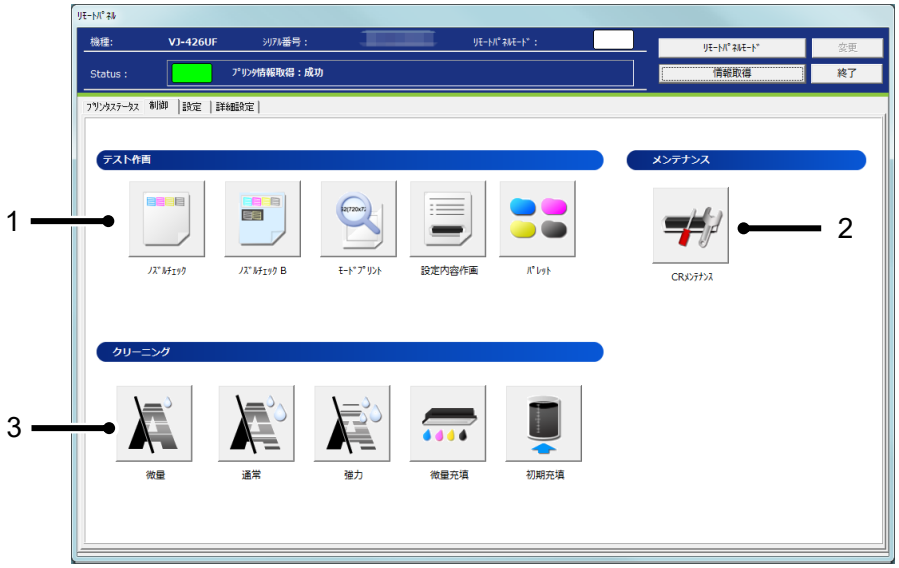
プリンタの状態を表示します。また、プリンタをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	ステータス情報	プリンタのステータス情報を表示します。 プリンタに重障害が発生した場合は、対策方法が表示されます。
2	インク情報	プリンタのインク残量を表示します。 S/Cリカバリーの詳細は、「7.7.2S/Cカードリカバリー」を参照
3	プリンタ制御	プリンタをリモート制御することが可能です。 フラットモード: ・印刷キャンセル ・ノズルチェック・ノズルチェックB ロータリーモード: ・印刷キャンセル
4	スリープモード	スリープモードのリモート制御が可能です。
5	廃液	廃液の状態を表示します。 また、廃液初期化のリモート制御が可能です。
6	自動プリンタ情報取得	プリンタ情報を自動で取得します。 On ： 有効 Off ： 無効 ※Windowsドライバからの起動要求だった場合、本機能は使用できません。
7	間隔	自動プリンタ情報取得を有効にした場合、プリンタ情報を自動取得する間隔を指定します。 設定値 <60[sec]> / 30[sec] / 10[sec] / 3[sec]
8	ステータスのみ	取得する情報を、プリンタステータスのみとし、取得時間を短縮します。 ※「自動プリンタ情報取得」が「On」状態で有効となります。

13.3.3. プリンタ制御

プリンタをリモート制御します。



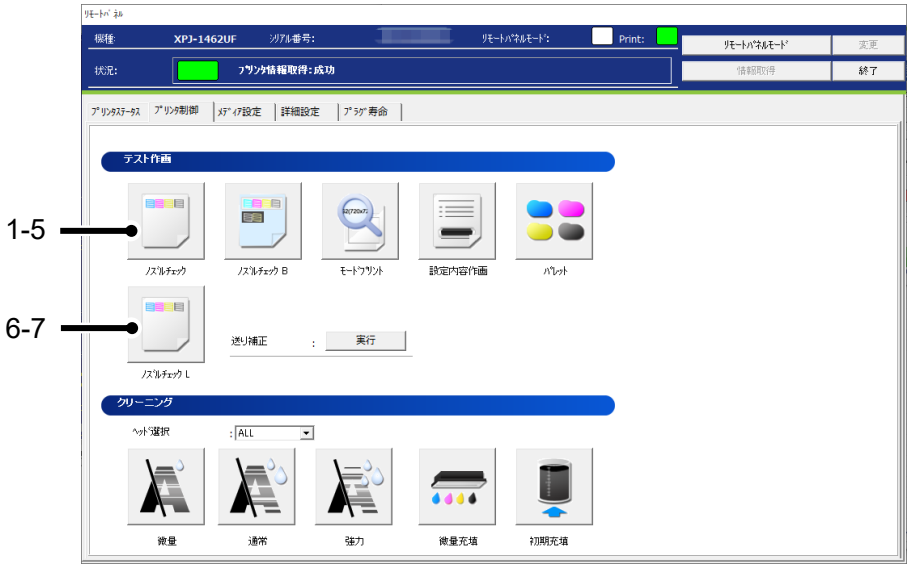
番号	名称	内容
1	テスト作画　※1	各種テスト作画をリモート制御します。
2	メンテナンス　※1	プリンタメンテナンスをリモート制御します。
3	クリーニング	各種クリーニングをリモート制御します。

注　記

- ※1　フラットモードで有効になります。

13.3.3.1.テスト作画

各種テスト作画をリモート制御します。



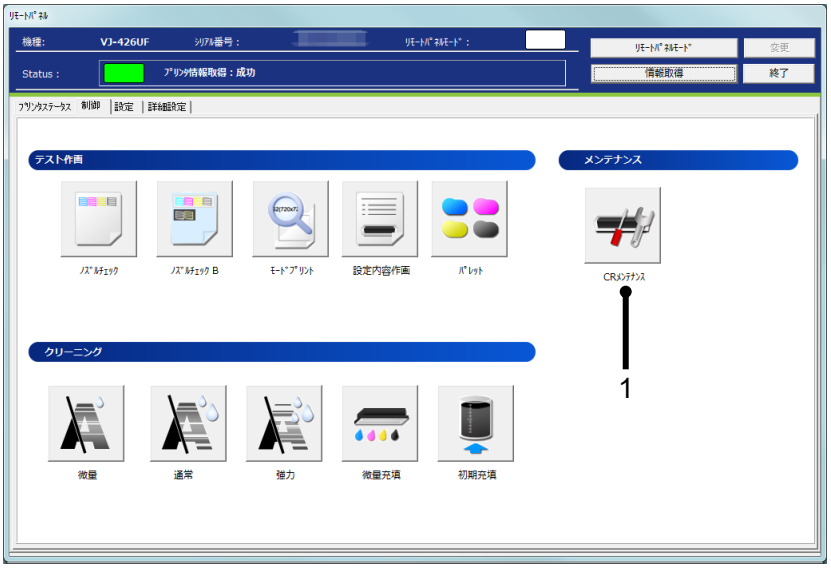
番号	名称	内容
1	ノズルチェック	ノズルチェックをリモート制御します。
2	ノズルチェックB	ノズルチェックBをリモート制御します。
3	モードプリント *2	モードプリントをリモート制御します。
4	設定内容作画 *2	設定内容作画をリモート制御します。
5	パレット *2	パレットをリモート制御します。 ※プリンタに設定されている作画モードによっては印刷できない場合があります。
6	ノズルチェックL *1,3	ノズルチェックLをリモート制御します。
7	送り補正 *1	現在プリンタに設定されているメディアの送り補正を行います。

注 記

- ※1 XPJ-1462UF で有効になります。
- ※2 XPJ-661UF-P 以外で有効になります。
- ※3 XPJ-661UF-P で有効になります。

13.3.3.2. メンテナンス

プリンタメンテナンスをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	CR メンテナンス ※1	CR メンテナンスをリモート制御します。

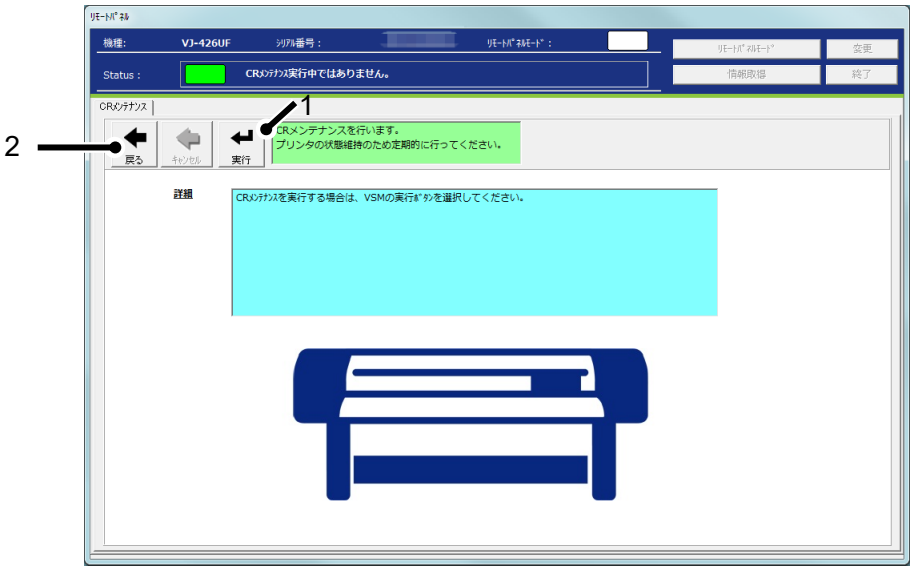
注 記

- ※1 VJ-426UF で有効になります。

(1)CR メンテナンス

1)プリンタ状態確認

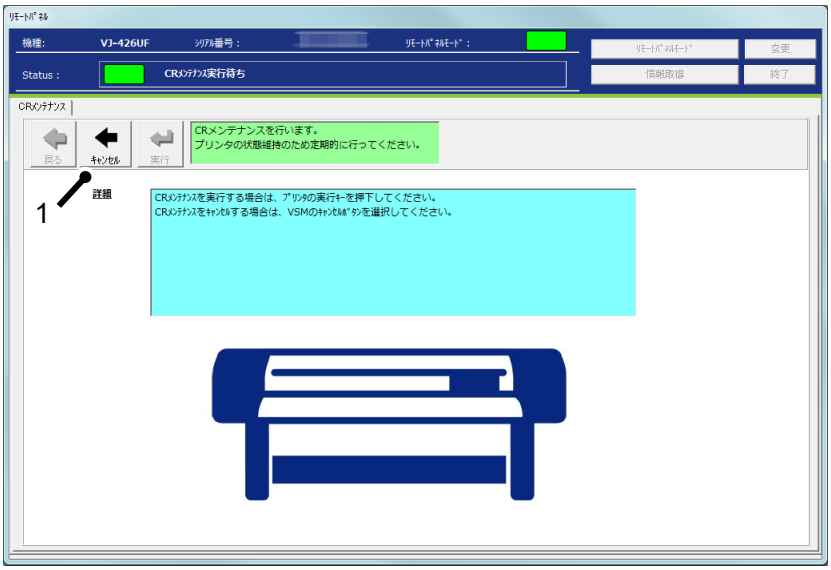
CR メンテナンスを実行するため、プリンタの状態を確認します。



番号	名称	内容
1	実行	CRメンテナンスをリモート制御します。
2	戻る	制御画面に戻ります。

2)CR メンテナンス実行待ち

プリンタが CR メンテナンス実行待ちとなっているため、プリンタの汎用キーで CR メンテナンスを開始してください。



番号	名称	内容
1	キャンセル	CRメンテナンス実行待ちを中止します。

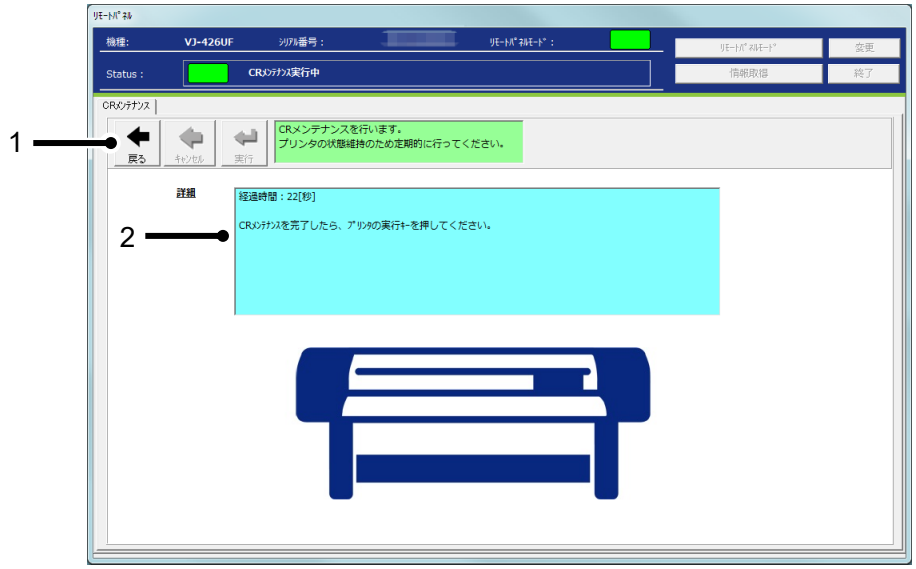
注 記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの開始はプリンタの汎用キーで開始されます。

3)CR メンテナンス実行中

プリンタが CR メンテナンス実行中となります。

CR メンテナンスを終了する場合は、プリンタの汎用キーで CR メンテナンスを終了してください。



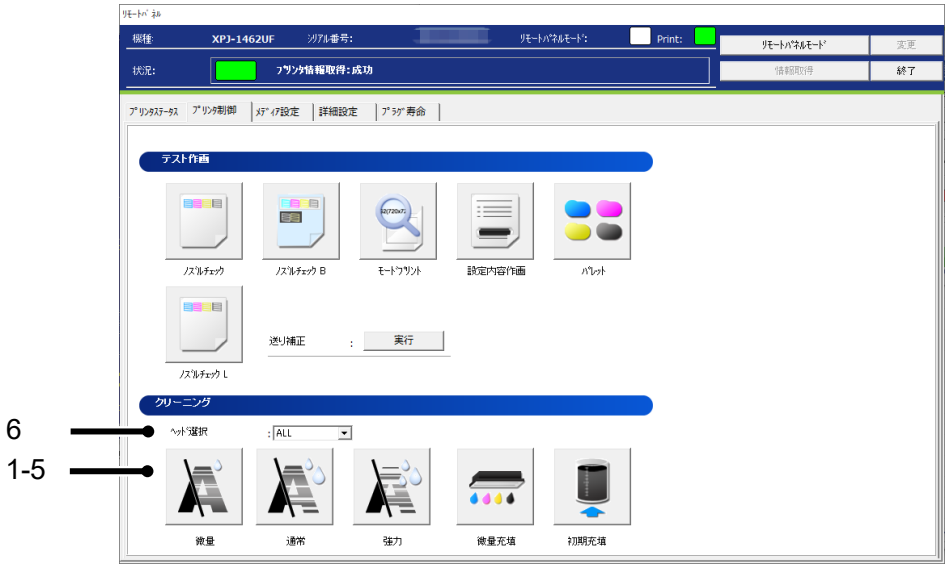
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	CRメンテナンスの経過時間を表示します。

注 記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの終了はプリンタの汎用キーで終了します。

13.3.3.3. クリーニング

ヘッドクリーニングを行います。



番号	名称	内容
1	微量クリーニング	「通常」よりも少量のインクを排出します。
2	通常クリーニング	通常はこのモードを選択します。
3	強力クリーニング	「通常」よりも多量のインクを排出します。 通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。
4	微量充填	微量充填を行います。 初期充填を行っても作画が安定しない場合に、微量充填を行ってください。
5	初期充填	初期充填を行います。 詳細は「（1）初期充填」を参照
6	ヘッド選択 ※1	複数ヘッド機のクリーニング(初期充填以外)を行うヘッドを選択します。 設定値 <ALL> / ヘッド1 / ヘッド2

注 記

- インク経路に空気が混入する場合があるため、クリーニング中にインクカートリッジ/パックを抜かないでください。
- ※1 XPJ-1462UF でヘッド選択が可能です。

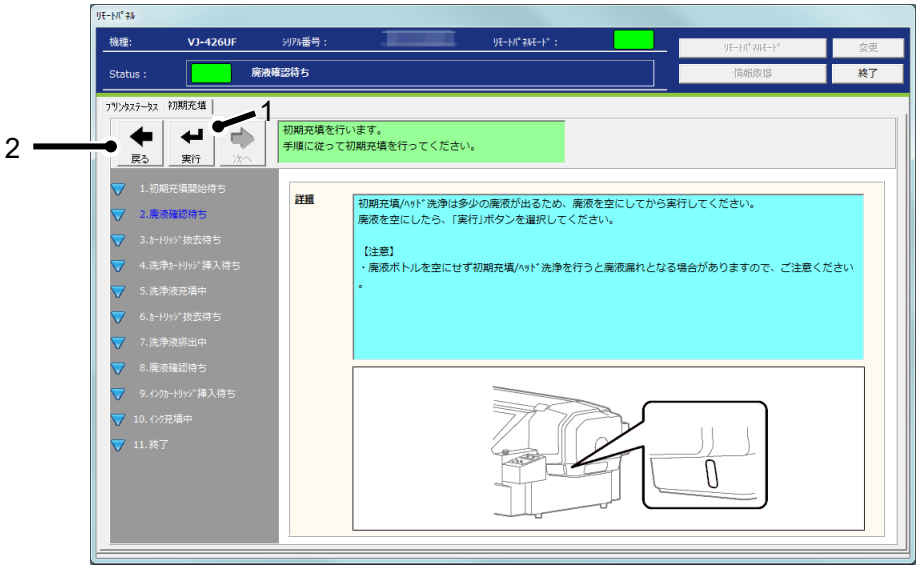
(1)初期充填

インク充填されたプリンタに、初期充填を行います。

1)廃液確認待ち

初期充填前に廃液の確認を促す。

廃液処理を終えたら、実行ボタンで廃液初期化します。



番号	名称	内容
1	実行	廃液初期化します。
2	戻る	制御画面に戻ります。

注 記

- 初期充填は、多少の廃液が出るため、廃液ボトルを空にしてから実行してください。
  廃液ボトルを空にせず初期充填を行うと廃液漏れとなる場合がありますので、ご注意ください。

2)インクカートリッジ挿入待ち

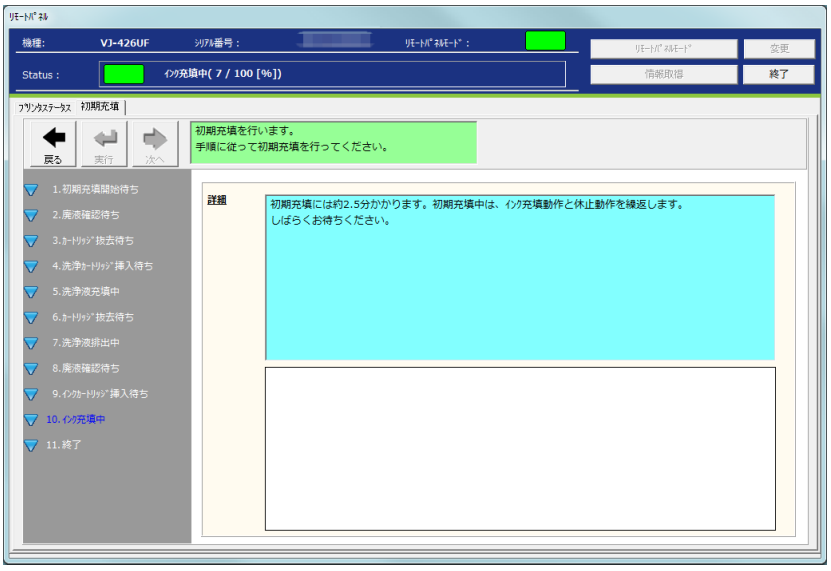
廃液初期化が完了すると、インクカートリッジ挿入待ちとなります。

全てのスロットにインクカートリッジが挿入されたら、インク充填が開始されます。



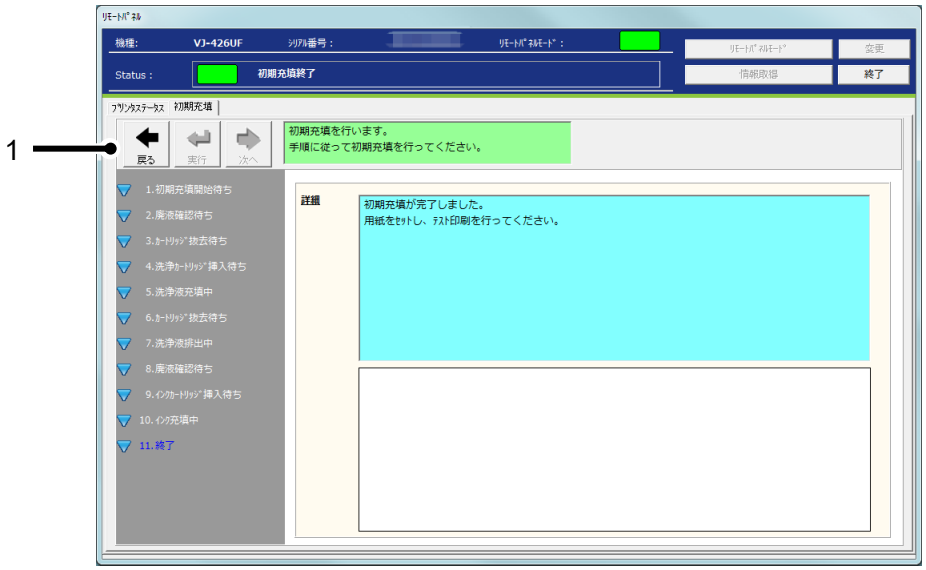
3)インク充填中

インク充填中です。



4)終了

インク充填が完了しました。

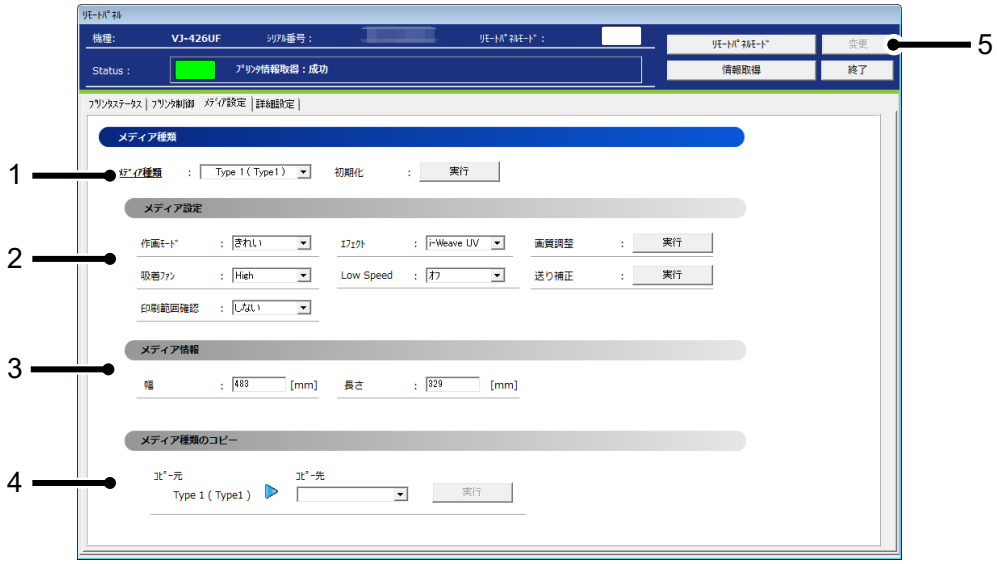


番号	名称	内容
1	戻る	プリンタ制御へ戻ります。

13.3.4. メディア設定

メディア種類の設定をリモート制御します。

ご使用のメディアが複数ある場合、ヒーター設定などを個別に設定しプリンタに記憶することができます。



番号	名称	内容
1	メディア種類	現在プリンタに設定されているメディア種類を確認、変更することができます。
2	メディア設定	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定を確認、変更することができます。
3	メディア情報	現在プリンタに設定されている用メディア情報を確認、変更することができます。
4	メディア種類のコピー	メディア種類の設定をコピーします。
5	変更	設定を変更します。

注 記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。

13.3.4.1.メディア種類

現在プリンタに設定されているメディア種類を確認、変更することができます。



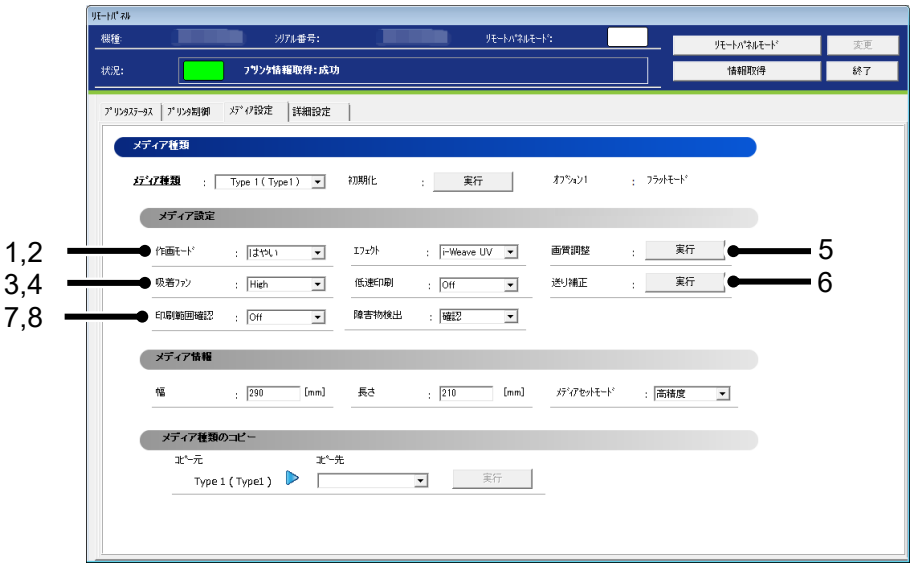
番号	名称	内容
1	メディア種類	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定を表示、変更ができます。
2	初期化	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定のみを初期化します。
3	オプション1 ※1	プリンタのオプション1設定を表示します。 フラットモード　：通常 ロータリーモード：ロータリーユニット使用中

注　記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- ※1　VJ-626UF/XPJ-661UF/661UF-P で有効になります。

13.3.4.2. メディア設定

現在プリンタに設定されているメディア設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	作画モード ※4	現在プリンタに設定されているメディアの作画モード設定を確認、変更することができます。 フラットモード(通常)： 設定値：はやい／<きれい>／高精細 ロータリーモード： 設定値：<バランス>／はやい／きれい XPJ-1462UF 設定値：Build Up／<Quality>／Production／High Speed／Draft
2	エフェクト ※1,4	現在プリンタに設定されているメディアのエフェクト設定を確認、変更することができます。 設定値：Ｎｏｎｅ／<ｉ－Ｗｅａｖｅ ＵＶ> XPJ-1462UF 設定値：Ｎｏｎｅ／<ｉ－Ｗｅａｖｅ ＵＶＥｘ>
3	吸着ファン ※1,2,3	現在プリンタに設定されているメディアの吸着ファン設定を確認、変更することができます。 設定値：Ｌｏｗ／Ｍｅｄｉｕｍ／Ｍｅｄｉｕｍ－Ｈｉ／<Ｈｉｇｈ>／Ｏｆｆ
4	Low Speed(低速印刷) ※4	現在プリンタに設定されているメディアのLow Speed設定を確認、変更することができます。 設定値：<Ｏｆｆ>／５０％／２５％ XPJ-1462UF： 設定値：<Ｏｆｆ>／５０％

番号	名称	内容
5	画質調整 ※1,4	現在プリンタに設定されているメディアの画質調整を行います。 ※スピードコントロール設定で１００%以外に設定されている場合は機能は無効
6	送り補正 ※1,3,4	現在プリンタに設定されているメディアの送り補正を行います。
7	印刷範囲確認 ※3,4	印刷データ受信時にLEDポインタで出力範囲の外周と角の確認を行うかを設定します。 設定値：〈しない〉／ステップ／自動
8	障害物 ※1	現在プリンタに設定されているメディアの障害物設定を確認、変更することができます。 VJ-426UF/XPJ-461UF： 設定値：〈キャンセル〉／確認 VJ-626UF/XPJ-661UF： 設定値：〈オート〉／キャンセル／確認 XPJ-1462UF： 設定値：〈オフ〉／オート／キャンセル／確認 XPJ-661UF-P： 設定値：オフ／〈オート〉／キャンセル／確認

注　記

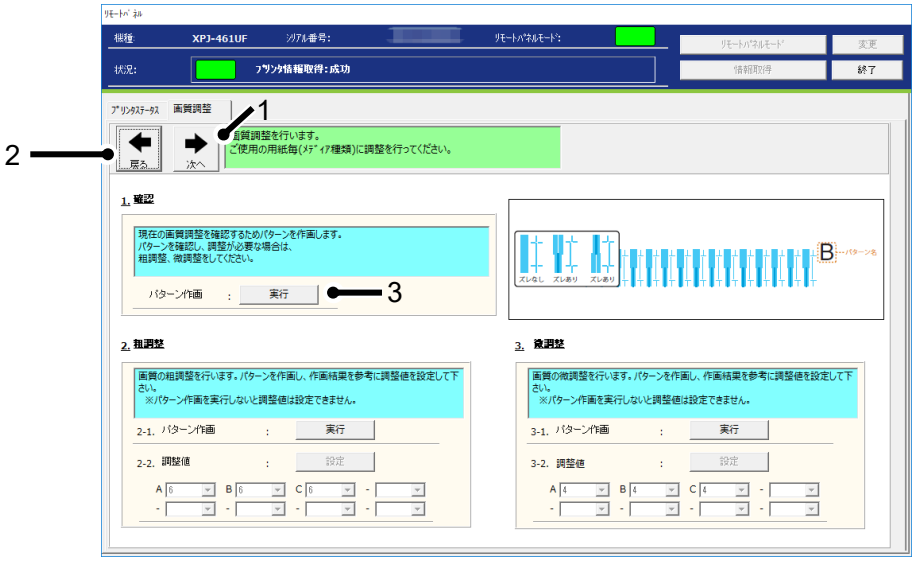
- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。
- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ※1　フラットモードで有効になります。
- ※2　XPJ-461UF の場合は、オプション品のバキュームテーブルを使用している場合に有効になります。
- ※3　XPJ-1462UF は非対応
- ※4　XPJ-661UF-P は非対応

(1)画質調整

作画に最適な画質の調整を行います。

1)確認

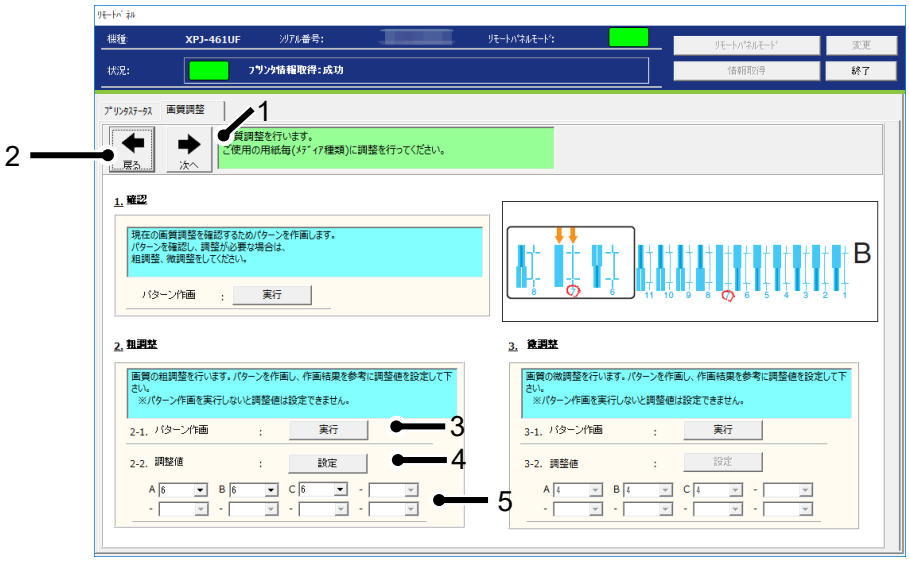
現在の画質調整を確認するパターンを作画する。



番号	名称	内容
1	次へ	送り補正に移行する
2	戻る	メディア設定に戻る。
3	実行	現在の画質調整を確認するパターンを作画する。

2）粗調整

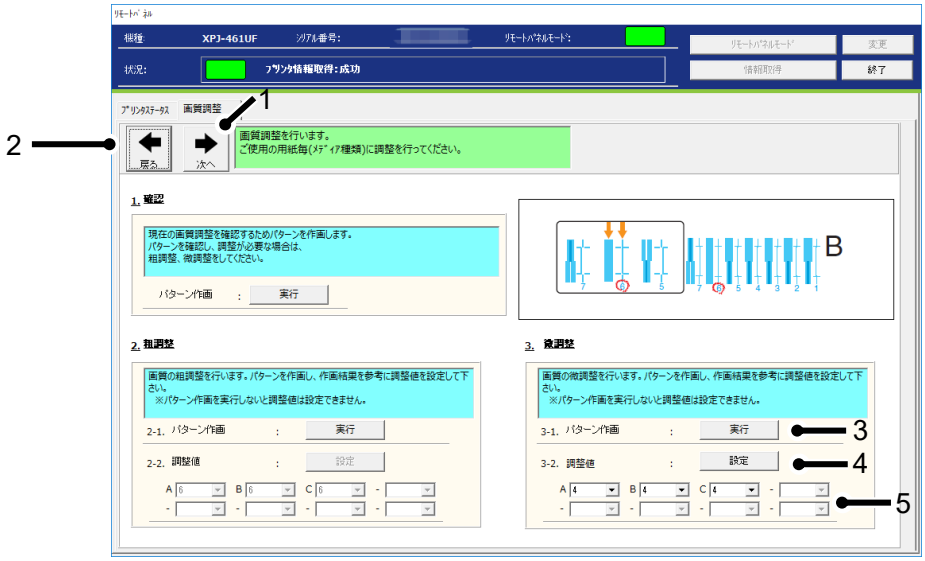
画質の粗調整を行います。



番号	名称	内容
1	次へ	送り補正に移行する
2	戻る	メディア設定に戻る。
3	実行	粗調整パターンを作画する。
4	設定	変更した調整値をプリンタに設定する。
5	調整値	各パターンの調整値を変更する。 ※パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なる。

3)微調整

画質の微調整を行う。



番号	名称	内容
1	次へ	送り補正に移行する
2	戻る	メディア設定に戻る。
3	実行	粗調整パターンを作画する。
4	設定	変更した調整値をプリンタに設定する。
5	調整値	各パターンの調整値を変更する。 ※パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なる。

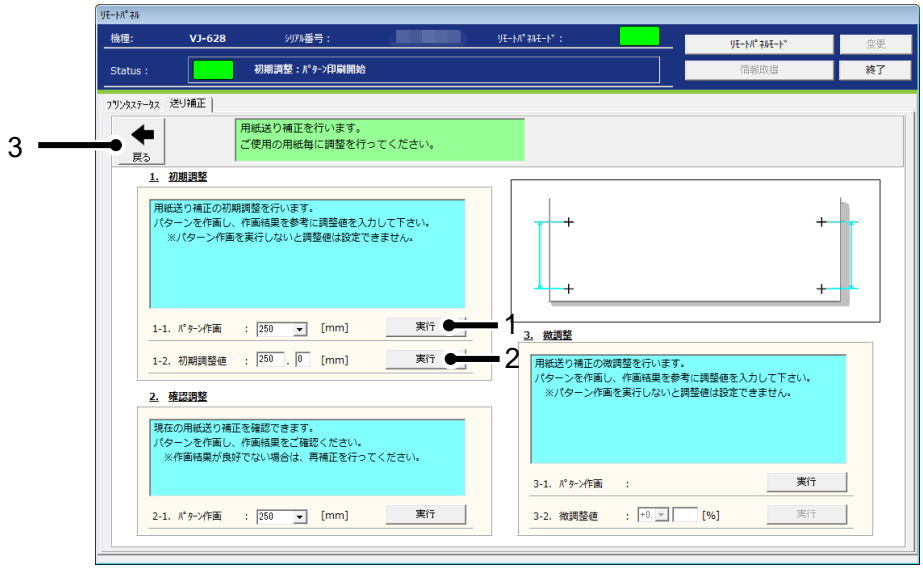
(2)送り補正

メディアの送り補正を行います。

1)初期調整

メディア送り補正の初期調整を行います。

パターンを作画し、作画結果を参考に調整値を入力してください。

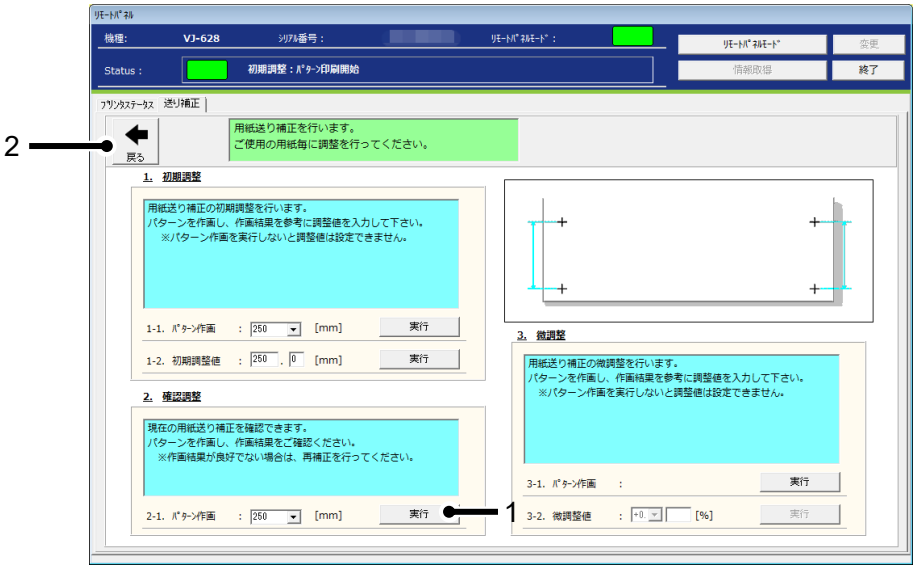


番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	初期調整パターンを作画します。 VJ-426UF: パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 300 [mm] VJ-626UF: パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm] 50 [mm]単位
2	初期調整値-実行	初期調整値を設定します。 調整値範囲: 初期調整パターンの±10.0 [mm] 0.1[mm]単位 例)初期調整パターンが 250[mm]の場合 調整値範囲 240 [mm] ～ 260 [mm]
3	戻る	メディア設定に戻る。

2)確認調整

現在のメディア送り補正を確認できます。

パターンを作画し、作画結果をご確認ください。

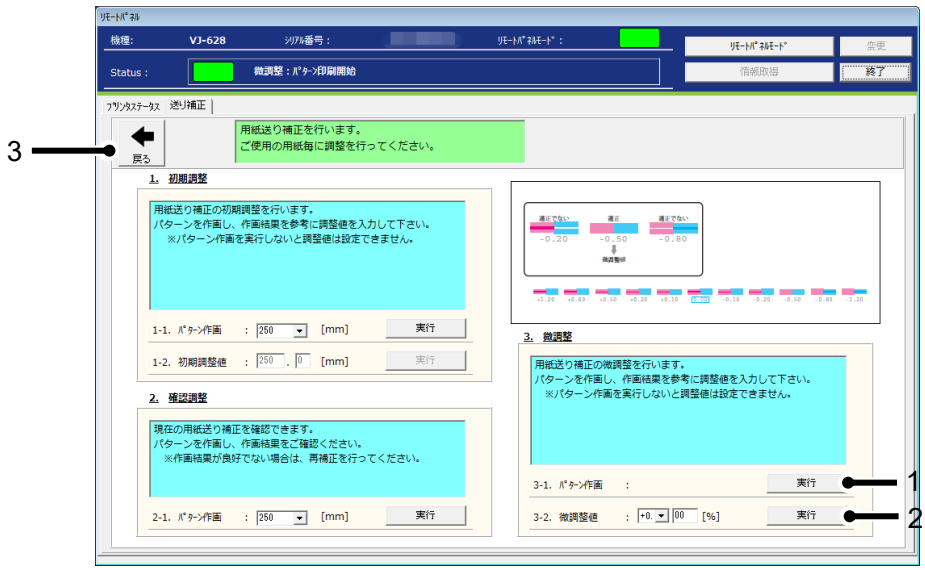


番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	確認パターンを作画します。 VJ-426UF: パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 300 [mm] VJ-626UF: パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm] 50 [mm]単位
2	戻る	メディア設定に戻る。

3)微調整

メディア送り補正の微調整を行います。

パターンを作画し、作画結果を参考に調整値を入力してください。



番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	微調整パターンを作画します。
2	微調整値-実行	微調整値を設定します。 調整値範囲： 微調整パターンの±5.00 [%] 0.01[%]単位
3	戻る	メディア設定に戻る。

13.3.4.3. メディア情報

現在プリンタに設定されているメディア情報を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	幅	現在プリンタに設定されているメディアの幅を確認、変更することができます。 VJ-426UF/XPJ-461UF: 設定値: 30 mm ～ < 483 mm > VJ-626UF/XPJ-661UF/661UF-P : フラットモード : 設定値: 30 mm ～ < 483 mm > ロータリーモード : 設定値 : 30 mm ～ < 360 mm > XPJ-1462UF: 設定値: 30 mm ～ < 1420 mm >
2	長さ	現在プリンタに設定されているメディアの長さを確認、変更することができます。 VJ-426UF/XPJ-461UF: 設定値: 30 mm ～ < 329 mm > VJ-626UF/XPJ-661UF: フラットモード :設定値: 30 mm ～ < 594 mm > ロータリーモード : 設定値 : 20 mm ～ < 405 mm > XPJ-1462UF: 設定値: 30 mm ～ < 700 mm > XPJ-661UF-P: フラットモード :設定値: 30 mm ～ < 610 mm > ロータリーモード :設定値: 30 mm ～ < 405 mm >

番号	名称	内容
3	高さ ※1,2	現在プリンタに設定されているメディアの高さを確認することができます。 設定値:<オート>／マニュアル
4	ローラピッチ ※1,3	現在プリンタに設定されているローラーピッチを確認することができます。 設定値:<広い>／狭い
5	PG オフセット ※1,2 ※高さ設定が「オート」の場合	現在プリンタに設定されているメディアの PG オフセットを確認することができます。 設定値: 〈 0.0 mm 〉 ～ 1.5 mm
6	メディア高さ ※1,2 ※高さ設定が「マニュアル」の場合	現在プリンタに設定されているメディアのメディア高さを確認することができます。 XPJ-661UF-P:設定値 :〈 0.0 mm 〉 ～ 150.3 mm その他 :設定値: 〈 0.0 mm 〉 ～ 150.0 mm
7	直径 ※1,3	現在プリンタに設定されている直径を確認することができます。 ローラーピッチ 広い 設定値: 60.0 mm ～ 125.0 mm 狭い 設定値: 27.0 mm ～ 80.0 mm
8	セット確認表示 ※1	現在プリンタに設定されているメディアのセット確認表示を確認、変更することができます。 設定値:オフ／<オン>
9	メディアセットモード ※2,4	現在プリンタに設定されているメディアセットモードを確認、変更することができます。 設定値:<通常>／高精度
10	高さ変更確認 ※5	現在プリンタに設定されている高さ変更確認を確認、変更することができます。 設定値 :〈オフ〉／オン

注 記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。
- ※1 VJ-626UF/XPJ-661UF/1462UF/661UF-P で有効になります。
- ※2 フラットモードで有効になります。
- ※3 ロータリーモードで有効になります。
- ※4 XPJ-461UF/661UF/661UF-P で有効になります。
- ※5 XPJ-1462UF/661UF-P で有効になります。

13.3.4.4. メディア種類コピー

現在設定しているメディア種類の設定を、一括して他のメディア種類にコピーすることができます。

コピーする項目は以下となります。

作画モード / エフェクト / 画質調整値 / 送り補正値 / 吸着ファン / メディア設定



番号	名称	内容
1	コピー元	現在選択しているメディア種類を表示します。
2	コピー先	コピー先のメディア種類を選択します。 コピー先は、コピー元以外及び全てのメディア種類を選択可能です。 例） 現在選択しているメディア種類が Type1 の場合、コピー先は、 Type2～10、全てとなります。
3	実行	メディア種類のコピーを行います。

注 記

- メディア種類をコピー後は、設定を復元できませんので、コピーする場合はご注意ください。

13.3.5. 詳細設定

現在プリンタに設定されている、詳細設定を確認、変更することができます。

また、プリンタの初期設定の確認や、各種設定の初期化を行うことができます。



番号	名称	内容
1	詳細設定	現在プリンタに設定されている詳細設定を確認、変更することができます。
2	UVスキャン	現在プリンタに設定されているUVスキャン設定を確認、変更することができます。

13.3.5.1. 詳細設定

現在プリンタに設定されている、詳細設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	重ね描き回数	作画1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回 ※6色設定かつ重ね描き回数の設定が1の時のみ、レイヤー印刷重ね描きの設定が可能
2	パス間乾燥時間	重ね描き作画時の作画1行あたりの乾燥時間を設定します。 設定値: < 0.0 秒 > ～ 0.1 秒 ～ 5.0 秒
3	レイヤー印刷重ね描き(Color)	レイヤー印刷(Color)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回
4	レイヤー印刷重ね描き(White)	レイヤー印刷(White)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回
5	レイヤー印刷重ね描き(Varnish)	レイヤー印刷(Varnish)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回
6	CR作画移動幅	作画中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 設定値:データ幅 / 機械幅 /< メディア幅 >
7	ヘッダーダンプ ※2	作画データについてダンプデータを印刷するかどうか設定できます。ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。 設定値:<オフ>/オン/ダンプ
8	フラッシング	作画中のフラッシング動作を設定します。 設定値:< オン >/ オフ

番号	名称	内容
9	リターン回数	フラッシング設定で「オン」に設定した場合、プリントヘッドが原点側のフラッシングボックスに戻る頻度を設定します。 設定値: 〈 1 回 〉 ～ 999 回
10	オートクリーニング － 待機中 ※8,10	待機中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 設定値: 〈オフ〉 ～ 10分 ～ 1440分
11	オートクリーニング － 作画前 ※8	作画前のオートクリーニングについて設定します。 設定値: 〈 オフ 〉 / オン
12	オートクリーニング － 作画中 ※8,10	作画中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 設定値: 〈 オフ 〉 ～ 5分 ～ 180分
13	オートクリーニング － 累積作画	累積作画のオートクリーニングについて設定します。 設定値: 〈 オフ 〉 /1時間/2時間/3時間/4時間
14	先端処理 ※1	先端処理を設定します。 設定値: オフ / 〈 オン 〉
15	後端処理 ※1,6	後端処理を設定します。 設定値: オート / 〈 オン 〉
16	マルチレイヤー ※2	マルチレイヤーを設定します。 設定値: 〈 オフ 〉 / オン
17	ホワイトメンテナンス ※3,8,9	ホワイトメンテナンスを設定します。 設定値: 〈 通常 〉 / 微量
17	インクメンテナンス ※4,5,7	インクメンテナンスを設定します。 設定値: 微量 / 〈 通常 〉 / 強力
18	クリーニング種類 ※4	クリーニング種類を設定します。 設定値: 微量 / 〈 通常 〉 / 強力
19	ノズル選択 － パターン印刷 ※2,4,7	ノズル選択のパターンを印刷します。
20	ノズル設定 ※2,4,7	ノズル設定を設定します。 設定値: 〈 ノズルオール 〉 / ノズルA / ノズルB / ノズルC/ ノズルD
21	自動ノズルチェック ※7	製品の自動ノズルチェック設定を確認、変更します。 設定値:On / 〈 Off 〉
22	ジョブ回数 ※7	製品のジョブ回数設定を確認、変更します。 設定値: 〈 Off 〉 / 1回 ～ 30回

番号	名称	内容
23	自動ノズル選択 ※7	製品の自動ノズル選択設定を確認、変更します。 設定値: Off / < On >
24	イオナイザー ※7,9	製品のイオナイザー設定を確認、変更します。 設定値: < Off > / On
25	オートクリーニング(待機中) クリーニング種類 ※7	待機中にオートクリーニングを行う種類を選択します。 設定値: < オフ > / 微量 / 通常 / 強力
26	オートクリーニング(待機中) クリーニング間隔 ※7	待機中にオートクリーニングを行う間隔を選択します。 設定値: 10分 ～ < 360分 > ～ 1440分
27	オートクリーニング(印刷前) クリーニング間隔 ※7	印刷前のオートクリーニングについて設定します。 設定値: < オフ > / 微量 / 通常 / 強力
28	カラーメンテナンス ※9	カラーメンテナンスを設定します。 設定値: < オフ > / 微量 / 通常

注 記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ※1 VJ-426UF で有効になります。
- ※2 フラットモードで有効になります。
- ※3 VJ-426UF/626UF で有効になります。
- ※4 XPJ-461UF/661UF で有効になります。
- ※5 インク種類、色数設定で選択可能な設定が異なります。
- ※6 XPJ-461UF で有効になります。
- ※7 XPJ-1462UF で有効になります。
- ※8 XPJ-1462UF では無効になります。
- ※9 XPJ-661UF-P で有効になります。
- ※10 XPJ-661UF-P では無効になります。

13.3.5.2. UV スキャン

現在プリンタに設定されている、UV スキャン設定を確認、変更することができます。



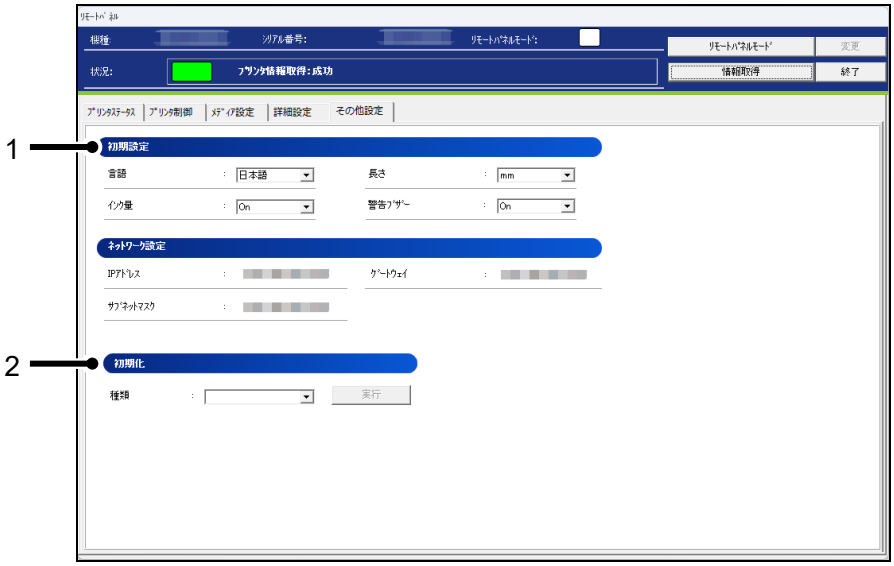
番号	名称	内容
1	スキャン数	メディア送り方向1インチ当たりのUVスキャン走査回数を設定します。 設定値: 2／< 4 >／8／16
2	作画後スキャン ※1	作画後に自動的にＵＶ硬化動作を行うかを設定します。 設定値: < **オフ** >／オン

注 記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ※1 XPJ-1462UF では無効になります。

13.3.6. その他設定

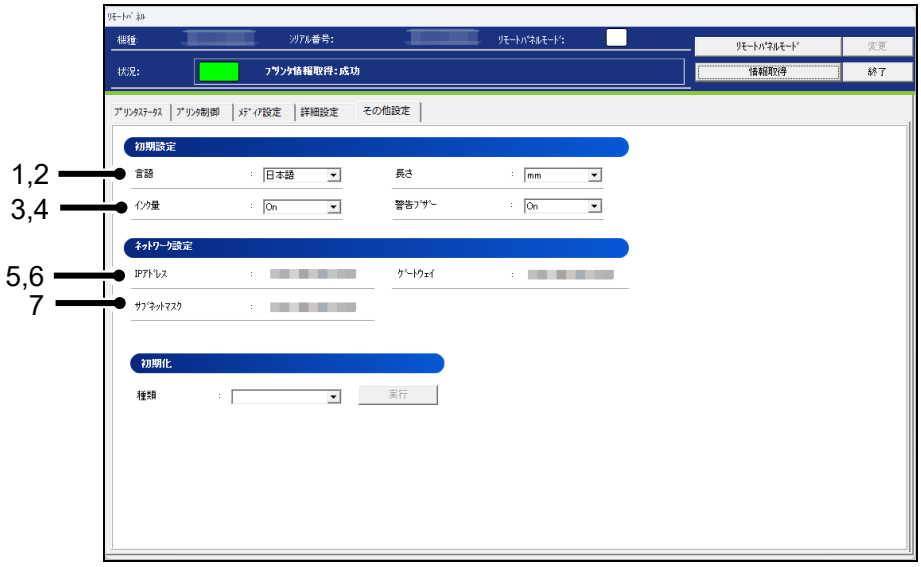
プリンタの初期設定の確認や、各種設定の初期化を行うことができます。



番号	名称	内容
1	初期設定	現在プリンタに設定されている初期設定を確認することができます。
2	初期化	現在プリンタに設定されている各種設定を初期化することができます。

13.3.6.1. 初期設定

現在プリンタに設定されている、初期設定を確認することができます。



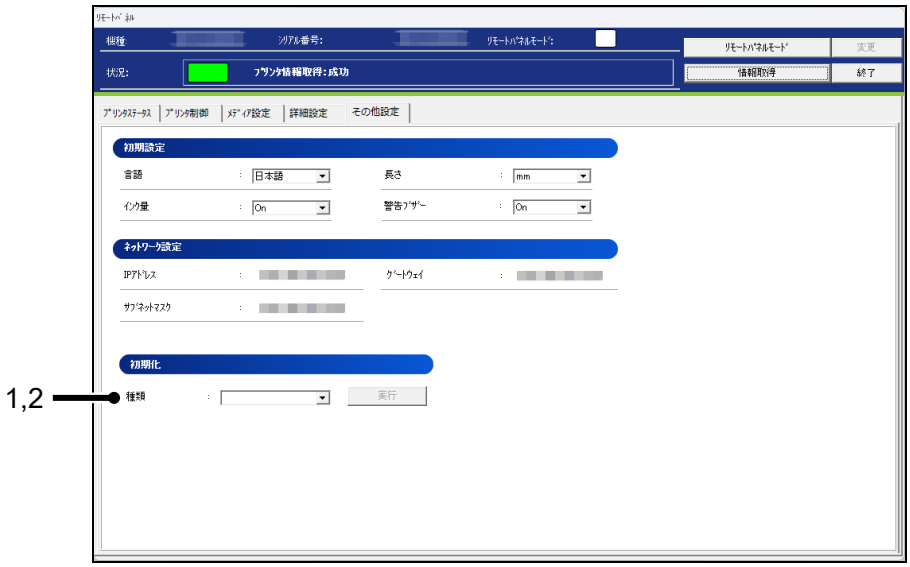
番号	名称	内容
1	言語	製品の言語を設定します。 設定値:<エイゴ Ｅｎｇｌｉｓｈ> ／ ニホンゴ Ｊａｐａｎｅｓｅ XPJ-1462UF/661UF-P 設定値:<英語> / オランダ語 / スペイン語 / フランス語 / イタリア語 / ポルトガル語 / ドイツ語 / **日本語**
2	長さ	製品の長さ単位を設定します。 設定値:<ｍｍ>／ｉｎｃｈ
3	インク量	製品のインク量表示の設定をします。 設定値:**オフ**／<オン>
4	警告ブザー	製品の警告ブザー設定を確認、変更します。 設定値:<**オン**>／オフ
5	IPアドレス	製品のIPアドレスを表示します。
6	ゲートウェイ	製品のゲートウェイを表示します。
7	サブネットマスク	製品のサブネットマスクを表示します。

注 記

- ネットワーク設定を変更する場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションまたは製品のパネルで行ってください。
- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。

13.3.6.2. 初期化

製品の各設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。



番号	名称	内容
1	種類	XPJ-661UF-P: ALL: 全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 メディア設定 : メディア種類全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 メディア設定以外: メディア設定以外全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 その他: ALL: 全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 メディア種類 : メディア種類全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 詳細設定: 詳細設定全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 初期設定: 初期設定全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。
2	実行	種類で設定した初期化を実行します。

注 記

- 「ネットワーク設定」の項目は初期化されません。
  「ネットワーク設定」の項目を変更する場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションまたは製品のパネルで行ってください。

13.3.7. プラグ寿命

大容量パックアダプターのコネクターゴムの寿命について、確認や初期化を行います。

13.3.7.1.プラグ寿命初期化

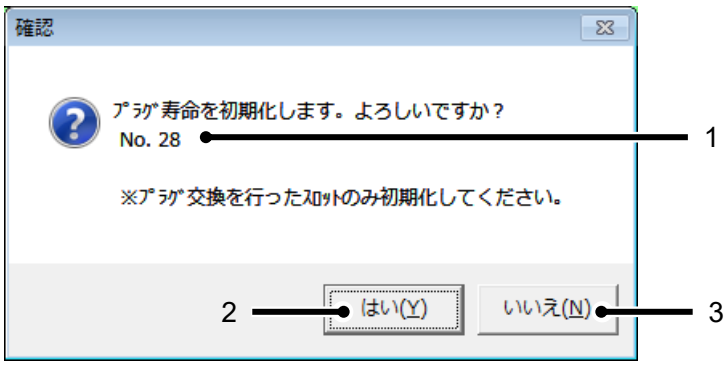


番号	名称	内容
1	プラグ寿命	各スロットのプラグ寿命を表示します。 ※大容量パックアダプタ対象のスロットのみ表示 ：未対応　：正常(100～81%) ：正常(80～61%)　：正常(60～41%) ：正常(40～21%)　：警告(20%～1%) ：寿命(0%)
2	プラグ寿命初期化	チェックされたスロットのプラグ寿命を初期化します。

注　記

- 大容量パックアダプタを使用していない場合は、本機能は表示されません。
- プラグ交換の方法は、大容量パックアダプタのマニュアルを確認してください。
- XPJ-1462UF で有効になります。

13.3.7.2. 確認



番号	名称	内容
1	スロット番号	初期化を行うスロット番号を表示します。
2	はい	初期化を実行します。
3	いいえ	初期化をキャンセルします。

13.4. XPJ-1641SR/1682SR/16x2WR/1341xR-P/1641SR-P/P2/ 1682SR-P/1681SR-P/HA-1642/XPJ-1682UR の場合

13.4.1. リモートパネルメニュー

リモートパネルを使用するプリンタの情報や、リモートパネルの状態等を確認する。



番号	名称	内容
1	機種	現在選択されているプリンタの機種名を表示します。
2	シリアル番号	現在選択されているプリンタのシリアル番号を表示します。
3	Status	リモートパネルの状態を表示します。
4	リモートパネルモード(状況)	現在のリモートパネルモード(操作権限)の取得状況を表示します。 :リモートパネルモード オン :リモートパネルモード オフ
5	リモートパネルモードボタン	リモートパネルモードをオン/オフします。
6	変更	プリンタの設定を変更します。
7	情報取得ボタン	プリンタから最新のパネル設定を取得します。 ※取得する情報は、選択された画面の情報のみとなります。
8	終了ボタン	リモートパネルを終了します。

13.4.2. プリンタステータス

プリンタの状態を表示します。また、プリンタをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	ステータス情報	プリンタのステータス情報を表示します。 プリンタに重障害が発生した場合は、対策方法が表示されます。
2	ヒーター情報　※1,2	プリンタのヒーター情報を確認、変更することができます。 ※ヒーター情報は、現在選択されているメディア種類となります。 また、プリンタがウォームアップ中の場合は、ウォームアップをキャンセルし、印刷を開始することができます。
3	インク情報	プリンタのインク残量を表示します。 S/Cリカバリーの詳細は、「7.7.2S/Cカードリカバリー」を参照
4	プリンタ制御	プリンタをリモート制御することが可能です。 ・印刷キャンセル　・印刷ポーズ　・用紙カット　・ノズルチェック
5	スリープモード　※3	スリープモードのリモート制御が可能です。
6	自動プリンタ情報取得	プリンタ情報を自動で取得します。 On　：　有効 Off　：　無効 ※Windowsドライバからの起動要求だった場合、本機能は使用できません。
7	間隔	自動プリンタ情報取得を有効にした場合、プリンタ情報を自動取得する間隔を指定します。 設定値 <60[sec]> / 30[sec] / 10[sec] / 3[sec]
8	ステータスのみ	取得する情報を、プリンタステータスのみとし、取得時間を短縮します。 ※「自動プリンタ情報取得」が「On」状態で有効となります。

注 記

- ※1 XPJ-1682SR / 1641SR / 1341SR-P / 1641SR-P/P2 / 1682SR-P / 1681SR-P / HA-1642 で有効になります。
- ※2 XPJ-1642WR で有効になります。
- ※3 XPJ-1682UR/HA-1642 では無効になります。

13.4.2.1.ヒーター情報

プリンタのヒーター情報を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	ヒーター :温度設定	現在プリンタに設定されているメディアのヒーターの温度設定を確認、変更することができます。
2	ヒーター :温度状況	ヒーターの実温度を表示します。
3	ウォームアップ キャンセル	プリンタがウォームアップ中の場合は、ウォームアップをキャンセルし、印刷を開始することができます。

13.4.2.2. スリープモード

スリープモードのリモート制御が可能です。



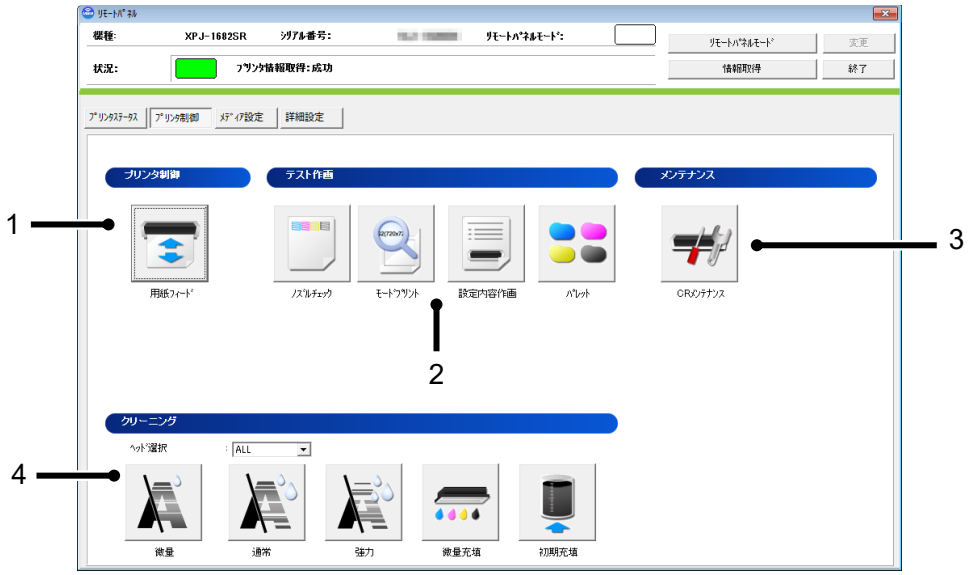
番号	名称	内容
1	実行	スリープモードの実行/停止を行います。
2	クリーニングタイマー	スリープモード中のクリーニングタイマーを設定します。 設定値: 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / <6> / 9 / 12 / 18 / 24 [時間] XPJ-1341SR-P/1682SR-P/1681SR-P/1641SR-P2 設定値: 12 [時間] / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 [日]
3	クリーニング種類 ※1	スリープモード中のクリーニング種類を設定します。 設定値: 微量 / 通常 / 強力 XPJ-1641SR-P 設定値: 微量 / 通常 / 強力 / フラッシング
4	オートタイマー ※2	プリンタが待機中にスリープモードに自動で移行するタイマーを設定します。 設定値: < 4 > / 8 / 12 / 24 [時間]

注 記

- ※1 XPJ-1341SR-P/1341WR-P 以外で有効になります。
- ※2 XPJ-1341SR-P/1682SR-P/1681SR-P/1641SR-P2 で有効になります。

13.4.3. プリンタ制御

プリンタをリモート制御します。



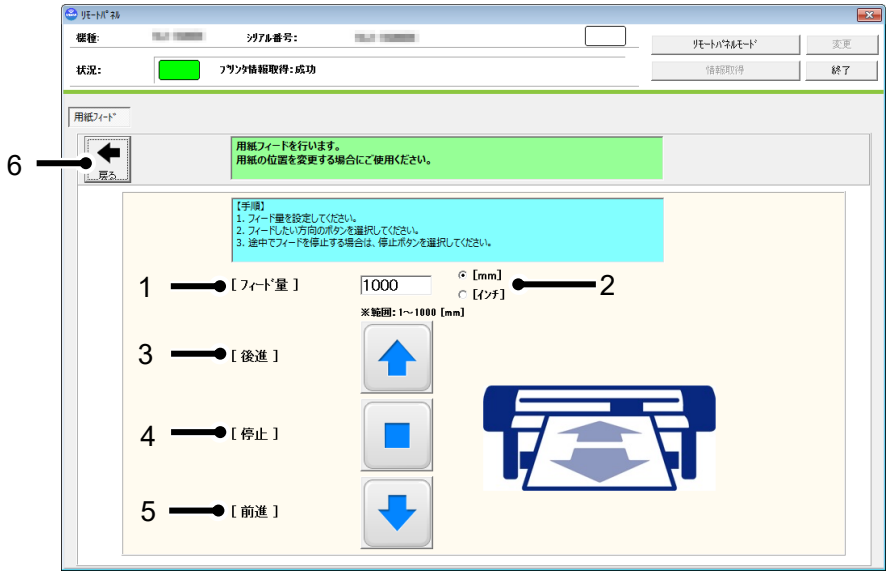
番号	名称	内容
1	プリンタ制御	プリンタをリモート制御します。
2	テスト作画	各種テスト作画をリモート制御します。
3	メンテナンス	プリンタメンテナンスをリモート制御します。
4	クリーニング	各種クリーニングをリモート制御します。

13.4.3.1.プリンタ制御

プリンタをリモート制御します。

(3) (1)メディアフィード

プリンタにセットしている用紙のフィードをリモート制御します。



番号	名称	内容
1	フィード量	メディアのフィード量を設定します。 設定範囲: ・1 ～ < 1000 [mm] > 1 [mm]単位 ・0.04 ～ < 39.37 [インチ] > 0.01 [インチ]単位
2	フィード量の単位	フィード量の単位を設定します。 ・< mm > / インチ
3	後進	設定したフィード量分、メディアを後進させます。
4	停止	メディアフィード中に停止させます。
5	前進	設定したフィード量分、メディアを前進させます。
6	戻る	制御画面に戻ります。

<>初期値

注 記

- 設定したフィード量分、用紙フィードを行うため、用紙の状態によっては用紙が外れる場合がありますので、ご注意ください。

13.4.3.2.テスト作画

各種テスト作画をリモート制御します。



番号	名称	内容
1	ノズルチェック	ノズルチェックをリモート制御します。
2	モードプリント ※2	モードプリントをリモート制御します。
3	設定内容作画 ※2	設定内容作画をリモート制御します。
4	パレット ※2	パレットをリモート制御します。 ※プリンタに設定されている作画モードによっては印刷できない場合があります。
5	ノズルチェックB ※1	ノズルチェックBをリモート制御します。

注 記

- ※1 XPJ-1682UR で White インク使用時に有効になります。
- ※2 XPJ-1641SR-P2/1681SR-P では無効になります。

13.4.3.3. メンテナンス

プリンタメンテナンスをリモート制御します。

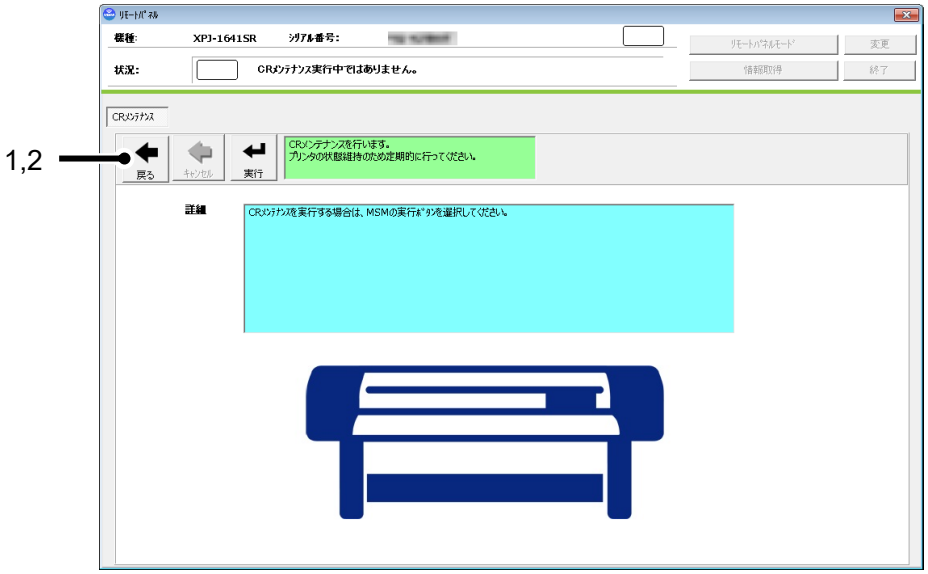


番号	名称	内容
1	CR メンテナンス	CR メンテナンスをリモート制御します。

(4) (1)CR メンテナンス

1-1)プリンタ状態確認

CR メンテナンスを実行するため、プリンタの状態を確認します。



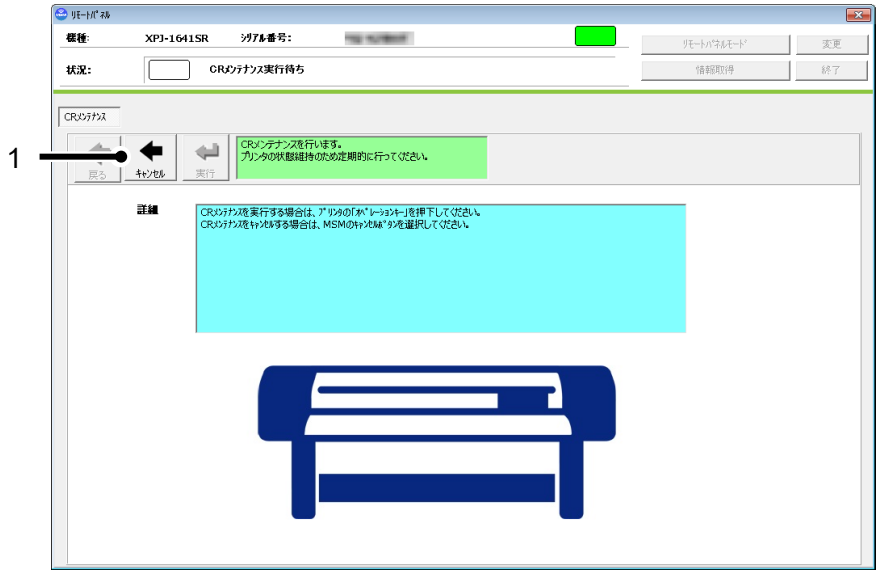
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	実行	CRメンテナンスをリモート制御します。

プリンタがメンテナンス実行中となります。

メンテナンスを終了する場合は、プリンタのオペレーションキーで CR メンテナンスを終了してください。

1-2）CR メンテナンス実行待ち

プリンタが CR メンテナンス実行待ちとなっているため、プリンタのオペレーションキーで CR メンテナンスを開始してください。



番号	名称	内容
1	キャンセル	CRメンテナンス実行待ちを中止します。

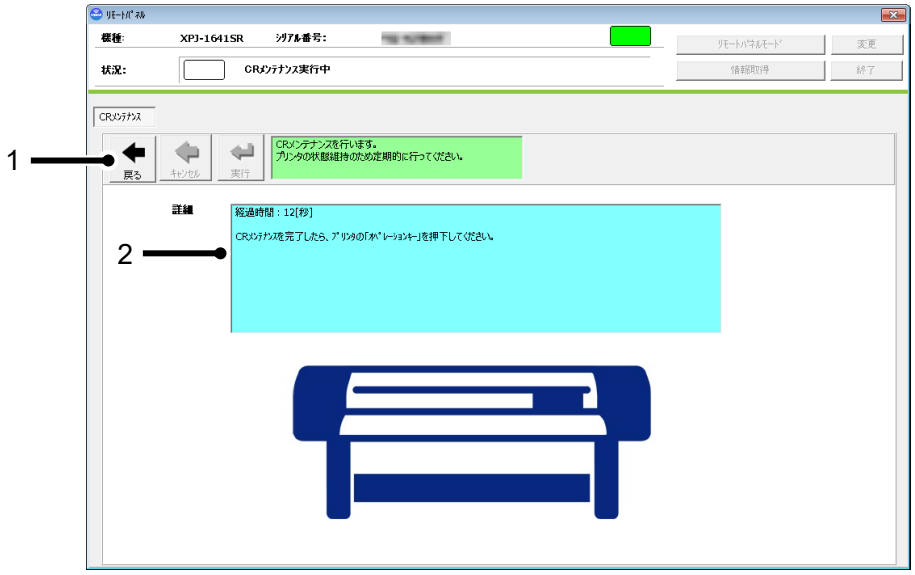
注 記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの開始はプリンタのオペレーションキーで開始されます。

1-3）CR メンテナンス実行中

プリンタが CR メンテナンス実行中となります。

CR メンテナンスを終了する場合は、プリンタのオペレーションキーで CR メンテナンスを終了してください。



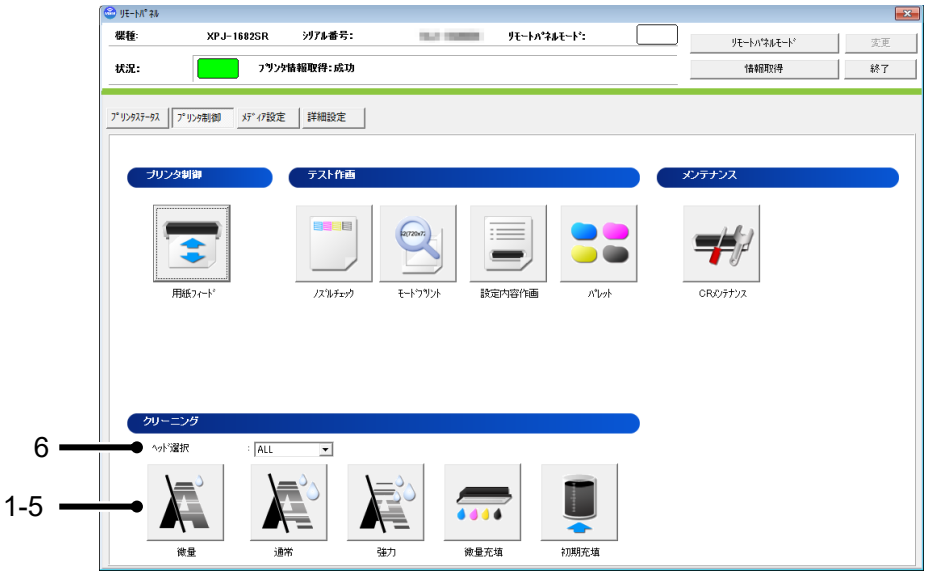
番号	名称	内容
1	戻る	制御画面に戻ります。
2	詳細	CRメンテナンスの経過時間を表示します。

注　記

- CR メンテナンスは、プリンタで作業を行うため CR メンテナンスの終了はプリンタのオペレーションキーで終了します。

13.4.3.4. クリーニング

ヘッドクリーニングを行います。



番号	名称	内容
1	微量クリーニング ※1	「通常」よりも少量のインクを排出します。
2	通常クリーニング ※1	通常はこのモードを選択します。
3	強力クリーニング ※1	「通常」よりも多量のインクを排出します。 通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。
4	微量充填 ※1	微量充填を行います。 初期充填を行っても作画が安定しない場合に、微量充填を行ってください。
5	初期充填 ※2	初期充填を行います。 詳細は「（1） 初期充填 」を参照
6	ヘッド選択	複数ヘッド機のクリーニングを行うヘッドを選択します。 設定値 <ALL> / ヘッド1 / ヘッド2

注 記

- ※1 ヘッド選択が可能です。
- ※2 XPJ-1682UR/1641SR-P2/1681SR-P では非対応。
- インク経路に空気が混入する場合があるため、クリーニング中にインクカートリッジ／パックを抜かないでください。

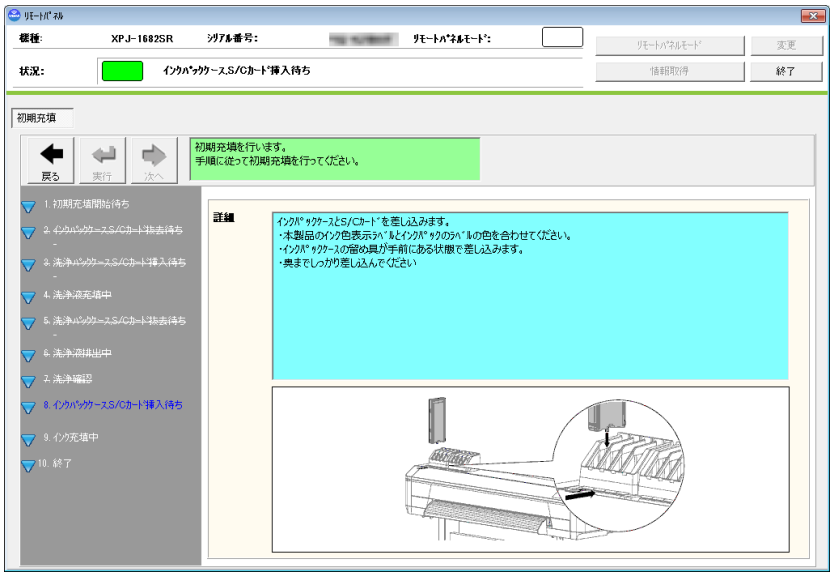
(1)初期充填

インク充填されたプリンタに、初期充填を行います。

1)インクパックケース、S/C カード挿入待ち

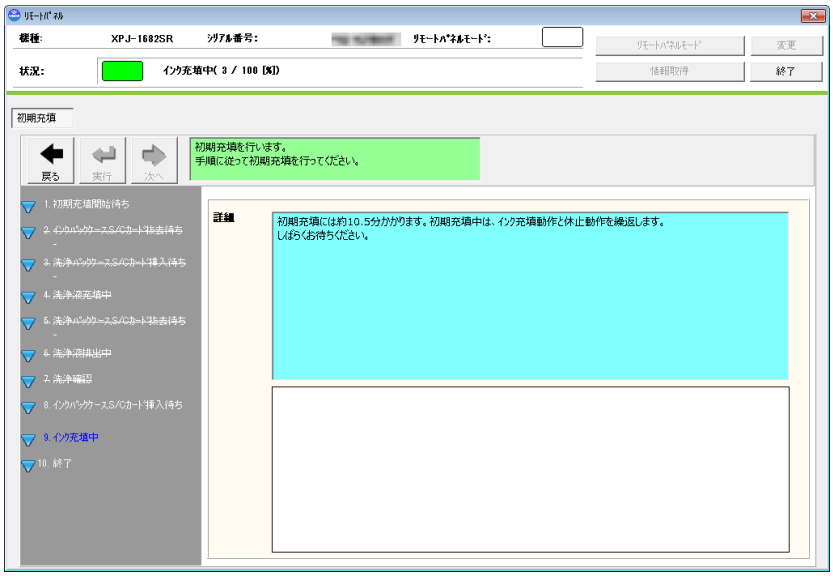
インクパックケースと S/C カード挿入待ちとなります。

全てのスロットにインクパックケースと S/C カードが挿入されたら、インク充填が開始されます。



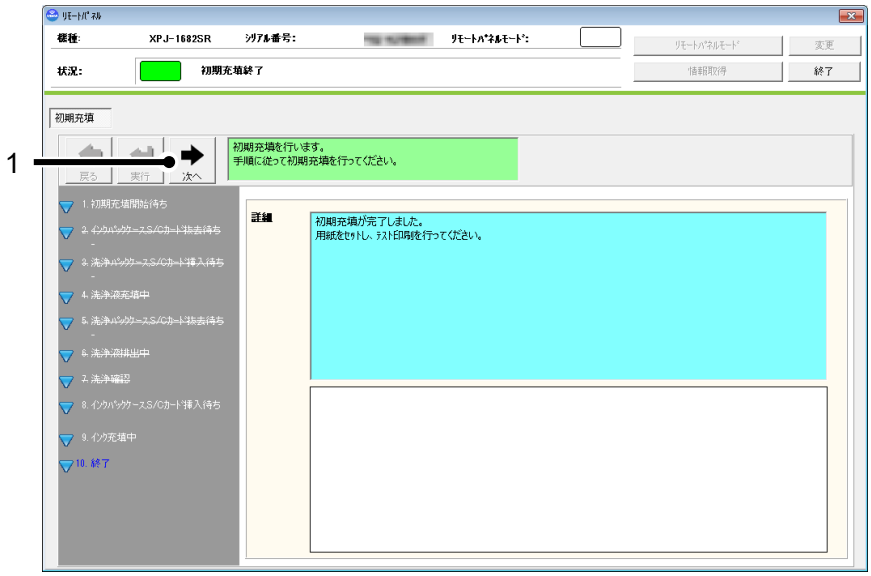
2)インク充填中

インク充填中です。



3)終了

インク充填が完了しました。

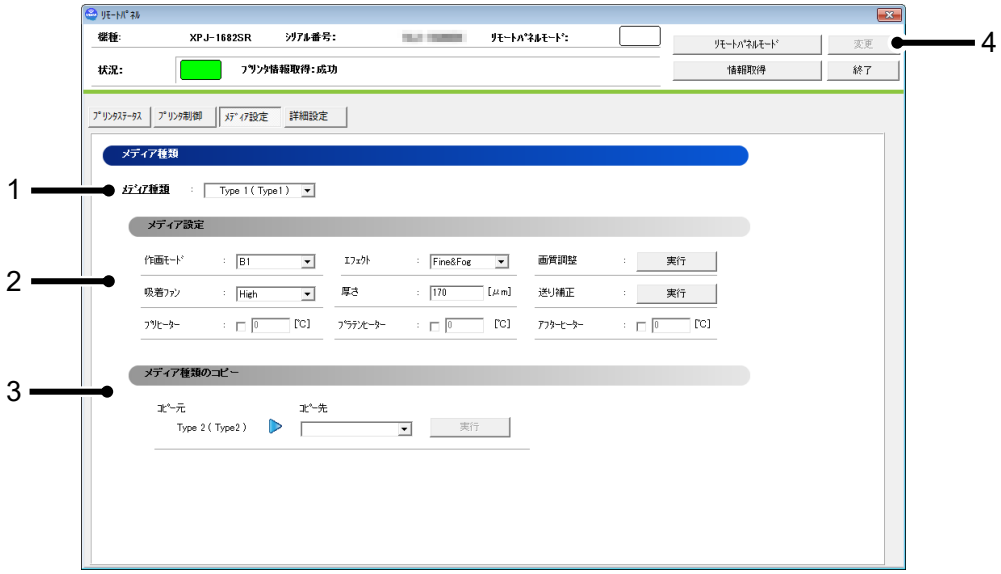


番号	名称	内容
1	戻る	プリンタ制御へ戻ります。

13.4.4. メディア設定

メディア種類の設定をリモート制御します。

ご使用のメディアが複数ある場合、ヒーター設定などを個別に設定しプリンタに記憶することができます。



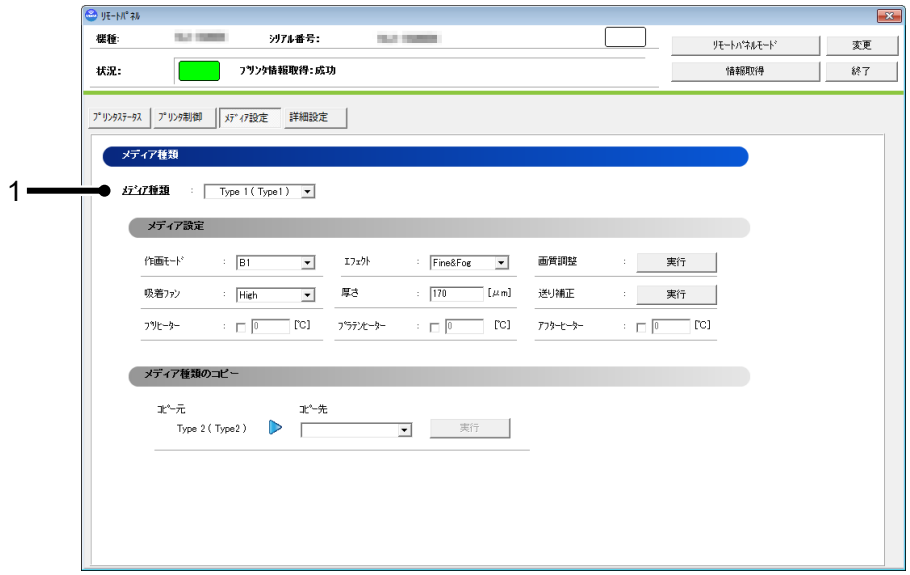
番号	名称	内容
1	メディア種類	現在プリンタに設定されているメディア種類を確認、変更することができます。
2	メディア設定	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定を確認、変更することができます。
3	メディア種類のコピー	メディア種類の設定をコピーします。
4	変更	設定を変更します。

注 記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。

13.4.4.1. メディア種類

現在プリンタに設定されているメディア種類を確認、変更することができます。



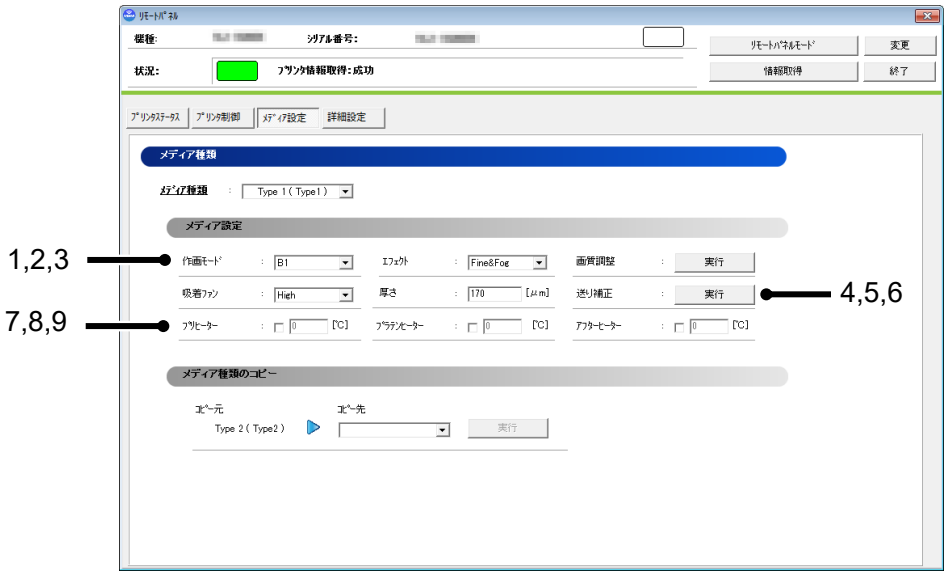
番号	名称	内容
1	メディア種類	現在プリンタに設定されているメディア種類の設定を表示、変更ができます。 設定値 <Type1> - Type15

注 記

- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。

13.4.4.2. メディア設定

現在プリンタに設定されているメディア設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	作画モード ※3	現在プリンタに設定されているメディアの作画モード設定を確認、変更することができます。 XPJ-1682SR/1682WR/1642WR: 設定値 Q1 / Q2 / Q3 / Q4 / G1 / <G2> / B1 / B2 / B3 / B4 XPJ-1641SR: 設定値 Q1 / Q2 / Q3 / Q4 / G1 / <G2> / G3 / G4 / B1 / B2 / B3 / B4 XPJ-1341SR-P/1641SR-P/1341WR-P/1682SR-P: 設定値 High Quality / < Quality > / Production / High Speed XPJ-1641SR-P2/1681SR-P: 設定値 High Quality / < Quality > / Production / Banner / Draft / Ex High Quality / Super Draft XPJ-1682UR: 設定値 High Quality / < Quality > / Production / High Speed / Draft

番号	名称	内容
2	エフェクト ※3	現在プリンタに設定されているメディアのエフェクト設定を確認、変更することができます。 XPJ-1682SR/1682WR: 設定値 None / Wave / Fine&Fuzz / <Fine&Fog> / A-S.Fine&Wave / B-S.Fine&Wave / i-Weave Ex XPJ-1641SR: 設定値 None / Wave / Fog / Fine&Fuzz / <Fine&Fog> / A-S.Fine&Wave / B-S.Fine&Wave / i-Weave Ex XPJ-1642WR: 設定値 None / Wave / Fine&Fuzz / <Fine&Fog> / A-S.Fine&Wave / B-S.Fine&Wave / i-Weave Ex / i-Screen XPJ-1341SR-P/1641SR-P/1341WR-P: 設定値 None / Wave / Fine&Fuzz / <Fine&Fog> / i-Weave Ex /i-Screen XPJ-1641SR-P2/1681SR-P: 設定値 None / i-ScreenFine XPJ-1682SR-P: 設定値 None / i-ScreenFineX / i-ScreenFine ※設定した作画モードに合ったエフェクトが初期値となる。 XPJ-1682UR: 設定値 None / i-Weave UVEx
3	画質調整 ※4	現在プリンタに設定されているメディアの画質調整を行います。
4	吸着ファン	現在プリンタに設定されているメディアの吸着ファン設定を確認、変更することができます。 XPJ-1682SR/1682WR/1641SR: 設定値 Low / Middle / <High> / Ex High XPJ-1642WR: 設定値 <Off> / Low / Middle / High / Ex High XPJ-1341SR-P/1341WR-P: 設定値 Off / Low / Middle / <High> XPJ-1641SR-P/1682SR-P/1682UR/HA-1642: 設定値 Off / Low / Middle / <High> / Ex High XPJ-1641SR-P2/1681SR-P: 設定値 Off / Low / Middle / High / <Ex High>
5	厚さ	現在プリンタに設定されているメディアの吸着ファン設定を確認、変更することができます。 XPJ-1682SR/1682WR/1641SR: 設定値 80 – <170> – 2800 [μm] XPJ-1642WR: 設定値 40 – <170> – 1000 [μm] XPJ-1341SR-P/1641SR-P/1341WR-P/1682SR-P/HA-1642: 設定値 80 – <170> – 1300 [μm] XPJ-1641SR-P2/1681SR-P: 設定値 80 – <220> – 1300 [μm] XPJ-1682UR: 設定値 40 – <170> – 1300 [μm]

番号	名称	内容
6	送り補正 ※4	現在プリンタに設定されているメディアの送り補正を行います。
7	プリヒーター ※1	現在プリンタに設定されているメディアのプリヒーターの温度設定を確認、変更することができます。 設定値 Off / <30> – 50 [℃]
8	プラテンヒーター ※1	現在プリンタに設定されているメディアのプラテンヒーターの温度設定を確認、変更することができます。 設定値 Off / <30> – 50 [℃]
9	アフターヒーター ※1,2	現在プリンタに設定されているメディアのアフターヒーターの温度設定を確認、変更することができます。 設定値 Off / <30> – 50 [℃]

注 記

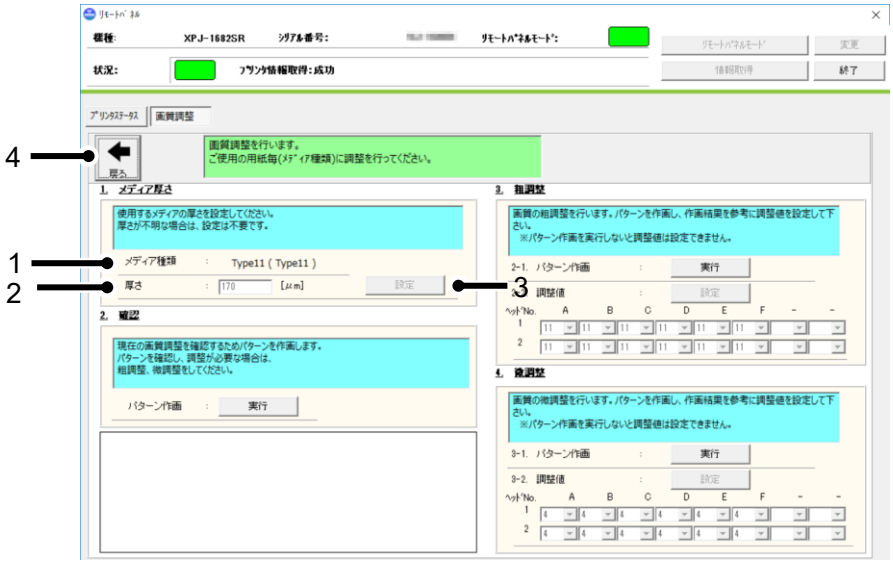
- 各設定を変更する場合は、変更したい設定を選択し、「変更」ボタンを選択してください。
- 複数の設定をまとめて変更することも可能です。
- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ※1 XPJ-1682SR/1641SR/1341SR-P/1641SR-P/P2/1682SR-P/1681SR-P で有効になります。
- ※2 XPJ-1642WR で有効になります。
- ※3 HA-1642 は無効になります。
- ※4 XPJ-1641SR-P2/1681SR-P は無効になります。

(5) (1)画質調整

作画に最適な画質の調整を行います。

1)メディア厚さ

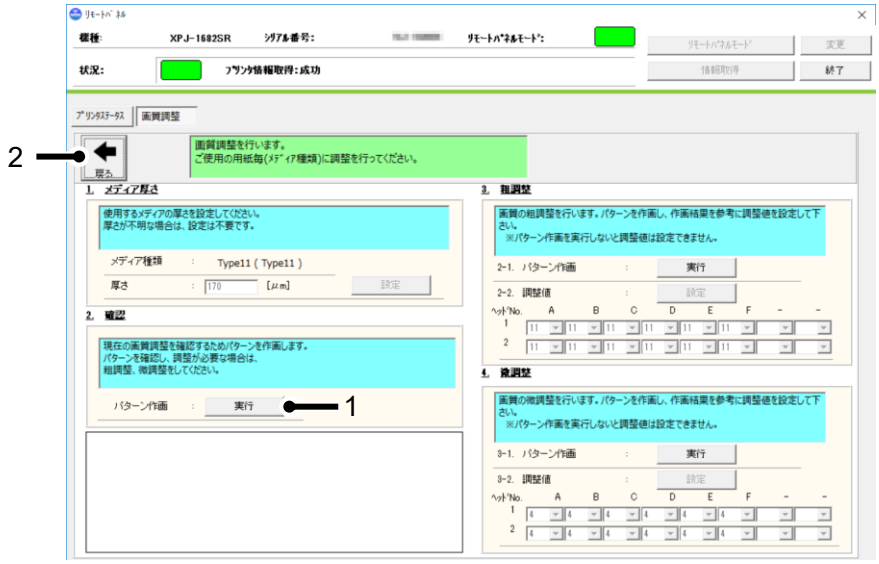
使用するメディアの厚さを設定します。



番号	名称	内容
1	メディア種類	現在設定されているメディア種類を表示する。
2	厚さ	セットしているメディアの厚さを設定する。
3	設定	変更したメディア厚さをプリンタに設定する。
4	戻る	前項に戻る。

2)確認

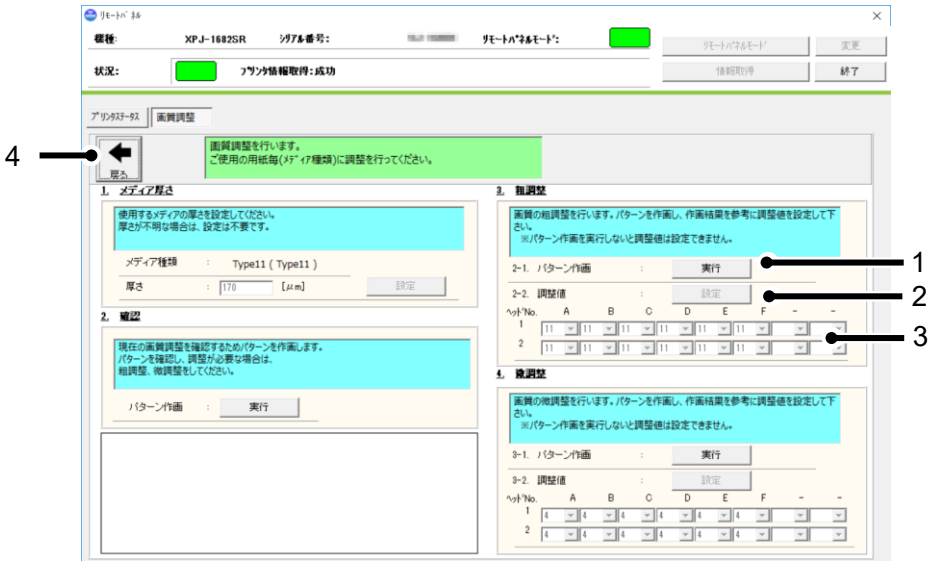
現在の画質調整を確認するパターンを作画する。



番号	名称	内容
1	実行	現在の画質調整を確認するパターンを作画する。
2	戻る	メディア設定に戻る。

3)粗調整

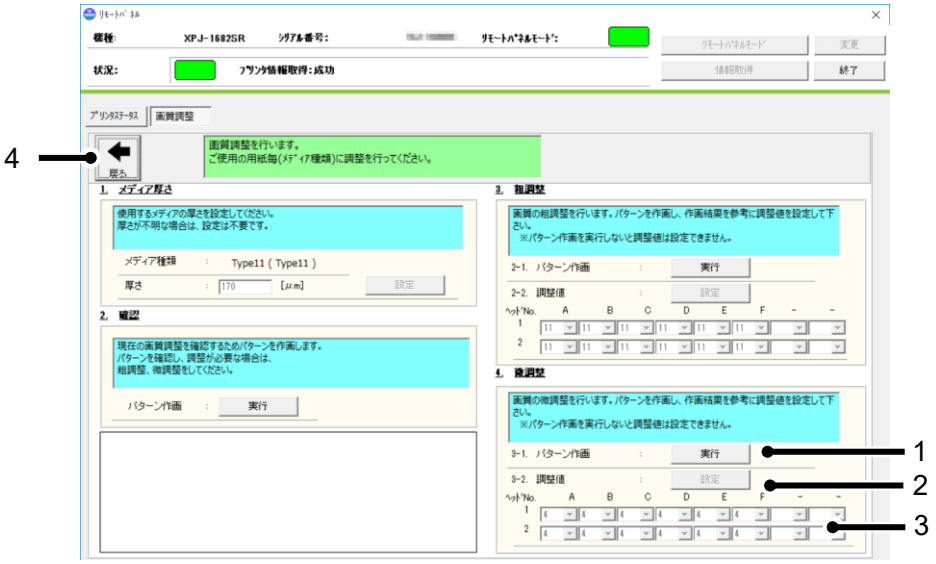
画質の粗調整を行います。



番号	名称	内容
1	実行	粗調整パターンを作画する。
2	設定	変更した調整値をプリンタに設定する。
3	調整値	各パターンの調整値を変更する。 ※パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なる。
4	戻る	メディア設定に戻る。

4)微調整

画質の微調整を行う。



番号	名称	内容
1	実行	粗調整パターンを作画する。
2	設定	変更した調整値をプリンタに設定する。
3	調整値	各パターンの調整値を変更する。 ※パターン数、調整範囲は、機種やインク種類によって異なる。
4	戻る	メディア設定に戻る。

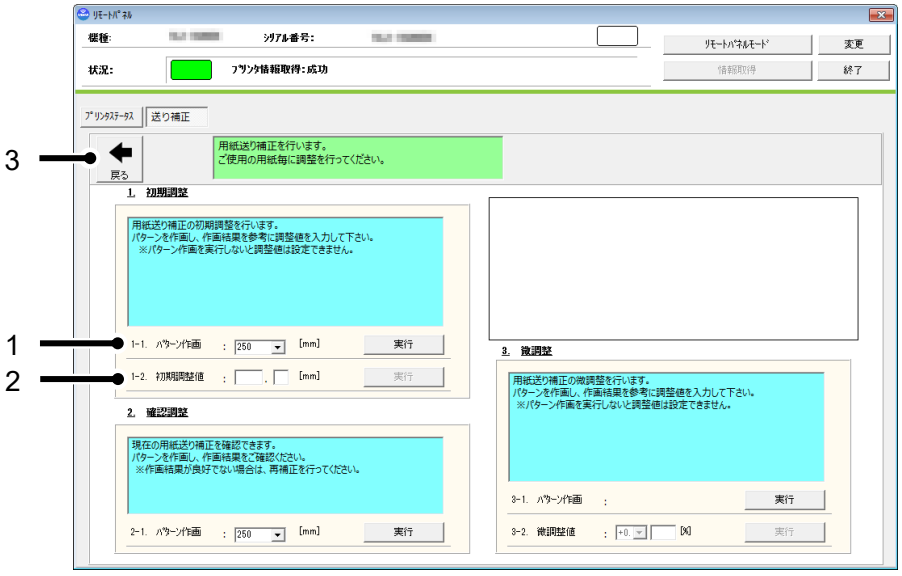
(6) (2)送り補正

メディアの送り補正を行います。

1)初期調整

メディア送り補正の初期調整を行います。

パターンを作画し、作画結果を参考に調整値を入力してください。

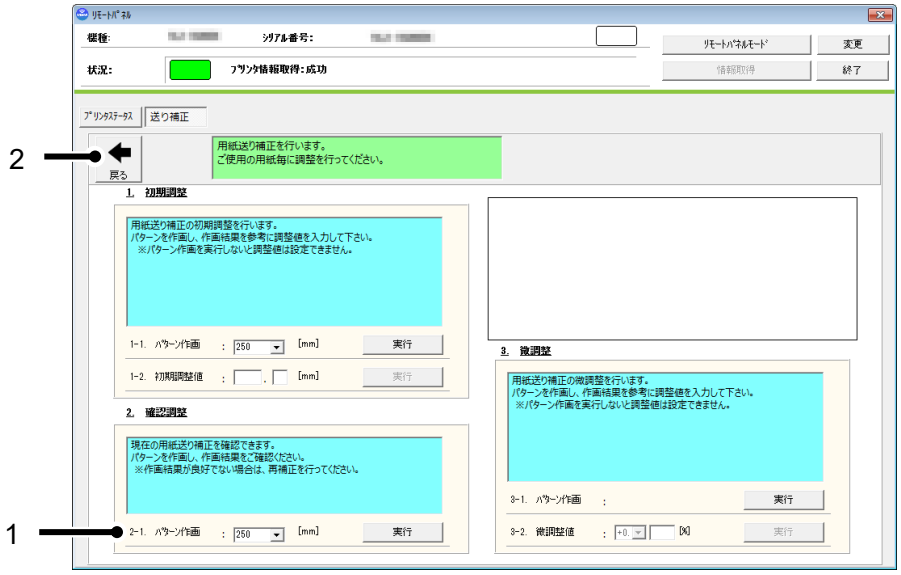


番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	初期調整パターンを作画します。 パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm] 50 [mm]単位
2	初期調整値-実行	初期調整値を設定します。 調整値範囲: 初期調整パターンの±50.0 [mm] 0.1[mm]単位 例)初期調整パターンが 250[mm]の場合 調整値範囲 200 [mm] ～ 300 [mm]
3	戻る	メディア設定に戻る。

2)確認調整

現在のメディア送り補正を確認できます。

パターンを作画し、作画結果をご確認ください。

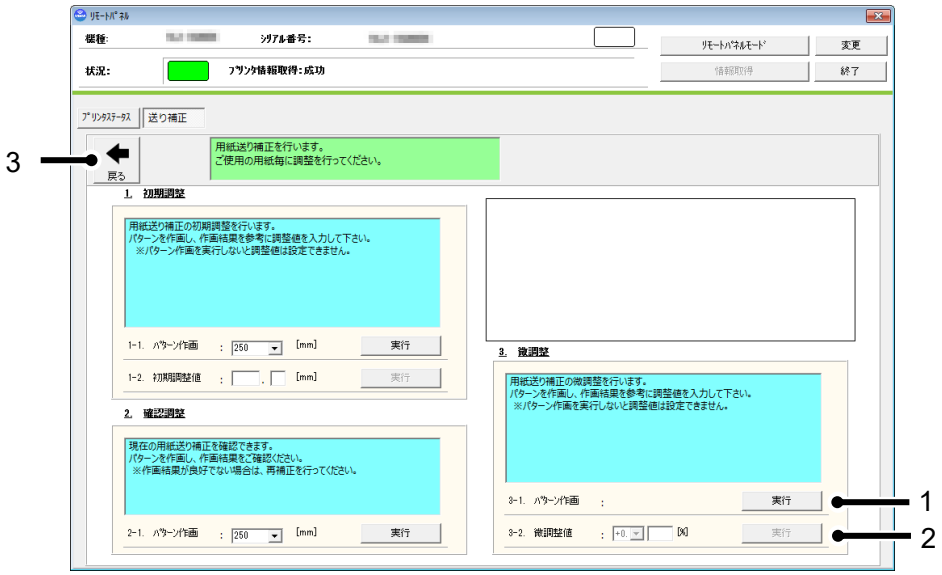


番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	初期調整パターンを作画します。 パターン範囲: 100 [mm] ～ < 250 [mm] > ～ 500 [mm] 50 [mm]単位
2	戻る	メディア設定に戻る。

3)微調整

メディア送り補正の微調整を行います。

パターンを作画し、作画結果を参考に調整値を入力してください。



番号	名称	内容
1	パターン作画-実行	初期調整パターンを作画します。
2	微調整値-実行	微調整値を設定します。 調整値範囲: 初期調整パターンの±5.00 [%] 0.01[%]単位
3	戻る	メディア設定に戻る。

13.4.4.3. メディア種類コピー

現在設定しているメディア種類の設定を、一括して他のメディア種類にコピーすることができます。

コピーする項目は以下となります。

作画モード / エフェクト / 画質調整値 / 送り補正値 / 吸着ファン / 厚さ / ヒーター



番号	名称	内容
1	コピー元	現在選択しているメディア種類を表示します。
2	コピー先	コピー先のメディア種類を選択します。 コピー先は、コピー元以外及び全てのメディア種類を選択可能です。 例） 現在選択しているメディア種類が Type1 の場合、コピー先は、 Type2～15、全てとなります。
3	実行	メディア種類のコピーを行います。

注 記

- メディア種類をコピー後は、設定を復元できませんので、コピーする場合はご注意ください。

13.4.5. 詳細設定

現在プリンタに設定されている、詳細設定を確認、変更することができます。

また、プリンタの初期設定の確認や、各種設定の初期化を行うことができます。



番号	名称	内容
1	詳細設定	現在プリンタに設定されている詳細設定を確認、変更することができます。

13.4.5.1. 詳細設定

現在プリンタに設定されている、詳細設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	フラッシング	作画中のフラッシング動作を設定します。 設定値:< On > / メディア上 / Off
2	リターン回数	フラッシング設定で「オン」「メディア上」に設定した場合、プリントヘッドが原点側のフラッシングボックスに戻る頻度を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 999 回
3	サイドマージン	現在プリンタに設定されているメディアのサイドマージン設定を確認、変更することができます。 設定値: < 5 mm> ～ 25 mm XPJ-1682UR 設定値: < 5 mm> ～ 80 mm XPJ-1641SR-P2/1681SR-P 設定値: 5 mm ～ < 6 mm > ～ 25 mm
4	メディア検出	現在プリンタに設定されているメディアのメディア検出設定を確認、変更することができます。 設定値: Off / Top&Width / < Width >
5	メディア幅	現在プリンタに設定されているメディアの幅を確認、変更することができます。 メディア検出がオフの場合は、幅の変更が可能です。 メディア検出がオフ以外の場合は、検出した幅を表示します。 設定値: 210 mm ～ < 1000 mm > ～ 1625 mm XPJ-1341SR-P/1341WR-P 設定値: 210 mm ～ < 1000 mm > ～ 1371 mm XPJ-1641SR-P2/1681SR-P 設定値: 210 mm ～ < 1370 mm > ～ 1625 mm

番号	名称	内容
6	排紙モード ※1	作画終了後のメディアの動作を設定します。 設定値: < Off > / 巻取り ※1 / オートカット
7	インク乾燥時間	インク乾燥時間を設定します。 設定値: < 0 秒 > ～ 3600秒(60分)
8	ページ間余白 ※2,15	ページ間の余白を設定します。 設定値: < 通常 > ／ 狭い
9	カット方法 ※3	作画終了後のメディアカット動作について設定します。 設定値: 1度切り-2段 / < 1度切り-3段 > / 2度切り-2段 / 2度切り-3段
10	カット圧	カット動作時に、紙を断ち切る強さを設定します。 設定値: 弱い / < 強い >
11	貼り付き防止 ※4,6,7,18	作画開始時のメディア貼付き防止動作を設定します。 設定値: < Off > / On
12	待機ヒート ※6,7,18	製品が待機中のときに、ヒーターを予熱する時間を設定します。 設定値: 10分 ～ < 60分 >
13	CR作画移動幅	作画中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 設定値:データ幅 / 機械幅 / < メディア幅 >
14	重ね描き回数	作画1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回
15	重ね描きウェイト パス間ウェイト ※20	重ね描き作画時の作画1行あたりの乾燥時間を設定します。 設定値: < 0.0 秒 > ～ 0.1 秒 ～ 5.0 秒 幅の狭い用紙を使用して作画する場合、ヒーターで十分に温めることができない場合に設定してください。
16	斜行チェック	メディア搬送中の斜行検出を設定します。 設定値: Off / < On >
17	オートクリーニング(待機中) クリーニング種類 ※14	待機中にオートクリーニングを行う種類を選択します。 設定値: < オフ > / 微量 / 通常 / 強力 XPJ-1641SR-P/P2/1341SR-P/1682SR-P/1681SR-P 設定値: < オフ > / 微量 / 通常 / 強力 / フラッシング
18	オートクリーニング(待機中) クリーニング間隔 ※18	待機中にオートクリーニングを行う間隔を選択します。 設定値: 10分 ～ < 360分 > ～ 1440分 XPJ-1682WR/1341WR-P 設定値: < オフ > / 10分 ～ 360分 ～ 1440分
19	オートクリーニング(印刷中) クリーニング種類 ※10	印刷中にオートクリーニングを行う種類を選択します。 設定値: < オフ > / 微量 / 通常 / 強力
20	オートクリーニング(印刷中) クリーニング間隔 ※18	印刷中にオートクリーニングを行う間隔を選択します。 設定値: 5分 ～ 180分 XPJ-1682WR/1341SR-P/1341WR-P 設定値: < オフ > / 5分 ～ 180分

番号	名称	内容
21	オートクリーニング － 印刷前	印刷前のオートクリーニングについて設定します。 設定値: < オフ > / 微量 / 通常 / 強力 XPJ-1341SR-P/1341WR-P 設定値: < Off > / On
22	排気ファン ※8	排気ファンを設定します。 設定値: Off / < Low > / High XPJ-1642WR 設定値: Off / Low / < Medium > / High
23	ヘッダーダンプ	作画データについてダンプデータを印刷するかどうか設定できます。 ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。 設定値: < Off > / On / ダンプ
24	シングルヘッド ※5	シングルヘッドを設定します。 設定値: < Off > / ヘッド1 / ヘッド2
25	ヒーターコントロール ※6	ヒーターコントロールを設定します。 設定値: < 通常 > / 早い / 浪打ち XPJ-1641SR-P2/1681SR-P 設定値: < 通常 > / 早い
26	スタートフィード	スタートフィードを設定します。 設定値: -10.0mm ～ < 0 mm > ～500.0mm 単位 : 0.1mm
27	LEDライト ※8,15	製品のLEDライト設定を確認、変更します。 設定値:<Auto> / On / Off
28	先端処理	先端処理を設定します。 設定値: オフ / < オート >
29	ノズル設定 ※11 ノズルエリア設定 ※13	ノズル設定を設定します。 設定値: < ノズルオール > / ノズルA / ノズルB / ノズルC/ ノズルD / ノズルE / ノズルF
30	自動ノズルチェック ※12	製品の自動ノズルチェック設定を確認、変更します。 設定値:On / < Off >
31	ジョブ回数 ※9,12	製品のジョブ回数設定を確認、変更します。 設定値: < Off > / 1回 ～ 30回
32	自動ノズル選択 ※9,12	製品の自動ノズル選択設定を確認、変更します。 設定値: Off / < On >
33	ノズル列 ※13	製品の自動ノズル列設定を確認、変更します。 設定値: < Off > / 奇数列 / 偶数列
34	レイヤー印刷重ね描き(Color) ※19	レイヤー印刷(Color)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回

番号	名称	内容
35	レイヤー印刷重ね描き(White) ※19	レイヤー印刷(White)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回
36	レイヤー印刷重ね描き(Varnish) ※17	レイヤー印刷(Varnish)1行あたりの重ね描き回数を設定します。 設定値: < 1 回 > ～ 9 回
37	ホワイトメンテナンス ※17	ホワイトメンテナンスを設定します。 設定値: < 通常 > / 微量
38	カラーメンテナンス ※17	カラーメンテナンスを設定します。 設定値: < Off > / On
39	オートクリーニング - 累積作画 ※17	累積作画のオートクリーニングについて設定します。 設定値: < オフ > /1時間/2時間/3時間/4時間

注 記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ※1 製品に巻取り装置が取付けられていない場合は、排紙モード設定を「巻取り」に設定しないでください。
  製品が正しく動作しなくなります。
- ※2 排紙モード設定が「巻取り」に設定されている場合は、ページ間余白設定は有効になります。
- ※3 メディア検出設定を「オフ」に設定した場合は、自動でカットすることができません。
  メディアによっては、カットできない(カット自体できない、またはきれいにカットできない)場合があります。その場合は、「排紙モード設定」にて「オフ」を設定し、手動でカットしてください。
- ※4 排紙モード設定が「巻取り」に設定されている場合は、貼り付き防止設定は無効になります。
- ※5 XPJ-1682SR/1682WR/XPJ-1642WR/1682UR のみ
- ※6 XPJ-1682SR/1641SR のみ ※7 XPJ-1642WR のみ ※8 XPJ-1341SR-P/1341WR-P/1682UR 以外
- ※9 自動ノズルチェック設定が「オフ」に設定されている場合は、ジョブ回数設定は有効になりません。
- ※10 XPJ-1682SR/1641SR/1641SR-P/1642WR/1682SR-P のみ
- ※11 1642WR/1341SR-P/1641SR-P/1341WR-P/1682UR のみ
- ※12 XPJ-1641SR-P/1642WR/1682SR-P/1681SR-P/1682UR のみ
- ※13 XPJ-1682SR-P のみ
- ※14 XPJ-1682SR/1641SR/1641SR-P/1642WR/1682SR-P/PK/1341SR-P/HA-1642 のみ
- ※15 HA-1642/XPJ-1682UR は無効となります。
- ※16 HA-1642 のみ ※17 XPJ-1682UR のみ ※18 XPJ-1682UR は無効となります。
- ※19 XPJ-1682UR のみ ※20 XPJ-1641SR-P2/1681SR-P のみ

13.4.6. その他設定

プリンタの表示設定の確認や、各種設定の初期化を行うことができます。



番号	名称	内容
1	表示設定	現在プリンタに設定されている表示設定を確認、変更することができます。
2	初期化	現在プリンタに設定されている各種設定を初期化することができます。
3	ネットワーク設定	現在プリンタに設定されているネットワーク設定を確認、変更することができます。
4	ロール紙残量管理	現在プリンタに設定されているロール紙残量管理設定を確認することができます。

13.4.6.1. 表示設定

現在プリンタに設定されている、初期設定を確認することができます。



番号	名称	内容
1	言語	製品の言語を設定します。 設定値:〈英語〉 / オランダ語 / スペイン語 / フランス語 / イタリア語 / ポルトガル語 / ドイツ語 / 日本語 XPJ-1341SR-P/1341WR-P 設定値:〈英語〉 / 日本語
2	長さ	製品の長さ単位を設定します。 設定値:〈mm〉 / ｉｎｃｈ
3	温度 ※2	製品の温度単位を設定をします。 設定値:〈摂氏[℃]〉 / 華氏[F]
4	インク量 ※1	製品のインク量表示の設定をします。 設定値:オフ／〈オン〉
5	警告ブザー	製品の警告ブザー設定を確認、変更します。 設定値:〈Off〉 / On

注 記

- ※1 XPJ-1341SR-P/1341WR-P/1682UR のみ
- ※2 XPJ-1682UR は無効となります。

13.4.6.2. 初期化

製品の各設定値を、工場出荷時の設定値に戻します。



番号	名称	内容
1	種類	ALL: 全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 ユーザー定義 / メディア設定 : ユーザー定義全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。 ユーザー定義以外 / メディア設定以外: ユーザー定義以外全ての設定値を工場出荷時の設定値に戻します。
2	実行	種類で設定した初期化を実行します。

注 記

- 「初期設定」の項目は初期化されません。
  「初期設定」の項目を変更する場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションで行ってください。

13.4.6.3. ネットワーク設定

現在プリンタに設定されている、ネットワーク設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	変更	選択すると、変更用の入力項目(4)が有効となります。
2	実行	ネットワーク設定の変更を実行します。
3	現在のネットワーク設定	製品のネットワーク設定を表示します。
4	変更するネットワーク設定	変更するネットワーク設定を入力します。

注 記

- プリンタの F/W が古い場合は、設定できない場合があります。最新の F/W を使用してください。
- ネットワーク設定の変更に対応していない機種の場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションで行ってください。
- 印刷途中でネットワーク設定を変更すると印刷できなくなります。
- ネットワーク設定を変更後プリンタと通信出来なくなった場合は、プリンタを再起動してください。プリンタを再起動しても通信出来ない場合は、付属の MUTOH LFP Finder アプリケーションで確認してください。

13.4.6.4. ロール紙残量管理

現在プリンタに設定されている、ロール紙残量管理設定を確認、変更することができます。



番号	名称	内容
1	ロール紙長さ設定	セットしたロール紙の長さを設定します。 設定値： < オフ > / ロール紙1 / ロール紙2 / ロール紙3
2	長さ ※1	セットしたロール紙の長さを設定します。 設定値： 1 m ～ < 30 m > ～ 1500 m XPJ-1341SR-P/1341WR-P 設定値： 1 m ～ < 30 m > ～ 200 m
3	エンド検出 ※2,3	製品のエンド検出設定を確認、変更します。 設定値： Off / < On >
4	作画停止 ※2	ロール紙長さが0[m]になった場合に、作画を停止するかを設定します。 設定値： < オフ > / オン

注 記

- ※1 ロール紙を交換した場合は、ロール紙長さを再度設定してください。 ロール紙長さを設定しないと、ロール紙残量表示が正しく表示されない場合があります。
- ※2 ロール紙長さが有効になっている場合に有効になります。
- ※3 HA-1642 のみ

14. MUTOH Print Server

Mutoh Print Server(以降、MPS)は、MUTOH Printer の性能を向上させるアプリケーションです。

14.1. ご利用の際の注意点

14.1.1. 準備

MPSは、前処理ソフトウェアとして機能し、イーサネット接続環境下でプリンタ機能をサポートします。
現在ご利用の RIP ソフトの IP アドレスの設定を MSM をインストールした PC の IP アドレスに書き換える事で MUTOH Printer と RIP の間の印刷データを中継します。

図 1 MUTOH Print Server 導入前

RIP からプリンタに直接印刷します。

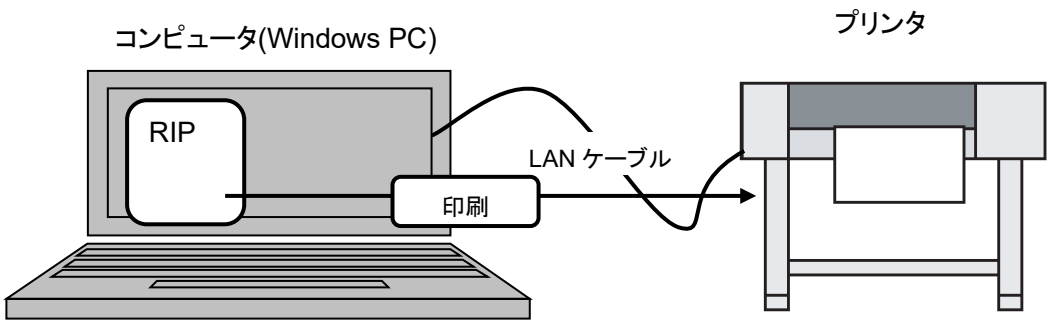
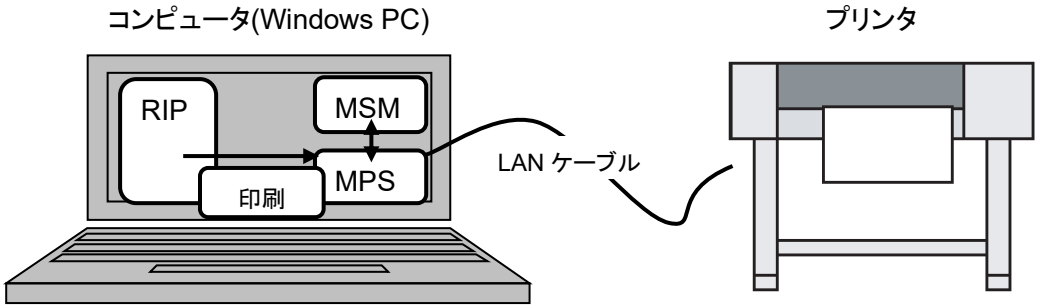


図 2 MUTOH Print Server 導入後

RIP から MPS に印刷します。MPS は受けたデータを最適化しプリンタに送ります。



注 記

- MSM は、MPS の「起動 / 停止 」 を行います。

14.1.2. ソフトウェア RIP の設定

ご利用のソフトウェアRIPのプリンタのIPアドレスの設定をMSMがインストールされているPCのIPアドレスに変更します。
設定方法については RIP に付属のマニュアルを参照ください。

注 記

- ソフトウェア RIP の設定で“FTP”, “LP”等のプロトコルが指定されている場合は、IP アドレスの書き換え以外にプロトコル変更が必要な場合があります。この場合“Raw”, “RawIP” などを選択します。 ソフトウェア RIP へのプロトコルの指定方法は、各アプリケーションの設定方法をご参照ください。

14.1.3. ファイアウォールの例外設定

Windows Vista 以降のオペレーティングシステムをご使用の場合は、Windows ファイアウォールに許可されたプログラムおよび機能にMPS を追加する必要がありますが、MSMインストール時に、自動でファイアウォールの例外設定にMPSが追加されます。

MPSでの印刷が出来ない場合は、ファイアウォールの例外設定をご確認ください。

注 記

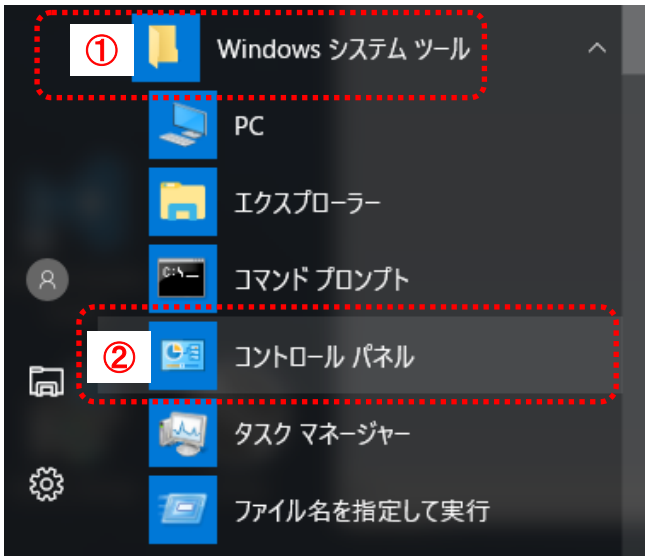
- Windows ファイアウォールの他に、ウィルスセキュリティソフトをご使用の場合もソフトウェアによっては設定が必要な場合があります。ウィルスセキュリティソフトの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

（1）

Windows のスタートメニューからコントロールパネルを開きます。

「Windows10」

画面左下の Windows ロゴをクリックし、[①Windows システムツール]－[②コントロールパネル]を選択します。



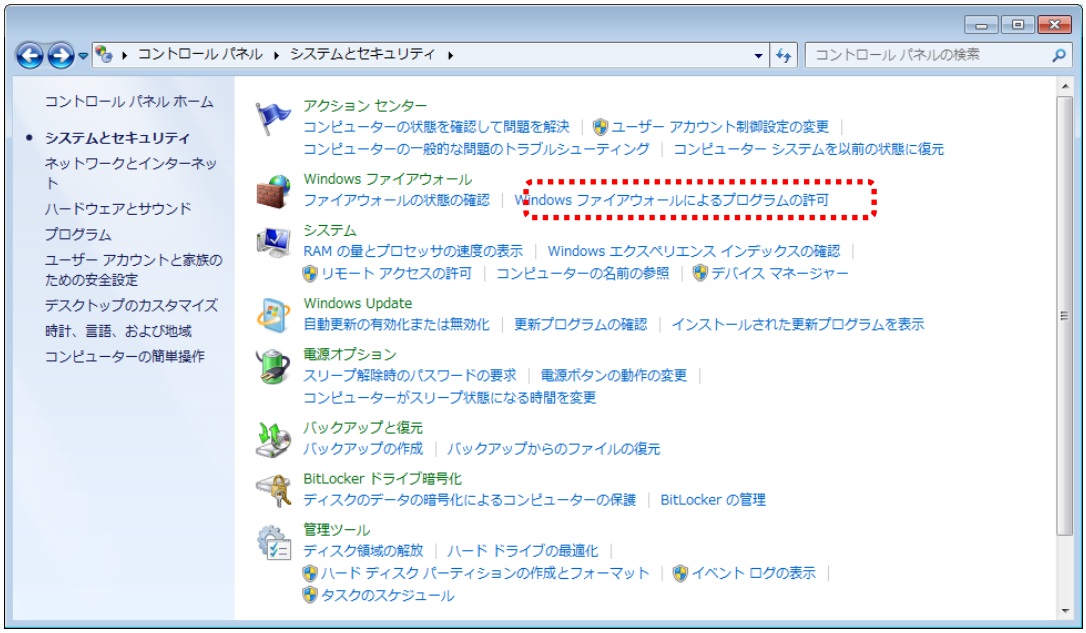
(2)

「システムとセキュリティ」をクリックします。



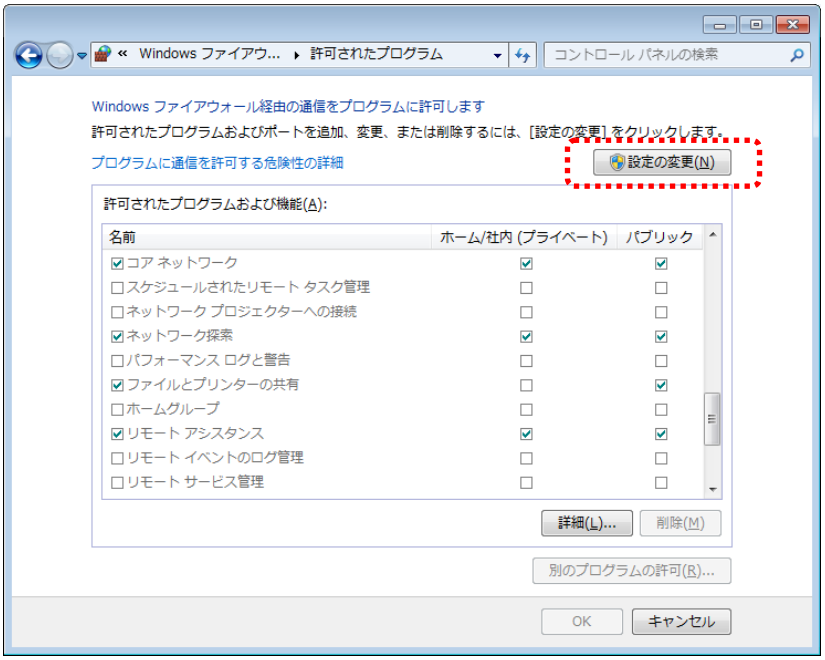
(3)

「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。



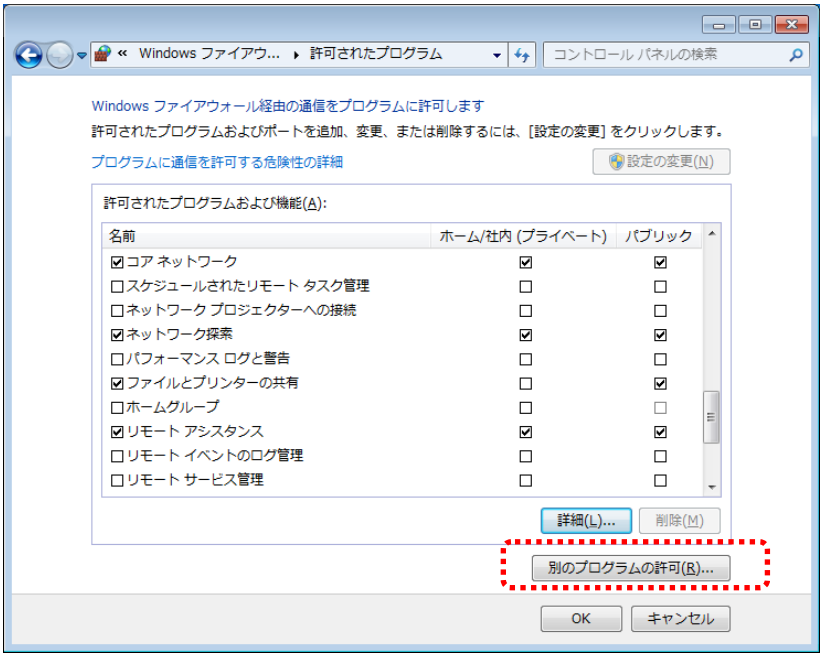
(4)

「設定の変更」をクリックします。



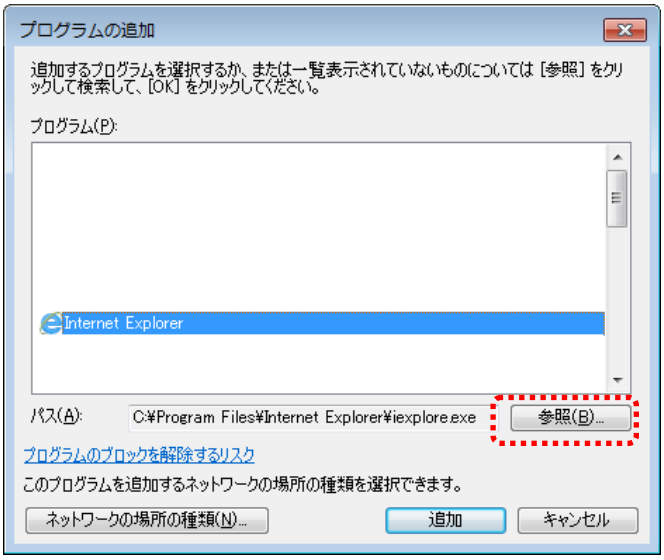
(5)

「別のプログラムの許可」をクリックします。



(6)

「参照」をクリックします。



(7)

インストールしたフォルダーを選択してください。

MSMをインストールしたフォルダーを変更していなければ、

「C:¥Program Files(x86)¥Mutoh¥MUTOH Status Monitor¥MPS」

がインストールしたフォルダーになります。

VJEXTERNALSVC.exeを選択して、「開く」をクリックしてください。

注 記

- インストール先は、ご利用の OS により異なる場合があります。

  例) Windows 7 32bit :

  「C:¥Program Files¥Mutoh¥MUTOH Status Monitor」

  例) Windows 7 64bit :

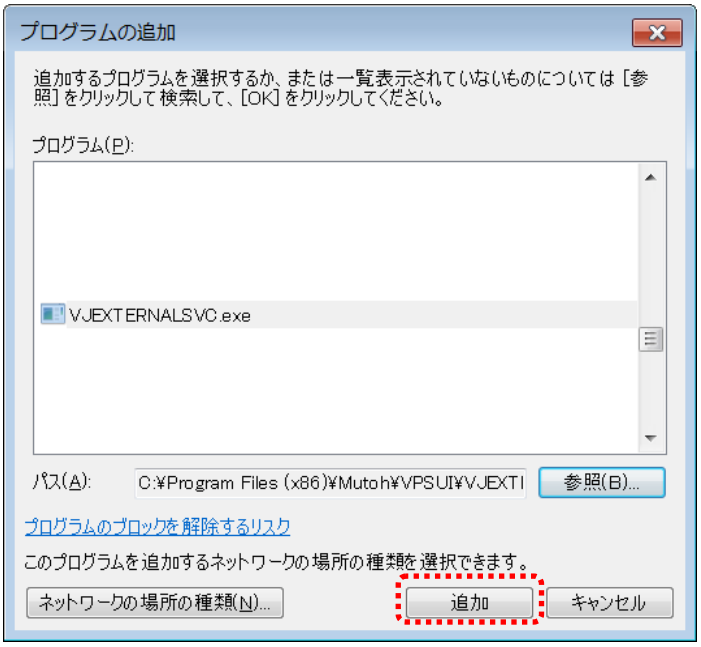
  「C:¥Program Files(x86)¥Mutoh¥MUTOH Status Monitor」

※1 XPJ-1642WRの場合は、「VJEXTERNALSVC-2ndGen.exe」

XPJ-1682SR-Pの場合は、「VJEXTERNALSVC-3rdGen.exe」

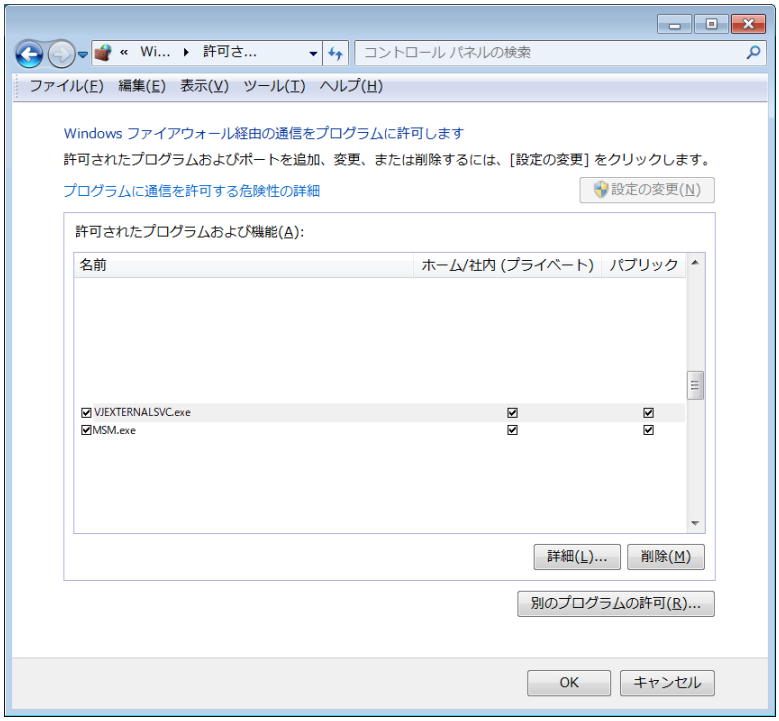
(8)

VJEXTERNALSVC.exeが選択されている状態で、「追加」をクリックしてください。



(9)

「OK」をクリックしてください。



14.1.4. 注意事項

- Mutoh Print Server の操作、インストールにはコンピュータの管理者（Administrator）権限が必要です。
- 印刷時に Windows のタスクマネージャー等により Gigabit Ethernet 接続で印刷されている事をご確認ください。(VJ-1638/VJ-1638W を除く)
- 設定可能なプリンタの台数は5台までになっていますが、同時印刷可能な台数はご利用のコンピュータと、同時利用されるソフトウエアに依存します。
- 複数台のプリンタを接続する場合は、OS は 64bit、メモリ 8GByte 以上でご利用ください。
- 1台のコンピュータで MPS と RIP を同時利用する場合は、RIP による Disk Drive へのアクセスがボトルネックとなります。RIP のワーク用として HDD（hard disk drive）ではなく SSD（Solid State Drive）による運用を推奨いたします。
- 運用中に MSM をアンインストールした場合、登録された MPS サービスが残り、Windows のイベント上でエラーとなります。この場合も MSM の次版をインストールする事で復旧します。MPS を完全に停止させたい場合は、予め MSM から停止させてください。

14.2. 動作環境

14.2.1. 推奨環境

MPS を実行するコンピュータの推奨環境は以下の表の通りです。

項目	内容
OS *1	Windows11 Windows10 32bit(*2) / 64bit Windows 8.1 32bit(*2) / 64bit
CPU	Intel® Core™ i5 / i7 3GHz以上
メモリ	4GByte 以上 (*2)
HDD	内蔵 SATA 2.0 (3Gbps) 以降 / 回転数:7200rpm以上
HDD (RIP作業用)	SSD（Solid State Drive）
LAN	Gigabit Ethernetに対応したネットワークポートを有すること （Gigabit Ethernetに対応したプリンタ と接続する場合は必須）

＊1 MPS の動作保証についてはメーカーのサポート期間に準ずる。

＊2 4head プリンタ、又は、複数台のプリンタを接続する場合は、OS は 64bit、メモリ 8GByte 以上でご利用ください

注 記

設定可能なプリンタの台数は5台までになっていますが、同時印刷可能な台数はご利用のコンピュータと、同時利用されるソフトウェアに依存します。

1台のコンピュータで MPS と RIP を同時利用する場合は、RIP による Disk Drive へのアクセスがボトルネックとなります。
RIP のワーク用として HDD（hard disk drive）ではなく SSD（Solid State Drive）による運用を推奨いたします。

運用中に MSM をアンインストールした場合、登録された MPS サービスが 残り、Windows のイベント上でエラーとして記録されます。
この場合も MSM の次版をインストールする事で復旧します。
MPS を完全に停止させたい場合は、予め MSM から停止させてください。

注 記

推奨環境については使用する MUTOH Printer の製品仕様書も参照してください。

推奨環境に満たないハードウエアを使用した場合や、コンピュータに常駐しているソフトウェアによっては、十分なパフォーマンスを発揮できない場合があります。その場合は以下のような対処方法をお試しください。

- PC とプリンタの間にネットワーク HUB をご利用の場合
  ネットワーク HUB を介さずに直接コンピュータとプリンタを繋げ印刷する。
- RIP からオンザフライで印刷されている場合
  RIP を実施後に印刷する設定をお試しください。

- コンピュータに接続している USB ハードディスクや、ネットワークドライブに入っている作画データをご利用の場合
  コンピュータ内蔵のハードディスクに作画データを移してから印刷してください。
- 常駐ソフトや Windows Update が動作した時に印刷が一時的に停止する場合、印刷中はバックグラウンドで稼働中のプログラムを停止させるか、できるだけ印刷中に動作しないよう設定を書き換えてご利用ください。

14.2.2. MPS を使用する際のネットワーク構成例

以下の推奨環境のいずれかでご利用いただけます。

注 記

- プリンタと接続する LAN ケーブルは、カテゴリー5 (CAT5) 以上をご利用ください。
  MUTOH Printer がGigabit Ethernet搭載機の場合は、カテゴリー5e (CAT5e) 以上のネットワークケーブルをご利用ください。

14.2.2.1.ピアツーピア接続

ValueJet と MSMを直接LANケーブルで接続します。



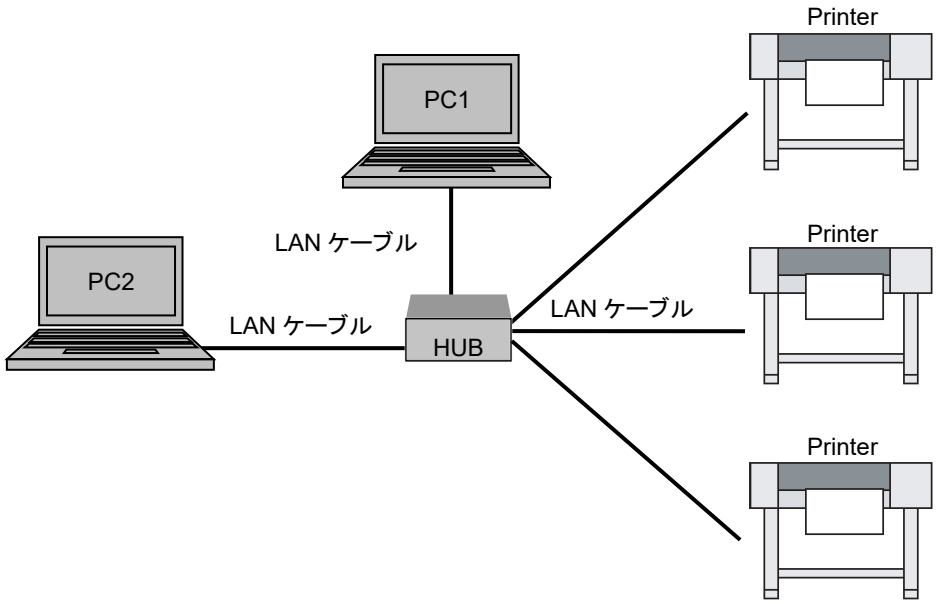
機器	要件
PC1	MSM と、RIP をインストールした PC

14.2.2.2. HUB 接続

HUB を経由して ValueJet と MSM を接続します。
複数台の ValueJet と接続し、各 ValueJet で MPS を起動できます。

注 記

HUB 接続の場合は、ValueJet が Gigabit Ethernet 搭載機の場合は、HUB も Gigabit Ethernet 対応のものをご利用ください。



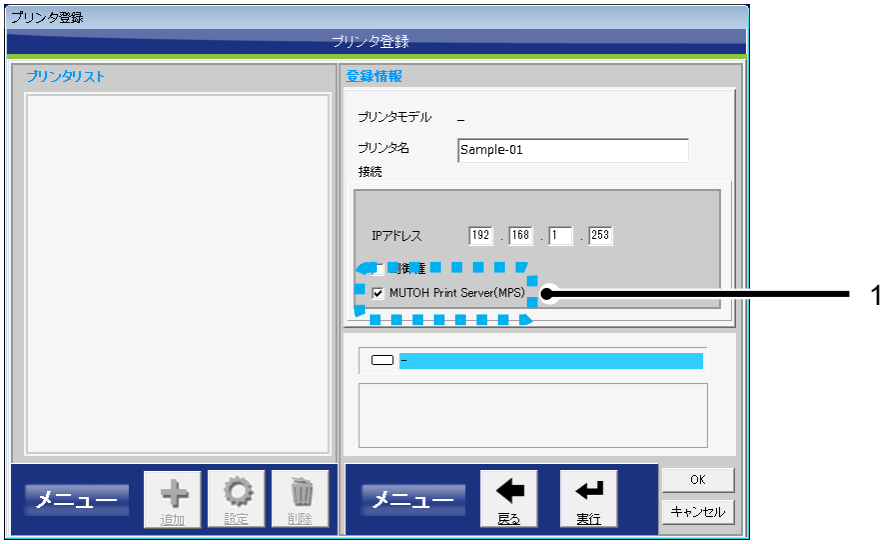
機器	要件
PC1	MSM をインストールした PC
PC2	非 Windows 環境で動作する RIP をインストールした PC

14.3. MPS 使用方法

MPS を使用する場合は、下記手順に従って MPS を起動します。設定完了後は MPS メイン画面を表示し起動中であることを示す動作状況を表示します。

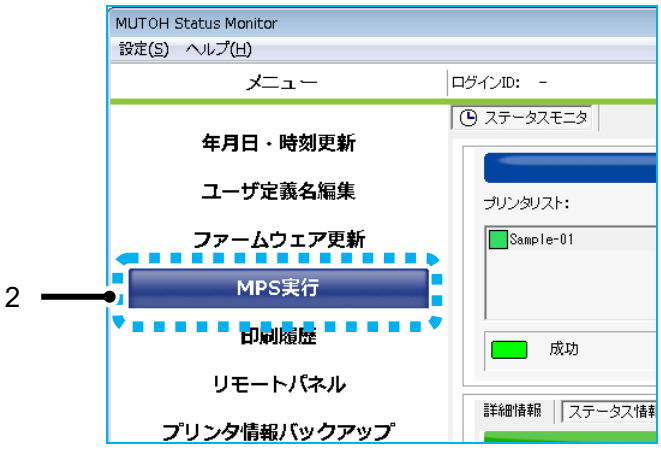
14.3.1. MPS の有効化

プリンタ登録時、「MPS を有効にする」チェックボックスを「✔」として MPS を有効化してください。

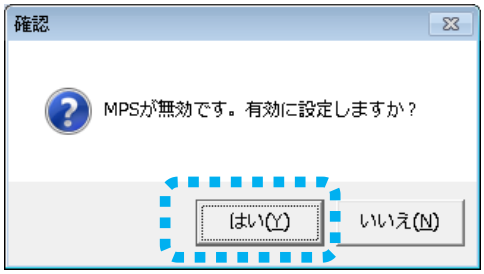


14.3.2. MPS の起動

MSM のメニュー一覧から、「MPS 実行」を選択してください。



MPS が有効でない場合には以下のメッセージを表示します。「はい」をクリックします。



14.3.3. MPS の起動確認

MPS の起動確認で、「OK」を選択してください。



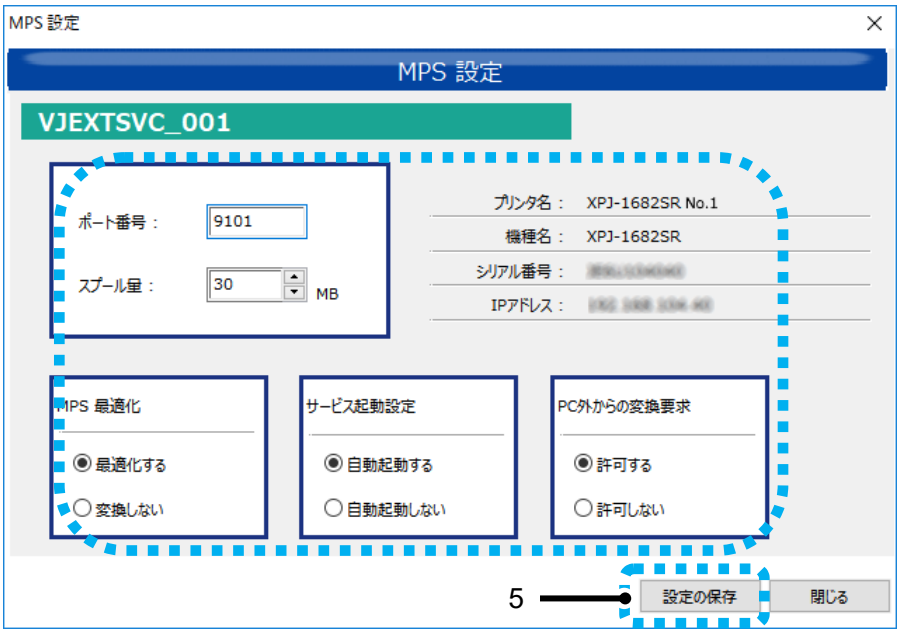
14.3.4. MPS サービス番号選択

起動確認終了後「MPS サービス番号選択」画面を表示します。001～005 のいずれかの番号を選択し「適用」をクリックします。



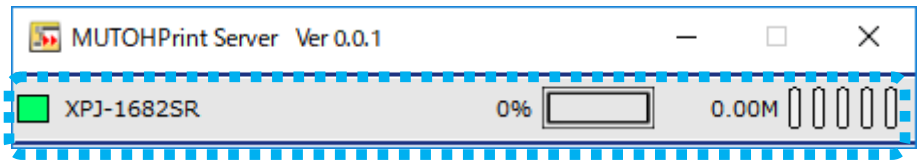
14.3.5. MPS 設定

MPS サービス番号選択後は「MPS 設定」画面を表示します。各種設定をこの画面でおこないます。このうち「ポート番号」は各サービス番号で固有のものを設定します。設定後は「設定の保存」をクリックします。



14.3.6. MPS メイン画面

設定完了後、起動中の動作状況を表示する MPS メイン画面を表示します。メイン画面からは各種設定画面を表示します。

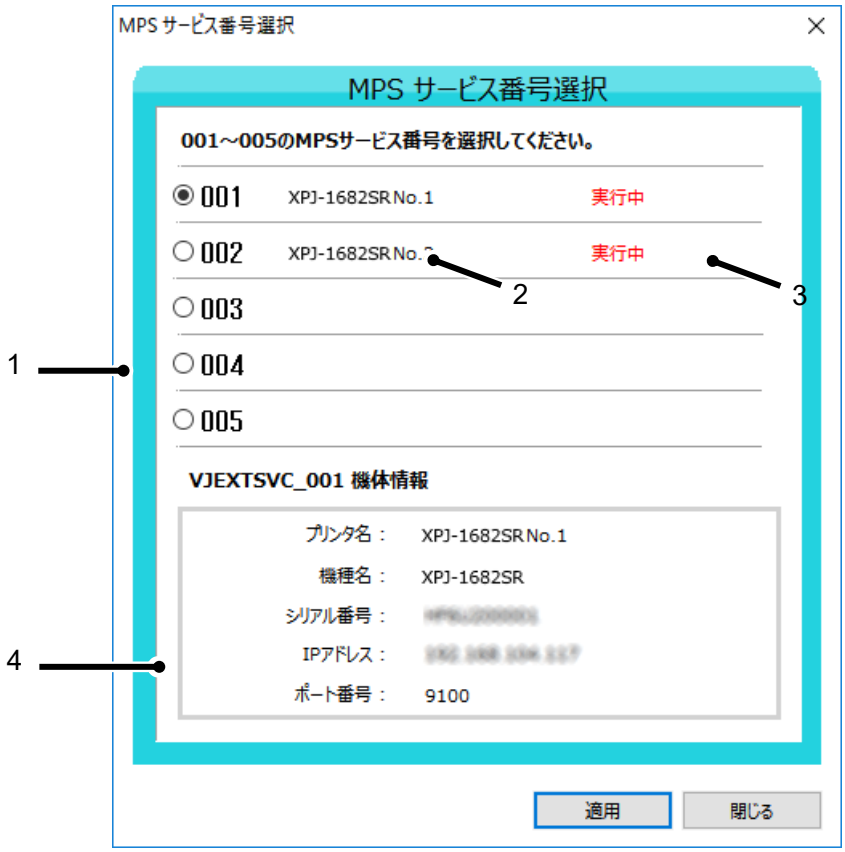


14.4. MPS 各種設定

MPS の各種設定を画面ごとに説明します。

14.4.1. MPS サービス番号選択

MPS サービス番号を選択します。

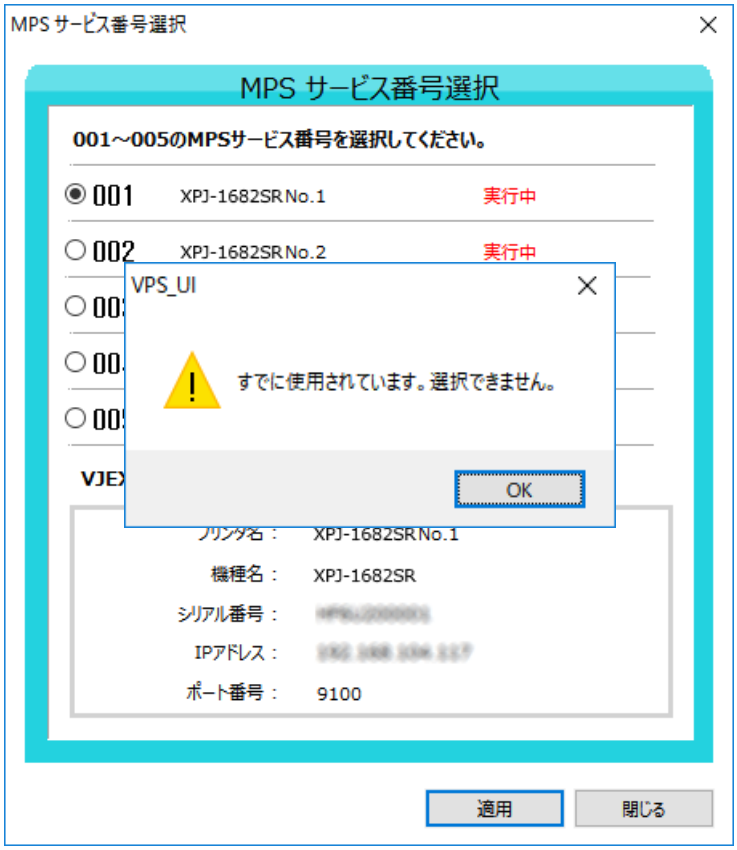


番号	名称	内容
1	MPSサービス番号	windows サービス（常駐プログラム）に登録する MPS サービス番号を設定します。
2	プリンタ名	使用中のサービス番号に設定したプリンタ名を表示します。
3	サービス状態	使用中のサービス番号の状態を表示します。
4	機体情報	使用中のサービス番号に設定した機体情報を表示します。

(1)選択時の注意

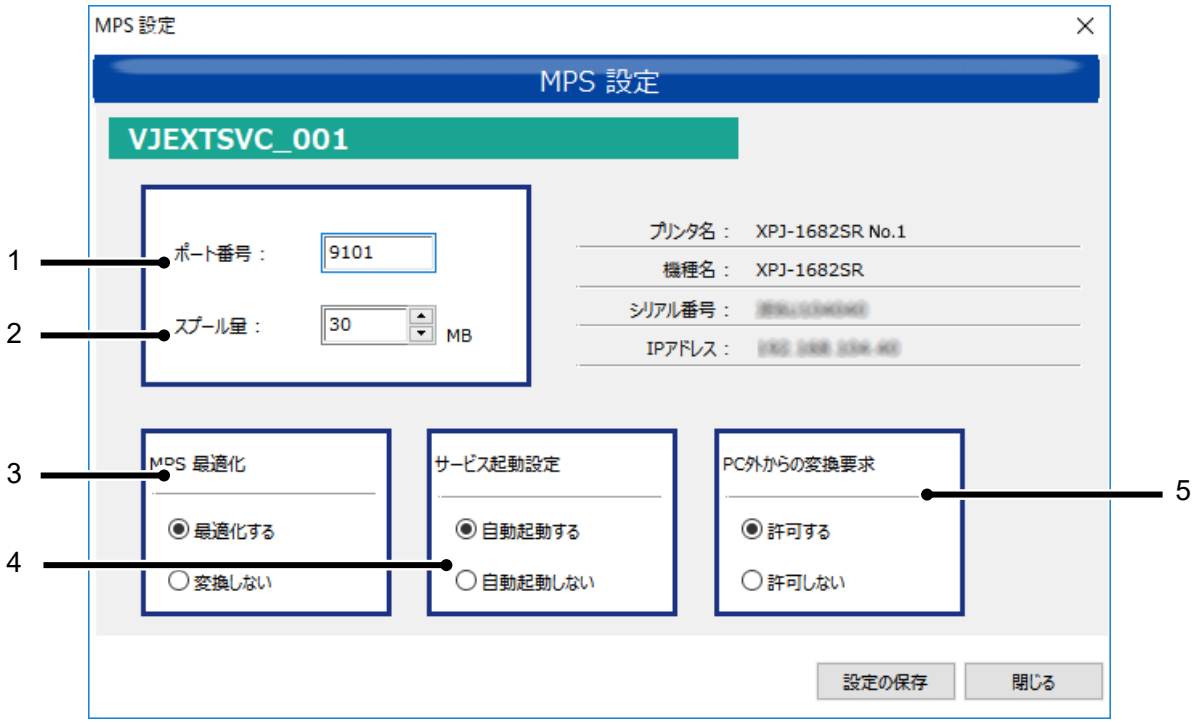
すでに使用中のサービス番号は選択できません。使用中の機体名の表記がないサービス番号を選択してください。

選択した場合には以下の警告を表示します。



14.4.2. MPS 設定

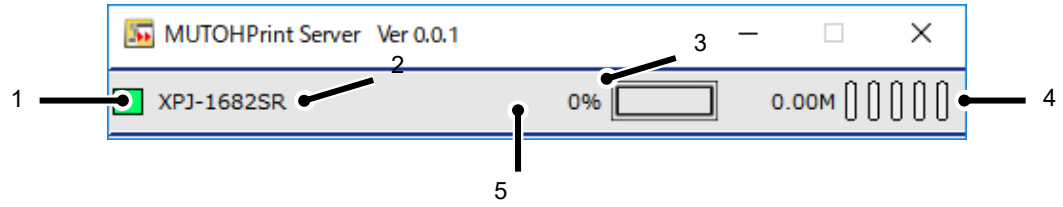
MPS 起動時の各種設定をします。



番号	名称	内容
1	ポート番号	コンピュータで他に 9100 を利用するプログラムが動作していた場合、VPS が利用するポート番号を変更する事ができます。この時 RIP の設定も合わせて変更する必要があります。RIP に付属のマニュアルをご参照ください。
2	スプールカウント	MPS のスプールブロックを設定します。初期値は各 ValueJet の最適な値です。
3	MPS最適化	「最適化する」場合、VPS の処理を行います。MPS で印刷できないデータが存在した場合は「オフ」に切り替えてください。
4	サービス起動設定	サービスの自動起動を設定します。
5	PC外からの変換要求	別の PC で動作している RIP の印刷を許可する設定です。許可しないにすると、別の PC からは印刷できなくなります。

14.4.3. メイン画面

MPS 起動後に表示します。この画面より「MPS 情報」、「一覧」の各画面を表示します。

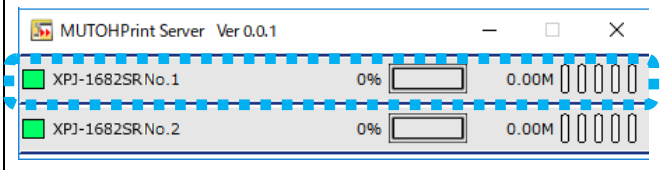


番号	名称	内容
1	動作状況	MPS の動作状況を表示します。
2	プリンタ名	MPS 使用中のプリンタ名を表示します。
3	進行状況	MPS 処理中の場合、進行状況を表示します。
4	スプールカウント	MPS 処理中の場合、スプール使用量を表示します。
5	MPS 情報	ボタンクリックで「MPS 情報」画面を表示します。

(1)「MPS 情報」画面の表示

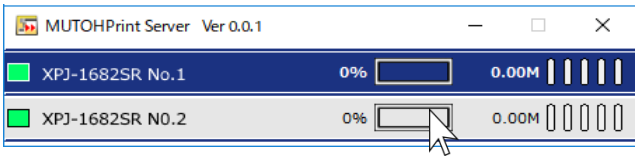
メイン画面表示中、各サービス情報表記枠をマウスオーバーすると色が変わります。

マウスクリックにより「MPS 情報」画面を表示します。



各サービス情報表記枠上をマウスオーバーします。

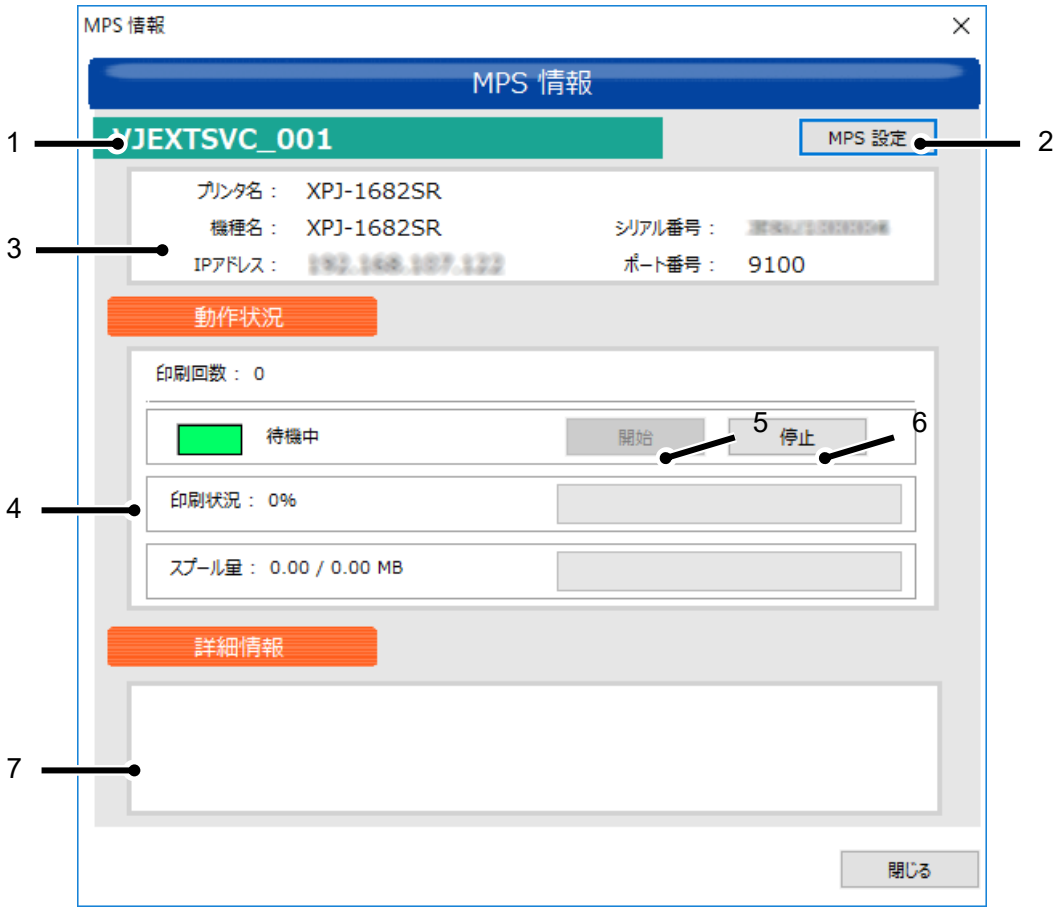




色が変わったらクリックすると「MPS 情報」画面を表示します。

14.4.4. MPS 情報

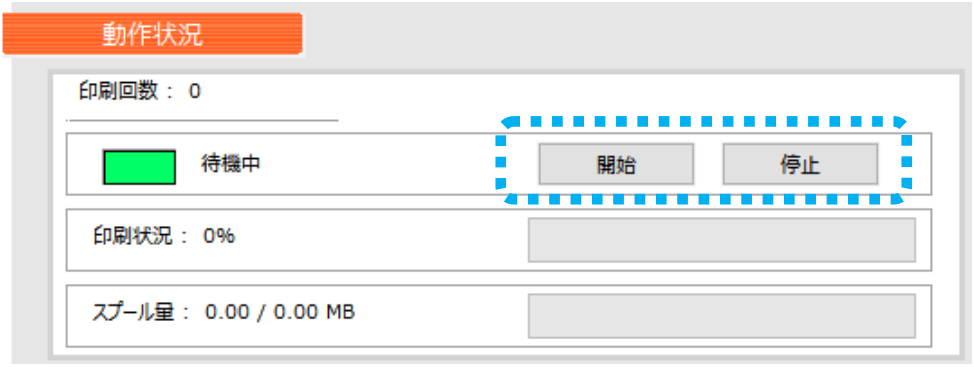
各種情報表示の他に MPS の「停止」、「開始」の操作をします。



番号	名称	内容
1	MPS登録サービス名	windows サービス(常駐プログラム)に登録した MPS サービス名を表示します。
2	MPS設定	14.4.2 「MPS設定」画面を表示します。
3	機体情報	MPS登録サービス登録名に設定した機体情報を表示します。
4	動作状況	MPS処理中の場合、動作状況を表示します。
5	開始	MPSの開始を実行します。
6	停止	MPSの停止を実行します。
7	詳細情報	エラーが発生した場合など、詳細な情報を表示します。

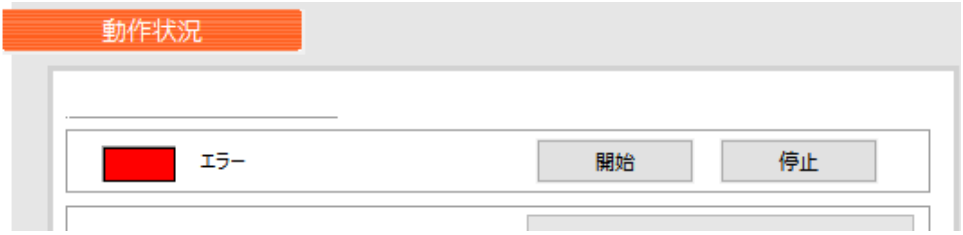
14.4.5. 再起動動作

MPS 使用中のエラー発生時、各種設定項目の再設定時には再起動が必要になります。再起動するには「停止」ボタンをクリックし、再度「開始」ボタンをクリックして起動してください。



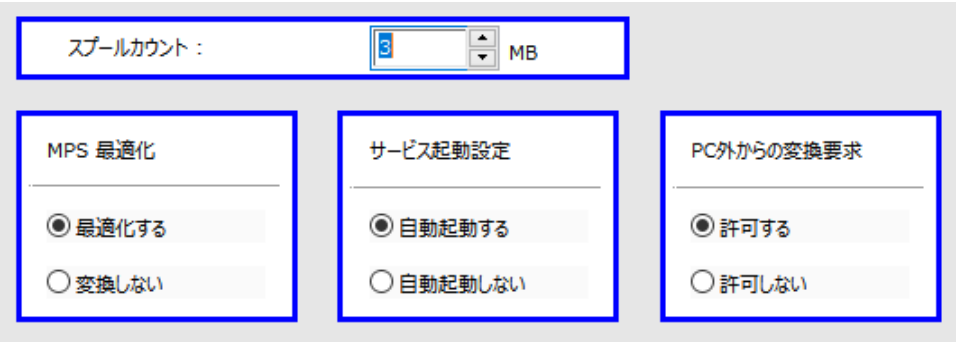
(1)MPS エラー発生時の操作

MPS 起動中にエラーが発生した場合には再起動してください。



(2)MPS 設定時の操作

MPS 登録後も「MPS 設定」画面より以下の設定が可能です。設定変更後は再起動してください。



14.5. 制限事項

MPS を使用する際の制限事項、ValueJet に直接印刷する場合との差異について説明いたします。

14.5.1. RIP と分光光度計（SPECTROVUE）を組み合わせてご利用の場合

分光光度計を利用する際、RIP と ValueJet は直接の通信を必要とします。
RIP の IP アドレス指定を ValueJet の IP アドレスに書き換え測色操作をしていただき、作業終了後再度 MPS に戻して利用ください。
設定方法については RIP に付属のマニュアルをご参照ください。

ただし、MSM から分光光度計を操作する場合は、設定を変更せずにそのままご利用いただけます。

14.6. トラブルシューティング

この章では、MPSを使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。
本項目は、機体のウォームアップが完了している状態での記載です。

14.6.1. 設置・導入時のトラブル

(1) 設定が終わったが、印刷ができない。

1: 接続先の ValueJet のファームウエアが以下のバージョンである事をご確認ください。

VJ-2638, VJ-1638, VJ-1638W F/W 2.06 以降

2: 印刷できない時のパネルの状態と対処方法は以下の通りです。

状態1: “サクガデキマス”

以下の IP アドレスの設定をご確認ください。

－ “MPS”の設定

☞ 14.4.4 MPS 情報

ここには ValueJet の IP アドレスを設定します。

－ “ソフトウェア RIP”のプリンタ設定を確認する。

ここには “MSM” をインストールした PC の IP アドレスを設定します。

RIP に付属のマニュアルをご参照ください。

(マニュアル通り設定した場合、RIP をインストールした IP と同一です)

状態2: “サクガデキマス”

状態1の設定が正しい場合は、 “MPS”が動作しているか御確認ください。

☞ 14.4.4 MPS 情報

状態3: “ジュシンチュウ”

Windows ファイアウォール の設定をご確認ください。

☞ 14.1.3 ファイアウォールの例外設定

注 記

- ネットワークへのアクセスの制限や、切り替えを行う常駐ソフトウェアの影響である場合があります。導入されているソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。
- ソフトウェア RIP のプロトコル設定が原因である場合があります。

☞ 14.1.2 ソフトウェア RIP の設定

(2) 現在、直接印刷しているのか、“MPS”が使われているのか区別する方法が知りたい

1:MSM で状況確認をする

☞ 14.4.4 MPS 情報

2:印刷開始直後の状態をご確認ください。

パネル表示が“ジュシンチュウ”になり、しばらくしてからプリンタが初期化動作を行う場合は“MPS”です。

パネル表示が“サクガチュウ”になり、同時にプリンタが初期化動作を行う場合は直接印刷です。

3: “MPS”がインストールされているコンピュータのコマンドからも確認できます。

例)

Machine	Name	IP Address	Note
PC	PC123	192.168.1.100	RIP と MSM をインストールした PC
ValueJet	-	192.168.1.253	VJ-2638

(網掛けの数字 部分は実行の都度変化します)

“MPS”の場合

```
C:¥>netstat

アクティブな接続

プロトコル　ローカルアドレス　　外部アドレス　　状態
  TCP　PC123:1077　　192.168.1.100:9100　　ESTABLISHED
  TCP　PC123:9100　　192.168.1.100:1077　　ESTABLISHED
  TCP　PC123:1078　　192.168.1.253:9200　　ESTABLISHED
```

直接印刷の場合

```
C:¥>netstat

アクティブな接続

プロトコル　ローカルアドレス　　外部アドレス　　状態
  TCP　PC123:1076　　192.168.1.253　　ESTABLISHED
```

14.6.2. 作画に関するトラブル

(1)MPS を使用していなかった時と、印刷結果が異なる。

1: 本アプリケーションの制限事項に該当しないかご確認ください。

☞ 14.5 制限事項

(2) 今まで印刷できていたのに、突然印刷できなくなった。

1: “MPS”の再起動をお試しください。

☞ 14.4.4 MPS 情報

2: パネル表示が“サクガデキマス”に戻らない場合は ValueJet も再起動してください。
ValueJet 付属の取扱説明書の「トラブルシューティング」もご参照ください。

3: 1,2 で解消しない場合は、RIP やコンピュータも含め再起動をお試しください。

15. MiniMSM

機能が一部限定されますが、MSM の画面サイズを縮小することが可能です。

15.1. 起動方法

MiniMSM の起動方法は、設定メニューの MiniMSM を選択してください。



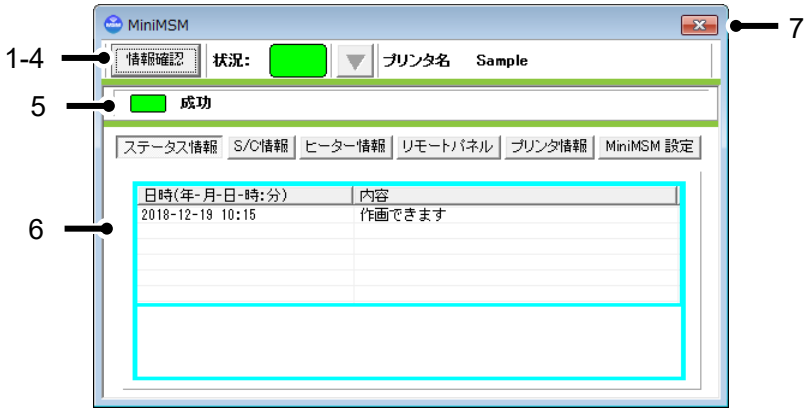
番号	名称	内容
1	MiniMSM	MiniMSM 画面を起動します。

15.2. メイン画面(XPJ-1462UF 以外の機種の場合)

MiniMSM のメイン画面は、プリンタ情報の確認やリモート制御が可能です。

また、画面サイズを自由に変更することが可能です。

最大サイズ



最小サイズ



番号	名称	内容
1	情報確認	プリンタ情報を取得します。
2	状態	プリンタの状態を表示します。  :印刷可能  :エラー(印刷不可)  :警告(印刷可能)
3	プリンタ選択	複数プリンタを登録している場合に、情報を取得するプリンタを変更します。
4	プリンタ名	現在表示しているプリンタ名称を表示します。
5	通信状態	プリンタとの通信状態を表示します。  :正常  :エラー  :動作中
6	各種情報	プリンタ情報を表示します。
7	閉じる	MiniMSM 画面を終了します。

15.2.1. ステータス情報

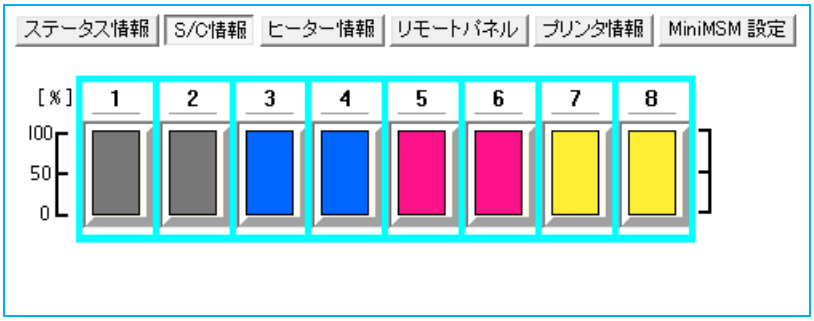
プリンタの状態を表示します。



番号	名称	内容
1	日時	プリンタ情報を取得した日時を表示します。 表示される日時は、プリンタに登録されている時刻です。
2	内容	プリンタの状態を表示します。
3	詳細	エラーが発生した場合など、対処方法が表示されます。

15.2.2. S/C 情報

S/C カードの残量情報を%単位で表示します。

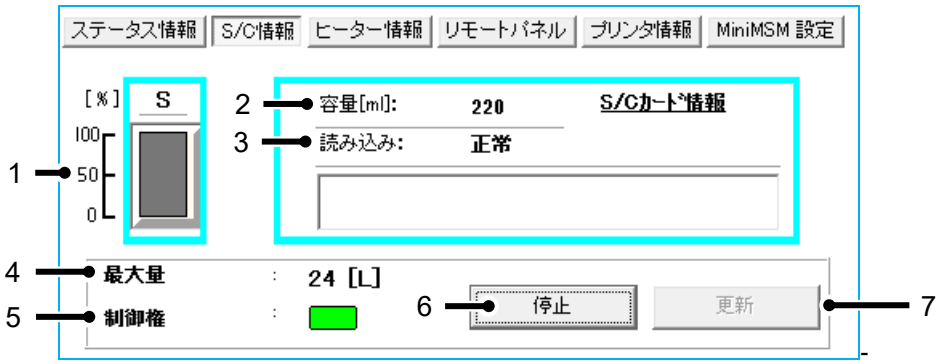


注 記

- S/C リカバリーについては、「7.7.2S/C カードリカバリー」を参照してください。

15.2.3. Smart/C 情報

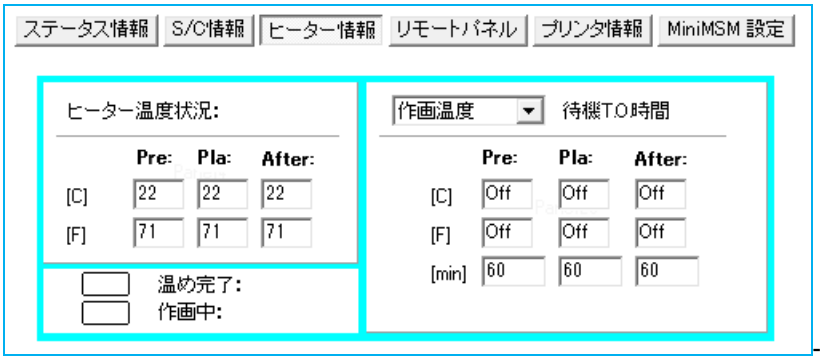
Smart/C 情報を表示します。



番号	名称	内容
1	容量	監視中プリンタの Smart/C 残量を[%]で表示します。
2	容量	読み込んだS/CカードのSmart/C容量をmlまたはL 単位で表示します。
3	読み込み	読み込んだS/Cカードの状態を表示します。
4	最大量	監視中プリンタのSmart/C最大量を表示します。 ※Smart/C最大量は機種によって異なります。
5	制御権	監視中のプリンタに対する制御権の有無を表示します。 :制御権あり :制御権なし
6	確認	S/Cカードの読み込み確認または、読み込み停止を行います。
7	更新	Smart/Cを更新する場合はクリックしてください。 詳細は、「7.4.4.1Smart/C の更新」を参照してください。

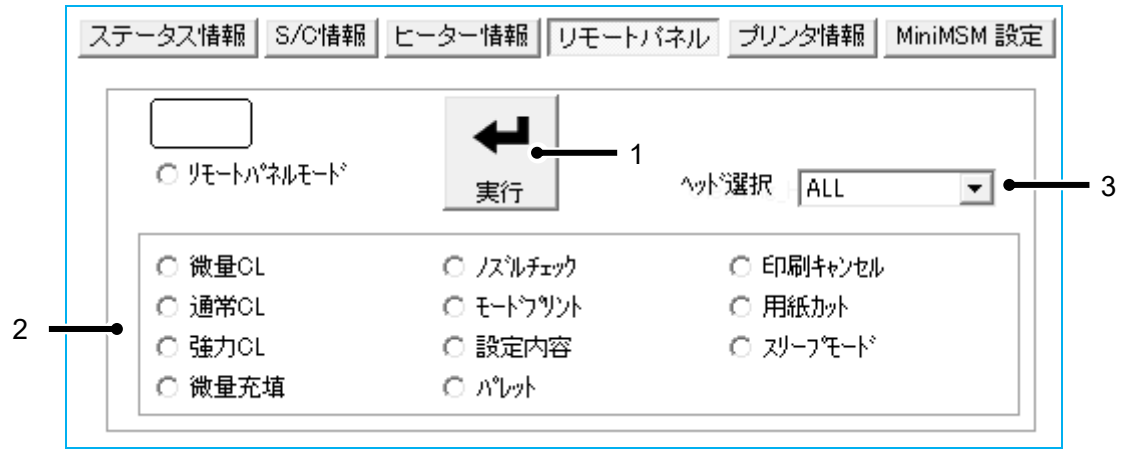
15.2.4. ヒーター情報

ヒーター情報を表示します。



15.2.5. リモートパネル

プリンタをリモート制御が可能です。



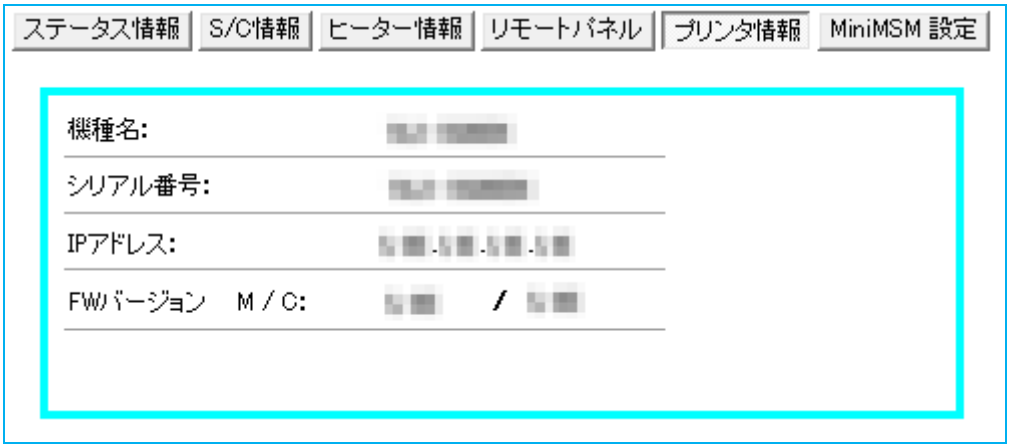
番号	名称	内容
1	実行	選択された項目のリモート制御を実行します。
2	リスト	リモート制御すrる項目を選択してください。
3	ヘッド選択	複数ヘッド機のクリーニングを行うヘッドを選択します。 設定値 <ALL> / ヘッド1 / ヘッド2

注 記

- リモート制御項目は、機種によって異なります。
- プリンタの状態によっては、リモート制御出来ない場合があります。

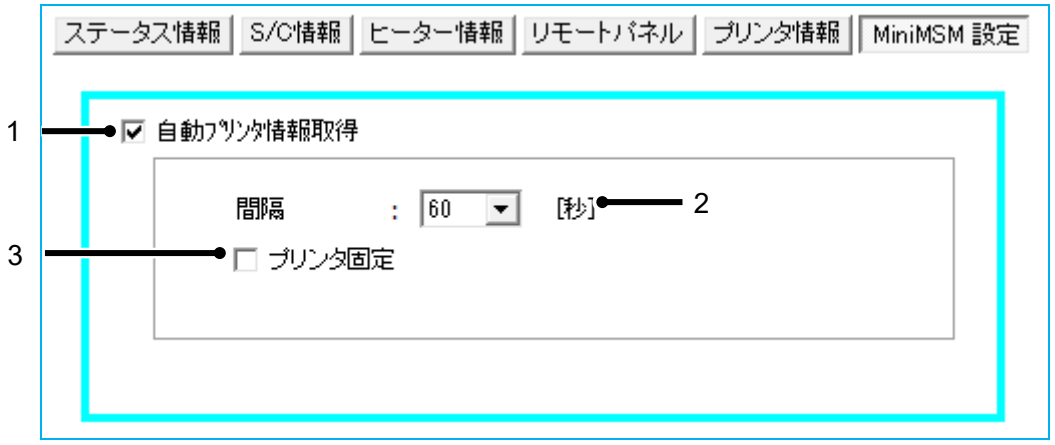
15.2.6. プリンタ情報

プリンタの基本情報を表示します。



15.2.7. MiniMSM 設定

MiniMSM の設定を行います。

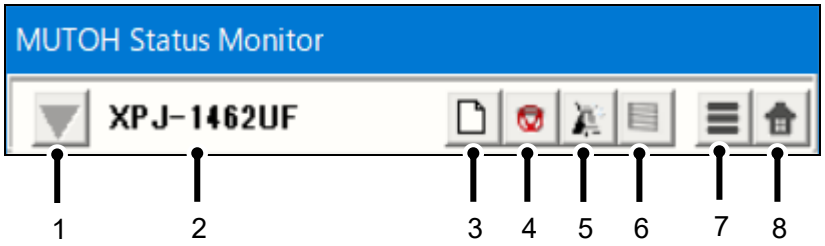


番号	名称	内容
1	自動プリンタ情報取得	プリンタ情報を自動で取得します。 On : 有効 Off : 無効
2	間隔	自動プリンタ情報取得を有効にした場合、プリンタ情報を自動取得する間隔を指定します。 設定値 <60[sec]> / 30[sec] / 10[sec] / 3[sec]
3	プリンタ固定	複数プリンタを登録している場合、1つのプリンタのみを監視します。

15.3. XPJ-1462UF の場合

XPJ-1462UF の場合、MiniMSM で一部の処理をリモート制御することが可能です。

また、常に PC モニタの最前面に MiniMSM 画面が表示れます。



番号	名称	内容
1	プリンタ選択 ※1	複数プリンタを登録している場合に、情報を取得するプリンタを変更します。
2	プリンタ名	現在表示しているプリンタ名称を表示します。
3	メディアセット	メディアセットを実行します。
4	印刷キャンセル	印刷キャンセルを実行します。
5	クリーニング	クリーニングを実行します。 クリーニングの種類は設定画面で設定します。
6	ノズルチェック	ノズルチェックを実行します。ノズルチェックの種類は設定画面で設定します。
7	設定	設定画面を表示します。
8	終了	MiniMSMを終了し、MSMのメイン画面を表示します。

15.3.1. 設定画面(クリーニング)

クリーニング種類を設定し、クリーニングを実行します。



番号	名称	内容
1	機種	現在選択しているプリンタの機種名を表示します。
2	プリンタ名	現在選択しているプリンタのシリアル番号を表示します。
3	クリーニング種類	クリーニング種類を選択してください。 設定値 微量 / 通常 / 強力 / 微量充填
4	実行	クリーニングを実行します。
5	自動実行	設定を有効にした場合、MiniMSM画面のクリーニングアイコン選択時に、設定画面を表示せずに設定されているクリーニング種類でクリーニングを実行します。
6	ヘッド選択	クリーニングを行うヘッドを選択してください。

15.3.2. 設定画面(ノズルチェック)

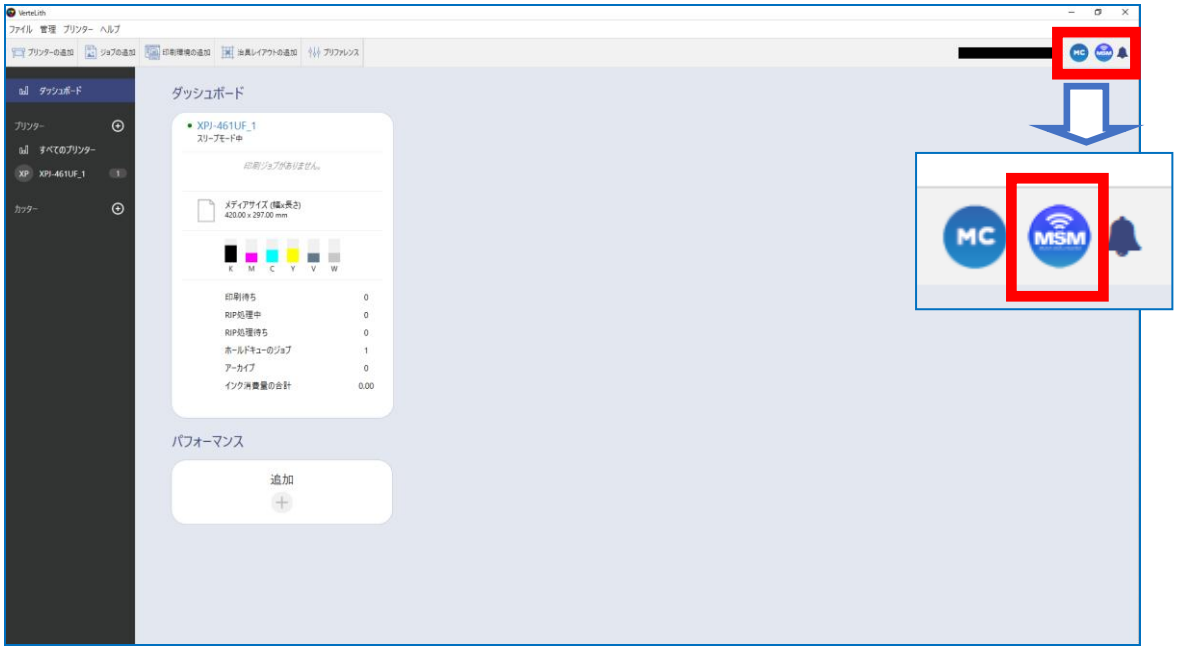
ノズルチェックの種類を設定し、ノズルチェックを実行します。



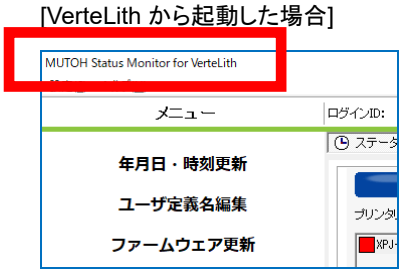
番号	名称	内容
1	ノズルチェック種類	ノズルチェック種類を選択してください。 設定値 ノズルチェック / ノズルチェックB / ノズルチェックL
2	実行	ノズルチェックを実行します。
3	自動実行	設定を有効にした場合、MiniMSM画面のノズルチェックアイコン選択時に、設定画面を表示せずに設定されているノズルチェック種類でノズルチェックを実行します。

16. VerteLith

VerteLith の MSM アイコンを選択することで、インストールされている MSM を起動することができます。



[VerteLith から起動した場合]



[MSM を単独起動した場合]



VerteLith から MSM を起動した場合、一部機能に制限があります。

【制限内容】

1. MPS ：

   VerteLith の MPS が起動するため、MSM の MPS は起動しません。

2. MSM 設定 ：

   登録プリンタ等の MSM 設定は、VerteLith から引き継がれます。MSM の単独起動と別設定となります。

注 記

- MSM 設定の引継ぎは、MSM 起動時に行われるため、VerteLith で言語設定を変更した場合などは、MSM を一度終了し、再度 VerteLith から MSM を起動してください。

17. 機種別サポート機能一覧

MSM の機種別サポート機能一覧を「表 17 MSM 機種別サポート機能一覧」に示します。

表 17.1 .MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種			
		VJ-1324 VJ-1624 VJ-1638 VJ-2638	VJ-1638X VJ-1938X	VJ-1638W VJ-1624W VJ-1924W	VJ-1638WX VJ-1938WX VJ-1938WX-K4
年月日・時刻更新		○	○	○	○
ユーザー用紙名編集		○	○	○	○
ファームウェア更新		○	○	○	○
最新ファームウェア確認		○	○	○	○
メールお知らせ		○	○	○	○
カラーベリファイ ※4		△※1	△	－	－
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○	○
	詳細情報	○	○	○	○
	Smart/C情報	△	△	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○	○
	ヒーター情報	○	○	－	－
	S/Cカード/インク情報	○	○	○	○
	用紙情報	－	－	－	－
	印刷情報	－	－	－	－
MPS実行 ※3		△	△	△	△
VSM Mobile ※2		○	○	○	○
印刷履歴		－	○	－	○
リモートパネル		－	○	－	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○	○

※1. ファームウェアバージョン:1.09 以降(VJ-1638:2.01 以降,VJ-2638:2.04 以降)
※2. 携帯情報端末用アプリケーション「VSM Mobile」が必要。
※3. ファームウェアバージョン:2.06 以降対応(VJ-1638 / VJ-1638W / VJ-2638)
MPS(MUTOH Printer Server)の詳細は、MPS 操作説明書を参照してください。MPS 操作説明書は、MUTOH Club からダウンロードが可能です。
※4. VM-10 のディスコン後に生産された機体は未対応。

表 17.2 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種			
		VJ-1628TD VJ-2628TD	VJ-1608HS VJ-1617H	RJ-900X RJ-901X	VJ-628 VJ-628X VJ-628MP
年月日・時刻更新		○	○	○ ※5	○
ユーザー用紙名編集		○	○	－	○
ファームウェア更新		○	○	○ ※5	○
最新ファームウェア確認		○	○	○ ※5	○
メールお知らせ		○ ※1	○ ※2	○ ※5	○
カラーベリファイ ※7		－	△ ※3	－	－
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○	○
	詳細情報	○	○	○	○
	Smart/C情報	○	△	－	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○ ※5	○
	ヒーター情報	－	○	－	○
	S/Cカード/インク情報	－	○	○	○
	用紙情報	－	－	○ ※6	－
	印刷情報	－	－	○ ※5	－
MPS実行		－	－	－	－
VSM Mobile ※4		○	○	○ ※5	○
印刷履歴		－	○	○ ※5	○
リモートパネル		－	－	－	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○	○

※1. ファームウェアバージョン:1.08 以降
※2. ファームウェアバージョン:1.06 以降(VJ-1608HS)
※3. ファームウェアバージョン:2.00 以降(VJ-1608HS)
※4. 携帯情報端末用アプリケーション「VSM Mobile」が必要。
※5. LAN 接続のみ対応。
※6. USB 接続のみ対応。
VM-10 のディスコン後に生産された機体は未対応。

表 17.3 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種		
		VJ-426UF VJ-626UF	VJ-1626UH	VJ-1628X
年月日・時刻更新		○	○	○
ユーザー用紙名編集		○	○	○
ファームウェア更新		○	○	○
最新ファームウェア確認		○	○	○
メールお知らせ		○	○	○
カラーベリファイ ※2		－	－	△
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○
	詳細情報	○	○	○
	Smart/C情報	△	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○
	ヒーター情報	－	－	○
	S/Cカード/インク情報	○	○	○
	用紙情報	－	－	－
	印刷情報	－	－	－
MPS実行		－	－	○
VSM Mobile ※1		○	○	○
印刷履歴		○	○	○
リモートパネル		○	－	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○

※1. 携帯情報端末用アプリケーション「VSM Mobile」が必要。

※2. VM-10 のディスコン後に生産された機体は未対応。

表 17.4 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種			
		VJ-1324X VJ-1324XS VJ-1624X	VJ-1624WX VJ-1924WX	VJ-2638X	VJ-1638UH VJ-1638UR
年月日・時刻更新		○	○	○	○
ユーザー用紙名編集		○	○	○	○
ファームウェア更新		○	○	○	○
最新ファームウェア確認		○	○	○	○
メールお知らせ		○	○	○	○
カラーベリファイ ※2		△	－	△	－
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○	○
	詳細情報	○	○	○	○
	Smart/C情報	△	△	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○	○
	ヒーター情報	○	－	－	－
	S/Cカード/インク情報	○	○	○	○
	用紙情報	－	－	－	－
	印刷情報	－	－	－	－
MPS実行		－	－	○	○
VSM Mobile ※1		○	○	○	○
印刷履歴		○	○	○	○
リモートパネル		○	○	○	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○	○

※1. 携帯情報端末用アプリケーション「VSM Mobile」が必要。

※2. VM-10 のディスコン後に生産された機体は未対応。

表 17.5 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種		
		VJ-1938TX	VJ-1948WX	VJ-1627MH
年月日・時刻更新		○	○	○
ユーザー用紙名編集		○	○	○
ファームウェア更新		○	○	○
最新ファームウェア確認		○	○	○
メールお知らせ		○	○	○
カラーベリファイ		－	－	－
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○
	詳細情報	○	○	○
	Smart/C情報	△	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○
	ヒーター情報	-	○	－
	S/Cカード/インク情報	○	○	○
	用紙情報	－	－	－
	印刷情報	－	－	－
MPS実行		○	○	－
VSM Mobile ※1		○	○	○
印刷履歴		○	○	○
リモートパネル		○	○	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○

※1. 携帯情報端末用アプリケーション「VSM Mobile」が必要。

表 17.6 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種		
		XPJ-1641SR XPJ-1641SR-P	XPJ-1682SR XPJ-1682SR-P	XPJ-1682WR
年月日・時刻更新		○	○	○
ユーザー用紙名編集		○	○	○
ファームウェア更新		○	○	○
最新ファームウェア確認		○	○	○
メールお知らせ		○	○	○
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○
	詳細情報	○	○	○
	Smart/C情報	△	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○
	ヒーター情報	○	○	－
	S/Cカード/インク情報	○	○	○
MPS実行		－	○	○
印刷履歴		○	○	○
リモートパネル		○	○	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○

表 17.7 MSM 機種別サポート機能一覧

「〇」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種	
		XPJ-461UF	XPJ-661UF
年月日・時刻更新		〇	〇
ユーザー用紙名編集		〇	〇
ファームウェア更新		〇	〇
最新ファームウェア確認		〇	〇
メールお知らせ		〇	〇
ステータスモニタ	プリンタ情報	〇	〇
	詳細情報	〇	〇
	Smart/C情報	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	〇	〇
	ヒーター情報	-	－
	S/Cカード/インク情報	〇	〇
MPS実行		－	－
印刷履歴		〇	〇
リモートパネル		〇	〇
プリンタ情報バックアップ		〇	〇
プリンタ情報アップロード		〇	〇

表 17.8 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種	
		VJ-1638UH2 VJ-1638UR2	XPJ-1682UR
年月日・時刻更新		○	○
ユーザー用紙名編集		○	○
ファームウェア更新		○	○
最新ファームウェア確認		○	○
メールお知らせ		○	○
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○
	詳細情報	○	○
	Smart/C情報	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○
	ヒーター情報	－	－
	S/Cカード/インク情報	○	－
MPS実行		○	○
VSM Mobile		－	－
印刷履歴		○	○
リモートパネル		○	○
プリンタ情報バックアップ		○	○
プリンタ情報アップロード		○	○

17.9 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種		
		XPJ-1642WR	VJ-1628MH	XPJ-1341SR-P
年月日・時刻更新		○	○	○
ユーザー用紙名編集		○	○	○
ファームウェア更新		○	○	○
最新ファームウェア確認		○	○	○
メールお知らせ		○	○	○
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○
	詳細情報	○	○	○
	Smart/C情報	△	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○
	ヒーター情報	△※1	○	○
	S/Cカード/インク情報	○	○	○
MPS実行		○	－	－
印刷履歴		○	○	○
リモートパネル		○	○	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○

※1 仕向けによって非対応の場合があります。

17.10 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種		
		XPJ-1341WR-P	XPJ-1462UF	HA-1642
年月日・時刻更新		○	○	○
ユーザー用紙名編集		○	○	○
ファームウェア更新		○	○	○
最新ファームウェア確認		○	○	○
メールお知らせ		○	○	○
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○	○
	詳細情報	○	○	○
	Smart/C情報	△	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○	○
	ヒーター情報	－	-	○
	S/Cカード/インク情報	○	○	○
MPS実行		－	－	－
印刷履歴		○	○	○
リモートパネル		○	○	○
プリンタ情報バックアップ		○	○	○
プリンタ情報アップロード		○	○	○

17.11 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種
		XPJ-C641SR-P
年月日・時刻更新		○
ユーザー用紙名編集		○
ファームウェア更新		○
最新ファームウェア確認		○
メールお知らせ		○
ステータスモニタ	プリンタ情報	○
	詳細情報	○
	Smart/C情報	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○
	ヒーター情報	－
	S/Cカード/インク情報	○
MPS実行		－
印刷履歴		○
リモートパネル		○
プリンタ情報バックアップ		○
プリンタ情報アップロード		○

17.12 MSM 機種別サポート機能一覧

「○」:サポート／「△」:限定サポート／「－」:サポート外

機能一覧		機種	
		XPJ-1641SR-P2 XPJ-1681SR-P	XPJ-661UF-P
年月日・時刻更新		○	○
メディア設定名編集		○	○
ファームウェア更新		○	○
最新ファームウェア確認		○	○
メールお知らせ		○	○
ステータスモニタ	プリンタ情報	○	○
	詳細情報	○	○
	Smart/C情報	△	△
	ヘッド/カートリッジ情報	○	○
	ヒーター情報	○	-
	S/Cカード/インク情報	○	○
MPS実行		○	○
印刷履歴		○	○
リモートパネル		○	○
プリンタ情報バックアップ		○	○
プリンタ情報アップロード		○	○

18. エラーコード一覧

18.1. プリンタステータス

状態	No.	詳細
通信ｴﾗｰ	1	ﾌﾟﾘﾝﾀと通信できません。以下を確認して下さい。 1.ネットワークケーブルが繋がっているか 2.ﾌﾟﾘﾝﾀの電源が入っているか 3.ﾌﾟﾘﾝﾀの IP ｱﾄﾞﾚｽが正しいか
	2	ﾌﾟﾘﾝﾀと通信が重複しました。 もう一度通信を確認して下さい。
	3	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗しました。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	4	ﾌﾟﾘﾝﾀのｼﾘｱﾙ番号が未登録です。 販売店へお問い合わせ下さい。
	5	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗しました。「情報確認」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸして下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
ﾌﾟﾘﾝﾀ情報更新ｴﾗｰ	1 - 4	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗しました。以下の確認を行って下さい。 1.ﾌﾟﾘﾝﾀを再起動して下さい。 2.MSM を再起動して下さい。 上記を行っても問題が解決しない場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	5	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の一時ファイルが削除できません。 以下の確認を行って下さい。 1.ﾌﾟﾘﾝﾀを再起動して下さい。 2.MSM を再起動して下さい。 3.Tmp フォルダを確認し、ファイルが存在する場合は削除して下さい。 上記を行っても問題が解決しない場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

状態	No.	詳細
ﾌﾟﾘﾝﾀ情報取得失敗	1 - 8, 10 - 12, 14	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得できませんでした。 「情報確認」ﾎﾞﾀﾝでもう一度ﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得して下さい。
	9	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得が競合しました。 「情報確認」ﾎﾞﾀﾝでもう一度ﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得して下さい。
	13	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得できませんでした。 もう一度ﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得して下さい。
	4	制御権が重複しました。 他の MSM が制御権を取得しているため、制御権を更新できません。
	15 - 40	プリンタ情報バックアップ時に、プリンタ情報を取得できませんでした。 もう一度プリンタ情報バックアップを実行し下さい。
Smart/C 更新エラー	1 - 3	Smart/C を更新できませんでした。 「更新」ﾎﾞﾀﾝで Smart/C を更新して下さい。
	4	Smart/C の更新は正常に行われましたが、 Smart/C 更新ログファイルの初期化に失敗しました。 販売店にお問い合わせ下さい。
	5	ｻｰﾊﾞから Smart/C を取得できませんでした。 再度 Smart/C を更新する場合は、 「更新」ﾎﾞﾀﾝをクリックして下さい。
	6 - 8	Smart/C を更新できませんでした。 Smart/C 種別を確認して下さい。
	9 - 10	Smart/C を更新できませんでした。 使用済みの Smart/C は更新できません。
	11	Smart/C を更新できませんでした。 Smart/C の更新制限が最大です。
	12	Smart/C を更新できませんでした。 Smart/C の更新量が多すぎます。 Smart/C の最大量以内で更新して下さい。
	13	Smart/C を更新できませんでした。 「更新」ﾎﾞﾀﾝで Smart/C を更新して下さい。
未ログインのため更新できません	-	未ログインのため Smart/C を更新できません。 ログインを行ってから Smart/C の更新を行って下さい。

状態	No.	詳細
ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ	1	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.シリアル No が正しく設定されているか
	2 - 4	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.登録したﾌﾟﾘﾝﾀか
	3	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗しました。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	4	ﾌﾟﾘﾝﾀのｼﾘｱﾙ番号が未登録です。 販売店へお問い合わせ下さい。
	5	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗しました。「情報確認」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸして下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	6	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.正しい起動ﾓｰﾄﾞ(PR)か
	7 - 8	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.ﾌﾟﾘﾝﾀが MSM 対応機種か
ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ : 重障害	xxx	重障害が発生しました。以下を確認して下さい。 1.プリンタの状態を確認してください。 エラーの詳細は、プリンタのマニュアルをご確認下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	71 , 73	重障害が発生しました。以下を確認して下さい。 1.メディアが正しくプリンタにセットされているか。 上記に問題なければ、故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
	72 , 74	重障害が発生しました。以下を確認して下さい。 1.メディアが正しくプリンタにセットされているか。 2.プラテン上に異物がないか。 上記に問題なければ、故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
	76	重障害が発生しました。以下を確認して下さい。 1.電圧切り替えスイッチを、ご使用の国の電圧に合わせてください。 上記に問題なければ、故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ : AC 遮断	-	ﾌﾟﾘﾝﾀを再起動して下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ : CPU ｴﾗｰ		

状態	No.	詳細
F/W ｲﾝｽﾄｰﾙﾓｰﾄﾞ	-	ﾌﾟﾘﾝﾀを再起動して下さい。
MSM ｴﾗｰ	1	不明ｴﾗｰです。 MSM が古い場合は最新版をｲﾝｽﾄｰﾙして下さい。
	2	1 台もﾌﾟﾘﾝﾀが登録されていません。 ﾌﾟﾘﾝﾀ登録をして下さい。
	3	動作に必要なﾌｧｲﾙが存在しません。 MSM を再ｲﾝｽﾄｰﾙして下さい。
未ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝ	-	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝされていません。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝしないと印刷できません。ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
	-	制御権がないため、ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行えません。 制御権を取得するか、制御権を取得しているMSMにてｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝして下さい。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝしないと印刷できません。ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞ取得ｴﾗｰ	-	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞを取得できませんでした。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｴﾗｰ	1	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝ情報を取得できなかったため登録できません。 もう一度登録を行って下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	2	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝに失敗しました。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行わないとﾌﾟﾘﾝﾀ登録及びﾌﾟﾘﾝﾀが印刷可能となりません。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	3	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝ情報を取得できなかったため登録できません。 もう一度登録を行って下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	4	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝできませんでした。 ﾌﾟﾘﾝﾀを再起動してから、もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
	5 - 7	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝできませんでした。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
	8	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝできませんでした。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞに誤りがあります。 該当ﾌﾟﾘﾝﾀ用のｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞか確認して下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

状態	No.	詳細
ログインエラー	-	ｻｰﾊﾞにﾛｸﾞｲﾝできませんでした。以下を確認して下さい。 1.ｲﾝﾀｰﾈｯﾄに接続可能か 2.ID、ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞに誤りはないか
WebServer ｴﾗｰ	-1	MSM のバージョンが古い可能性があります。
	-100	最新の MSM をご使用下さい。
	-200	ｻｰﾊﾞにﾛｸﾞｲﾝできませんでした。
	-220	ID、ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを確認して下さい。
	-300	Smart/C またはｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞの発行に失敗しました。 もう一度更新を行って下さい。
	-310	ｻｰﾊﾞがﾒﾝﾃﾅﾝｽ中です。 しばらくたってからやり直して下さい。
	-320	Smart/C が不足しているため、Smart/C を更新できません。 販売店へお問い合わせ下さい。
	-330	Smart/C またはｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞをｻｰﾊﾞから取得できませんでした。 販売店へお問い合わせ下さい。
	-360	使用可能な Smart/C がありません。 販売店へお問い合わせ下さい。
	-380	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ用の Smart/C 使用上限を超えました。
	-400	ｻｰﾊﾞと通信できません。以下の確認を行って下さい。 1.接続設定 2.インターネット接続環境
	-500	ｻｰﾊﾞと通信できません。 販売店へお問い合わせ下さい。

18.2. プリンタ登録

状態	No.	詳細
通信ｴﾗｰ	1	ﾌﾟﾘﾝﾀと通信できません。以下を確認して下さい。 1.ネットワークケーブルが繋がっているか 2.ﾌﾟﾘﾝﾀの電源が入っているか 3.ﾌﾟﾘﾝﾀの IP ｱﾄﾞﾚｽが正しいか
	2	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得が競合しました。 しばらくたってからﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得して下さい。
	3	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗しました。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	4	ﾌﾟﾘﾝﾀのｼﾘｱﾙ番号が未登録です。 販売店へお問い合わせ下さい。
	5	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗しました。「情報確認」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸして下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
ﾌﾟﾘﾝﾀ情報取得失敗	1 - 8 10 - 12	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得できませんでした。 もう一度ﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得して下さい。
	9	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得が競合しました。 しばらくたってからﾌﾟﾘﾝﾀ情報を取得して下さい。
制御権ｴﾗｰ	1	Smart/C 更新中のため、制御権を更新できません。 Smart/C 更新後、制御権を更新して下さい。
	2 - 3, 5	制御権を更新できませんでした。 しばらくたってから制御権を更新して下さい。
	4	制御権が重複しました。 他の MSM が制御権を取得しているため、制御権を取得できませんでした。

状態	No.	詳細
プリンタ変更エラー	1 - 2	登録されているﾌﾟﾘﾝﾀとは別ﾌﾟﾘﾝﾀとなるため変更はできません。 他ﾌﾟﾘﾝﾀとして登録して下さい。
	3	変更できません。追加を行って下さい。
プリンタ登録エラー	1 - 2	既に該当ﾌﾟﾘﾝﾀは登録されているため、登録できません。
	3 - 4 6 - 8	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝは成功しましたが、 ﾌﾟﾘﾝﾀ情報の取得に失敗し、ｻｰﾊﾞ及び MSM にﾌﾟﾘﾝﾀを登録できませんでした。
	5	ﾌﾟﾘﾝﾀ情報ﾌｧｲﾙの初期化に失敗しました。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝ及びﾌﾟﾘﾝﾀ登録は問題ありません。
	9	MSM が旧バージョンです。最新バージョンをご使用下さい。
ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ	1	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.シリアル番号が正しく設定されているか
	2 - 4	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.登録したﾌﾟﾘﾝﾀか
	5	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.正しい起動ﾓｰﾄﾞ(BM)か
	6	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.正しい起動ﾓｰﾄﾞ(PR)か
	7 - 8	ﾌﾟﾘﾝﾀを確認できません。以下を確認して下さい。 1.ﾌﾟﾘﾝﾀが MSM 対応機種か

状態	No.	詳細
ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝ	-	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝされていません。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝしないと印刷できません。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
		制御権がないため、ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行えません。 制御権を取得するか、制御権を取得しているMSMにてｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝして下さい。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝしないと印刷できません。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞ取得ｴﾗｰ	-	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞを取得できませんでした。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｴﾗｰ	1,3	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝ情報を取得できなかったため登録できません。 もう一度登録を行って下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	2	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝに失敗しました。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行わないとﾌﾟﾘﾝﾀ登録及びﾌﾟﾘﾝﾀが印刷可能となりません。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	4	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝできませんでした。 ﾌﾟﾘﾝﾀを再起動してから、もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
	5 - 7	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝできませんでした。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
	8	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝできませんでした。 ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞに誤りがあります。 該当ﾌﾟﾘﾝﾀ用のｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞか確認して下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

状態	No.	詳細
WebServer ｴﾗｰ	-1	MSM のバージョンが古い可能性があります。
	-100	最新の MSM をご使用下さい。
	-200	ｻｰﾊﾞにﾛｸﾞｲﾝできませんでした。
	-220	ID、ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを確認して下さい。
	-300	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞを取得できませんでした。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
	-310	ｻｰﾊﾞがﾒﾝﾃﾅﾝｽ中です。 しばらくたってからやり直して下さい。
	-320	ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝｺｰﾄﾞを取得できませんでした。 もう一度ｱｸﾃｨﾍﾞｰｼｮﾝを行って下さい。
	-400	ｻｰﾊﾞと通信できません。以下の確認を行って下さい。 1.接続設定 2.インターネット接続環境
	-500	ｻｰﾊﾞと通信できません。 販売店へお問い合わせ下さい。
MSM ｴﾗｰ	1	不明ｴﾗｰです。 MSM が古い場合は最新版をｲﾝｽﾄｰﾙして下さい。
	2	1 台もﾌﾟﾘﾝﾀが登録されていません。 ﾌﾟﾘﾝﾀ登録をして下さい。
	3	動作に必要なﾌｧｲﾙが存在しません。 MSM を再ｲﾝｽﾄｰﾙして下さい。

18.3. リモートパネル

No.	詳細
-1	PC とプリンタの通信に異常が発生しました。 プリンタと PC の接続を確認し、もう一度「変更」を実行して下さい。
-2	MSM または F/W のバージョンが古い可能性あります。 MSM 及び F/W を最新バージョンに更新して下さい。
-3	MSM または F/W のバージョンが古い可能性あります。
-4	MSM 及び F/W を最新バージョンに更新して下さい。
-10	プリンタのパネルを操作中のため、リモートパネルモードを取得できません。 プリンタのパネル操作が終わるまでお待ち下さい。
-11	他のユーザーがプリンタを操作中です。 他のユーザーの操作が終了するまでお待ち下さい。
-12	プリンタの操作権限がありません。 操作権限を取得して下さい。
-13	タイムアウトしました。 しばらくたってからやり直して下さい。
-20	プリンタが作画中です。 作画が終了するまでお待ち下さい。
-21	プリンタがリモートパネルの命令を実行可能な状態ではありません。 プリンタの状態を確認して下さい。
-22	プリンタがスリープモード中です。 スリープモードを解除してからやり直して下さい。
-23	既にプリンタがリモートパネルの命令を実行中です。 プリンタの状態を確認して下さい。
-24	プリンタが作画中でないため、リモートパネルの命令を実行できません。 プリンタの状態を確認して下さい。
-100	サポートしていない処理です。 MSM 及び F/W を最新バージョンに更新して下さい。
-401	PC とプリンタの通信に異常が発生しました。 MSM 及びプリンタを再起動して下さい。

18.4. Smart/C

18.4.1. S/C カード

状態	No.	詳細
読込失敗	-	S/C カードを読み込めません。 S/C カードを抜き差ししてください。
S/C カードなし	-	S/C カードが差されていません。 S/C カードを差してください。
カードリーダーなし	-	S/C カードリーダーが接続されていません。 S/C カードリーダーを接続してください。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
カードリーダー重複	-	S/C カードリーダーが複数接続されています。 接続する S/C カードリーダーを 1 個にしてください。
無効な S/C カード	1, 3 - 6	使用済みの S/C カードです。 新品の S/C カードを差してください。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	2, 7 - 10	該当プリンタ未対応の S/C カードです。 該当プリンタ対応の S/C カードを差してください。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

状態	No.	詳細
Smart/C Update Err	1 - 5	PC とプリンタの通信に異常が発生しました。 もう一度 Smart/C を行って下さい。
	6 - 8,19	この S/C カードは、ご使用のプリンタでは使用できません。 正しい S/C カードを使用して下さい 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	9 - 10	使用済みの S/C カードです。 新品の S/C カードを使用して下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。
	12	Smart/C の最大容量を超えています。 最大容量以内の S/C カードで Smart/C を行って下さい。
	13	不明ｴﾗｰです。 MSM が古い場合は最新版をｲﾝｽﾄｰﾙして下さい。
	14	Smart/C 更新中に S/C カードが抜かれました。 別の S/C カードで、Smart/C をやり直して下さい。
	15	この S/C カードは、ご使用のプリンタでは使用できません。 別の S/C カードで、Smart/C をやり直して下さい。
	16	Smart/C 更新中に、S/C カードを交換されました。 Smart/C 更新中は、S/C カードを交換しないで下さい。
	17 - 18	S/C カードリーダーの最新のデバイスドライバがインストールされているか確認して下さい。 同じｴﾗｰが繰り返し表示される場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

19. エラー表示と対処方法

プリンタの動作中に、エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

エラーが発生した場合、MSM にエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

ただし、一部記載されていないエラーもありますのでご注意ください。

表示	内容
カバーオープン	フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じてください。
レバーアップ	メディア固定ハンドルのロックが解除されています。 メディア固定ハンドルをロックしてください。
インクなしNo.********	インクがなくなりました。(動作を停止します) 新しいインクカートリッジに交換してください。
S/Cカードエラー No.********	S/C カードが認識できませんでした。 S/C カードを正しく装着してください。
カートリッジなしNo.********	インクカートリッジが挿入されていません。(動作を停止します) インクカートリッジを挿入してください。
廃液タンク満タン	廃液タンクが満タンになりました。(動作を停止します) ただちに廃液を容器に移してください。廃液を排出後、MSMで廃液カウントをゼロにしてください。
非対応のカートリッジサイズ No.********	本製品で使用できないカートリッジが使用されています。 本製品用のカートリッジを使用してください
カートリッジを確認してください No.********	**●インクカートリッジの場合** インクカートリッジを正しく認識できませんでした。インクカートリッジを挿入し直してください。復帰しない場合は、お買い求めのMUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 **●大容量パックアダプターの場合** スマートチップカードのみ交換してインクパックを交換し忘れている可能性があります。スマートチップカードとインクパックはセットで交換してください。
正しい色か確認してください No.********	インクカートリッジが、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。
S/Cカード認識エラー No.********	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 対象のインクカートリッジを挿し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。 ・ インクカートリッジを挿し直して、新たに「正しい色か確認してください No. : ****」が表示された場合は、「正しい色か確認してください No. : ****」の内容に従って操作してください。
ピンチローラー位置確認(R): メディアエッジ ピンチローラー位置確認(L): メディアエッジ	ピンチローラーが適切な位置にセットされていません。 ·メディアに対して、ピンチローラーを適切な位置にセットしてください。

表示	内容
ピンチローラー位置確認(R): グリットローラー突起 ピンチローラー位置確認(L): グリットローラー突起	ピンチローラーが適切な位置にセットされていません。 ・メディアとピンチローラーがグリットローラー突起部分の上部にあるようにセットしてください。 ・本製品で使用できないサイズのメディアの場合、ピンチローラーを正しい位置にセットできません。メディアサイズを確認してください。
ピンチローラー位置エラー(R): メディアエッジ ピンチローラー位置エラー(L): メディアエッジ	ピンチローラーの位置が正しくありません。(動作を停止します) ・ピンチローラーのゴム部分がメディアからはみ出していないことを確認してください。ピンチローラーとグリットローラーの突起部分が接触した状態でメディアフィードを行うと、ピンチローラーが破損する可能性があります。
メディア認識エラー	メディア認識に失敗しました。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
メディア斜行エラー	メディアが斜行しました。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
ロール紙エンド	メディアがなくなりました。(動作を停止します) 新しいメディアをセットしてください。
ロール紙エンド(作画停止)	メディアがなくなりました。(動作を停止します) 新しいメディアをセットしてください。
クロップマーク読み取りエラー (メディアセットエラー)	クロップマークのセット位置がずれていると正常に読み取ることができない場合があります。カッティングマット上に、手前側2つのマークの底辺が水平にのるようにセットしてください。
クロップマーク読み取りエラー (メディア傾きエラー)	クロップマークが5度以上傾いていると正常に読み取ることが できない場合があります。適切にセットしてください。
クロップマーク読み取りエラー (マーク＊読み取りエラー)	エラー対象のマークが汚れていたり、かすれていないか確認してください。 エラー対象のマーク番号(＊)は、クロップマークの検出順番に対応します。
メディアなし	待機中。(メディアはセットされていません。)
インク未充填	インクが充てんされていません。 初期充てんを実行してインクを充てんしてください。
CR モータ寿命	CR モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めのMUTOH 製品取扱店またはMUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
PF モータ寿命	PF モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めのMUTOH 製品取扱店またはMUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
ポンプ寿命	ポンプモーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めのMUTOH 製品取扱店またはMUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
プラグを交換してください No.********	大容量パックアダプターを一定回数使用しました。プラグを交換してください。
巻き取り装置が有効のため、 輪郭カットはできません	輪郭カットを行う場合は、巻き取り装置からメディアを取り外し、排紙モードを「巻き取り」以外に設定して使用してください。

表示	内容
メディア固定ハンドルのロックを解除し、メディアも取り外してください	メディア固定ハンドルのロックを解除してください。メディアをセットしている場合は、メディアも必ず取り外してください。 プリンタを使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除しておいてください。
プリンターが低温状態です。室温を調整して警告が解除されるまでお待ちください。	プリンターが低温状態です。 メディアを取り外した状態で室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。
プリンターが高温状態です。室温を調整して警告が解除されるまでお待ちください。	プリンターが高温状態です。 メディアを取り外した状態で室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。

MUTOH